Ｈ２３年度 農村活性化支援事業
受入機能強化施設 建設工事

Horiguchi Architect & Associates
堀 口 設 計 事 務 所

図面リスト

D- 1	建築本体工事　特記仕様書１	S- 1	構造設計標準仕様	E- 1	電気設備工事　特記仕様書
D- 2	建築本体工事　特記仕様書２	S- 2	鉄筋コンクリート構造配筋標準図	E- 2	[電気設備] 幹線・動力・弱電設備図
D- 3	工事区分表	S- 3	木構造 特記仕様書　１	E- 3	[電気設備] 盤図・照明器具姿図
D- 4	配置図　案内図　面積表	S- 4	木構造 特記仕様書　２	E- 4	[電気設備] 電灯設備図
D- 5	仕上表	S- 5	基礎伏図　基礎詳細図	E- 5	[電気設備] コンセント設備図
D- 6	面積算定図　法規チェック表	S- 6	土台・柱伏図　小屋伏図		
D- 7	平面詳細図	S- 7	壁量算定図　接合金物 位置図		
D- 8	立面図				
D- 9	屋根伏図　天井伏図				
D-10	矩計詳細図 １				
D-11	部分詳細図				
D-12	床伏図				
D-13	[参考]業務用設備機器リスト　キープラン　[別途工事]				
D-14	展開図 １			M- 1	機械設備工事　特記仕様書
D-15	展開図 ２			M- 2	[機械設備] 外構・縦断図・桝リスト
D-16	展開図 ３			M- 3	[機械設備] 機器表・器具表
D-17	展開図 ４			M- 4	[機械設備] 衛生設備平面図
D-18	展開図 ５			M- 5	[機械設備] 換気設備平面図
D-19	木製建具表			M- 6	[機械設備] 空調設備平面図
D-20	金属製建具表				
D-21	外構図　詳細図				

建築工事 特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1 工事名称　H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事

2 工事場所　長野県 上伊那郡 箕輪町 大字中箕輪 3730-246,3730-247,3730-248,3730-275,3730-276

3 用途地域等　都市計画区域（⊙内 ・外）　用途地域（　　無指定　　）
防火地域等（・防火 ・準防火 ⊙指定なし ・２２条）
その他の地域・地区（　　）

4 主要用途　その他（農産物加工施設）----[０８９９０]
[建築基準法 特殊建築物に該当しない]　[消防法 別表第１--（１２）-イ]

5 敷地面積　２９６３．５１ ㎡

6 工事の概要　新築　木造（在来工法）　平屋建て

7 注意事項

8 着工前の提出　青(白)焼縮小（Ａ３版）２つ折製本３部、青(白)焼（Ａ２版）２つ折製本１部を工事打合せ用として提出のこと
(分離発注の場合においても、他工事図面の合本を原則とする)

9 別途工事

10 特記仕様書の範囲
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の◯印のもので構成する。
⊙ 構造特記仕様書　・ 外構工事特記仕様書　・ 植栽工事特記仕様書　・ 解体工事特記仕様書
⊙ 電気設備工事特記仕様書　⊙ 機械設備工事特記仕様書

Ⅱ 建築工事仕様

1．共通仕様
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて公共建築工事標準仕様書(建築工事編)[国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成２２年版]
(以下「標準仕様書」)~~及び、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)[国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成２２年版]~~
~~(以下「改修標準仕様書」)~~による。

2．特記仕様
1）項目は、番号に◯印のついたものを適用する。
2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。
⊙印と(※)印のついた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の(　)内の表示番号は、建築工事標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項目	特記事項

1 一般共通事項

① 適用基準等
⊙ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　平成２２年版）
⊙ 工事写真の撮り方 建築設備偏（平成１０年発行　改訂２版）

2．工事実績情報の登録
※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合）　・ 適用しない　(1.1.4)

③ 施工体制
下請契約の総額が4,500万円を超える場合は，施工体制台帳及び施工体系図を提出する。　(1.1.5)

④ 発生材の処理等
・引渡しを要するもの（　　）　(1.3.8)
・特別管理産業廃棄物（　　）
受入れ施設名・所在地(km)
・再生資源化を図るもの

種類	受入れ施設名	所在地（Km）	備考
・ ｾﾒﾝﾄｺﾝｸﾘｰﾄ塊			
・ ｱｽﾌｧﾙﾄｺﾝｸﾘｰﾄ塊			
・ 建設発生木材			
・ 建設汚泥			

・現場において再利用を図るもの（　　）
・その他の廃棄物（安定型)(　　）
受入れ施設名・所在地(km)
・その他の廃棄物（管理型)(　　）
受入れ施設名・所在地(km)

※再生資源利用計画等の提出
次のものの利用及び処理を行う場合は，＊＊＊建設副産物処理設計積算要領（平成＊＊年＊＊月＊＊日付）に基づき，再生資源の利用計画等を施工計画書に含め監督職員に提出し，また，工事完了時に建設副産物の処理結果報告書を監督職員に提出する。
工事現場に搬入するもの　土砂，砕石，加熱アスファルト混合物
工事施工により発生するもの　建設副産物

建設リサイクル法
・ 対象工事　落札が決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前に、契約担当者等に説明書を提出するものとする。
また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づいて書面により報告すること。
・ 対象外工事

5．電気保安技術者
・ 適用する　※ 適用しない　(1.3.3)

⑥ 施工条件
関連工事による施工時期の調整　・ 有（内容：　　）⊙ 無　(1.1.7)
施工時期・時間の制限　※ 指定しない　・ 打合せによる　(1.3.5)
部位別施工順序　※ 指定しない　・ 図示による
工事用車両の駐車場所　⊙ 有 ~~(図示)~~ 打合せによる　・ 無
資機材置場所　⊙ 有 ~~(図示)~~ 打合せによる　・ 無
関係機関等との協議の未成立事項　・ 有（内容：　　）⊙ 無
関係機関等との協議結果・特定条件の付加　・ 有（内容：　　）⊙ 無

⑦ 公害対策
⊙公害防止（騒音，振動，水質等）の施工方法，機械施設，作業時間等の制限についての施工条件　(1.3.7)
（内容： 打合せによる　　）

※建設機械の排出ガス対策
次の建設機械（ディーゼルエンジン（出力7.5kw～260kw）を搭載したものに限る。）は，排出ガス対策型を使用する。なお，施工実施にあたり，排出ガス対策型を使用しない場合は，変更契約の対象とする。
バックホウ，車輪式トラクタショベル，ブルドーザ，可搬式発動発電機，可搬式空気圧縮機，
油圧ユニット（基礎工事用で独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載したもの），
ローラ（ロードローラ，タイヤローラ，振動ローラ），ホイールクレーン

⑧ 安全対策
交通安全施設等の指定　・ 有（図示）　※ 無　(1.3.7)
占用埋設物との近接工事による施工方法，作業時間の制限
・ 有（内容：　　）　※ 無
安全訓練等の実施　※ 実施する　・ 実施しない
工事着手後，原則として作業員全員参加により，月当たり半日以上の時間を割り当て安全訓練等を実施する。

9．環境対策
・ ＩＳＯ１４００１対象工事　施工計画書中の環境対策の項目に環境配慮計画を記載し，現場においては特に環境に配慮する。
・ 対象外工事

⑩ 工事現場のｲﾒｰｼﾞｱｯﾌﾟ
⊙ 行う（内容： 打合せによる　　）　・ 行わない　(1.3.7)

⑪ 事故報告
工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。　(1.3.10)

⑫ 建築材料等
(※) 本工事に使用する材料等のうち，特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。　(1.4.2)
⊙ 本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等（VVOC,VOC等）の放散しないもの又は放散量の少ないものの使用に努める。
⊙ ホルムアルデヒド仕様
使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。

普通合板，複合フローリング等：日本農林規格(JAS)Ｆ☆☆☆☆
パーティクルボード，ＭＤＦ(中質繊維板)：日本工業規格(JIS)Ｆ☆☆☆☆
クロス類：壁装材料協会規格(ISM)適合品又は同等品
内装工事に使用する塗料及び接着剤：化学物質等製品安全データシート(MSDS)等にホルマリン不使用が明示されたもの

⊙ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定
測定は，測定する者及び使用する測定機 器等の測定仕様等に定めるものの他，以下のとおりとする。
測定対象物質：※ホルムアルデヒド（濃度指針値0.08ppm）　※スチレン（濃度指針値0.05ppm）
※トルエン（濃度指針値0.07ppm）　※エチルベンゼン（濃度指針値0.88ppm）
※キシレン（濃度指針値0.20ppm）
・ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ（濃度指針値0.04ppm）
測定する室等：（３ヶ所[測定箇所は現場打合せによる]　）
採取方法：　３０分間換気後、対象室内を５時間以上密閉した後、吸引方式では３０分間、拡散方式では８時間以上採取する。
測定方法
ホルムアルデヒド：　DNPH-HPLC法等の精密測定法又は同等の精密法として監督職員の承諾を受けた方法
トルエン、キシレン：固相吸着／溶媒抽出法、固相吸着／加熱脱着法、容器採取法の３種の方法のいずれかを用いて採取し、ガスクロマトグラフィ－質量分析法
測定結果等報告書の提出：測定後は，厚生労働省が定める濃度指針値以下であることを確認し、気温・湿度（室外・室内），天候，風の状況，日射進入状況，測定月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成時から測定日までの日数，測定濃度，測定方法及び使用した測定機器を明示した報告書を１部提出する。
測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引き渡しを受けない。

⑬ 特別な材料の工法
建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

⑭ 建築基準法による風圧力等の指定
(13.2.3)(13.3.2)(13.5.2)(14.7.2)(16.13.5)

適用工事		建築基準法の指定		
⊙ 金属板葺	・ 折板葺	風速(V0)	※ ３０	・
・ 粘土瓦葺	・ アルミニウム笠木	地表面粗度区分	・ Ⅱ	・ Ⅲ
・ ガラスブロック	・	多雪地域の指定	・ 有	⊙ 無

⑮ 設計Ｇ．Ｌ．
(※) 図示　・ 現状平均地盤高

16．技能士
・下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。
※下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。
・技能士を適用しないとした職種でも、１級、２級又は単一技能士の配置に努めること。

適用工事種別	適用技能士検定職種（作業）
以下の該当工事	・該当する作業がある以下の職種（作業）のすべて
鉄筋工事	・鉄筋施工（鉄筋（加工）組立作業）
コンクリート工事	・型枠施工
鉄骨工事	・とび
ﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ工事	・ブロック建築　・エーエルシーパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業　・シート防水工事作業 ・塗膜防水工事作業　・シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り作業）
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工作業
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装建築板金作業）
金属工事	・内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	・左官作業
建具工事	・ビルサッシ施工作業　・ガラス施工　・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工　・ビル用サッシ施工　・ガラス施工
塗装工事	・塗装（建築塗装作業）
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業　・ボード仕上げ工事作業 ・表装（壁装作業）　・畳製作
植栽工事	・造園

⑰ 工事経過記録
工事経過報告書を、毎月１回監督職員に提出する。
内容：日誌，天候，工事進捗状況，工事進捗状況写真，その他監督職員の指示する事項

⑱ 完成図等
(1)完成図 ※ 完成原図（折りたたみケース収納）　１部
(※) 青(白)焼２つ折製本　１部
(※) 青(白)焼縮小（Ａ３版）２つ折製本　２部
(※) 完成図CADデータ(SFC)もしくは、PDFデータ（データ形式は打合せにより決定）
(2)施工図 ※ 施工原図（折りたたみケース収納）　１部
(※) 青(白)焼２つ折製本　２部
(※) 施工図CADデータ(SFC)もしくは、PDFデータ(データ形式は打合せにより決定)
(3)工事写真 (※) 工事用アルバムA4版ポケット式程度　２部
(※) 上記は分離発注の場合においても、他工事図面の合本を原則とする
(※) 詳細については、協議による

⑲ 完成写真
(※) 作成する

分類	サイズ	撮影箇所数	部数	提出様式
※ カラー ・ 白黒	※ Ｌ ・ ２Ｌ ・ 六切り	⊙外観及び各室 ⊙外観：４面 ⊙各室：２枚程度	※ ２部 ・ 部	※工事用アルバムA4版ポケット式程度 ・フリーアルバム（台紙寸法323×270程度） ・

・ 作成しない

⑳ 設備工事との取合い
施工範囲　各工事の区分表による。
施工図　設備機器の位置，取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。

㉑ 火災保険等
工事目的物及び工事材料等について，次により保険に付す。
保険の種類　※ 火災保険　※ 建設工事保険　・
保険期間　※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで　・

㉒ 公共事業労務費調査に対する協力
本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合，調査票等に必要事項を正確に記入し監督職員に提出する等、必要な協力を行う。また，本工事の工期経過後においても同様とする。
調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合、その実施に協力する。また、本工事の工期経過後においても同様とする。
公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておく。
本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が上記同様の義務を負う旨定める。

㉓ 不法無線局の排除
請負者は電波法令を遵守し、不法無線局を搭載した車両を使用してはならない。

2 仮設工事

① 仮囲い
仮囲いの位置及び延長は~~図示による。~~ 打合せによる。
・万能鋼板（H=　）・波形鉄板(H=　）・単管シート(H=　）
・シートゲート（H=　W=　）×　箇所

② 危害防止
※シート張り　・金網養生枠

3．交通誘導員
・配置する（　ヶ月 ×　人 ＝　人月）　・配置しない

④ 監督職員事務所
・ 設ける（規模　㎡程度　請負者事務所と同棟　・可 ・否）　(表2.3.1)
(※) 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する）
※ 備品（　　）

5．工事表示板
※ 営繕工事における工事及びコスト表示要領（＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊）により設置する。　設置枚数　１枚

6．事業コスト表示板
・ 営繕工事における工事及びコスト表示要領（＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊）により設置する。　設置枚数　※ １枚　・ 枚
・ 設置しない

⑦ 工事用水
構内既存の施設 ⊙利用できる（※有償 ・無償）　※利用できない

⑧ 工事用電力
構内既存の施設 ・利用できる（※有償 ・無償）(※)利用できない

⑨ 工事用通路
※指定しない　⊙指定する ~~(図示)~~ 打合せによる。

⑩ 足場等
枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省平成15年4月策定）」により、設置については「手すり先行工法による足場設置基準」（ガイドライン別紙）による「働きやすい安心感のある足場」とすること。
なお、改善装置機材による場合は、手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するように努めること。

11．その他の仮設

3 土工事

① 雨水及び湧水等の排水
排水方法　※ 指定しない　・ 指定する（内容：　　）　(3.2.2)
放流先　※ 指定しない　・ 指定する（内容：　　）

② 埋戻し及び盛土の種別
種別　・ Ａ種　※ Ｂ種　・ Ｃ種　・ Ｄ種　(3.2.3)(表3.2.1)
Ｃ種の場合　建設発生土受入数量　㎡
発生場所
受入条件

③ 建設発生土の処理
・ 構外に搬出し適切に処理する。　(3.2.5)
⊙ 構外指示の場所に搬出する。
受入れ施設名・所在地（km)
・ 構内指示の場所に敷きならす。
・ 構内指示の場所にたい積する。

4．山留め　(3.3.1)

5．濁水・湧水処理対策
濁水・湧水処理のための特別な対策の必要性
・ 有（内容：　　）　・ 無

4 地業工事

1．既成コンクリート杭地業
杭の種類　(4.3.2)
・ プレストレストコンクリート杭（ＪＩＳ規格品）　・ Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種

	記号	杭径（mm）	長さ（m）及び種別	設計支持力	セット数	備考
試験杭						
本杭						

接手　※ アーク溶接接手又は旧建築基準法第３８条の規定に基づき認定された無溶接接手　(4.3.6)(4.4.4)
先端部形状　・ 閉塞平坦型　・ 開放型　(4.3.2)(4.4.2)
杭の施工法
・ 掘削打撃併用工法　プレボーリングの掘削深さ　現地盤－　m
オーガー径　杭径－５０mm程度　(4.3.3)(4.4.3)
・ セメントミルク工法　(4.3.4)
・ 特定埋込杭工法（旧建築基準法第３８条の規定に基づき認定された工法）
杭打機の種類　(4.3.5)
ハンマーの種別　・ 油圧パイルハンマー　・ ドロップハンマー
バイルドライバー　※ 三点支持式クローラークレーン
騒音・振動の測定　・ 行う　※ 行わない

2．場所打ちコンクリート杭地業
コンクリートの種別　・ Ａ種　・ Ｂ種　(4.5.3)(表4.5.1)
掘削工法　・ アースドリル工法　※ 安定液使用　(4.5.4)
・ リバース工法
・ オールケーシング工法　孔内の水張り　※ 行う　・ 行わない

3．鋼管杭
工法（　　）

④ 地盤改良
工法（良質土置き換え[置換工法]　）

5．杭の載荷試験
・鉛直載荷試験　・水平載荷試験　[位置及び載荷荷重等は図示による]

6．地盤の載荷試験
※平板載荷試験　・　[位置及び載荷荷重等は図示による]

⑦ 床下防湿層
(※) 設ける　ポリエチレンフィルム厚0.15mm重ね幅縦横とも250mm以上とし、地中梁がある場合は、250mm以上のみ込みとする。　(4.6.6)
・ 設けない

8．土間コン下断熱材
※ 設ける 図示 ~~ポリスチレンフォーム３種b　厚25mm＋砂30mm敷き込みとし、施工範囲は建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房営繕部監修　平成１３年度版）図７－０１－３による~~　(4.6.6)
・設けない

⑨ 砂利地業
※ 再生クラッシャラン　・（　　）　(4.6.2)

5 鉄筋工事

① 鉄筋の種別　(5.2.1)

規格名称	種類の記号	径（mm）
鉄筋コンクリート用棒鋼	※ ＳＤ２９５Ａ	※ Ｄ１６以下
	※ ＳＤ３４５	※ Ｄ１９以上

2．溶接金網
※JIS G 3551規格品　線径(mm)　×　網目(mm)　(5.2.2)
使用箇所（　　）

③ 鉄筋の継手　(5.3.4)

接合方法	径(mm)	施工箇所
⊙重ね継手	Ｄ１６以下	
※ガス圧接	Ｄ１９以上	はり　柱の主筋

4．耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ　(5.3.5)

施工箇所等	表5.3.5の値に加える寸法(mm)

5．杭頭の補強
・ Ａ形　・ Ｂ形　※ 図示　(別図1.1)(図1.1)

6．柱の帯筋
※Ｈ形　(別図2.2)(図2.2)

7．はり貫通孔の補強
補強形式　※Ｈ３形以上　・Ｍ型　・ＭＨ型　(別図7.1)(表7.1～7.3)

8．圧接完了後の抜取試験
試験方法　※超音波探傷試験　・引張り試験　(5.4.9)

6 コンクリート工事

① 設計基準強度
普通コンクリート（ＪＩＳ　A5308によるＪＩＳ表示許可工場の製造品）　(6.1.4)

Ｆｃ（Ｎ/mm２）	適用箇所
(※) ２１	基礎・スラブ
⊙ １８	捨てコンクリート・嵩上げコンクリート
・ １５	

② レディーミックスコンクリート
種別　※ Ⅰ類　・ Ⅱ類　<6.1.5>(表6.1.1)

③ スランプ
捨てコンクリート　(※) １５cm　・ １８cm　(6.2.3)
基礎，柱，梁，土間，スラブ，壁　(※) １８cm

④ 打放し仕上げの種類　(表6.2.3)

種別	施工箇所
・ Ａ種	
(※) Ｂ種	
・ Ｃ種	

⑤ セメントの種類
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種　(6.3.2)

⑥ 型枠　(6.9.3)

せき板の種類	板厚(mm)	適用箇所
※ 合板	※ １２　・	
⊙ 金属製型枠パネル		
・ 床型枠用鋼製デッキプレート		
・ 断熱材兼用型枠	・ 適用する	

ＭＣＲ工法用シート　※ 適用しない

7．軽量コンクリート　(6.11.1)(表6.11.1)

種別	適用箇所	所要気乾単位容積質量（ｔ／m3）

8．寒中コンクリート
適用期間　コンクリート圧縮強度が５Ｎ/mm２に達するまで行うこと。　(6.12.1)

9．無筋コンクリート
適用箇所は6.14.1による他、下記による。　(6.14.1)

適用範囲

10．流動化コンクリート　(6.17.1)(6.17.3)

種別	ﾍﾞｰｽｺﾝｸﾘｰﾄのｽﾗﾝﾌﾟ(cm)	流動化ｺﾝｸﾘｰﾄのｽﾗﾝﾌﾟ(cm)	使用箇所
普通コンクリート	・１０ ・１２ ・１５	・１８ ・２１	

7 鉄骨工事

1．鉄骨の製作工場
※ 下記のグレード以上の性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通省の認定を受けた工場　(7.1.3)
・Ｓ　・Ｈ　・Ｍ　・Ｒ　・Ｊ
・本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、監督職員の承諾する工場

2．施工管理技術者
・適用する　※適用しない　(7.1.4)

3．鋼材の種別　(7.2.1)

材質				規格
・SS400	・SSC400	・STKR400	・BCR295	ＪＩＳ規格品
・SN400	・SN490C	・STK400		

4．高力ボルト
※トルシア形高力ボルト　セットの種類　※２種(S10T)　・　(7.2.2)
・ＪＩＳ形高力ボルト　セットの種類　※２種(F10T)　・
・溶融亜鉛めっき高力ボルト　セットの種類　※１種(F8T相当)　・

5．溶接部の試験
完全溶込溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。　(7.6.11)

溶接の区分	AOQL(%)	検査水準	備考
工場溶接	・2.5　※4.0	※６　・	
現場溶接			

6．錆止め塗装
※ 適用する　・適用しない　(7.8.2)

7．耐火被覆　(7.9.2)(7.9.4～6)

種別	材料及び工法製造所	備考
・ラス張モルタル	１５章２節による	
・耐火材吹付け	建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの	
・耐火板張り	建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの	

8．アンカーボルトの保持及び埋込み工法　(7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)

種別	適用箇所
・ Ａ種	
※ Ｂ種	
・ Ｃ種	

9．柱底均しモルタル　(7.2.9)(7.10.3)(表7.10.2)

種別	適用箇所	柱底均しモルタル
※ Ａ種		
・ Ｂ種		7.2.9及び7.10.3による

10．溶融亜鉛めっき　(7.12.3)(14.2.3)

亜鉛めっき	適用箇所
※ Ａ種	

8 コンクリートブロック・ＡＬＣパネル・押出成型セメント板工事

1．補強コンクリートブロック造
ブロックの種類　(8.2.2)
※ 空洞ブロック　１６

2．コンクリートブロック帳壁及び塀
ブロックの種類　(8.3.2)(表8.3.1)
※ 空洞ブロック　１６（ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック　０８とすることができる）

3．ＡＬＣパネル　(8.4.2)(8.4.4～6)

工法	パネル種類	厚さ	幅	種別	施工箇所	耐火指定
・外壁パネル工法				・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 ・Ｅ種		
・間仕切りパネル工法				・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 ・Ｅ種 ・Ｆ種		
・屋根及び床パネル工法						

3．押し出し成形セメント板　(8.5.2)(表8.5.1)(表8.5.2)

工法	パネル種類	厚さ	幅	種別	施工箇所	耐火指定
・外壁パネル工法				・Ａ種 ・Ｂ種		
・間仕切り壁パネル工法				・Ｂ種 ・Ｃ種		

9 防水工事

1．アスファルト防水　(9.2.2)(9.2.3)(表9.2.3～8)

種別	施工箇所
・ ＡⅠ－２	
・ Ａ－２	
・ Ｅ－１	

アスファルトの種類　JIS K2207規格品　※３種
押さえ金物（※アルミ製Ｌ－30×15×2.0　・　）
・断熱材 ※押出法ポリスチレンフォーム３種ｂ　厚さ(mm)・25　・30　・50
・脱気装置(材質　・　数量・　）適用防水種別（・　）
・溶接金網（規格　）
・伸縮調整目地(※成形伸縮目地　・　）
製造所（　）

2．合成高分子系ルーフィングシート防水　(9.4.3)(表9.4.1)

種別	厚さ（mm）	施工箇所	保護塗料（露出）
・Ｓ－Ｆ１	※1.2　・		※カラー　・シルバー
・Ｓ－Ｆ２	※2　・		※カラー　・シルバー
・Ｓ－Ｆ３	※2　・		
・Ｓ－Ｍ１	※1.2　・		※カラー　・シルバー
・Ｓ－Ｍ２	※1.5　・		

・脱気装置　(材質：　数量：　）
・絶縁シート　(発泡ポリエチレンシート）
・その他の材料（　）

3．塗膜防水　(9.5.3)(表9.5.1)(表9.5.2)

	種別	施工箇所	保護塗料（露出）
・ウレタン系	・Ｘ－		※カラー　・シルバー
・ゴムアスファルト系	・Ｙ－		

・脱気装置（材質：ステンレス製又はアルミ製　設置数量：　箇所）

④ シーリング
※被着体との組み合わせは（表9.6.1）による。

5．防水保証
アスファルト防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡し日より１０年間とし施工業者との連名の上、保証書を提出する。

10 石工事

1．石材　(10.2.1)(表10.1.1)(表10.2.1)(表10.2.2)

石材の種類	品質	施工箇所	工法	産地・名称	仕上の種類

2．汚れ防止
床のワックスかけ　・ 行う　・行わない　(10.1.5)

11 タイル工事

1．タイル
タイルの種類　(11.2.1)

施工箇所	形状寸法(mm)	きじ 磁器	きじ せっ器	きじ 陶器	うわ薬 無釉	うわ薬 施釉	役物 あり	役物 なし	色 標準	色 注文

タイルの見本焼き　※ 行わない　・ 行う　(11.2.1)

2．タイル下地コンクリート
後張りタイル下地コンクリート素地面の処理　(11.3.3)
・ 行う（下記のいずれかとする）　・ 行わない

素地表面処理の工法	下地モルタル	適用箇所
ＭＣＲ工法	共仕15.2.5(C)	
ＭＣＲ工法	ポリマーセメントモルタル	
目荒し工法（高圧水洗）	共仕15.2.5(C)	
目荒し工法（高圧水洗）	ポリマーセメントモルタル	

ＭＣＲ工法はせき板面にＭＣＲ工法用シート張りとし共仕6.9.3(e)による
目荒し工法の高圧水洗は共仕15.2.4(C)による
ポリマーセメントモルタルの調合は共仕15.2.3(b)による。
共仕11.1.4(b)接着力試験の引張接着強度は0.6Ｎ／m㎡以上とする。

3．陶磁器質タイル張り
内装タイルの工法　(表11.3.2)
※ 積上げ張り　施工箇所（　）
※ 接着剤張り　施工箇所（　）
外装タイルの工法　(表11.3.2)
※ 密着張り　施工箇所（　）
・ 先付け　施工箇所（　）
ユニットタイルの後張り工法　(表11.3.2)
※ マスク張り

12 木工事

① 木材
代用樹種を使用しない箇所　(表12.2.3)
※ なし　・ あり（　）

② 集成材
造作用集成材12.2.2.(2)による

等級	見掛かり		その他	
	※ １等	・ ２等	※ １等	・ ２等
単材の樹種				
単材の厚さ(mm)	１０～１５		１０～１５	

③ 接着剤
接着剤に含まれる可塑剤は，難揮発性のものとする。　(12.2.6)

④ 木材保存剤
木材保存剤（木材の防腐・防蟻処理）は，非有機リン系のものとする。　(12.2.8)
防腐・防蟻処理の方法
工場における加圧式とし，十分に乾燥を行う。ただし，現場における加工が生じた場合には，加工した箇所に対し，現場にて木材保存剤を塗布する。

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp
一級建築士事務所登録　(上伊)D第39211号
管理建築士　堀口　隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836　Fax 0265 - 79 - 8912
設計担当者　一級建築士　第229022号　堀口　隆

Date　H 23 ・ 3 ・
Scale

Title　H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title　建築本体工事　特記仕様書 1

Sheet No.　D-01 / D-21
整理番号　11005

2011/5/16

13 屋根及びとい工事

①金属板葺 (13.2.2)(表13.2.1)

材種	厚さ(mm)	屋根葺形式	備考
・ カラー亜鉛鉄板（※片面塗装 ・両面塗装）	※0.4 ・	※瓦棒葺（心なし）	
(・) ガルバリウム鋼板(※カラー ・無塗装)	※0.4 ・0.35	(・)立平葺	AL55%
・ フッ素樹脂塗装鋼板	※0.4 ・	・横段葺き	
・			

※監督員の承諾する業者とする。

②折板葺 ※ 図示による

JIS A 6514の規格品 (13.3.2)

材種	厚さ	山高及びﾋﾟｯﾁの区分	断熱材	耐火性能
・ JIS G 3312の屋根用規格品	※ 0.8	・ 0920	・ 有	・ 有(30分耐火)
・ JIS G 3302の屋根用規格品	・ 0.6	・ 1525	（4.0 mm）	・ 無
・ JIS K 6774のSGのA種規格品		・ 1730	・ 無	
・ JIS G 3321の屋根用規格品				

・形 式 （・ 重ね形 ・ はぜ締め形）
・軒先面戸 （ ）

3. 粘土瓦葺 (13.4.2)

種類	大きさ	産地	役物瓦の種類	耐凍害性資料
				・ 提出する ・ 提出しない

④とい ※ 図示による (13.5.2)(表13.5.1)(表13.5.4)(表13.5.5)

材種	防露
・ 配管用鋼管（SGP）	※ 表13.6.5により行う ・行わない
・ 硬質塩化ビニル管（VP）	

・ 樋受石（材質・規格 ）
※ 第一桝まで接続

5. ルーフドレン 鋳鉄製 (13.5.3)

14 金属工事

1. あと施工アンカー 引抜き耐力の確認試験 ・ 行う ※ 行わない (14.1.3)

②ステンレス表面処理 ※ HL ・ NO.2B (14.2.1)

3. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)(表14.2.1)

種類	施工箇所	色合
・ 一 種		
・ 一 種		

4. 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.3)(表14.2.2)

種別	施工箇所
・ 種	
・ 種	

溶融亜鉛めっきの付着量試験 ※ 行わない ・ 行う
電気亜鉛めっきの被膜厚さ及び塩水噴霧試験 ※ 行わない ・ 行う

⑤軽量鉄骨天井下地 野縁などの種類 (14.4.2)(表14.4.1)
屋内 ※ 19型 ・ 25型
屋外 ・ 19型 ※ 25型
屋外軒裏及びピロティー天井の補強（ ）
床版の断熱材打込部分は断熱用インサートを使用する。

6. 軽量鉄骨壁下地 スタッド、ランナーなどの種類は、表14.5.1による。(14.5.3)

7. 金属成形板張り 種別 (14.6.2)
表面処理
※ 割付図を作成し監督職員の承諾を受ける。
伸縮調整接手 ・ 設ける ・ 設けない

8. アルミニウム製笠木 表面処理 ※ B-1種 ・ A-1種 ・ B-2種 ・ A-2種 (14.7.2)(表14.7.1)
隅角部及び突当り部の役物の使用 ※ 使用する

9. 手すり及びタラップ (14.8.2)(14.8.3)

	材料の種別	表面処理の種別
手すり	・ ステンレスSUS304	HL仕上程度
	・ 鋼製	亜鉛めっきの場合表14.2.2のC種
タラップ	ステンレスSUS304	外部HL仕上程度，内部No.2B仕上程度

15 左官工事

1. セルフレベリング材 ・ せっこう系 ・ セメント系 (15.4.2)

②仕上げ塗材仕上げ ※ 図示による (15.5.2)(表15.5.1〜2)

規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工法	上塗り材
・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材 E ・内装薄塗材 E ・	・砂壁状 ・砂壁状じゅらく	※吹付け ・ローラー	
・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材 C ・内装厚塗材 C ・外装厚塗材 E ・		※吹付け ・こて	
※複層仕上塗材	・複層塗材 CE ・複層塗材 E ・複層塗材 RS ※複層塗材 RE ・複層塗材 Si ・防水形複層塗材E ・防水形複層塗材RS ・	・ゆず肌 ・凸部処理 ・凹凸模様	※吹付け ・ローラー	溶剤 ※水系 ・溶剤系 ・弱溶剤系 外観 ※つやあり ・メタリック 樹脂 ※アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・フッ素系
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材		・吹付け ・こて塗り	

複装仕上塗材の耐候性 ・1種 ・2種 ※3種

3. ﾛｯｸｳｰﾙ吹付け 吹付け厚さ（mm） ※ 10 ・ (15.7.3)

16 建具工事

1. 見本の製作等 (16.1.4)
製作 ※ 行わない ・ 行う（建具表による）
仮組 ※ 行わない ・ 行う（建具表による）

②アルミニウム製建具 ※ 図示による (16.2.2)(16.2.4)(表16.2.1)(表14.2.1)

種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
・ A 種	S−4	A−3	W−4	70（引違い，片引き，上げ下げ窓で複層ガラスの場合100
・ B 種	S−5			
・ C 種	S−6	A−4	W−5	100

表面処理	外部に面する建具	※ B−1種	・ B−2種
	内部建具	※ C−1種	・ C−2種

B−2種，C−2種の場合 ・ブロンズカラー（※標準色 ・濃色） ・ステンカラー
防音ドアセット，防音サッシ ・ 適用する ※ 適用しない
適用する場合の遮音性の等級 ・ T−1 ・ T−2 ・ T−3
断熱ドアセット，断熱サッシ ・ 適用する ※ 適用しない
適用する場合の断熱性の等級 ・ H−2 ・ H−3
耐震ドアセット，耐震サッシ ・ 適用する ※ 適用しない
適用する場合の面内変形追随性の等級 ・ D−1 ・ D−2

③網戸 使用方法による区分 (※)外面納まりの可動式 ・内部納まりの開き式 (16.2.3)
防虫網(線径0.25mm 16-18ﾒｯｼｭ) ※合成樹脂 ・ｶﾞﾗｽ繊維入り合成樹脂 ・ｽﾃﾝﾚｽ(SUS 316)

4. 鋼製建具
簡易気密型ドアセット ※ 使用する ・ 使用しない (16.3.2)(16.3.4)(16.3.6)(表16.3.2)
外部に面する建具の耐風圧性 ※ S−4 ・ S−5
建具寸法が共仕16.3.4(a)を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ

区分		使用箇所	厚さ (mm)
窓	枠類	枠，方立，無目	表16．3．2に同じ
出入口	枠類	一般部分	2．3
	戸	中骨	2．3
上記以外			表16．3．2に同じ

標準型鋼製建具 ※ 使用する ・ 使用しない

5. 鋼製軽量建具
簡易気密型ドアセット ※ 使用する ・ 使用しない (16.4.2〜4)(表16.4.1)
戸の鋼板 ※ 表面処理亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板
標準型鋼製軽量建具 ※ 使用する ・ 使用しない
標準型鋼製軽量建具の小窓枠，がらり ※ 鋼製 ・ アルミ製

6. ステンレス製建具 表面処理 ・ HL (16.5.2〜5)
鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ

⑦木製建具 (16.6.2)
かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 桟，鏡板は杉無節程度
ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度 ・
ふすまの種類 ※ 戸ふすま ・ 在来型 ・ チップ型

⑧建具用金物 マスターキーの作成 ・ 要 (・) 不要 (16.7.4)

9. 自動ドア開閉装置 (16.8.3)(表16.8.3)
センサーの種類 ・ 光線式（反射）スイッチ ・ マットスイッチ式 ・ タッチスイッチ ・
凍結防止装置 ・ 要 ※ 不要
全半開装置 ※ 設ける（半開幅＝ ） ・ 設けない

10. 重量シャッター (16.10.2)
種類 ※ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター
開閉機能による種別 ※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式
耐風圧性能（JIS A4705による強さの区分） ・ 50 ・ 80 ・ 120
シャッターケース（防火、防煙以外の場合） ・ 設ける ・ 設けない

11. 軽量シャッター (16.11.2)
開閉機能による種別 ・ 上部電動式（手動併用） ※ 手動式
耐風圧性能（JIS A4705による強さの区分） ・ 50 ・ 65 ・ 80
スラットの形状 ※ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形
シャッターケース ・ 設ける ・ 設けない

12. オーバーヘッドドア (16.12.2)(16.12.3)

材質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※ スチールタイプ	※ バランス式	※ スタンダード形	・ 50	※ 溶融亜鉛メッキ鋼板
・ アルミニウムタイプ	・ チェーン式	・ ローヘッド形	・ 75	・ ステンレス鋼板
・ ファイバーグラスタイプ	・ 電動式	・ ハイリフト形	・ 100	
		・ バーチカル形	・ 125	

⑬ガラス (16.13.2)(16.13.3)
外部のサッシュに使用するガラスは、所定の耐風圧性能を有すること。
熱線反射ガラスの映像調整 ・ 行う ・ 行わない
ガラスの止め材 ※ シーリング (・) ガスケット(可動アルミ建具に限る)
防火戸のガラスの留め材は建築基準法の防火性能の認定を受けたシーリング材とする。

14. ガラスブロック（中空）
JISによる区分 (16.13.5)

表面形状による区分	モジュール呼び寸法による区分（長さ×高さ）		厚さによる区分
正方形	・ 160×160	・ 200×200	・ 80
	・ 320×320		・ 95
長方形	・ 250×125	・ 320×160	・ 125

品質等

ガラスの種別	柄	目地色	金属枠	耐火性能
・ 一般ガラス ・ 乳白カラス ・ カラーガラス ・ 熱線反射ガラス	・ 無 ・ 有	・ 白 ・ グレー	・ アルミニウム製（表面処理 ） ・ ステンレス製（表面仕上 ）	・ 規定しない ・ 有 （ 分間）

17 カーテンウォール工事

1. カーテンウォールの性能 (17.1.3)(17.2.2)(17.3.2)

カーテンウォール種別	メタルカーテンウォール	PCカーテンウォール
材種		
耐風圧性		
耐震性		
水密性		
気密性		
耐火性		
耐温度差性		
遮音性		
断熱性		
材質等性能の確認方法		
シーリング材		
構造ガスケット		
ガラス		
断熱材料		
枠見込み		
表面仕上げ		

18 塗装工事

①一般事項 屋内の壁及び天井の塗装の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定のあるものとする。(18.1.3)

19 内装工事

①ビニル床シート ※図示による
JIS A5705による (19.2.2)(19.2.3)

種類の記号	色柄	厚さ (mm)	熱溶接工法
NC	※ 無地 ・ マーブル	※ 2.0 ・ 2.5	※ ビニル床シート部すべて ・ 右記の室（ ）

2. 化粧ビニル床シート ※図示による
JIS A5705を満たす材料で，表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの

種類の記号	色柄	厚さ (mm)	熱溶接工法
NC又はNF	※ 木目調 ・ 石目調	2.0	※ 化粧ビニル床シート部すべて ・ 右記の室（ ）

上記以外はすべてビニル床シートに同じ

3. ビニル床タイル (19.2.2)

種類		色柄	厚さ (mm)
※ コンポジションビニル床タイル	※ 半硬質 ・ 軟質	−	2.0
・ ホモジニアスビニル床タイル	−	サンド調	

4. 特殊機能床材 (19.2.2)

床材	品質	厚さ (mm)	寸法 (mm)	工法
帯電防止ビニル床タイル	JIS A5705によるHT程度	4〜5	500×500	置き敷き

5. 視覚障害者用床タイル (19.2.2)

材質		寸法 (mm)
・ 塩化ビニル系	・ せっ器質タイル系	300×300

⑥ビニル幅木 (19.2.2)
材種 ※ 軟質 ・ 硬質 ・ 溶接
高さ (mm) ・ 60 ※ 75 ・ 100
厚さ (mm) ※ 2.0 ・

7. カーペット敷き
・ タフテッドカーペット (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

施工箇所	パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	品質
			※ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	

品質は参考商品名である

・ タイルカーペット (19.3.3)(19.3.4)(表19.3.2)

施工箇所	種類	パイル形状	工法	総厚さ	帯電性
	第1種	ループパイル	タイルカーペット全面接着工法	6.5	製造所の仕様による

8. フローリング張り (19.5.2〜〜7)(表19.5.3〜4)

	類別	材種	工法	塗装
単層	・ フローリングボード ・ フローリングブロック ・ モザイクパーケット	・なら ・さくら ・ひのき	・ モルタル埋込み工法 ※ 釘留工法 （種別 ・A種 ・B種 ※C種） ・ 接着工法	※ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ 既塗装品
複合	※ 複合1種フローリング ・ 複合2種フローリング ・ 複合3種フローリング	・なら ・さくら ・ひのき	※ 釘留工法 （種別 ・A種 ・B種 ※C種） ・ 接着工法	※ ウレタン樹脂ワニス塗り ・ 生地のままワックス塗り ・ 既塗装品

9. 畳敷き 畳の種別 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 (19.6.2)(表19.6.1)

⑩石こうボード，その他ボード及び合板張り ※図示による (19.7.2)(19.7.3)(表19.7.1)

種類又は記号	種別など		厚さ (mm)	規格番号
けい酸カルシウム板（繊維強化セメント板）0.8FK又は1.0FK		壁	・ 8 (不燃) ・ 10 (不燃) ・ 12 (不燃)	JIS A 5430（タイプ2）
		天井	(・) 6 (不燃) ・ 12 (不燃)	
グラスウール吸音ボード（吸音材料）GW−B	ガラスクロス(JIS A 3414 EP18程度)額縁張り品		25 (不燃)	JIS A 6301 (32K)
ロックウール化粧吸音板（吸音材料）DR	※ 内部用 ・ 軒天用	普通	※ 9 (不燃) ・ 12 (不燃)	JIS A 6301
		立体模様	・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 19 (不燃)	
せっこうボード（せっこうボード製品）GB−R		壁	・ 9.5 (準不燃) (※) 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃)	
シージングせっこうボード（せっこうボード製品）GB−S		壁	(※) 12.5 (不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃)	
化粧せっこうボード（せっこうボード製品）GB−NC	トラバーチン模様（色 ※ 白 ・ 黄）		9.5 (不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード（せっこうボード製品）GB−D	木目模様	壁	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃)	JIS A 6901
	木目模様（裏桟付き）	天井	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃)	
	トラバーチン模様	天井	・ 9.5 (準不燃) ※ 12.5 (不燃)	

せっこうボードの目地処理 (・) 継目処理工法 ・ 突き付けV目地工法 ・ 突き付け工法 ・ 目透し工法

11. 遮音シール材 ・ アクリル系シーリング材 ※ ジョイントコンパウンド (19.7.2)

⑫壁紙張り ※図示による (19.8.2)

施工箇所	品質	防火性能の級別
		・ 1級 ・ 2級
		・ 1級 ・ 2級
		・ 1級 ・ 2級
		・ 1級 ・ 2級

品質は参考商品名である。

⑬断熱材 ※図示による (19.9.2)(19.9.3)

			厚さ(mm)	
※ ポリスチレンフォーム（発泡プラスチック保温材）	押出法 2種b	下記以外	※ 25	JIS A 9511の規格品
	押出法 3種b（スキン層付き）	接地部分及び屋根防水部分ピット内部	・	
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	現場発泡断熱材(特定フロンによるものを除く)		※ 20	JIS A 9526による 難燃性 ・2級 ※3級
・	・		・	

※ 施工範囲は建築工事標準詳細図7−01による

⑯点検口

施工箇所	材種	寸法	形式
天井	※ アルミニウム製 ・	(※) 450×450 ・ 600×600	※ 目地タイプ ・ 額縁タイプ
床	※ アルミニウム製 ・	・ 450×450 ※ 600×600	※ 一般形貼物用 ・ 一般形充填用

17. くつふきマット

材種	受わく
※ 塩化ビニール製又は塩化ゴム製 ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ ステンレス製（SUS 304）	※ ステンレス製（SUS 304） ・ 硬質アルミニウム合金製

⑱ステンレス流し台 ※ BL商品（システム ※ A−1型 ・ ）トラップ付
(・)図示による

19. コンロ台 ※ BL商品（システム ※ A−1型 ・ ）バックガード（※ 有 ・無）
・

20. つり戸棚 ※ BL商品（システム ※ A−1型 ・ ）
・図示による

21. 水切棚 ※ 1段 ・ 2段

22. 旗竿受金物 ※ ステンレス製（SUS 304）既製品 彫り込みタイプ既製品

23. 旗竿
形式 ※ テーパー式 ・ 同一断面式 H＝ m
材種 ※ アルミニウム合金 ・
操作方式 ※ ハンドル式 ・ ロープ式

24. 屋内掲示板 ※ 既製品 アルミニウム製枠 表面発泡シート張り

25. 視覚障害者用誘導ブロック 屋外 ・ コンクリート製 ・ 磁器質タイル（※100角 ・150角）

26. 出隅面取材
材種 ※ アルミニウム合金製 ・
高さ ※ 天井まで ・ 1.8m程度

27. かぎ箱 市販品 フック数（本） ・ 30 ・ 40 ・ 60 ・ 100 ・

28. 身障者用可動手すり

29. 消火器ボックス 鋼製 既製品

30. ピクチャーレール アルミ製 既製品

20 ユニット及びその他工事

1. フリーアクセスフロア (20.2.2)
施工箇所 （ ）
耐荷重 ・ 300N ・ 500N
構法 ・ パネル構法（支柱分離式） ・ 溝構法
高さ H＝
適用地震時水平力 ※ 0.6G ・ 1.0G
床仕上材 ・ タイルカーペット ・ 帯電防止タイル（・ 置き敷き ・ 圧着）
ボーダー部 ※ 一般部分の仕様に準ずる ・ 図示による
床表面仕上げ材の品質は内装工事による。
配線取出し用切り欠きパネルは1枚／㎡以上とする。

2. 可動間仕切（パーテーション） (20.2.3)
構造形式による種類 スタッド式密閉形
構成材の種類 アルミニウム合金系又はスチール系
パネル表面材 焼付塗装鋼板（標準色） t＝0.5以上
遮音性 36dB以上
防火性能 不燃

3. 移動間仕切（スライディングドア） (20.2.4)
パネルの操作方法による種類 規定しない
パネル表面材の材質及び仕上げ 製造所仕様の化粧鋼板（標準色） t＝0.5以上
パネル圧接装置の操作方法 ハンドル回転式又はワンタッチ上下式
遮音性 36dB以上
防火性能 不燃
取り付け用あと施工アンカー 材質，寸法等は図示又は製造所の仕様による

4. トイレブース (20.2.5)
表面材 メラミン化粧板（標準色）
幅木 ステンレス製 H＝60
フレーム アルミ製
扉 厚40中心吊りアール形アルミ製エッジ，帽子掛け戸当たり付き

5. 階段滑り止め（ノンスリップ） (20.2.6)
材種 ステンレス（SUS304）ビニールタイヤ入り（幅約35mm）
取り付け方法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法

6. 床目地棒 (20.2.7)
ステンレスFB（SUS304） 5〜6×12
（床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。）

7. 黒板及びﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ 形式 ・ 平面 ・ 曲面 (20.2.8)

8. 鏡 耐湿鏡 t＝5 ステンレスフレーム付き (20.2.9)

⑨表示 (20.2.10)
衝突防止表示 ステンレス製 HL仕上げ Φ30程度 市販品
(○)誘導標識 市販品
(○)室名札

10. 煙突ライニング材 煙突用成形ライニング材 安全使用温度 400℃ (20.2.11)

11. ブラインド (20.2.12)

形式	※ 横型ブラインド		・ 縦型ブラインド
スラット	※ アルミニウム合金		※ クロススラット
開閉方式	※ ギヤー式	・ コード式	※ 2本操作コード方式
スラットの成形 (mm)	※ 25	・	・ 80 ・ 100

12. ロールスクリーン (20.2.13)
操作方式 ・ ワンタッチ式 ※ チェーン式
スクリーンの生地 無地で製造所仕様の標準タイプ

13. カーテン (20.2.14)(表20.2.1)

名称・品質など	ひだの種類	形式	引分け装置
	※箱ひだ、つまひだ ・	・片引き ・引分け	※手引 ・ひも引 ・電動
	※箱ひだ、つまひだ ・	・片引き ・引分け	※手引 ・ひも引 ・電動

14. カーテンレール (20.2.14)
材質 ※ ステンレス製 ・ アルミニウム製
形状 ※ D型又は角型 ・ C型

15. アルミニウム製カーテンボックス 表面処理 ※ A−1種又はB−1種 ・ A−2種又はB−2種

21 排水工事

①グレーチング ※ 鋼製 (・) ステンレス製 (21.2.2)

2. 鋳鉄製マンホールふた 簡易密閉式とし，表面には用途別の標準文字付きとする。(21.2.2)

22 舗装工事

①再生材 ※ 使用する ・ 使用しない (22.1.3)

2. 盛土材料 路床の盛土材料 （ ）種 (22.2.3)(表3.2.1)

3. 遮断層及び凍上抑制層用材料 (22.2.3)
遮断層 ※ 川砂・海砂又は良質な山砂
凍上抑制層 ※ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利又は切込砕石

4. 路床安定処理 路床安定処理添加材料 ※ 普通ボルトランドセメント ・ 生石灰特号 (22.2.3)(表22.2.2)

5. 路床土の支持力比（CBR）試験 ※ 行わない ・ 行う（※ 乱した土 ・ 乱さない土） (22.2.5)

6. 路床締固め度の試験 ※ 行わない ・ 行う (22.2.5)

7. 砂の粒度試験 ※ 行わない ・ 行う (22.2.5)

⑧路盤材料 (22.3.3)
※ 再生クラッシャラン RC−40（透水性舗装の場合を除く）
・ クラッシャラン C−40
・ クラッシャランスラグ CS−40

9. 路盤の締固め度の試験 ※ 行わない ・ 行う (22.3.5)

10. アスファルト舗装 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)(表22.4.6)

表層	※ 再生密粒度アスファルト混合物（13） ・ 密粒度アスファルト混合物（13） ・ 細粒度アスファルト混合物（13） ・
基層	※ 再生粗粒度アスファルト混合物（20） ・ 粗粒度アスファルト混合物（20） ・

11. コンクリート舗装 (22.5.3)
早強セメント ・ 使用する ※ 使用しない
溶接金網 ※ あり ・ なし
コンクリート版の厚さの試験 ・ 行う ※ 行わない

12. ブロック系舗装 (22.8.2)(表22.8.1)
・ コンクリート平板舗装 ※ 砂目地 ・ モルタル目地
・ インターロッキングブロック舗装
・ 舗石 基層 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装

⑬縁石及び側溝 ※図示による (22.9.2)

14. 砂利敷き ・ A種 ※ B種 (22.10.2)

15. 区画線 ※ JISK5665 3種1号白

23 植栽工事

1. 植栽地の試験 (23.1.3)
透水性及び土壌硬度の確認 ※ 行う ・ 行わない
塩分量及び土壌の酸度の試験 ・ 行う ※ 行わない

2. 植栽基盤 ・ 適用する ※ 適用しない (23.2.2)(表23.2.2)

種別	樹種等	植栽基盤の適用
・ A種	樹木	・ 適用する ※ 適用しない
・ B種	芝，地被類木	※ 適用する ・ 適用しない
・ C種		
・ D種		

3. 植込み用土 ※ 現場発生の良質土 ・ 客土 (23.2.3)

4. 土壌改良材 ※ 適用する ・ 適用しない (23.2.3)
土壌改良材は，植栽を行う植込等の面積1㎡当たりバーク堆肥で50リットル，発酵下水汚泥コンポストで10リットルとする。

5. 芝 種別 ※ こうらい芝の類 ・ 野芝の類 (23.4.2)

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp
一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912
設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date H 23 ・ 3 ・
Scale

Title: H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title: 建築本体工事 特記仕様書 2

Sheet No. D-02 / D-21
整理番号 11005

2011/5/16

各工事の区分表

工事項目	建築	電気	機械			外構		備考
構造躯体の貫通スリーブ及び箱入れ	○	○	○					各工事に必要なｽﾘｰﾌﾞは各々の工事とする（予備は建築工事）
同上貫通の開口補強	○							
同上スリーブ及び箱入れの穴埋め補修	○	○	○					
工場製作間仕切及び同左の天井,床,各種設備器具の穴開け,取付枠及び補強								
天井付各種設備器具の穴開け,取付枠及び補強･補修	※	○	○					※下地補強のみ建築
設備関係諸室のシンダーコンクリート	○							
屋上、屋外及び屋内設置機器及び水槽類の基礎								
同上　仕上（防水）								
同上　用架台及びアンカーボルト箱入れ,埋込み		○	○					
自動ドア・防火扉（シャッター含む）	○	※						※煙感からの信号、１次配線
台所用ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞﾌｧﾝ及び浴室天井扇及び取付調整			○					ﾕﾆｯﾄバス除く
同上ダクト接続			○					
同上電源用配管,配線及び接続		○						
ユニットバス(ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ含む以下同じ)墨出し及び据付工事								
浴槽及び据付								
ユニットバス内シャワー水栓及び取付								
同上廻りシーリング打ち								
同上への配線及び配管接続								
キッチンキャビネット及び据付工事	○							
同上への配管接続			○					
吊戸棚，水切棚及び取付（バックガード共）	○							
同上への照明用電源配線及び接続		○						
洗面台及び据付			○					
洗面台カウンター表面板仕上げ（製作物のみ）			○					
同上配管接続			○					
同上への照明用及びヒーター用電源配線及び接続		○						
洗濯パン								
設備機器用スリーブ,給気用スリーブ及び取付			○					
ダクト用ベントキャップ及び取付			○					
床、壁、天井点検口（下地補強共）	○							設備盤用扉は各設備工事
換気扇及び取付枠への取付,配線		※	○					※配線は電気
換気扇取付枠及び躯体への取付			○					
床暖房工事								
非常用照明及び誘導灯		○						
消火器								
同上表示及び収納箱								
各種配管,ダクトの雨掛り躯体貫通部のｼｰﾘﾝｸﾞ打ち		○	○					
エレベーター各階出入口躯体穴開け・吊りフック								
エレベーター出入口三方枠・扉上部幕板								
三方枠廻りのノロ詰め								
エレベーター機械室床,穴開け復旧工事								
資材搬入口の仮設並びに復旧工事								
機器類取付後の出入口廻り(壁･床･枠等)仕上工事								
竪樋・ドレン・受け樋	○							
竪樋から第一桝までの接続	○							
同上第一桝以降の排水設備（桝・側溝等）						○		
マンホール、ハンドホール等の化粧蓋及びタラップ	※1	○	○					※1タラップは建築工事（躯体に設置する場合）
ＴＶアンテナ、アンカーボルト取付工事		○						
屋上点検口、各種タラップ工事	○	※	※					※図面特記により電気、衛生又は空調
ゴミ集積所工事（屋外）								
自転車置場（屋外）								
同上照明器具及び接続								
プロパンボンベ庫								※ガス供給業者とする
同上配管工事								※ガス供給業者とする
便所の目皿・手摺り			○					便器一体の手摺り除く
便所のペーパーホルダー			○					
手洗い乾燥機								
浄化槽・受水槽・オイルタンク躯体	※		○					※特殊基礎は建築工事
屋外駐車場,歩道工事						○		
雨水排水側溝設置工事						○		
同上排水管接続						○		

工事項目								備考

	工事項目	建築	電気	機械			外構			別途	備考
1	・仮設用の上下水道・ガス・電気等の加入金，	○	○	○			○				
2	・仮設用の上下水道・ガス・電気等に要する費	○	○	○			○				
3	１，２以外の工事及び調整等に要する上下水電気等に要する費用	○	○	○			○				
4	上下水道・ガス・電気等の加入金，負担金									○	

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録　(上伊)D第39211号
管理建築士　堀口　隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836　Fax 0265 - 79 - 8912

設計担当者
一級建築士　第229022号　堀口　隆

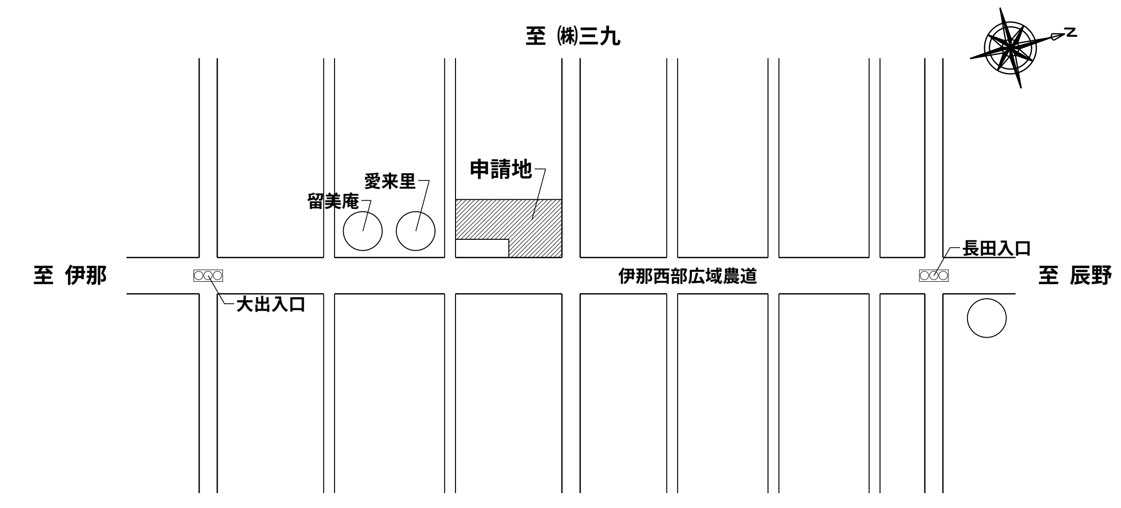
Date H 23 ・ 3 ・
Scale

Title
H23年度 農村活性化支援事業
受入機能強化施設 建設工事

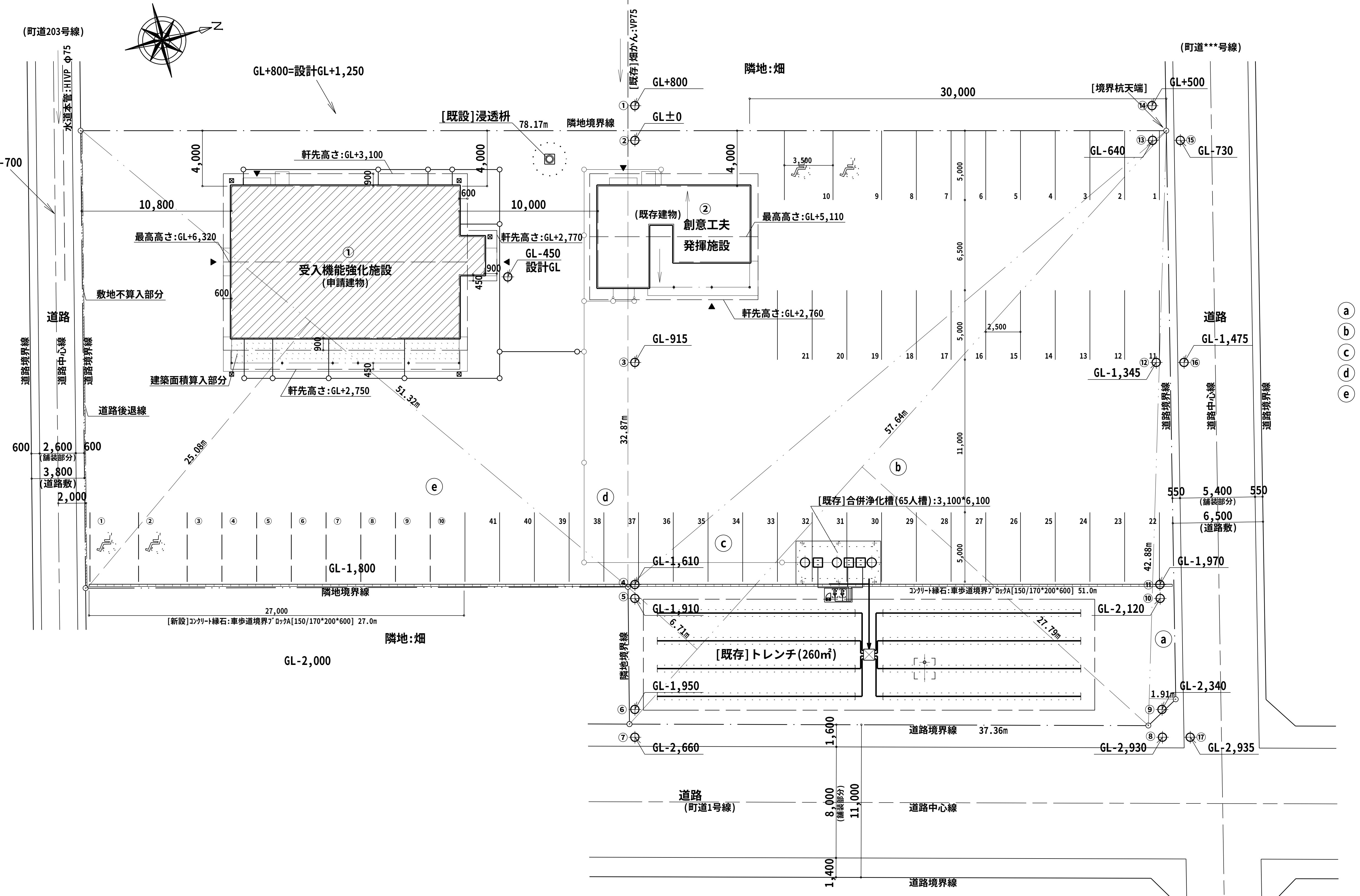
Drawing Title
工事区分表

Sheet No. D-03 / D-21
整理番号 11005

2011/5/16



案内図



a	42.88	*	1.91	* 1/2	=	40.9504
b	57.64	*	27.79	* 1/2	=	800.9078
c	57.64	*	6.71	* 1/2	=	193.3822
d	78.17	*	32.87	* 1/2	=	1,284.7239
e	51.32	*	25.08	* 1/2	=	643.5528
				合計		2,963.5171

申請地:箕輪町大字中箕輪3730-246,3730-247,3730-248,3730-275,3730-276

配置図 SCALE 1/300

① 現況地盤高を示す

用途地域:無指定(基準:200/60)--本敷地:200/70　防火指定:無し

敷地面積	2,963.51 m²			
敷地内建物　面積表				
	建築面積		延べ面積	
	申請部分	既存部分	申請部分	既存部分
① 申請建物	213.64 m²	—	183.83 m²	—
② 既存建物	—	79.49 m²	—	79.49 m²
合　計	213.64 m²	79.49 m²	183.83 m²	79.49 m²
	敷地内建築面積	293.13 m²	敷地内延べ面積	263.32 m²
	建ぺい率	9.90 %	容積率	8.89 %

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp
一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912
設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date H 23 ・ 3 ・

Scale 1/300

Title H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title 配置図 案内図 面積表

Sheet No. D-04 / D-21

整理番号 11005

2011/5/16

外部仕上表

屋　根	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板立平葺きt=0.4(5/10勾配,玄関屋根3/10勾配) ﾗﾜﾝ合板(T-1)t=12　下地　ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940 唐草,ｼﾞｮｲﾝﾄｶﾊﾞｰ 他:屋根と同材　　雪止金具:専用金物(ｶﾗｰ塗装鋼板)　２段(玄関屋根　１段)	外　壁	窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞt=16　横張り(金具留め工法) ── 上部--ﾆﾁﾊ:ﾓｴﾝｴｸｾﾗｰﾄﾞ16Vｼﾘｰｽﾞ　しぶきV　同等 / 腰 --ﾆﾁﾊ:ﾓｴﾝｴｸｾﾗｰﾄﾞ16Vｼﾘｰｽﾞ　ﾅﾁｭﾗﾙﾗｲﾝV　同等 出隅ｺｰﾅｰ:外壁同質材　　水切:ｱﾙﾐ通気土台水切　　ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板製通気見切縁 下地:木製縦胴縁 18*40 @455(外壁通気層工法) + 透質防水ｼｰﾄ	断 熱 材	★天井裏断熱材:ｸﾞﾗｽｳｰﾙ10K　t=100(防湿ﾌｨﾙﾑ付) ★外壁断熱材(間柱間):ｸﾞﾗｽｳｰﾙ10K　t=100(防湿ﾌｨﾙﾑ付) ★土間下断熱材:ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材　t=25 ★建具廻り(四方):
棟	棟:(換気棟)ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板製[S型換気棟　同等]　L=1820　5ヶ所　　(一般)ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　t=0.4加工 雨押え:ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　t=0.4 加工	根 廻 り	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修	その他	ｼｯｸﾊｳｽ対策換気設備:24時間換気扇、給気口(第３種換気) 靴洗い・外流し:詳細図参照 外構工事:外構図参照 庇(アルミ既製品)　D=600,W=1,920:ひさしHK型[三協立山ｱﾙﾐ　同等]
破　風	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板　t=0.4加工 木下地(２段):24*150	ポ ー チ	天井:けい酸ｶﾙｼｳﾑ板(半数程度　有孔板)ﾒｽｶｼ　t=6　AEP塗装 床　:ｺﾝｸﾘｰﾄ打　同時金ごて押さえ		
樋	軒樋:硬質塩ﾋﾞ製[ｼﾙﾋﾞｽｹｱPC77　同等]　　受け金具:@910 竪樋:ｶﾗｰﾋﾞﾆﾙﾊﾟｲﾌﾟ φ75　　受け金具:@1,820	犬 走 り	ｺﾝｸﾘｰﾄ打　同時金ごて押さえ		
軒　裏	けい酸ｶﾙｼｳﾑ板(半数程度　有孔板)ﾒｽｶｼ　t=6　AEP塗装 木製天井下地組	建　具	ｶﾗｰｱﾙﾐｻｯｼ(住宅用、半外付　　一部:ｼｬｯﾀｰ付　一部:可動ﾙｰﾊﾞｰ付)　ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ　網戸付		
下屋屋根	屋根:折板[ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板](丸ﾊｾﾞ)　t=0.5　66ﾊｾﾞ　裏貼材付　　[軒先ﾌｪﾚｰﾑ,ﾀｲﾄﾌﾚｰﾑ] 軒樋:硬質塩ﾋﾞ製[角]W120[ｴｱﾛｱｲｱﾝ折板120I型　同等]　　竪樋:ｶﾗｰﾋﾞﾆﾙﾊﾟｲﾌﾟ φ75	柱・梁(木製)	ｷｼﾗﾃﾞｺｰﾙ[同等品]　塗り 柱脚金物:SUS製装飾金物		

内部仕上表

階	室　名	床 下地	床	床 レベル	巾　木	巾木 高さ	壁 下地	壁	廻り縁	天井 下地	天　井	天井高	備　考
	前処理室　[wet仕様]	Cこて	床:防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄＮＣ　t=2.0　　[TAJIMA:クリナ　同等] 床:防塵塗料塗り	FL± 0 FL−75	床材立上+ｴｯｼﾞｼｰﾙ (ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ下地)	H=250 H=325	W+D1	壁:化粧ｹｲｶﾙ板　t=6　ﾒｽｶｼ張り(目地ｼｰﾘﾝｸﾞ)　　下地:防水石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5 (下端:塩ﾋﾞ見切　取付)	塩ﾋﾞ製	LGS	ｹｲｶﾙ板　t=6(目地Ｖｶｯﾄ+ﾊﾟﾃ処理)　ＥＰ塗り	2,400	給気口[24h換気用]　捕虫器 SUS(304)框　天井点検口(450□):1ヶ所　室名札
	漬物充てん包装室　[wet仕様]	Cこて	床:防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄＮＣ　t=2.0	FL± 0	床材立上+ｴｯｼﾞｼｰﾙ (ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ下地)	H=250	W+D1	壁:化粧ｹｲｶﾙ板　t=6　ﾒｽｶｼ張り(目地ｼｰﾘﾝｸﾞ)　　下地:防水石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5 (下端:塩ﾋﾞ見切　取付)	塩ﾋﾞ製	LGS	ｹｲｶﾙ板　t=6(目地Ｖｶｯﾄ+ﾊﾟﾃ処理)　ＥＰ塗り	2,400	給気口[24h換気用] 室名札
	漬物倉庫	Cこて	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(抗菌)ＮＣ　t=2.0	FL± 0	軟質ﾋﾞﾆﾙ巾木	H= 75	W+D1	壁:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5	塩ﾋﾞ製	LGS	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5	2,400	換気扇[24h換気用] 室名札
	倉庫	Cこて	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(抗菌)ＮＣ　t=2.0	FL± 0	軟質ﾋﾞﾆﾙ巾木	H= 75	W+D1	壁:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5	塩ﾋﾞ製	LGS	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5	2,400	換気扇[24h換気用] 室名札
	漬物仕込室　[wet仕様]	Cこて	床:防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄＮＣ　t=2.0	FL± 0	床材立上+ｴｯｼﾞｼｰﾙ (ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ下地)	H=250	W+D1	壁:化粧ｹｲｶﾙ板　t=6　ﾒｽｶｼ張り(目地ｼｰﾘﾝｸﾞ)　　下地:防水石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5 (下端:塩ﾋﾞ見切　取付)	塩ﾋﾞ製	LGS	ｹｲｶﾙ板　t=6(目地Ｖｶｯﾄ+ﾊﾟﾃ処理)　ＥＰ塗り	2,400	換気扇[24h換気用] 天井点検口(450□):1ヶ所　室名札
	惣菜室　[wet仕様]	Cこて	床:防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄＮＣ　t=2.0	FL± 0	床材立上+ｴｯｼﾞｼｰﾙ (ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ下地)	H=250	W+D1	壁:化粧ｹｲｶﾙ板　t=6　ﾒｽｶｼ張り(目地ｼｰﾘﾝｸﾞ)　　下地:防水石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5 (下端:塩ﾋﾞ見切　取付)　　一部(ﾌｰﾄﾞ設置部分):SUS(430)　t=0.6 張り	塩ﾋﾞ製	LGS	ｹｲｶﾙ板　t=6(目地Ｖｶｯﾄ+ﾊﾟﾃ処理)　ＥＰ塗り	2,700	給気口[24h換気用] 天井点検口(450□):1ヶ所　室名札　SUSﾌｰﾄﾞ[設備工事]
	製品冷蔵ストック室	Cこて	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(抗菌)ＮＣ　t=2.0	FL± 0	軟質ﾋﾞﾆﾙ巾木	H= 75	W+D1	壁:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5	塩ﾋﾞ製	LGS	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5	2,400	換気扇[24h換気用] 天井点検口(450□):1ヶ所　室名札
	検査室	Cこて	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(抗菌)ＮＣ　t=2.0	FL± 0	軟質ﾋﾞﾆﾙ巾木	H= 75	W+D1	壁:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5	塩ﾋﾞ製	LGS	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5	2,400	換気扇[24h換気用] 室名札
	ジャム製造室	Cこて	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(抗菌)ＮＣ　t=2.0	FL± 0	軟質ﾋﾞﾆﾙ巾木	H= 75	W+D1	壁:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5 一部(ﾌｰﾄﾞ設置部分):SUS(430)　t=0.6 張り	塩ﾋﾞ製	LGS	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5	2,700	給気口[24h換気用] 天井点検口(450□):1ヶ所　室名札　SUSﾌｰﾄﾞ[設備工事]
	パン製造室	Cこて	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(抗菌)ＮＣ　t=2.0	FL± 0	軟質ﾋﾞﾆﾙ巾木	H= 75	W+D1	壁:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5 一部(ﾌｰﾄﾞ設置部分):SUS(430)　t=0.6 張り	塩ﾋﾞ製	LGS	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5	2,700	給気口[24h換気用] 天井点検口(450□):1ヶ所　室名札　SUSﾌｰﾄﾞ[設備工事]
	玄関	Cこて	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(抗菌)ＮＣ　t=2.0 床:防塵塗料塗り	FL± 0 FL−75	軟質ﾋﾞﾆﾙ巾木 床材立上	H= 75 H= 75	W+D1	壁:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5	塩ﾋﾞ製	LGS	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5	2,400	給気口[24h換気用] SUS框
	廊下１	Cこて	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(抗菌)ＮＣ　t=2.0	FL± 0	軟質ﾋﾞﾆﾙ巾木	H= 75	W+D1	壁:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5	塩ﾋﾞ製	LGS	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5	2,700	洗面,手洗器+ｶｳﾝﾀｰ　捕虫器　誘導標識 天井点検口(450□):1ヶ所
	廊下２	Cこて	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(抗菌)ＮＣ　t=2.0 床:防塵塗料塗り	FL± 0 FL−75	軟質ﾋﾞﾆﾙ巾木 床材立上	H= 75 H= 75	W+D1	壁:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5	塩ﾋﾞ製	LGS	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5	2,700	捕虫器　誘導標識 天井点検口(450□):2ヶ所　SUS(304)框
	更衣室	Cこて	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(抗菌)ＮＣ　t=2.0	FL± 0	軟質ﾋﾞﾆﾙ巾木	H= 75	W+D1	壁:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5	塩ﾋﾞ製	LGS	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5	2,400	給気口[24h換気用] 室名札
	トイレ	Cこて	ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(抗菌)ＮＣ　t=2.0	FL± 0	軟質ﾋﾞﾆﾙ巾木	H= 75	W+D1	壁:ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=12.5	塩ﾋﾞ製	LGS	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5	2,400	換気扇[24h換気用] 室名札　衛生設備機器　ﾗｲﾆﾝｸﾞ
								※注意事項 ①内部建具上木枠　上部:ｼｰﾘﾝｸﾞ(防カビ性)施工----ほこり溜り防止					

- 合板類、仕上材、建具、ユニット家具類は、すべてF☆☆☆☆を使用することとして、現場施工前に監督員の承認を受けること。
- シックハウス対策による、換気扇及び給気口を設置すること(図示による)
- ｼｰﾘﾝｸﾞ　　変成ｼﾘｺﾝ系ｼｰﾘﾝｸﾞ
- 防湿　　土間下:ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ　t=0.15
- 防腐、防蟻措置　　GL+1,000以内の外壁軸組、外壁木系下地　[環境対策品を使用のこと]
- D1:内部壁下地横胴縁(18*40) @455
- 鋼製建具枠----MDF　t=20[W=119程度]　ｱﾝｸﾞﾙしゃくり付　ﾉﾝｹｰｼﾝｸﾞﾀｲﾌﾟ
- MDF材　　見えがかり部:樹脂化粧ｼｰﾄ貼り　とする

下 地　凡 例

- RC　鉄筋コンクリート
- CB　コンクリートブロック
- ALC　軽量気泡コンクリート版
- K　鋼製床組
- LGS　軽量鉄骨
- W　木組
- Cこて　コンクリート金ごて押さえ
- Mこて　モルタル金ごて押さえ
- M　モルタル塗り
- PB　石膏ﾎﾞｰﾄﾞ

塗 装 記 号

- SOP　合成樹脂調合ペイント塗り
- AIP　アルミニウムペイント塗り
- FE　フタル酸樹脂エナメル塗り
- LE　ラッカーエナメル塗り
- VP(VE)　塩化ビニル樹脂エナメル塗り
- AE　アクリル樹脂エナメル塗り
- CE　塩化ゴム系エナメル塗り
- AC　アクリル樹脂ワニス塗り
- ②-UC　2液形ポリウレタンワニス塗り
- EP(AEP)　合成樹脂エマルションペイント塗り (AEP は 外部用)
- G-EP　艶有り合成樹脂エマルションペイント塗り
- T-EP　合成樹脂エマルション模様塗料塗り
- OC　スーパーワニス塗り
- FC　フタル酸樹脂ワニス塗り
- ①-UC　1液形油変性ポリウレタンワニス塗り
- CL　クリヤラッカー塗り
- OS　ステイン塗り
- OP　油性調合ペイント塗り

- 木材保護塗装(外部):
- 木材保護塗装(内部):
- AEP塗装　:

防火材料 認定番号リスト　不燃:ＮＭ　準不燃:ＱＭ　難燃:ＲＭ

・繊維強化セメント板(t=3以上)		ＮＭ−８５７６
・化粧繊維強化セメント板(t=3以上)		ＮＭ−８５７７
・繊維混入けい酸カルシウム板(t=5〜100)		ＮＭ−８５７８
・石膏ボード(t= 9.5)	【JIS:GB-R】	ＱＭ−９８２８
⊙石膏ボード(t=12.5)	【JIS:GB-R】	ＮＭ−８６１９
・不燃積層石膏ボード及び[化粧ボード](t=9.5)	【JIS:GB-NC】	ＮＭ−８６１３
⊙化粧石膏ボード(t=9.5)	【JIS:GB-D】	ＱＭ−９８２４
・不燃化粧石膏ボード(t=12.5)	【JIS:GB-D】	ＮＭ−０１２７
⊙シージング石膏ボード(t=9.5,12.5)　[防水]	【JIS:GB-S】	ＱＭ−９８２６
・不燃シージング石膏ボード(t=12.5)　[防水]		ＮＭ−９６３９
・強化石膏ボード(t=12.5,15,21)	【JIS:GB-F】	ＮＭ−８６１５
・吸音用あなあき石膏ボード(t=9.5,12.5)	【JIS:GB-P】	ＱＭ−９８２７
・化粧石膏吸音ボード(t=9.5)	【JIS:GB-P】	ＱＭ−９８２２
・特殊石膏吸音ボード(t=9.5)	【JIS:GB-P】	ＱＭ−９８２５
・ロックウール化粧吸音板(t=9以上)	【JIS:DR】	ＮＭ−８５９９
⊙化粧ケイカル板		ＮＭ−２１８３

- 内装複層模様吹付　不燃下地:NM-8573　準不燃下地:QM-9813　難燃下地:RM-9362
- ⊙塗装(共通仕様書指定工程)　基材同等　第0001号
- ビニルクロス(防火1-1)　不燃下地:NM-9899　準不燃下地:QM-9512　金属下地:QM-9512
- ⊙ビニルクロス(防火2-2)　不燃下地:QM-9401　準不燃下地:QM-9401　金属下地:RM-9220

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録　(上伊)D第39211号
管理建築士　堀口　隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836　Fax 0265 - 79 - 8912

設計担当者　一級建築士　第229022号　堀口　隆

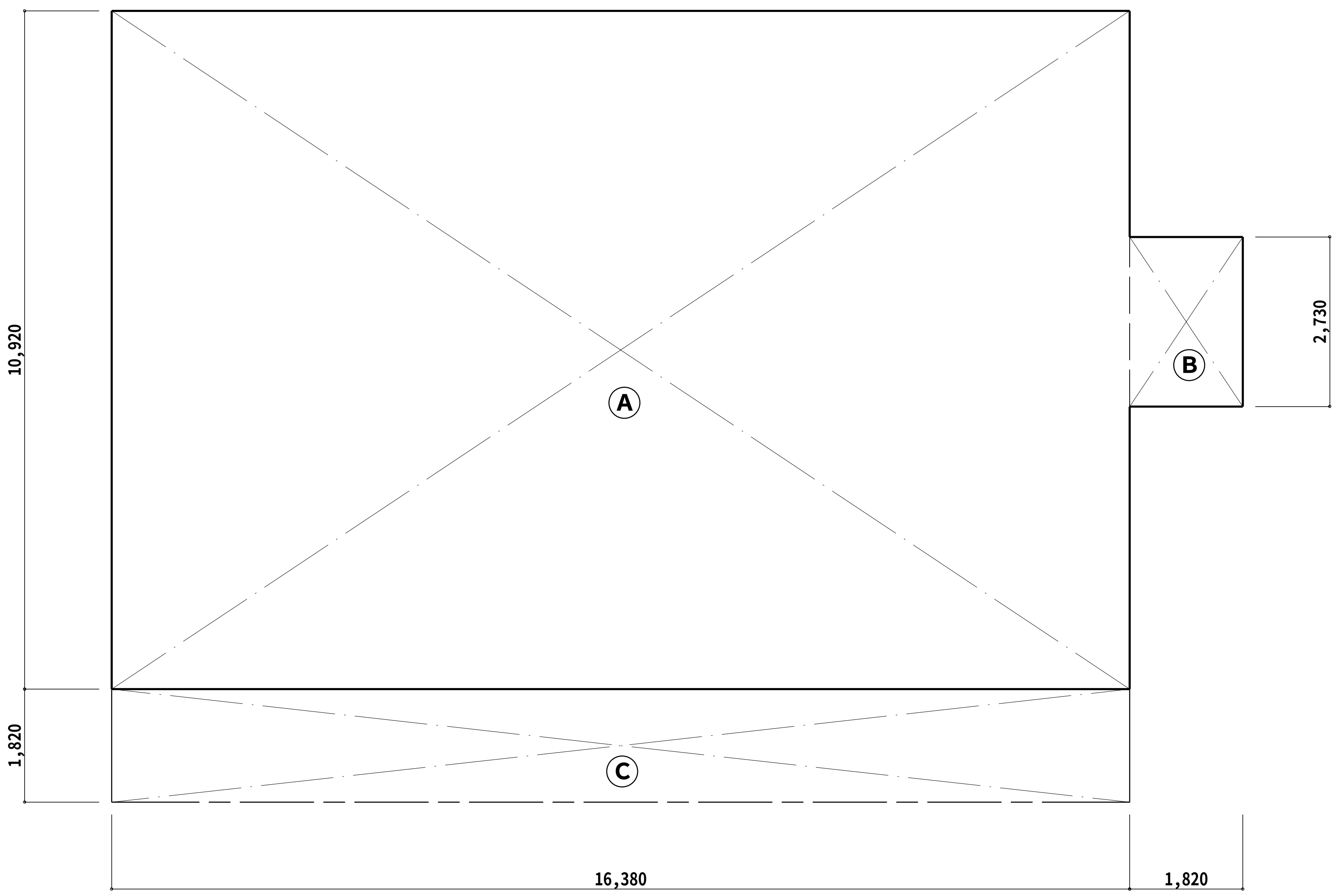
Date　H 23 ・ 3 ・
Scale

Title　H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title　仕上表

Sheet No.　D-05 / D-21
整理番号　11005

2011/5/16



面積算定図 SCALE 1/100

建築面積

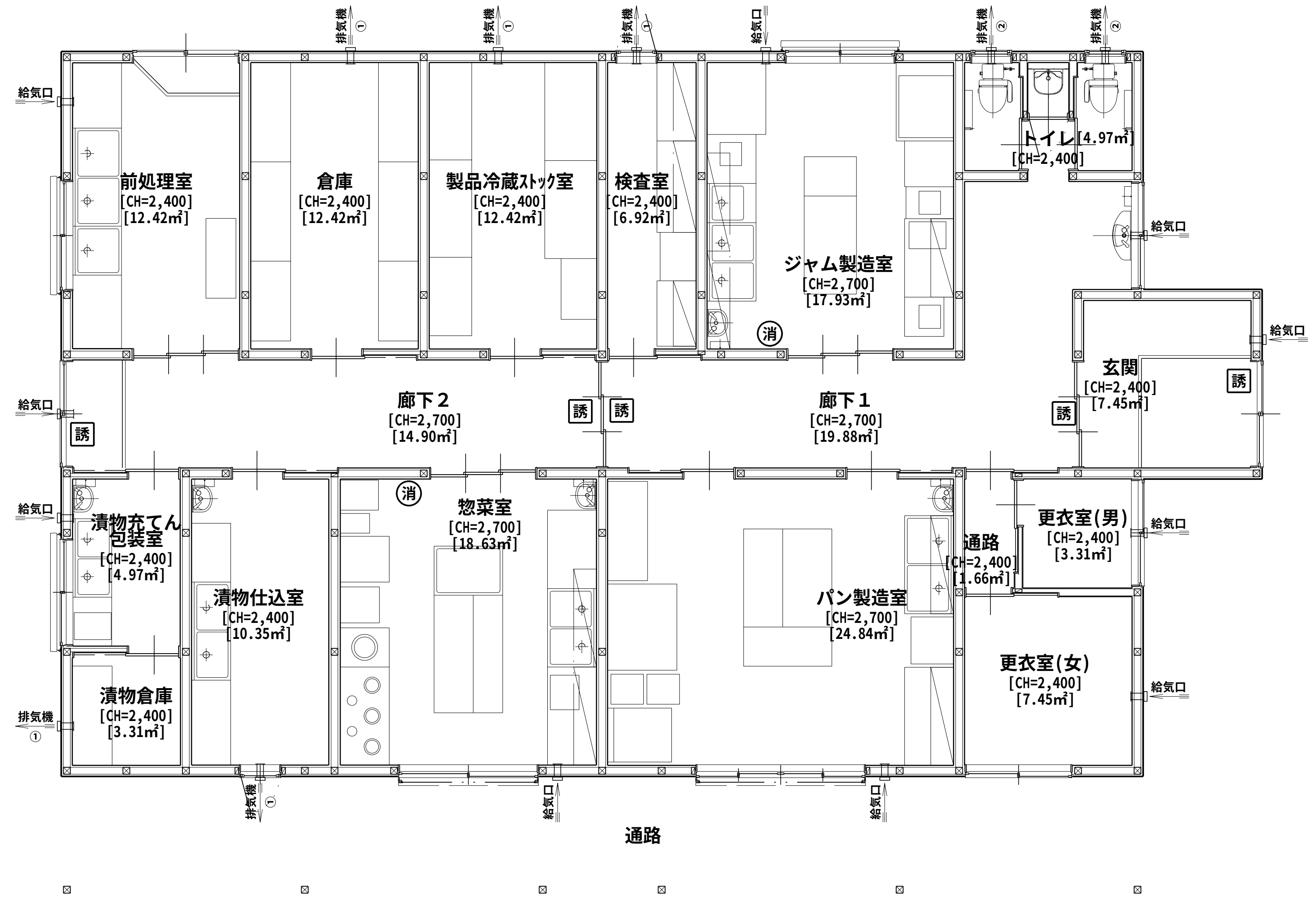
A:16.38 * 10.92 = 178.8696
B: 1.82 * 2.73 = 4.9686
C:16.38 * 1.82 = 29.8116
合計 213.6498

床面積

A:16.38 * 10.92 = 178.8696
B: 1.82 * 2.73 = 4.9686
合計 183.8382

シックハウス対策換気設備　最低必要排気量

室名	床面積 ㎡	平均天井高 h	気積 ㎥	換気種別	換気回数 n	最低必要排気量 m3/h
前処理室	12.42	2.40	29.81			
充てん包装室	4.97	2.40	11.93			
漬物倉庫	3.31	2.40	7.95	給気口及び		
倉庫	12.42	2.40	29.81	排気機		
漬物仕込室	10.35	2.40	24.84			
惣菜室	18.63	2.70	50.31			
ストック室	12.42	2.40	29.81			
検査室	6.92	2.40	16.61			
ジャム製造室	17.93	2.70	48.42			
パン製造室	24.84	2.70	67.07			
玄関	7.45	2.48	18.48			
廊下１	19.88	2.70	53.68			
廊下２	14.90	2.70	40.23			
更衣室	12.42	2.40	29.81			
トイレ	4.97	2.40	11.93			
			-			
			-			
			-			
合計	183.83		470.69		0.30	141.21



㊧消 消火器(粉末10型)[表示ﾌﾟﾚｰﾄ共]----別途

誘 誘導標識

シックハウス対策換気設備[機械設備工事]　凡例

排気機①	(排気)ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ:V-08PHLD6[三菱]--有効換気量:40m3/h {深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網付)φ100用:P-13VAQ3[三菱]}	5
排気機②	(排気)ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ:V-08PALD6[三菱]--有効換気量:40m3/h {深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網付)φ100用:P-13VAQ3[三菱]}	2
給気口	(給気)自然給気ﾕﾆｯﾄ[三菱]:P-13KQU3 {深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網付)φ100用:P-13VSSQ3-AF[三菱]}	10

※品番はすべて同等品とする

シックハウス対策関係　凡例

排気機 ｼｯｸﾊｳｽ対策 24時間換気扇

給気口 ｼｯｸﾊｳｽ対策 自然給気口

法規チェック

前処理室	採光:12.42*1/20=0.621㎡以上必要 AW2:{(1.6*0.9)*[3]}*1+AW6a:{(1.65*0.9)*[3]}*1=8.775--OK
	換気:12.42*1/20=0.621㎡以上必要 AW2:(0.78*2.0)*1+AW6a:(0.8*0.9)*1=2.28--OK
	排煙:12.42*1/50=0.249㎡以上必要 AW2:(0.78*0.325)*1+AW6a:(0.8*0.36)*1=0.541--OK
漬物充てん包装室	採光: 4.97*1/20=0.249㎡以上必要 AW6b:{(1.6*0.9)*[3]}*1=4.32--OK
	換気: 4.97*1/20=0.249㎡以上必要 AW6b:(0.78*0.9)*1=0.702--OK
	排煙: 4.97*1/50=0.100㎡以上必要 AW6b:(0.78*0.36)*1=0.280--OK
漬物仕込室	採光:10.35*1/20=0.518㎡以上必要 AW8:{(0.6*0.9)*[3]}*1=1.62--OK
	換気:10.35*1/20=0.518㎡以上必要 AW8:(0.6*0.9)*1=0.54--OK
	排煙:10.35*1/50=0.207㎡以上必要 AW8:(0.6*0.36)*1=0.216--OK
惣菜室	採光:18.63*1/20=0.932㎡以上必要 AW4:{(2.105*1.3)*[3]}*1=8.209--OK
	換気:18.63*1/20=0.932㎡以上必要 AW3:(1.02*1.3)*1=1.326--OK
	排煙:18.63*1/50=0.373㎡以上必要 AW3:(1.02*0.46)*1=0.469--OK
検査室	採光: 6.92*1/20=0.346㎡以上必要 AW8:{(0.6*0.9)*[3]}*1=1.62--OK
	換気: 6.92*1/20=0.346㎡以上必要 AW8:(0.6*0.9)*1=0.54--OK
	排煙: 6.92*1/50=0.138㎡以上必要 AW8:(0.6*0.36)*1=0.216--OK
ジャム製造室	採光:17.93*1/7=0.897㎡以上必要 AW5:{(1.65*1.3)*[3]}*1=6.435--OK
	換気:17.93*1/20=0.897㎡以上必要 AW5:(0.8*1.3)*1=1.04--OK
	排煙:17.93*1/50=0.359㎡以上必要 AW5:(0.8*0.46)*1=0.368--OK
パン製造室	採光:24.84*1/7=1.242㎡以上必要 AW3:{(2.56*1.3)*[3]}*1=9.984--OK
	換気:24.84*1/20=1.242㎡以上必要 AW3:(1.25*1.3)*1=1.625--OK
	排煙:24.84*1/50=0.497㎡以上必要 AW5:(1.25*0.46)*1=0.575--OK

消防法 無窓階チェック

183.83*1/30=6.128㎡以上必要

AW1:(0.78*2.0) 2ヶ所　AW2:(0.78*2.0) 1ヶ所 ----OK

AW1:(1.6*2.0)*2+AW2:(1.6*2.0)*1+AW5:(1.65*1.3)*1=11.745----OK

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912

設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date H 23 ・ 3 ・

Scale 1/100

Title H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title 面積算定図　法規チェック図

Sheet No. D-06 / D-21

整理番号 11005

2011/5/16

凡　例

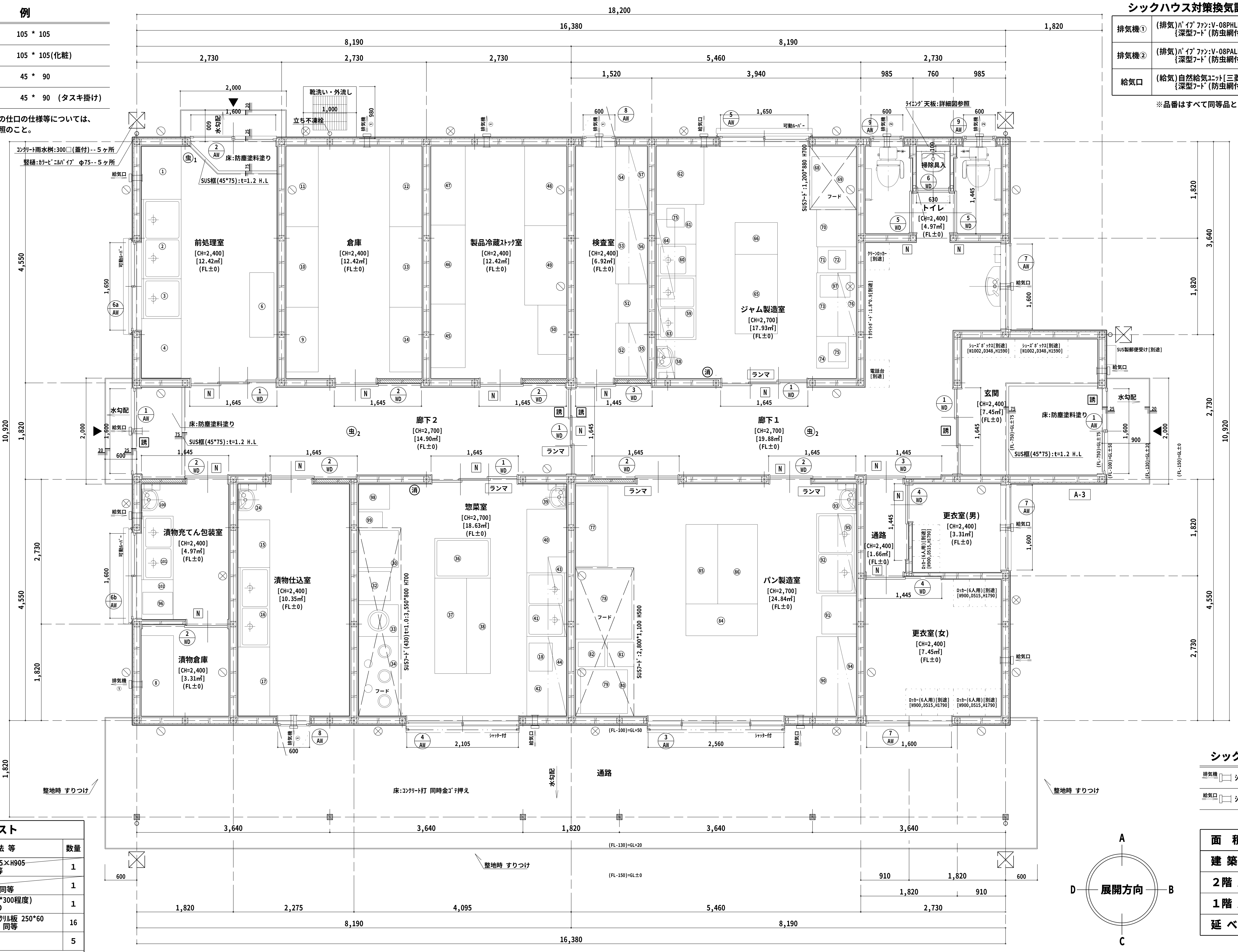
管　柱	105 * 105	
管　柱	105 * 105(化粧)	
筋　違	45 * 90	
筋　違	45 * 90 (タスキ掛け)	

※片筋かいの取付方向、柱の仕口の仕様等については、
壁量算定図、柱伏図を参照のこと。

シックハウス対策換気設備[機械設備工事]　凡例

排気機①	(排気)ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ:V-08PHLD6[三菱]--有効換気量:40m3/h {深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網付)φ100用:P-13VAQ3[三菱]}	5
排気機②	(排気)ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ:V-08PALD6[三菱]--有効換気量:40m3/h {深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網付)φ100用:P-13VAQ3[三菱]}	2
給気口	(給気)自然給気ﾕﾆｯﾄ[三菱]:P-13KQU3 {深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網付)φ100用:P-13VSSQ3-AF[三菱]}	10

※品番はすべて同等品とする



シックハウス対策関係　凡例

排気機	ｼｯｸﾊｳｽ対策 24時間換気扇
給気口	ｼｯｸﾊｳｽ対策 自然給気口

雑工事　リスト

記号	仕様・寸法 等	数量
A-1	ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ[ﾎｰﾛｰ]W1,805×H905 [KOKUYO]BB-H936W 同等	1
A-2	SUS製郵便受け [杉田ｴｰｽ]DMKﾎﾟｽﾄ2型 同等	1
A-3	事業名等表示看板(400*300程度) ｱｸﾘﾙ板 ｶｯﾃｨﾝｸﾞｼｰﾄ貼り	1
N	室名表示板(平付型):ｱｸﾘﾙ板 250*60 [杉田ｴｰｽ]ｱｸﾘﾙ室名ｻｲﾝ 同等	16
誘	誘導標識	5
虫	捕虫器 1:MP-600[同等]1ヶ所 2:MP-7000[同等]2ヶ所	

面　積　表	[※1.00坪＝3.3058㎡]
建築面積	213.64 ㎡ (64.62 坪)
2階 床面積	――
1階 床面積	183.83 ㎡ (55.60 坪)
延べ面積	183.83 ㎡

展開方向 A B C D

※取外し可能な壁構造とする部分(機器搬入、入替時)

※業務機器設置部分(壁際に限る)の床:一般FL+50とする(詳細は床伏図参照)。

消　消火器(粉末10型)[表示ﾌﾟﾚｰﾄ共]--別途 (2ヶ所)

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp
一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912
設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆

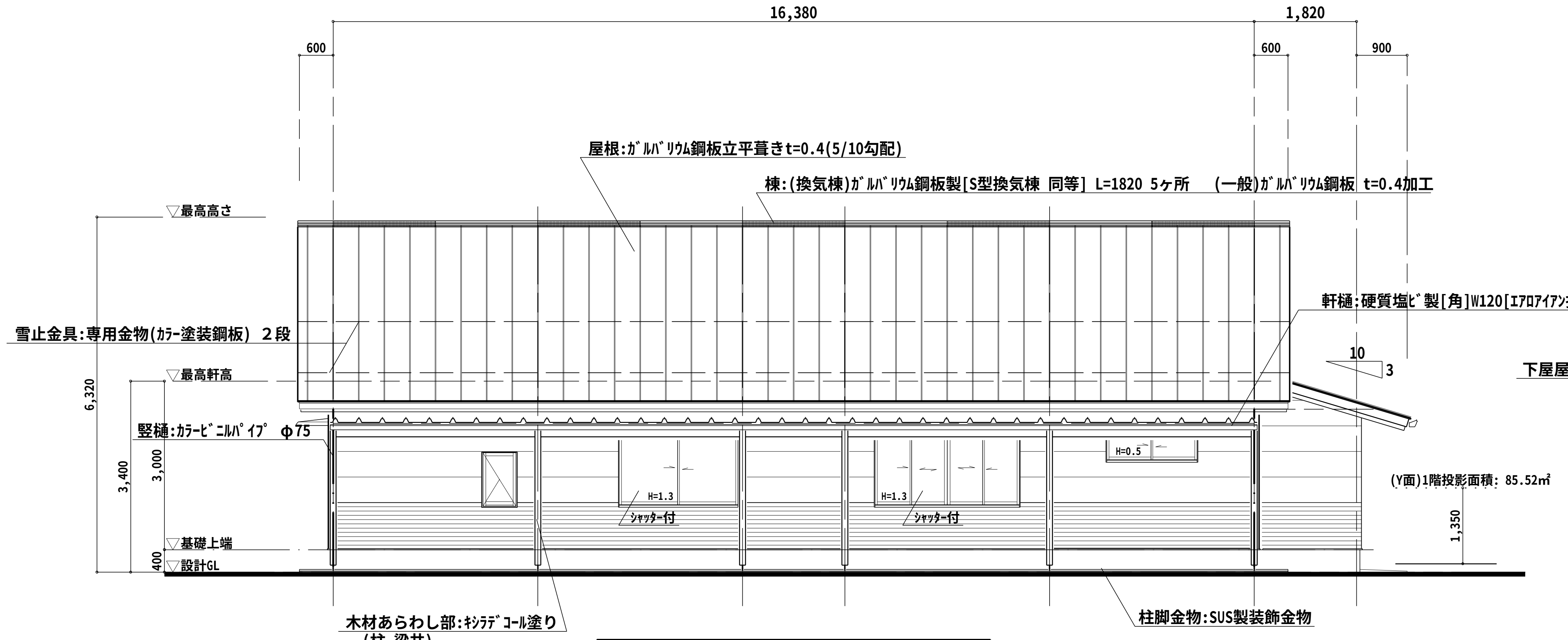
Date H 23 ・ 3 ・
Scale 1/50

Title: H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title: 平面詳細図

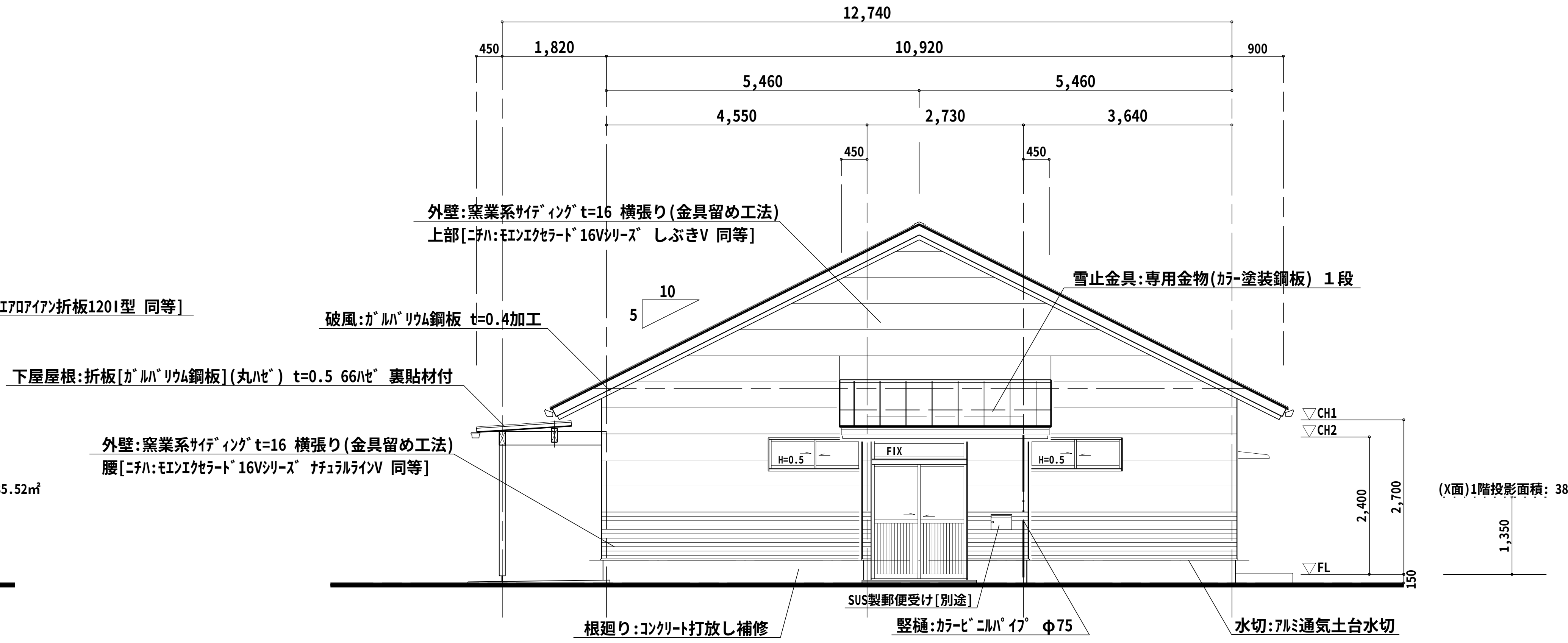
Sheet No. D-07 / D-21
整理番号 11005

2011/5/16

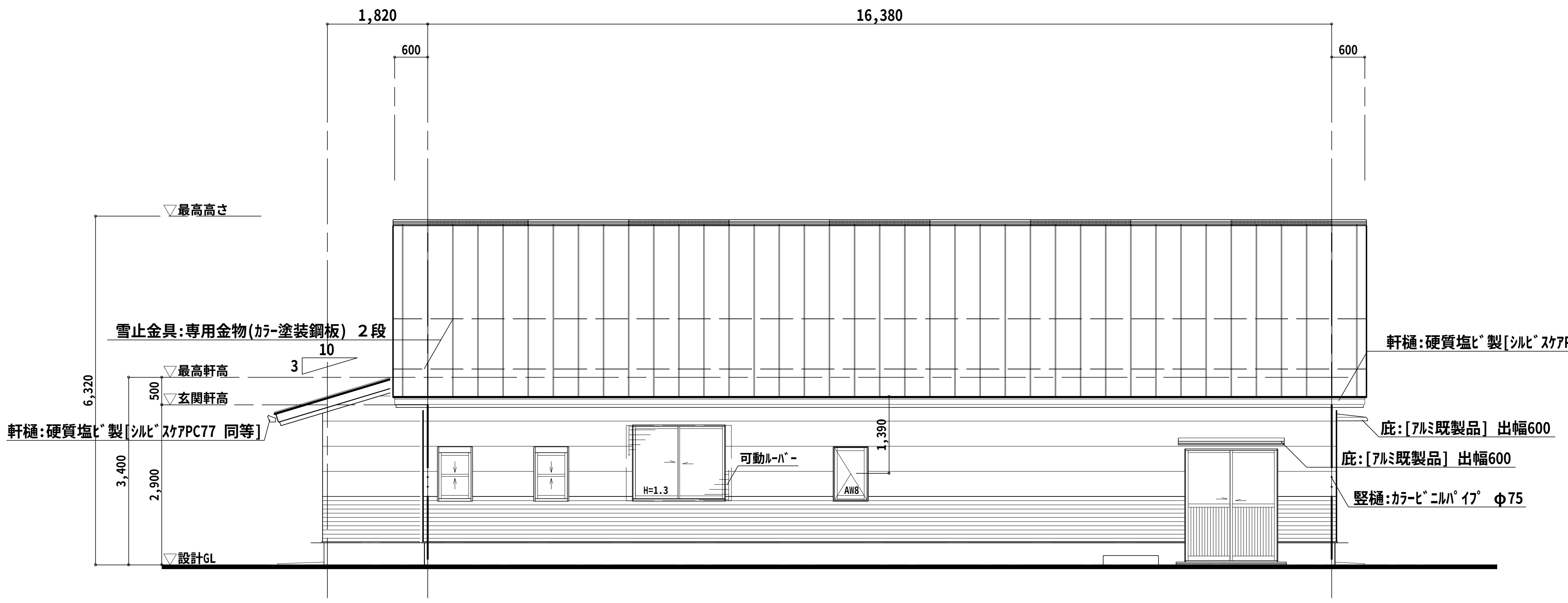


東側 立面図 SCALE 1/100

採光補正係数:敷地の状況から明らかに≧3----3

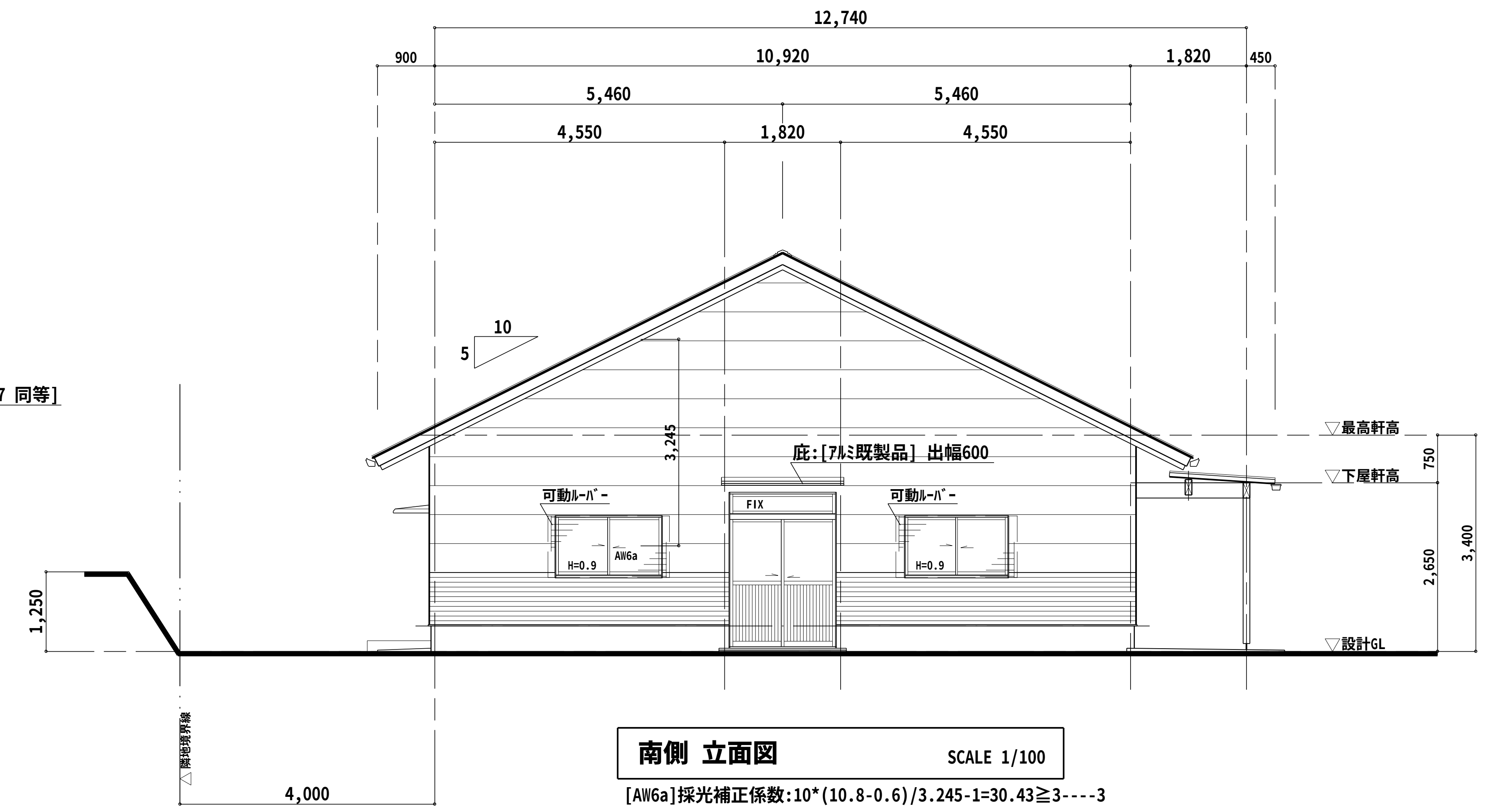


北側 立面図 SCALE 1/100



東側 立面図 SCALE 1/100

[AW8]採光補正係数:10*(4.0-0.9)/1.39-1=21.30≧3----3



南側 立面図 SCALE 1/100

[AW6a]採光補正係数:10*(10.8-0.6)/3.245-1=30.43≧3----3

無指定地域:10d/h-1 d:水平距離 h:垂直距離 d/h:採光補正係数

※採光補正係数算定については、一番不利な部分の算定とする
(道路等の場合の緩和は考慮していない)

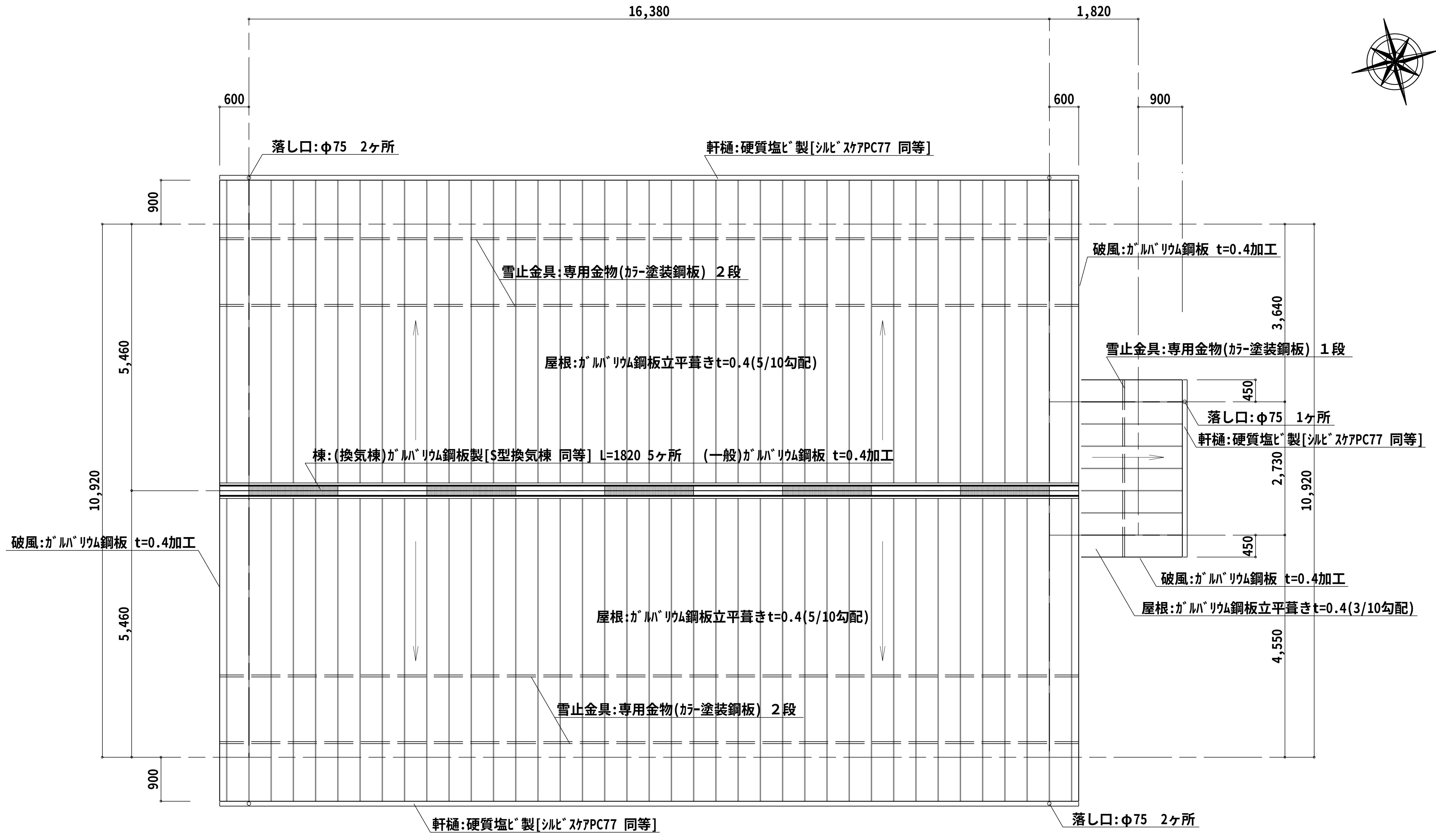
Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912

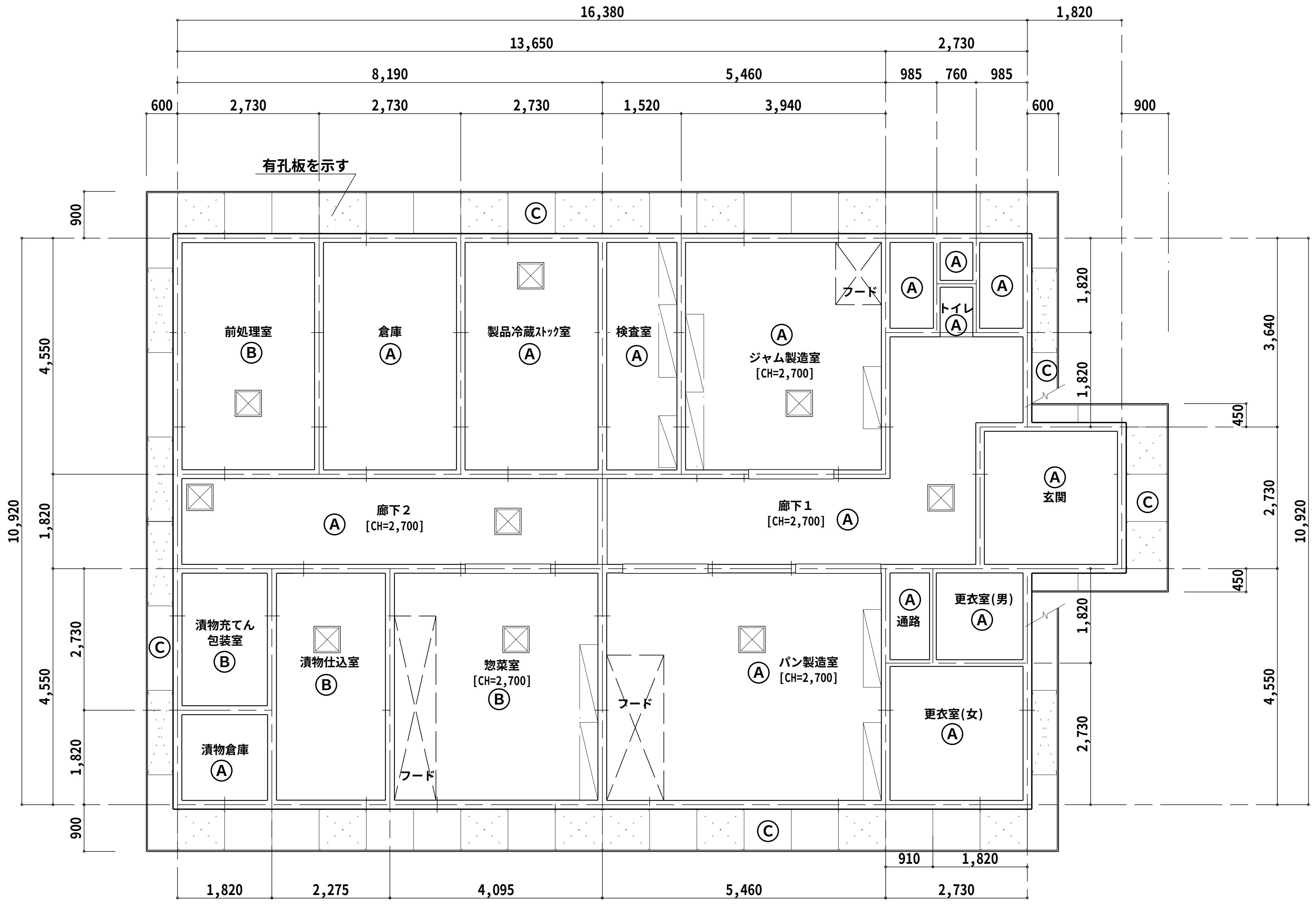
設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date	Title	Drawing Title	Sheet No.
H 23 ・ 3 ・	H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事	立面図	D-08 / D-21
Scale 1/100			整理番号 11005

2011/5/16

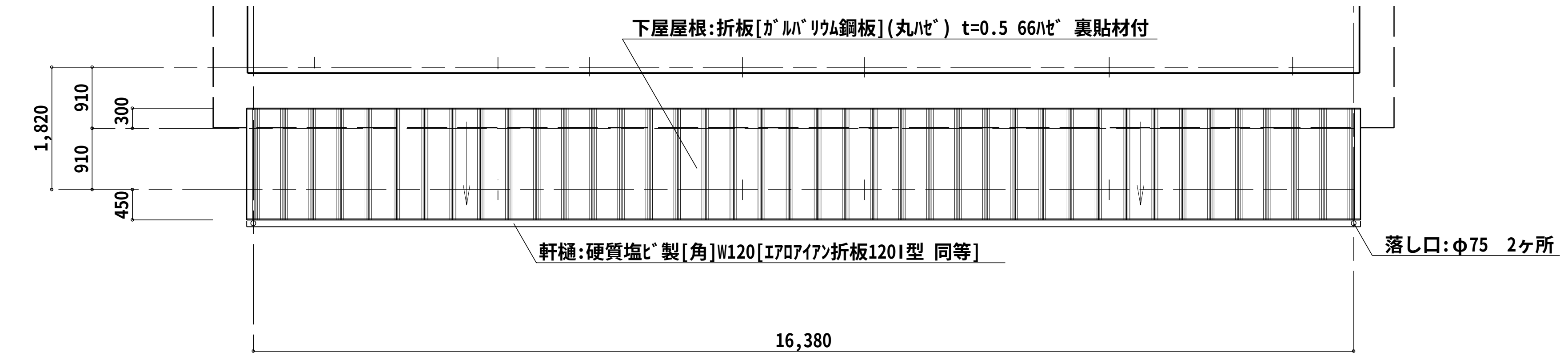


屋根伏図　SCALE 1/100

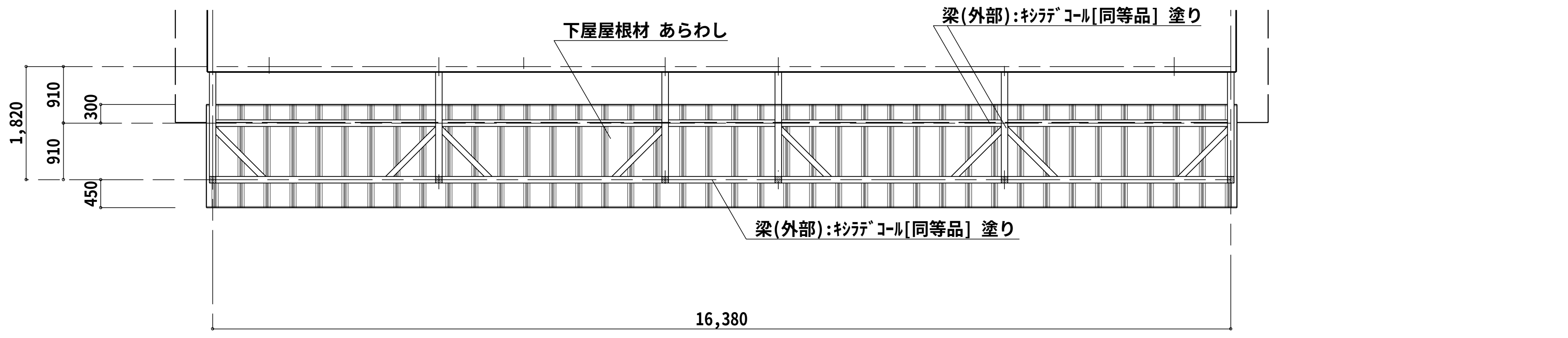


天井伏図　SCALE 1/100

※天井高さ特記なき部分は CH=2,400



下屋部分 屋根伏図　SCALE 1/100



下屋部分 天井伏図　SCALE 1/100

記号	仕　　上
Ⓐ	ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(防火2-2)[普及品]　下地:石膏ﾎﾞｰﾄﾞt=9.5
Ⓑ	ｹｲｶﾙ板 t=6(目地Ｖｶｯﾄ+ﾊﾟﾃ処理)　ＥＰ塗り
Ⓒ	[外部]けい酸ｶﾙｼｳﾑ板(半数 有孔板)ﾒｽｶｼ t=6　AEP塗装
⊠	天井点検口(ｱﾙﾐ枠) 450□　※設置位置:現場指示

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp
一級建築士事務所登録　(上伊)D第39211号
管理建築士　堀口　隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836　Fax 0265 - 79 - 8912
設計担当者
一級建築士　第229022号　堀口　隆

Date H 23 ・ 3 ・

Scale 1/100

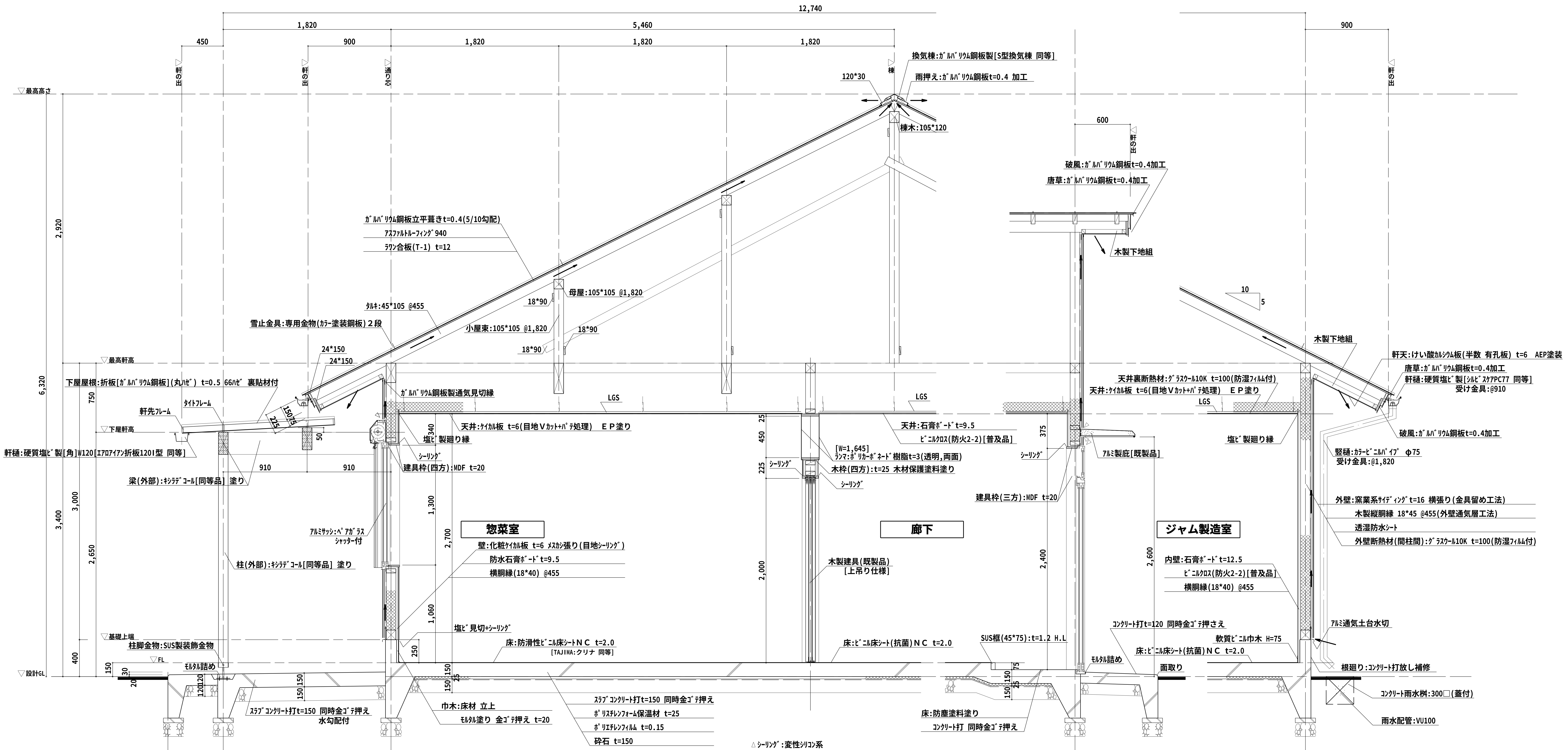
Title H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title 屋根伏図　天井伏図

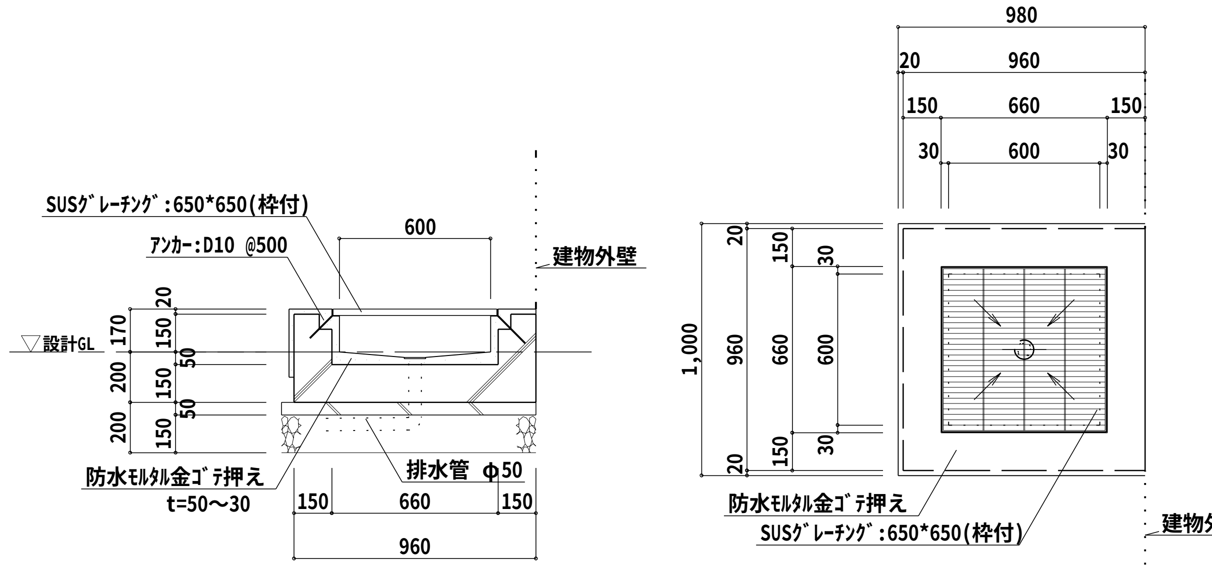
Sheet No. D-09 / D-21

整理番号 11005

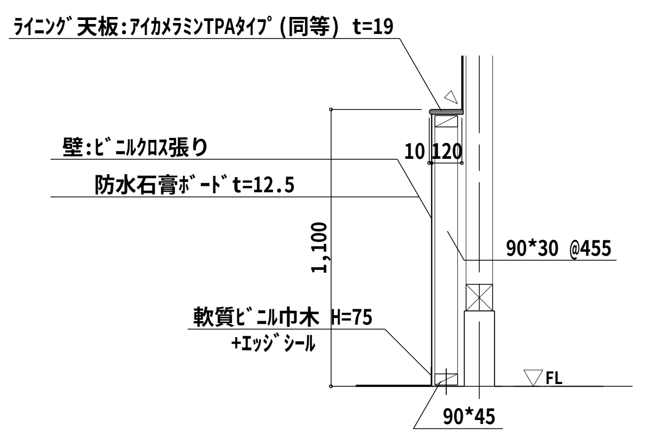
2011/5/16



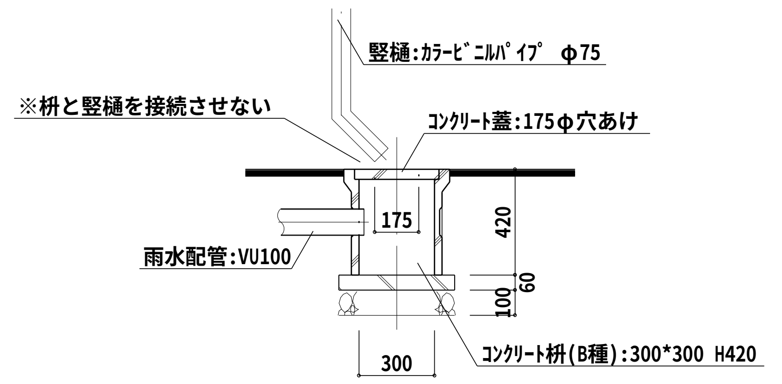
矩計詳細図 SCALE 1/30



靴洗い場 詳細図 SCALE 1/30



ﾗｲﾆﾝｸﾞ部 詳細図 SCALE 1/30



雨水枡 詳細図 SCALE 1/30

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp
一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912
設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date: H 23 ・ 3 ・
Scale: 1/30

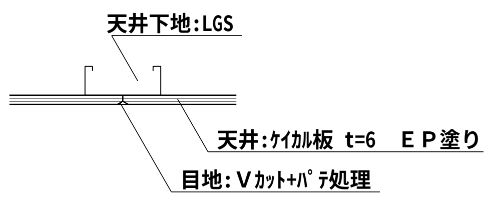
Title: H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title: 矩計詳細図 1

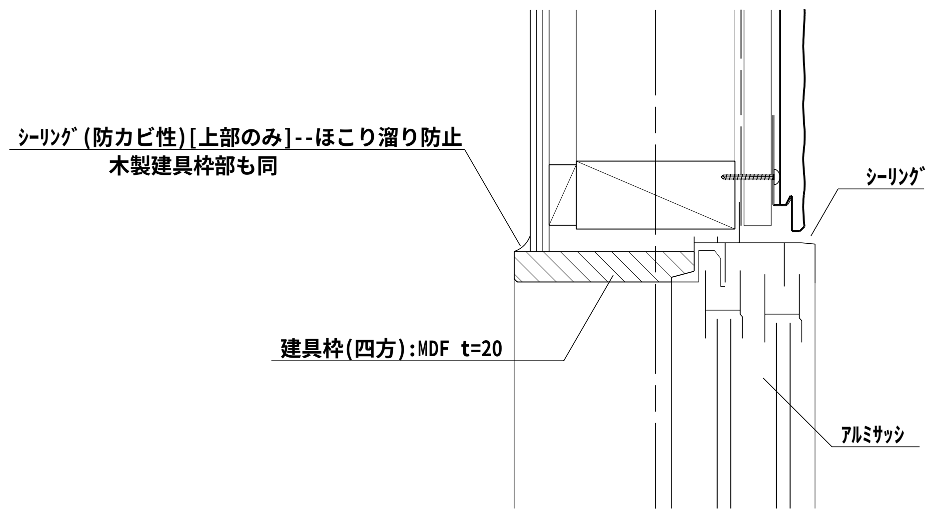
Sheet No. D-10 / D-21

整理番号 11005

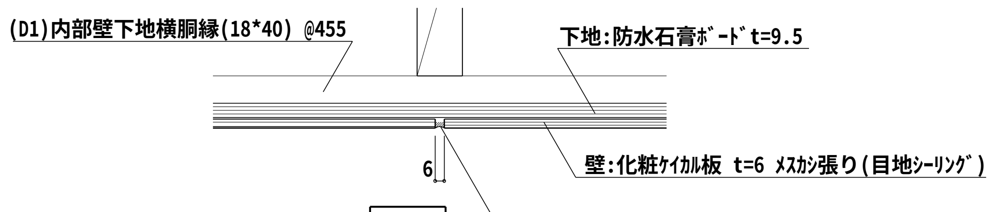
2011/5/16



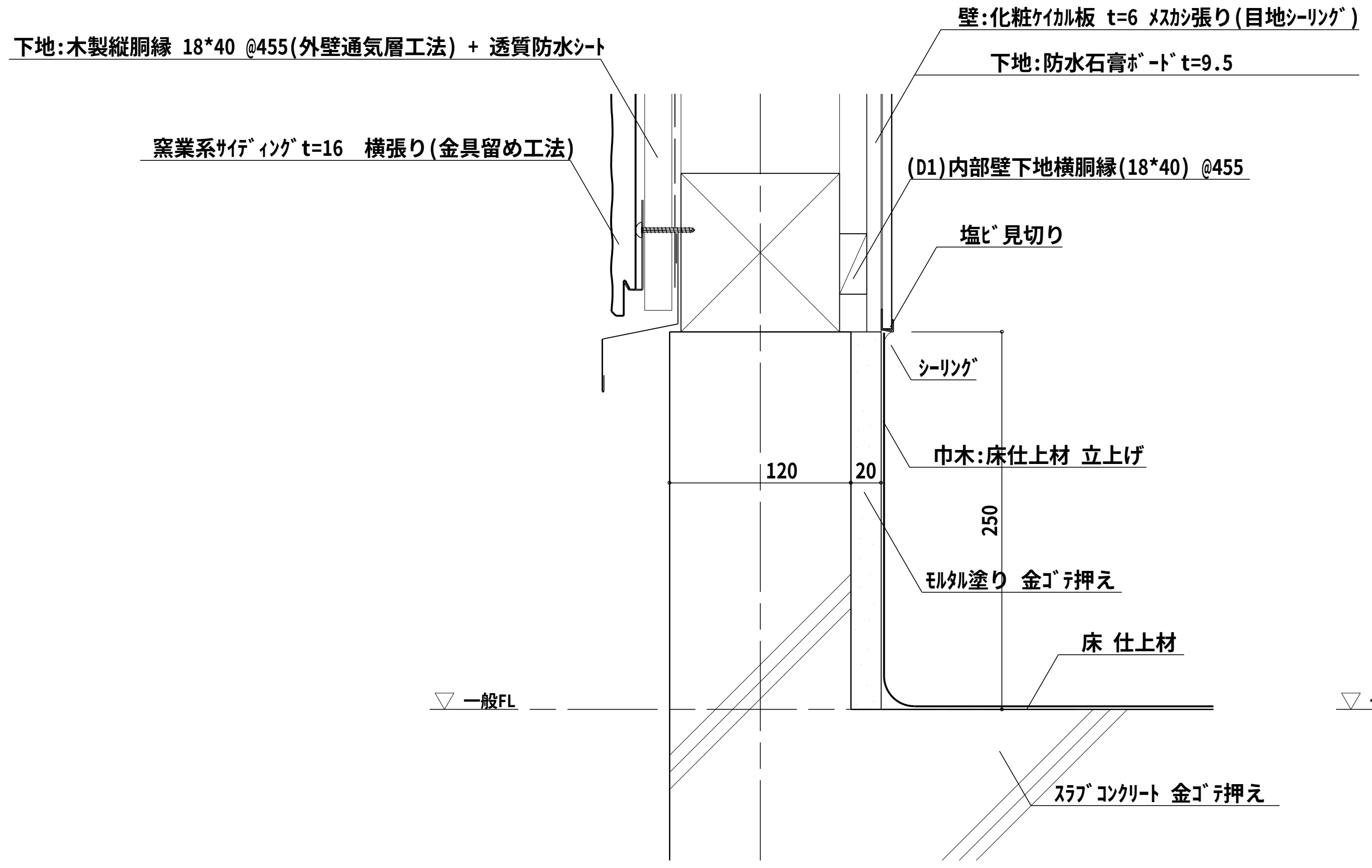
天井:ｹｲｶﾙ板+塗装 詳細図 SCALE 1/5



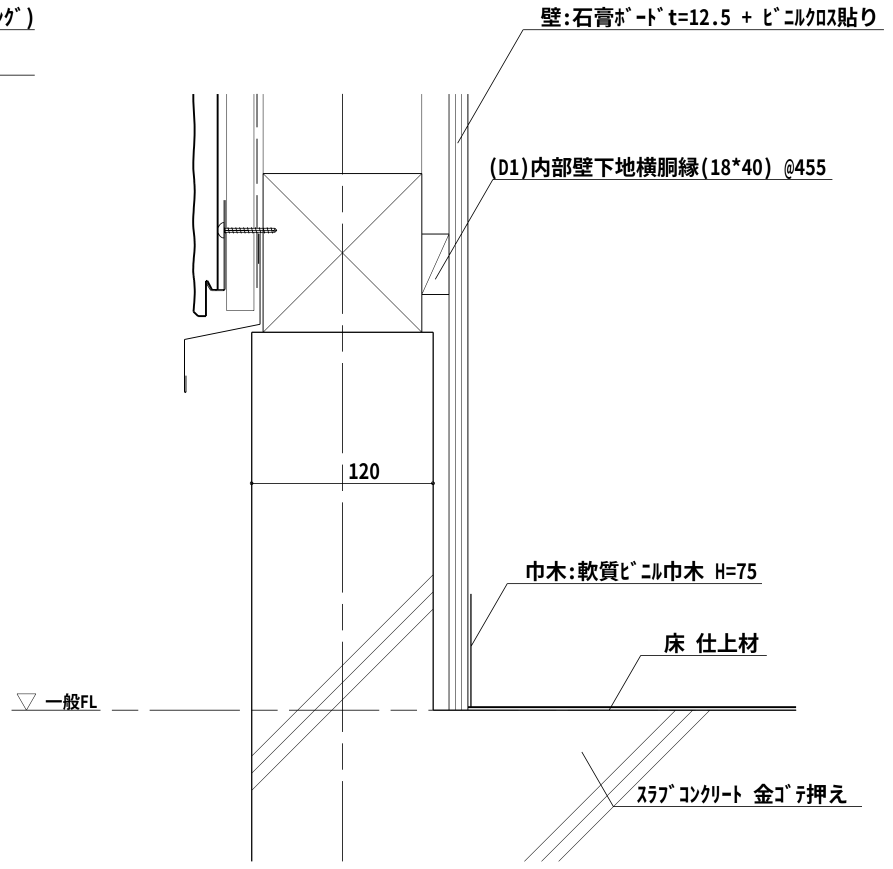
(内部)建具枠廻り ｼｰﾘﾝｸﾞ詳細図 SCALE 1/5



平面図



床～巾木[wet仕様] SCALE 1/5



床～巾木[wet仕様以外(dry仕様)] SCALE 1/5

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

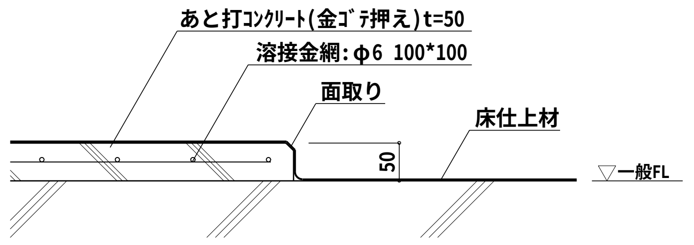
一級建築士事務所登録	(上伊)D第39211号
管理建築士	堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2 Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912	

設計担当者	Date	Title	Drawing Title	Sheet No.
一級建築士 第229022号 堀口 隆	H 23 ・ 3 ・	H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事	部分詳細図	D-11 / D-21
	Scale 1/5			整理番号 11005

2011/5/16

床伏図 SCALE 1/50

一般FL+50部分(あと打ちコンクリート部分)を示す



断面図 SCALE 1/10

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912

設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date	H 23 ・ 3 ・
Scale	1/50 1/10
Title	H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事
Drawing Title	床伏図 断面図
Sheet No.	D-12 / D-21
整理番号	11005

2011/5/16

記号	品名	参考品番	台数	寸法 W	寸法 D	寸法 H	給排 水	給排 湯	給排 排	電気 100	電気 1P200	電気 3P200	ガス 径	ガス Cal	フード	備考
■ 前処理場																
1	作業台		1	1000	750	500										
2	二槽シンク	TX-2S-150A	1	1500	750	800	15x2	15	50x2							
3	一槽シンク	TX-1S-75A	1	750	750	800	15	15	50							
4	作業台		1	(1120)	750	800										
~~5~~	~~シェルフ~~	~~N-TES-19-4612C~~	~~1~~	~~1220~~	~~460~~	~~1930~~										
6	シェルフ	N-TES-19-4612C	1	1220	460	1930										棚4段,ｷｬｽﾀｰ付
■ 漬物倉庫																
~~7~~	~~シェルフ~~	~~N-TES-19-6115C~~	~~1~~	~~1520~~	~~610~~	~~1930~~										
8	シェルフ	N-TES-19-6115C	1	1520	610	1930										棚4段
■ 倉庫																
9	シェルフ	N-TES-22-6112C	1	1220	610	2225										棚4段
10	シェルフ	N-TES-22-6115C	1	1520	610	2225										棚4段
11	シェルフ	N-TES-22-6115C	1	1520	610	2225										棚4段
12	シェルフ	N-TES-22-6115C	1	1520	610	2225										棚4段
13	シェルフ	N-TES-22-6115C	1	1520	610	2225										棚4段
14	シェルフ	N-TES-22-6112C	1	1220	610	2225										棚4段
■ 漬物仕込み室																
15	作業台	TX-WT-90	1	900	600	800										
16	二槽シンク	TX-2S-150	1	1500	600	800	15x2	15	50x2							
17	調理台		1	1300	600	800										中棚1段
~~19~~	~~作業台~~		~~1~~	~~600~~	~~600~~	~~800~~										
~~20~~	~~一槽シンク~~		~~1~~	~~600~~	~~600~~	~~800~~	~~15~~	~~15~~	~~50~~							
~~21~~	~~ガステーブル台（変形）~~		~~1~~	~~1100~~	~~600~~	~~600/800~~										
~~22~~	~~ガステーブル~~		~~1~~	~~900~~	~~600~~	~~250~~							~~20A~~	~~32.6KW~~	~~○~~	
~~23~~	~~テーブル型冷蔵庫~~		~~1~~	~~1500~~	~~600~~	~~800~~			~~50~~	~~0.24~~						
24	手洗器(自動水栓,水石鹸入,ﾍﾟｰﾊﾟｰﾀｵﾙﾎﾙﾀﾞｰ共)		1	410	320		15		40	1.0						※設備工事
~~25~~	~~吊戸棚~~		~~1~~	~~1370~~	~~350~~	~~900~~										
~~26~~	~~吊戸棚~~		~~1~~	~~1500~~	~~350~~	~~900~~										
~~27~~	~~吊戸棚~~		~~1~~	~~1500~~	~~350~~	~~900~~										
~~28~~	~~吊戸棚~~		~~1~~	~~1500~~	~~350~~	~~900~~										
■ 惣菜室																
18	スライサー	D-25	1	530	440	350				0.2						
~~29~~	~~自動餅つき機~~		~~1~~	~~770~~	~~840~~	~~2025~~					~~1.9~~					
30	炊飯台		1	700	750	800										
~~31~~	~~炊飯器~~		~~1~~	~~630~~	~~470~~	~~485~~							~~15A~~	~~8.9KW~~	~~○~~	
32	フライヤー	CF2-GD23	1	550	600	800							15A	11.0KW	○	油量:23ﾘｯﾄﾙ
33	スープレンジ	XY-675L2	1	600	750	450							20A	16.8KW	○	
34	ガスレンジ	XY-1575A	1	1500	750	800							25A	78.7KW	○	バックガード付
~~35~~	~~製餅機~~		~~1~~	~~350~~	~~348~~	~~565~~				~~0.4~~						
36	一槽シンク		1	1050	750	800	15	15	50							
37	冷蔵コールドテーブル	TRC-60RM	1	1800	600	800			40	0.34						容量:420ﾘｯﾄﾙ
38	調理台		1	1800	450	800										中棚1段
39	手洗器(自動水栓,水石鹸入,ﾍﾟｰﾊﾟｰﾀｵﾙﾎﾙﾀﾞｰ共)		1	410	320		15		40	1.0						※設備工事
40	作業台(下部ゴミ箱)		1	1200	750	800										下部３方枠
41	二槽シンク	TX-2S-120S	1	1200	750	800	15x2	15	50x2							
42	冷凍冷蔵コールドテーブル	TRW-51PM	1	1500	750	800			40	0.38						容量:F-205ﾘｯﾄﾙ,R-211ﾘｯﾄﾙ
43	吊戸棚	TX-HCB-150H	1	1500	350	900										中棚2段
44	吊戸棚	TX-HCB-150H	1	1500	350	900										中棚2段
98	検食用冷凍ストッカー	VF-K120X	1	460	585	1110				0.22						容量:117ﾘｯﾄﾙ
99	乾燥機付包丁まな板殺菌庫	TNS-30SF	1	300	450	1565			40	0.27						包丁8本,まな板4枚
■ 漬物充てん包装室																
100	手洗器(自動水栓,水石鹸入,ﾍﾟｰﾊﾟｰﾀｵﾙﾎﾙﾀﾞｰ共)		1	410	320		15		40	1.0						※設備工事
101	二槽シンク		1	1200	600	800	15x2	15	50x2							
102	作業台		1	750	600	800										
96	真空包装機	V-380G	1	413	565	377				1.2						

記号	品名	参考品番	台数	寸法 W	寸法 D	寸法 H	給排 水	給排 湯	給排 排	電気 100	電気 1P200	電気 3P200	ガス 径	ガス Cal	フード	備考
■ 製品冷蔵ストック室																
45	冷蔵庫	URN-40RMI-F	1	1200	650	1950			40	0.48						容量:840ﾘｯﾄﾙ,ｾﾝﾀｰﾌﾘｰ
46	冷蔵庫	URN-54FMTA1	1	1490	650	1950			40	0.88						容量:1059ﾘｯﾄﾙ
47	冷蔵庫	URN-560RM1	1	1490	650	1950			40	0.48						容量:1062ﾘｯﾄﾙ
48	大容量冷蔵庫	ULD-50RMTA1-F	1	1500	795	2200			40			0.72				容量:1613ﾘｯﾄﾙ,ｾﾝﾀｰﾌﾘｰ
49	大容量冷蔵庫	ULD-50RMTA1-F	1	1500	795	2200			40			0.72				容量:1613ﾘｯﾄﾙ,ｾﾝﾀｰﾌﾘｰ
50	製氷機	1M-115DM-STN	1	930	545	1425	15(GV)		40x2			0.63				製氷能力:115kgﾀｲﾌﾟ
■ 検査室																
51	金属探知機		1	740	550	1175				1.00						
52	作業台	TX-WT-100	1	1000	600	800										
53	調理台		1	1400	600	800										中棚1段
54	調理台	TX-WCT-120	1	1200	600	800										中棚1段
55	吊戸棚		1	1000	350	900										中棚2段
56	吊戸棚		1	1400	350	900										中棚2段
57	吊戸棚	TX-HCB-120H	1	1200	350	900										中棚2段
■ ジャム製造室																
58	手洗器(自動水栓,水石鹸入,ﾍﾟｰﾊﾟｰﾀｵﾙﾎﾙﾀﾞｰ共)		1	410	320		15		40	1.0						※設備工事
59	二槽シンク	TX-2S-120A	1	1200	750	800	15x2	15	50x2							
60	一槽消毒シンク		1	600	750	800	15	15	50							
61	調理台		1	750	750	800										中棚1段
62	調理機	クーボ１５２	1	1100	900	1245	15(GV)		50(耐熱管)			3.3 8.0				電気ボイラー付
63	吊戸棚	TX-HCB-150H	1	1500	350	900										中棚2段
64	吊戸棚	TX-HCB-150H	1	1500	350	900										中棚2段
65	冷蔵コールドテーブル	(TRW-50RM)	1	1500	800	800			40	0.33						容量:442ﾘｯﾄﾙ,天板交換
66	作業台(下部ごみ箱収納)		1	800	600	800										下部３方枠
~~67~~	~~移動台(キャスター付)~~		~~1~~	~~600~~	~~700~~	~~800~~										
68	ブラストフリーザー	QXF-006SF5	1	1200	880	800			40			1.18				1/1ホテルパン6段
69	ｽﾁｰﾑｺﾝﾍﾞｸｼｮﾝｵｰﾌﾞﾝ	CS1-E6	1	950	840	860	15(GV*2)		40(耐熱管)			8.7			○	軟水器付,1/1ﾎﾃﾙﾊﾟﾝ6段
70	引出付調理台		1	700	750	800										引出:1ヶ付
71	エアー駆動充填機	EMS	1	490	730	822										
72	コンプレッサー	ACP-60	1	355	330	650				0.75						
73	冷蔵コールドテーブル	TRW-40RMI	1	1200	750	800			40	0.23						容量:324ﾘｯﾄﾙ
74	スキッパー	MTC-700	1	600	600	1500				1.00						
75	コンプレッサー	ACP-60	2	355	330	650				0.75						
76	吊戸棚	TX-HCB-120H	1	1200	350	900										中棚2段
97	真空包装機	V-380G	1	413	565	377				1.2						
■ パン製造室																
77	シェルフ	N-TES-19-6115C	1	1520	610	1930										棚4段
78	デッキオーブン	TVO2R-SNH	1	1320	1060	1880	15(GV)		40			10.3			○	台下ホイロ付
79	ﾍﾞｰｶﾘｰｺﾝﾍﾞｸｼｮﾝｵｰﾌﾞﾝ	TBO-4E	1	825	980	540	15(GV)		40			8.5			○	
80	一枚差し台下ホイロ	TFP-8S	1	825	885	860	15(GV)		40		0.55					
81	シングルラック	TX-BR-460	1	460	500	1660										16枚差し
82	シングルラック	TX-BR-460	1	460	500	1660										16枚差し
~~83~~	~~リバースシート~~		~~1~~	~~2300~~	~~650~~	~~1055~~						~~0.4~~				
84	引出付調理台		1	1350	600	800										引出:2ヶ付
85	冷凍コールドテーブル	TRC-52FM	1	1500	600	800			40	0.44						容量:333ﾘｯﾄﾙ
86	冷凍コールドテーブル	TRC-50RM	1	1500	750	800			40	0.33						容量:442ﾘｯﾄﾙ
~~87~~	~~卓上ミキサー~~		~~1~~	~~240~~	~~393~~	~~350~~				~~0.65~~						
~~88~~	~~ロボ・クープ~~		~~1~~	~~280~~	~~340~~	~~480~~						~~1.8~~				
~~89~~	~~ミニモルダー~~		~~1~~	~~500~~	~~823~~	~~1044~~						~~0.2~~				
90	粉入れ台		1	1500	750	800										
91	ミキサー	MT-30H	1	720	852	1222						0.75				31ﾘｯﾄﾙ
92	二糟シンク	TX-2S-150A	1	1500	750	800	15x2	15	50x2							
93	手洗器(自動水栓,水石鹸入,ﾍﾟｰﾊﾟｰﾀｵﾙﾎﾙﾀﾞｰ共)		1	410	320		15		40	1.0						※設備工事
94	吊戸棚	TX-HCB-150H	1	1500	350	900										中棚2段
95	吊戸棚	TX-HCB-150H	1	1500	350	900										中棚2段

※１　機器はすべて同等品とする。
※２　機器設置後の台部分のステンレス張り(衛生上,台の部分を塞ぐ)は、業務用機器工事に含む。
※３　吊戸棚等手の届かない上部(埃溜りの可能性)はステンレス等により塞ぐこと(業務用機器工事)。
※４　フード工事、及び設備工事明記箇所は設備工事(業務用機器工事以外)とする。
※５　壁際の機器設置部分は一般FL+50(建築本体工事により施工)となるので、機器の高さ加工は業務用機器工事において行なう。
※６　※機器穴あけは、[機器工事]、機器接続は、[機械設備工事]

[別途工事]

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp
一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912
設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆

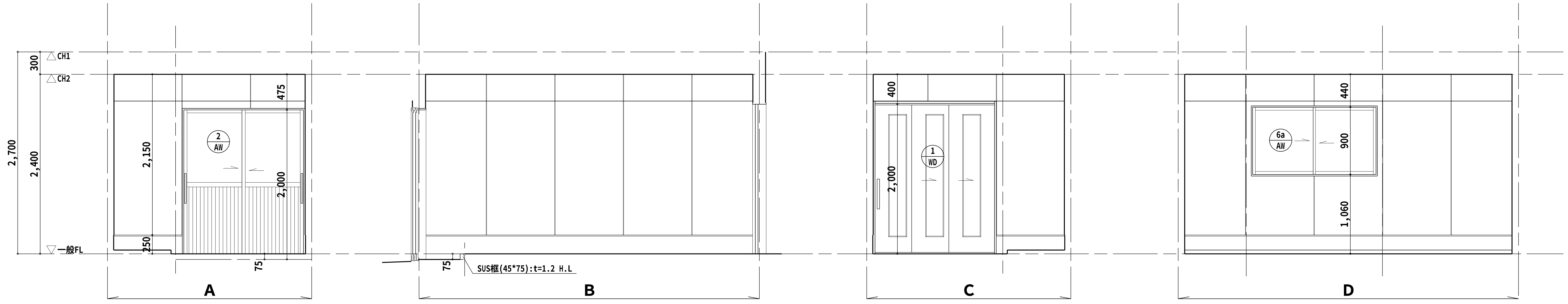
Date H 23 ・ 3 ・
Scale 1/50

Title
H23年度 農村活性化支援事業
受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title
[参考]
業務用設備機器リスト　キープラン

Sheet No. D-13 / D-21
整理番号 11005

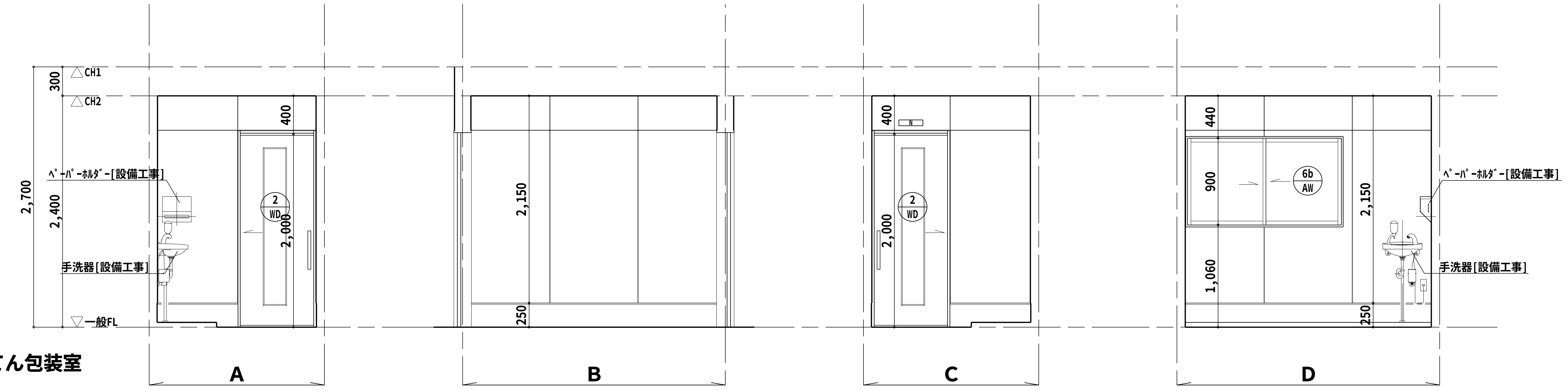
2011/5/16



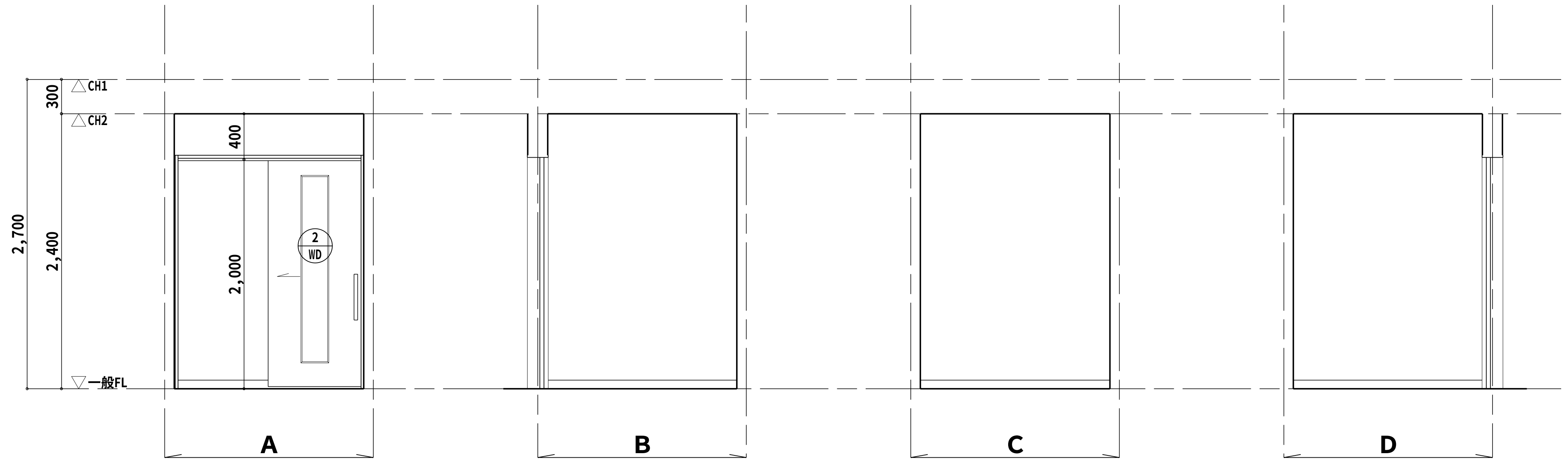
前処理室

凡　例

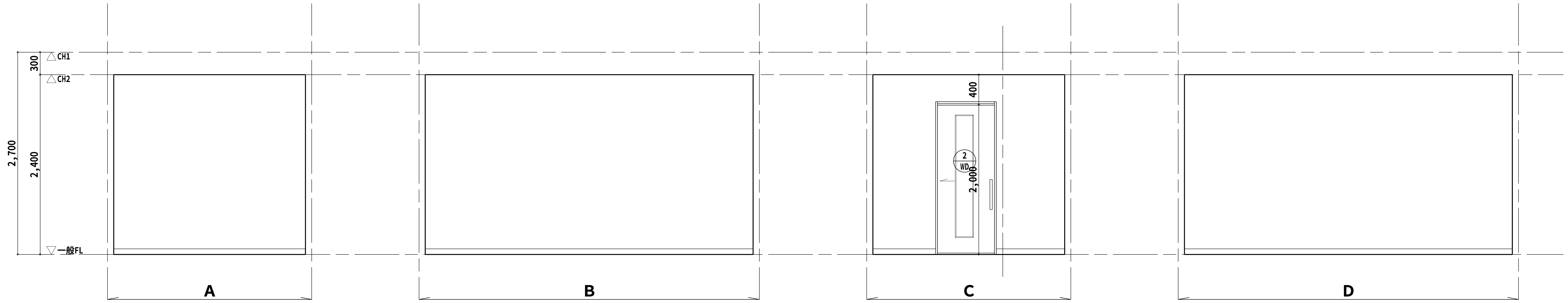
誘	誘導標識
▭N▭	室名表示板(平付型):ｱｸﾘﾙ板 250*60



漬物充てん包装室



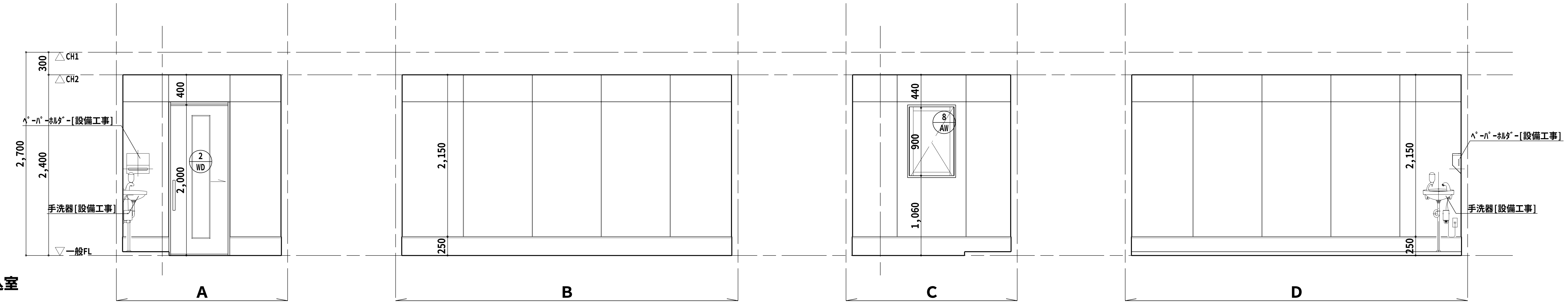
漬物倉庫



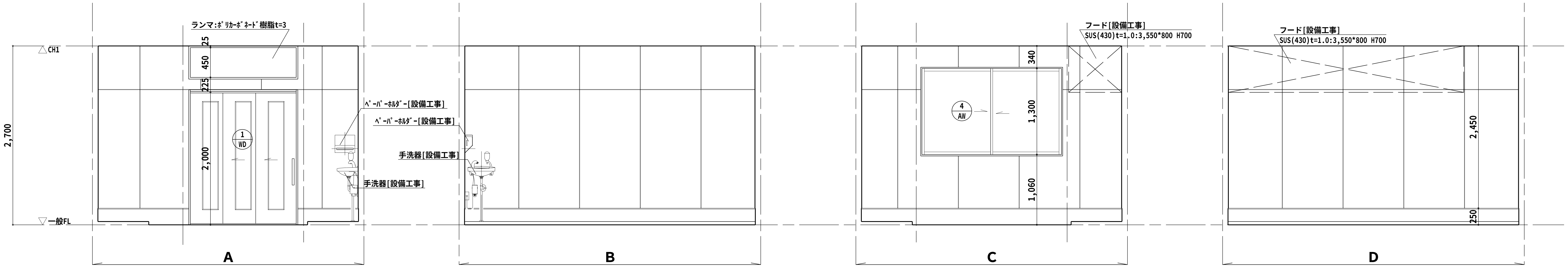
倉庫

Horiguchi Architect & Associates 堀口設計事務所 E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp	一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号 管理建築士 堀口 隆 〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2 Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912	設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆	Date H 23 ・ 3 ・ Scale 1/50	Title H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事	Drawing Title 展開図 1	Sheet No. D-14 / D-21 整理番号 11005

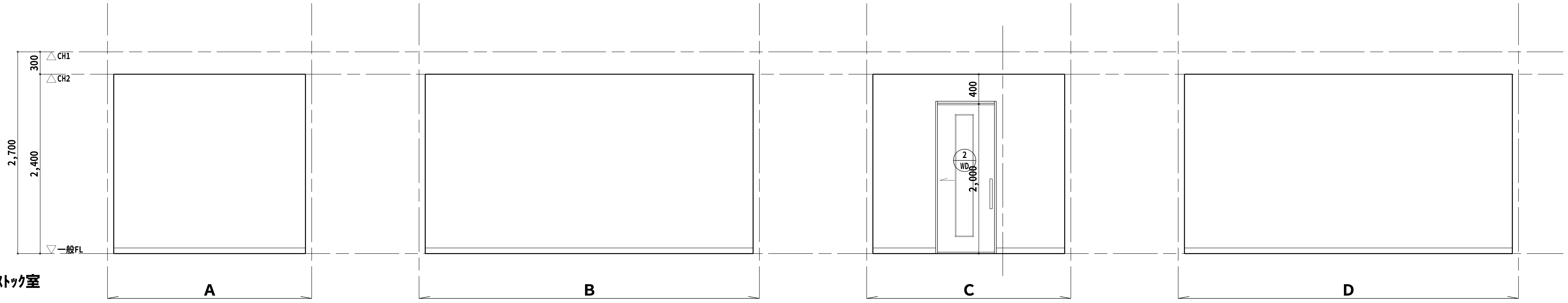
2011/5/16



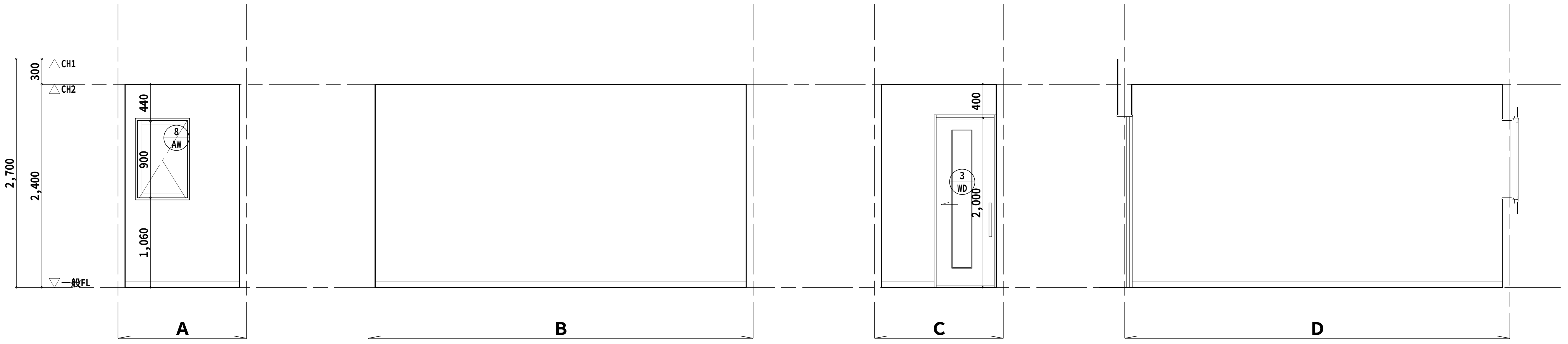
漬物仕込室



惣菜室



製品冷蔵ｽﾄｯｸ室



検査室

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912

設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

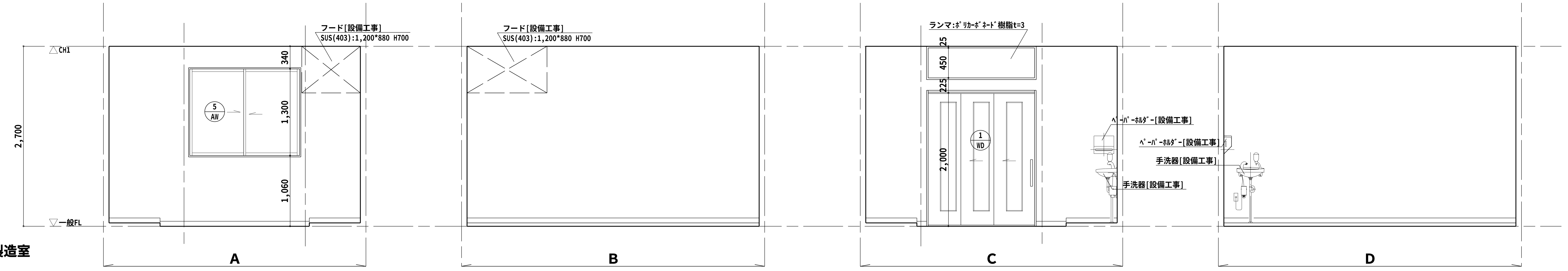
Date: H 23 ・ 3 ・
Scale: 1/50

Title: H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事

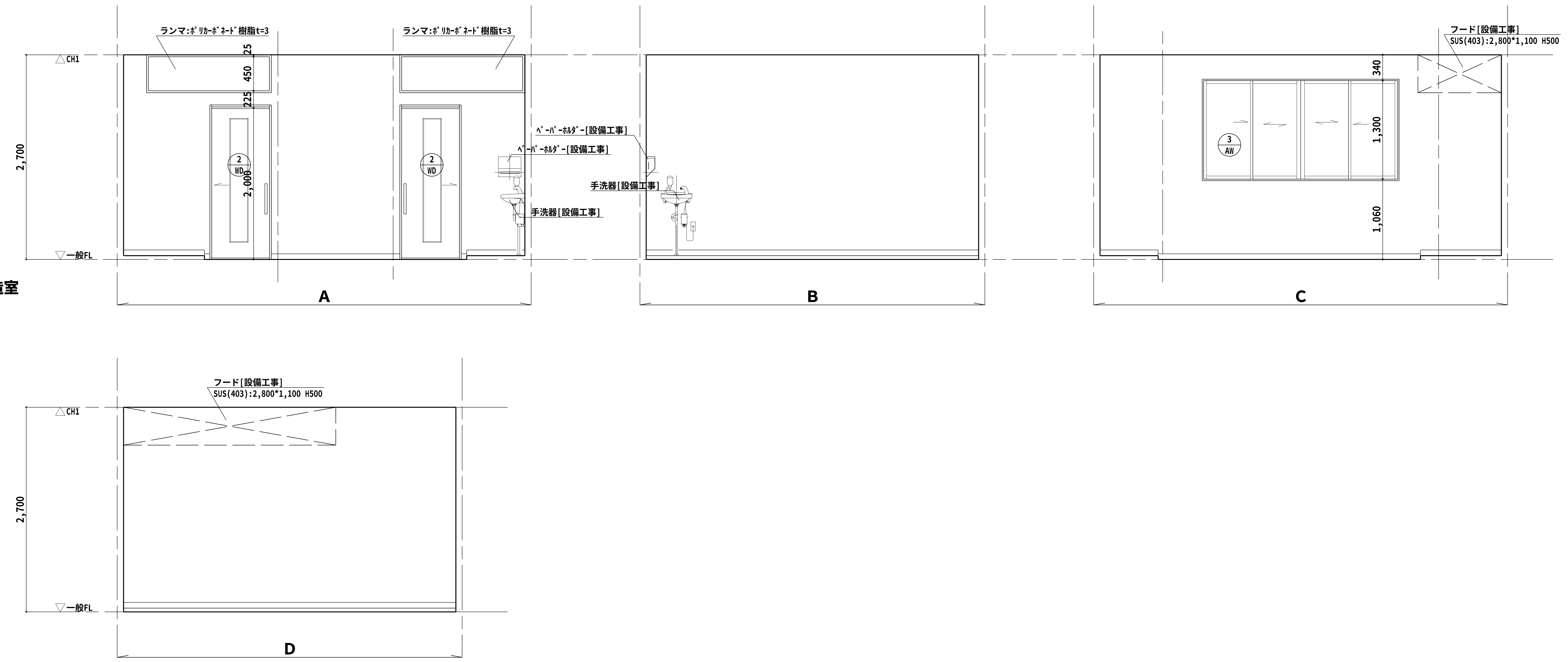
Drawing Title: 展開図 2

Sheet No. D-15 / D-21
整理番号 11005

2011/5/16



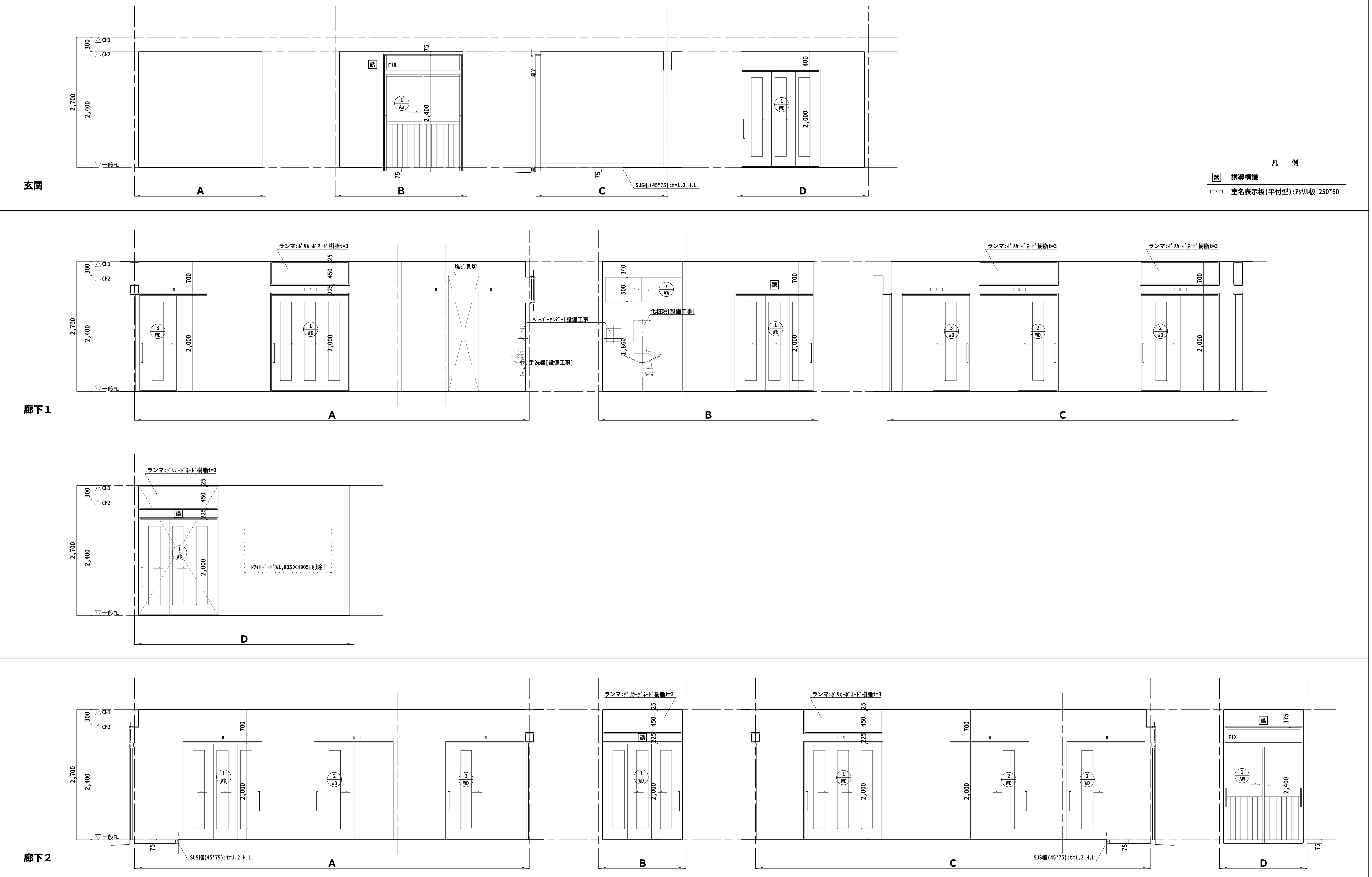
ジャム製造室



パン製造室

Horiguchi Architect & Associates 堀口設計事務所 E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp	一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号 管理建築士 堀口 隆 〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2 Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912	設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆	Date H 23 ・ 3 ・ Scale 1/50	Title H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事	Drawing Title 展開図 ３	Sheet No. D-16 / D-21 整理番号 11005

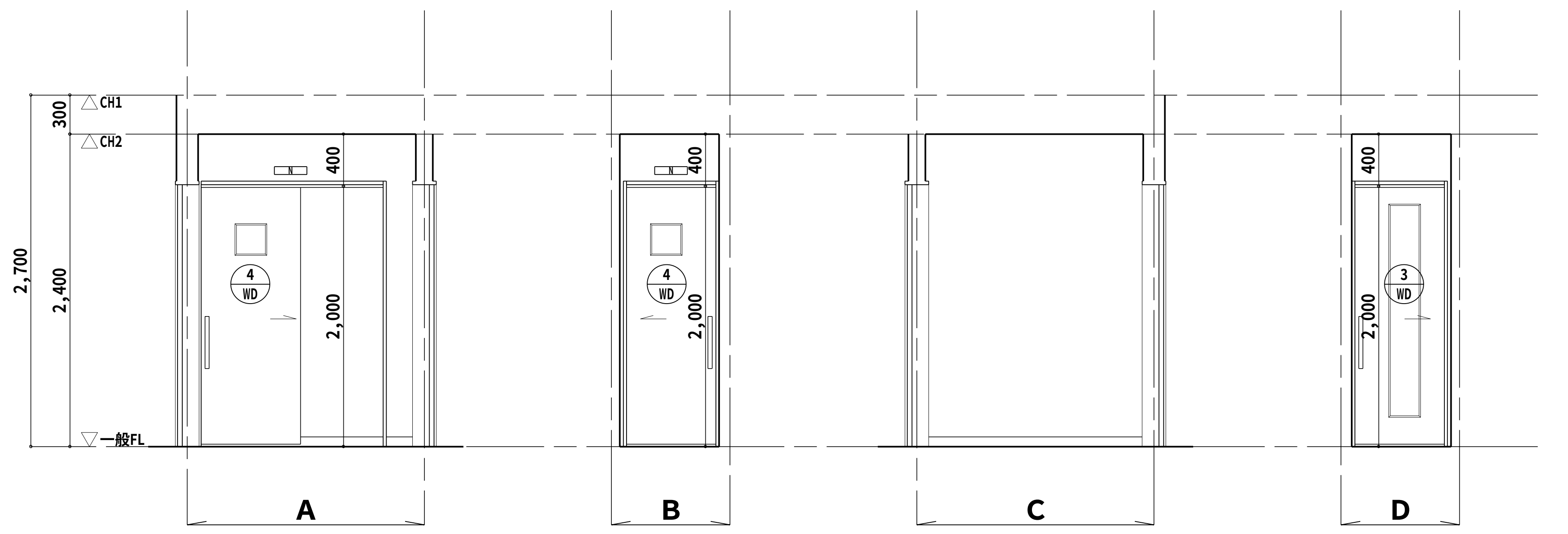
2011/5/16



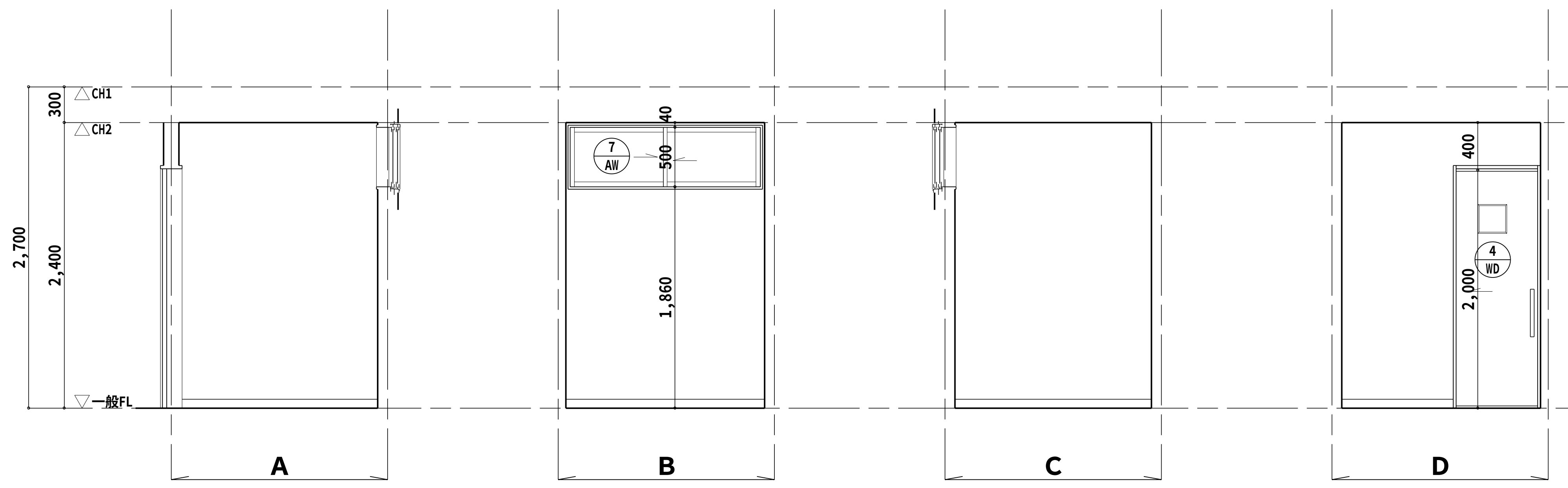
Horiguchi Architect & Associates 堀口設計事務所 E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp	一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号 管理建築士 堀口 隆 〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2 Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912	設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆	Date H 23 ・ 3 ・ Scale 1/50
Title: H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事	Drawing Title: 展開図 4	Sheet No. D-17 / D-21	整理番号 11005

2011/5/16

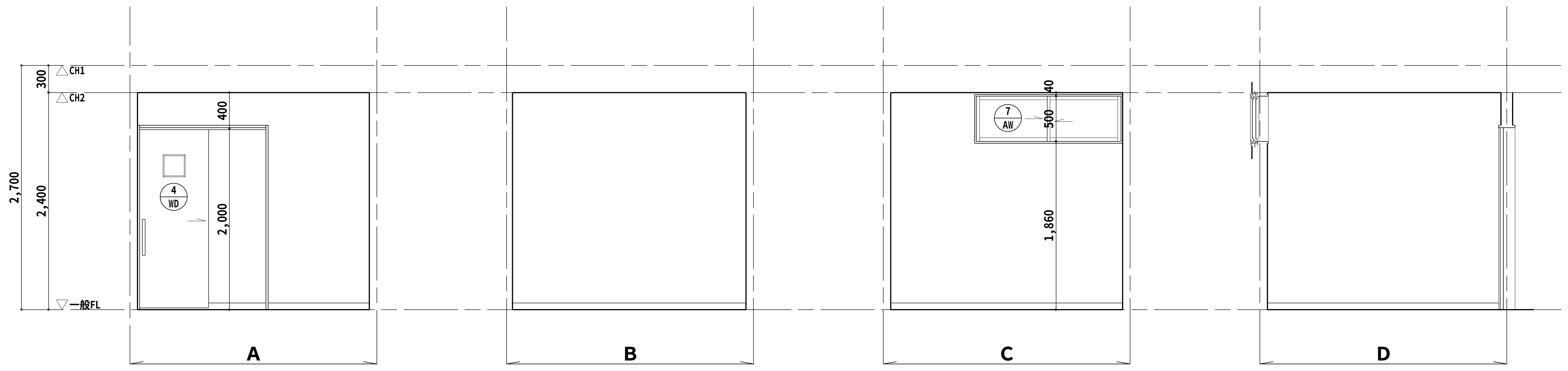
更衣室
(通路)



更衣室
(男)



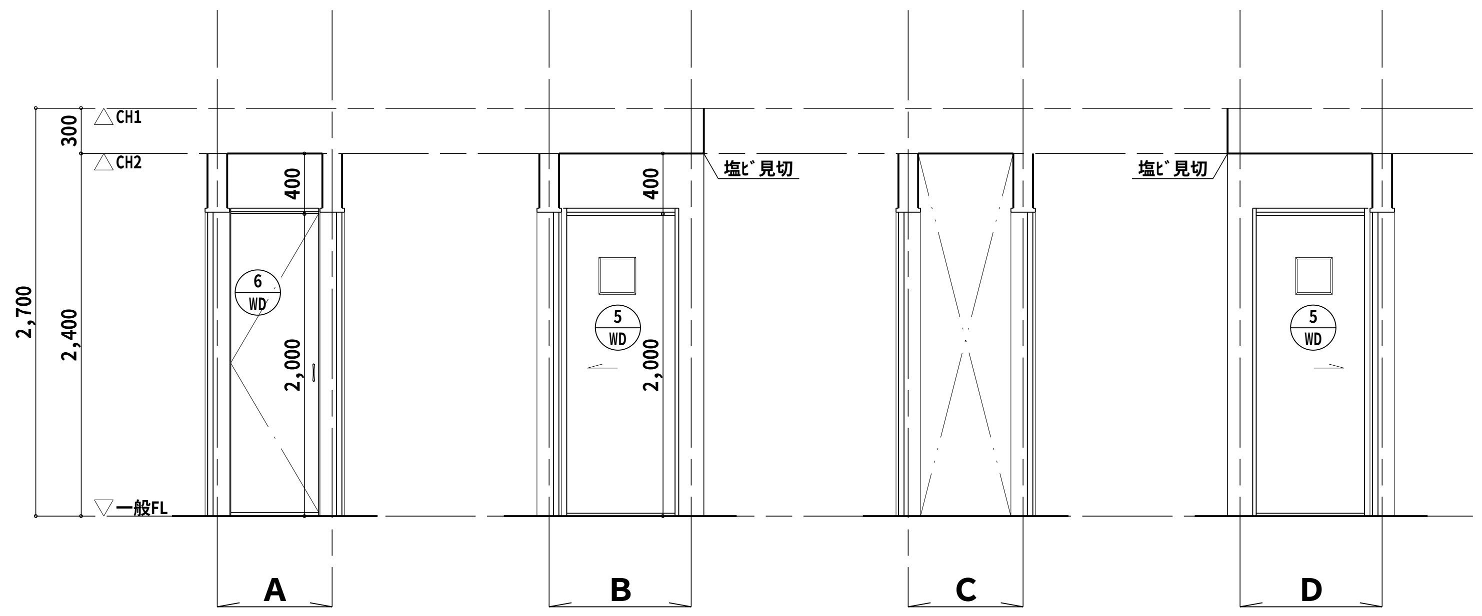
更衣室
(女)



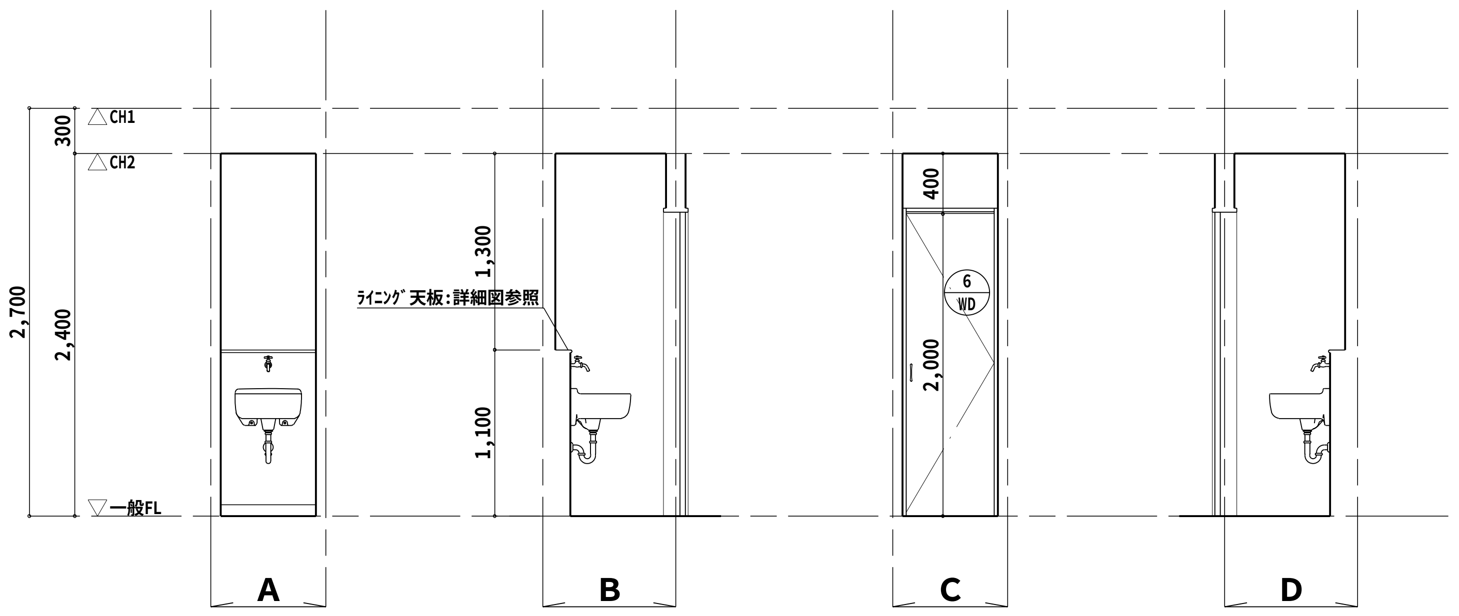
凡　例

誘	誘導標識
▭N▭	室名表示板(平付型):ｱｸﾘﾙ板 250*60

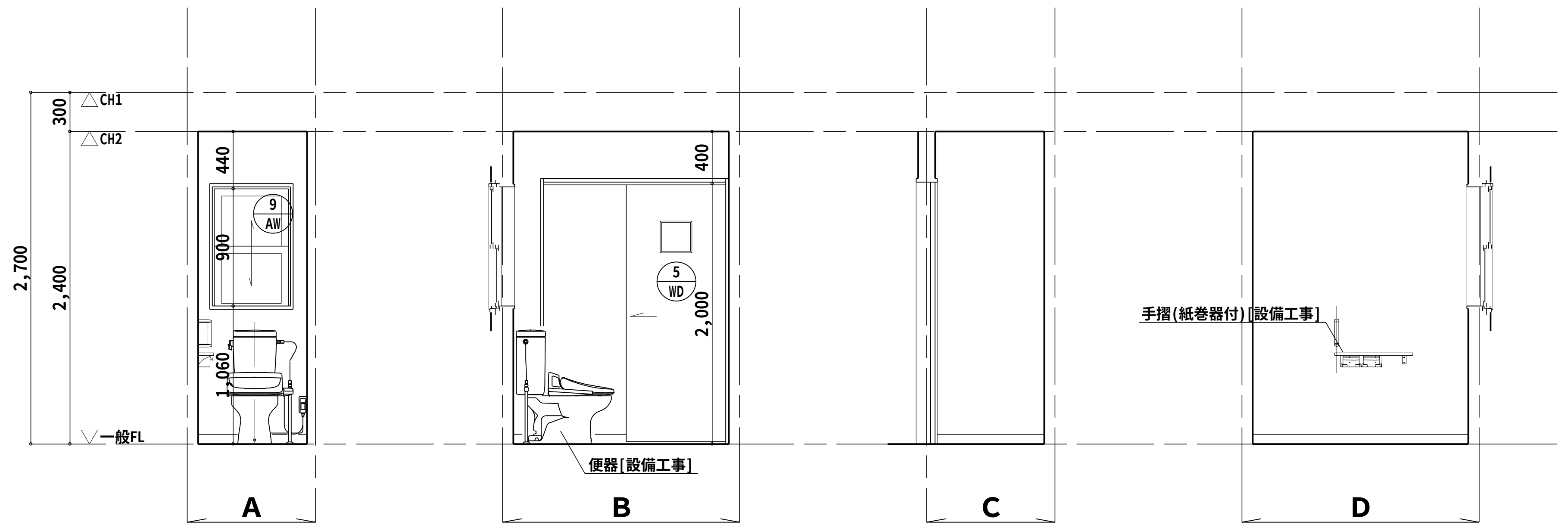
トイレ



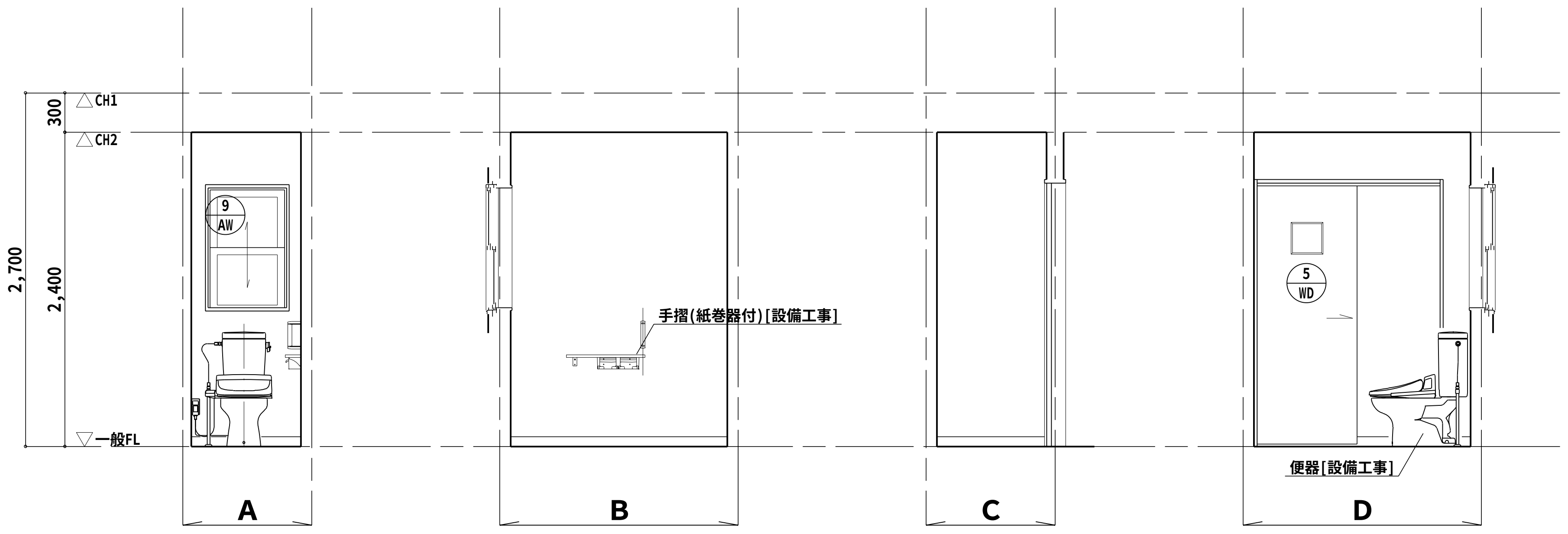
トイレ
(掃除具入)



トイレ



トイレ

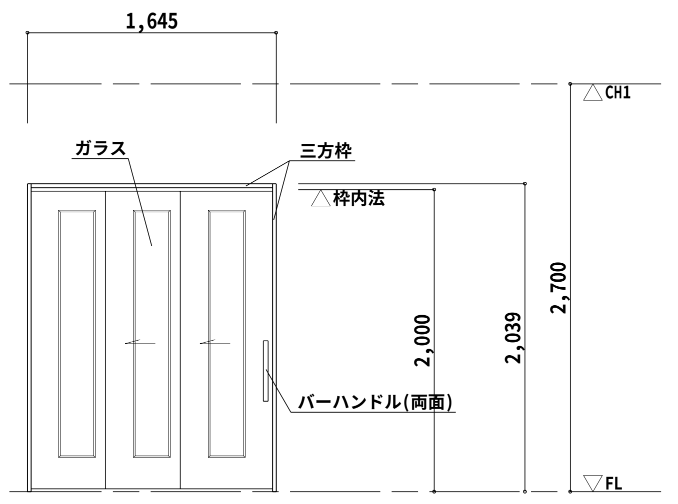
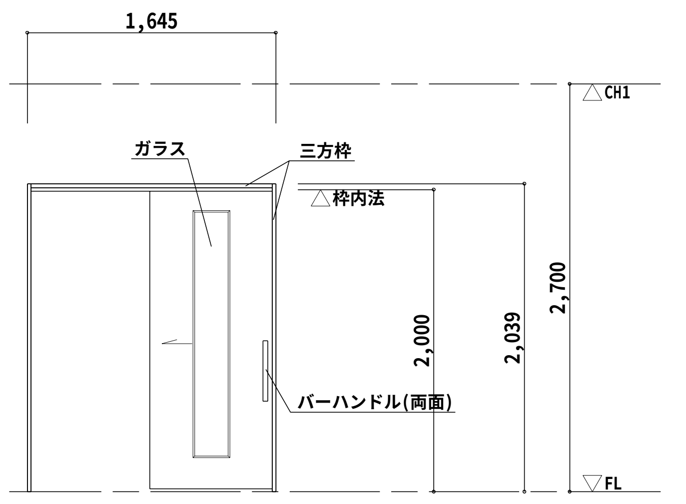
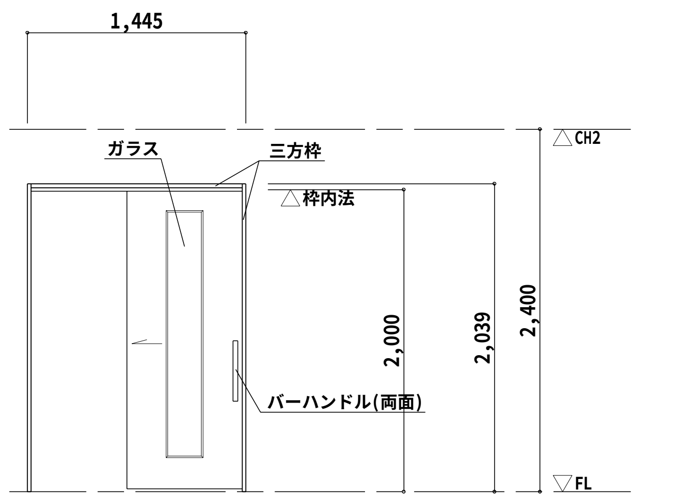
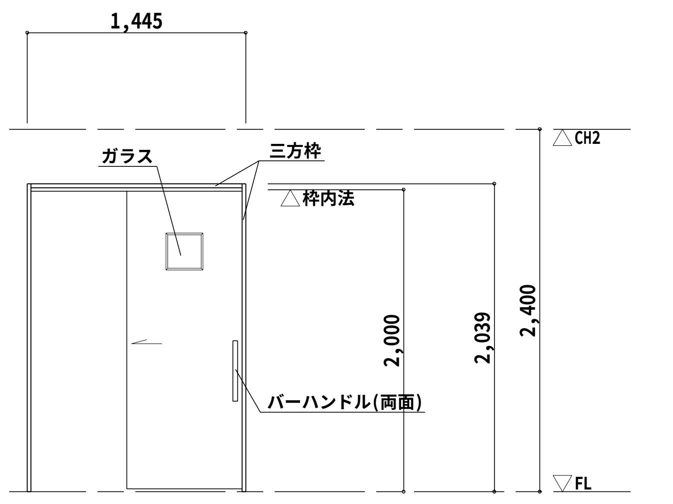
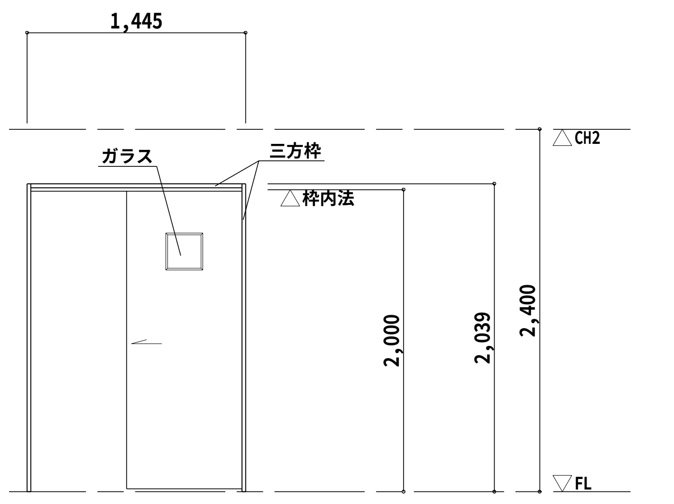


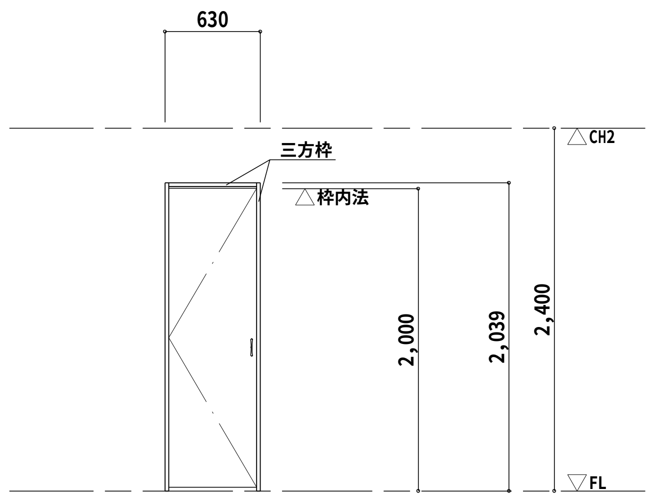
Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録	(上伊)D第39211号
管理建築士	堀口　隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2 Phone 0265 - 79 - 8836　Fax 0265 - 79 - 8912	

設計担当者	Date	Title	Drawing Title	Sheet No.
一級建築士　第229022号　堀口　隆	H 23 ・ 3 ・ Scale 1/50	H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事	展開図 5	D-18 / D-21 整理番号 11005

2011/5/16

記号・取付場所	1 WD 玄関,廊下,ジャム製造室,惣菜室,前処理室	2 WD ﾊﾟﾝ製造室,製品冷蔵ｽﾄｯｸ室,倉庫,漬物仕込室,漬物充てん包装室,漬物倉庫	3 WD 検査室,更衣室	4 WD 更衣室	5 WD トイレ
姿図・寸法	 ※U3-03 同等	 ※UK-03 同等	 ※UK-03 同等	 ※UK-02 同等	 ※UJT-02 同等
形式・数量	室内引戸(上吊り仕様) 3連戸[フラッシュ] 4ヶ所	室内引戸(上吊り仕様) 片引き戸[フラッシュ] 7ヶ所	室内引戸(上吊り仕様) 片引き戸[フラッシュ] 2ヶ所	室内引戸(上吊り仕様) 片引き戸[フラッシュ] 2ヶ所	室内引戸(上吊り仕様) 片引き戸[フラッシュ] 2ヶ所
仕上	特殊化粧シート	特殊化粧シート	特殊化粧シート	特殊化粧シート	特殊化粧シート
ガラス	[型:(かすみ)] 4mm	[型:(かすみ)] 4mm	[型:(かすみ)] 4mm	[型:(かすみ)] 4mm	[型:(かすみ)] 4mm
金物	バーハンドル(両面) 付属金物一式	バーハンドル(両面) ストッパー 付属金物一式	バーハンドル(両面) ストッパー 付属金物一式	バーハンドル(両面) ストッパー 付属金物一式	掘込み引手(両面) 表示錠 ストッパー 付属金物一式
建具見込	[枠見込]たて:182 よこ:176	[枠見込]たて:182 よこ:176	[枠見込]たて:182 よこ:176	[枠見込]たて:152 よこ:146	[枠見込]たて:152 よこ:146
備考	[三協立山]ウッデリアiS(ノンケーシング枠) 同等	[三協立山]ウッデリアiS(ノンケーシング枠) 同等	[三協立山]ウッデリアiS(ノンケーシング枠) 同等	[三協立山]ウッデリアiS(ノンケーシング枠) 同等	[三協立山]ウッデリアiS(ノンケーシング枠) 同等

記号・取付場所	6 WD 掃除具入(トイレ)				
姿図・寸法	 ※CK-01 同等				
形式・数量	クローゼット開き戸(片開き戸タイプ)[フラッシュ] 1ヶ所				
仕上	特殊化粧シート				
ガラス					
金物	取手 付属金物一式				
建具見込	[枠見込]たて:100 よこ:97				
備考	[三協立山]ウッデリアiS(ノンケーシング枠) 同等				

記号・取付場所					
姿図・寸法					
形式・数量					
仕上					
ガラス					
金物					
建具見込					
備考					

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp
一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912
設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date H 23 ・ 3 ・

Scale 1/50

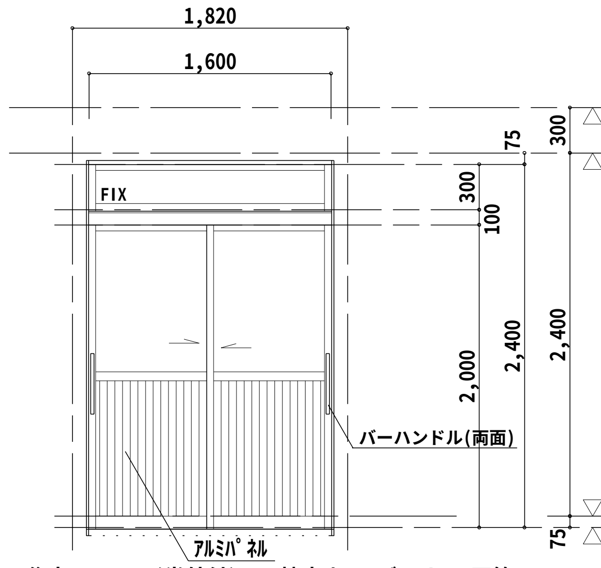
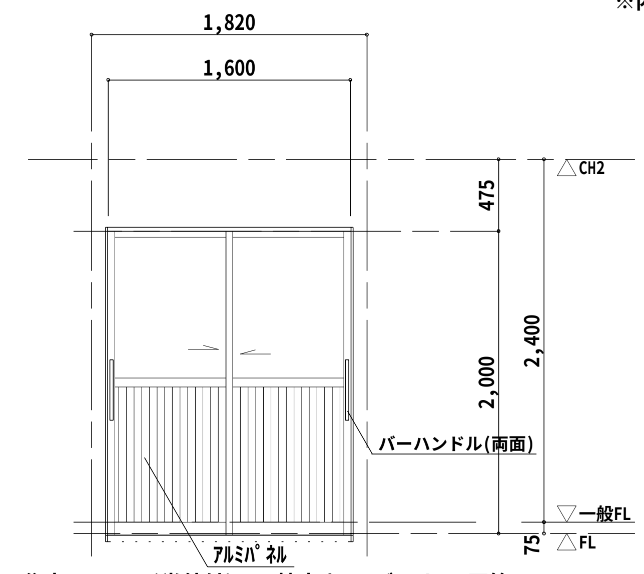
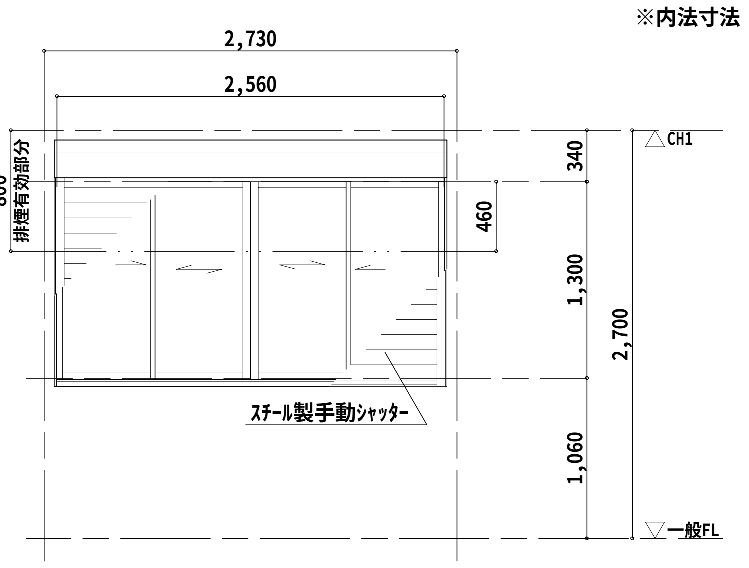
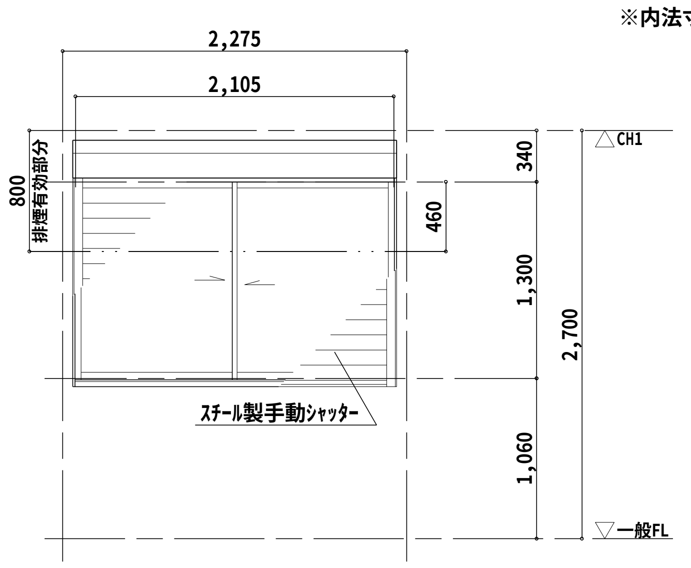
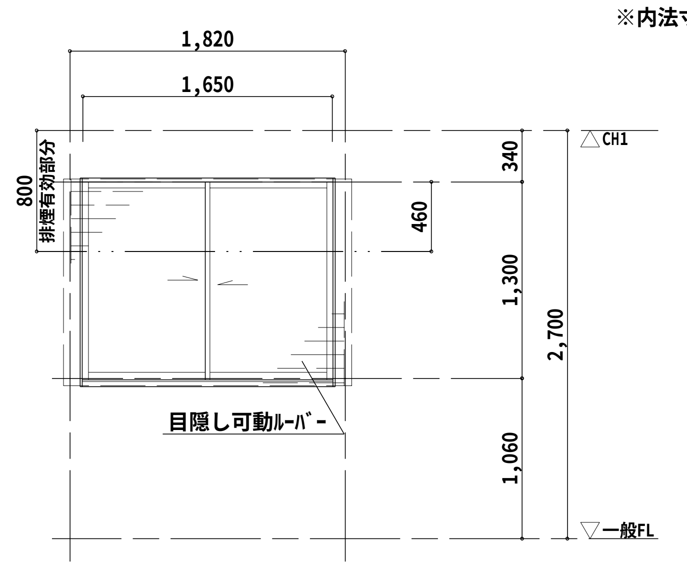
Title H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事

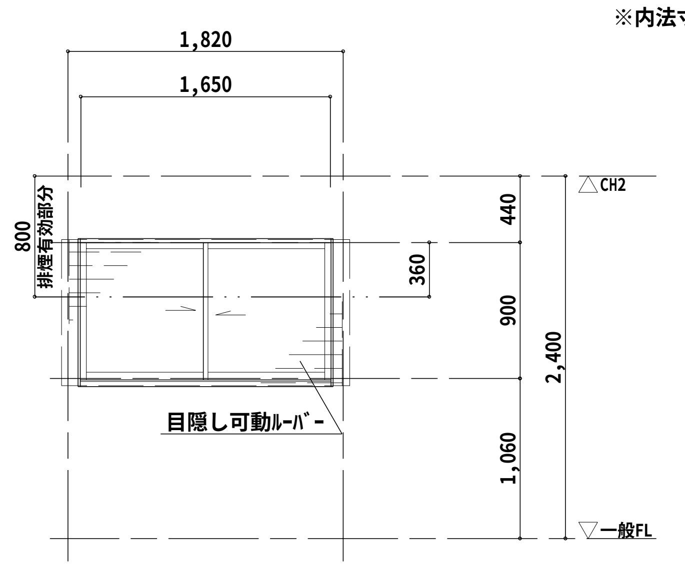
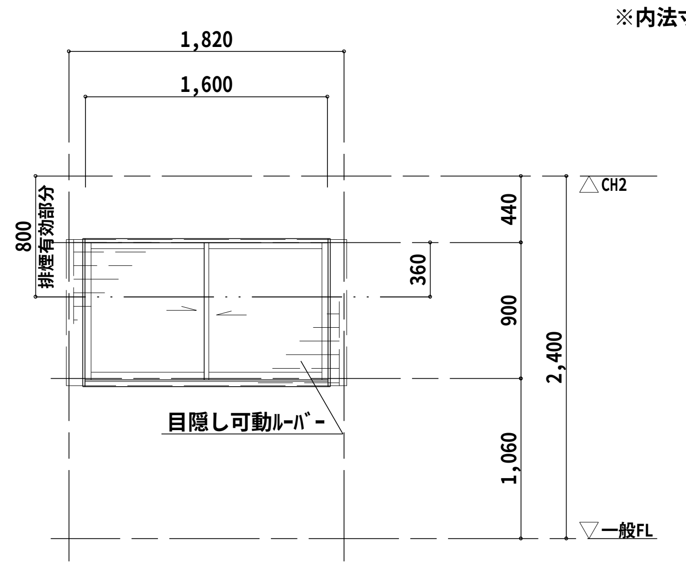
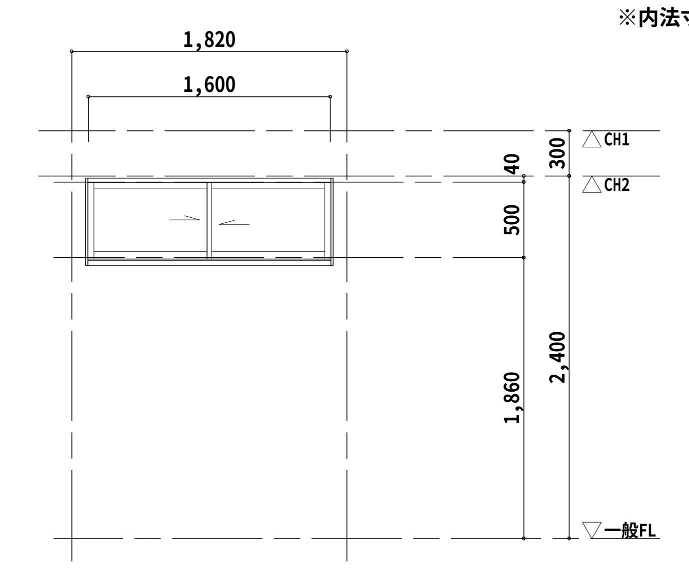
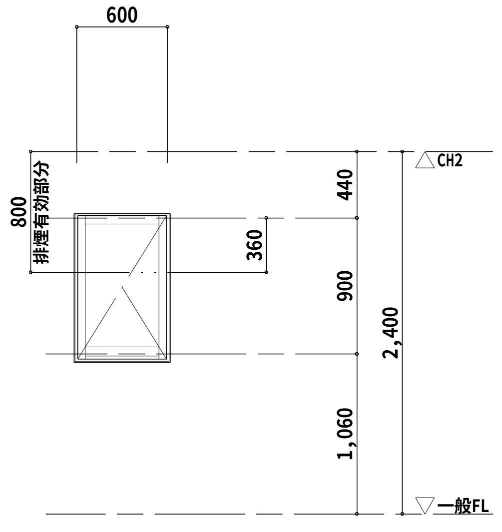
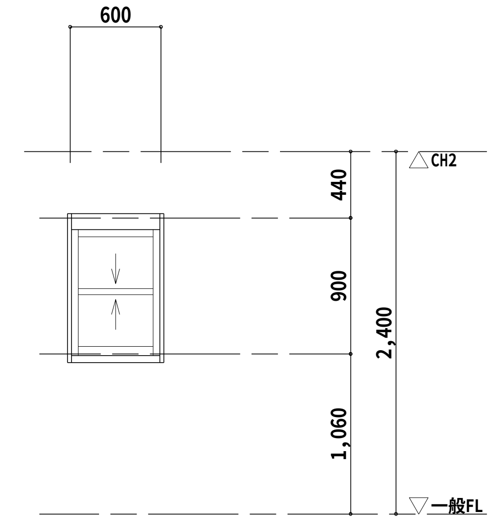
Drawing Title 木製建具表

Sheet No. D-19 / D-21

整理番号 11005

2011/5/16

記号・取付場所	1/AW 玄関,廊下２	2/AW 前処理室	3/AW パン製造室	4/AW 惣菜室	5/AW ジャム製造室
姿図・寸法	※内法寸法  ※住宅用サッシ(半外付):[三協立山]マディオＰ 同等	※内法寸法  ※住宅用サッシ(半外付):[三協立山]マディオＰ 同等	※内法寸法  ※住宅用シャッター付サッシ(半外付):[三協立山]メルフィーナ 同等	※内法寸法  ※住宅用シャッター付サッシ(半外付):[三協立山]メルフィーナ 同等	※内法寸法  ※住宅用サッシ(半外付):[三協立山]マディオＰ 同等
形式・数量	引違い窓２枚建(ランマ付)(土間納まりﾀｲﾌﾟ)[16022 Ｈ特寸] ２ヶ所	引違い窓２枚建(土間納まりﾀｲﾌﾟ)[16020] １ヶ所	シャッター付(スチール製手動)引違い窓４枚建[25613] １ヶ所	シャッター付(スチール製手動)引違い窓２枚建[25613 Wｶｯﾄ] １ヶ所	引違い窓２枚建[16513] １ヶ所
仕上	アルミ合金押出型材(カラー)	アルミ合金押出型材(カラー)	アルミ合金押出型材(カラー)	アルミ合金押出型材(カラー)	アルミ合金押出型材(カラー)
ガラス	[型]4mm+A+[透明]3mm ランマ:[透明]3mm+A+[透明]3mm	[型]4mm+A+[透明]3mm	[透明]3mm+A+[透明]3mm	[透明]3mm+A+[透明]3mm	[型]4mm+A+[透明]3mm
金物	ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠 ｱﾝｸﾞﾙ SUSﾚｰﾙ ﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ 付属金物一式	ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠 ｱﾝｸﾞﾙ SUSﾚｰﾙ ﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ 付属金物一式	ｸﾚｾﾝﾄ ｱﾝｸﾞﾙ ｽﾁｰﾙ製手動ｼｬｯﾀｰ 付属金物一式	ｸﾚｾﾝﾄ ｱﾝｸﾞﾙ ｽﾁｰﾙ製手動ｼｬｯﾀｰ 付属金物一式	ｸﾚｾﾝﾄ ｱﾝｸﾞﾙ 付属金物一式 目隠し可動ﾙｰﾊﾞｰ(RY型 同等)
建具見込	80mm	80mm	80mm	80mm	80mm
備考	建具枠(三方):W=119[MDF]t=20	建具枠(三方):W=119[MDF]t=20	可動網戸(ｻﾗﾝﾈｯﾄ) 建具枠(四方):W=119[MDF]t=20	可動網戸(ｻﾗﾝﾈｯﾄ) 建具枠(四方):W=119[MDF]t=20	可動網戸(ｻﾗﾝﾈｯﾄ) 建具枠(四方):W=119[MDF]t=20

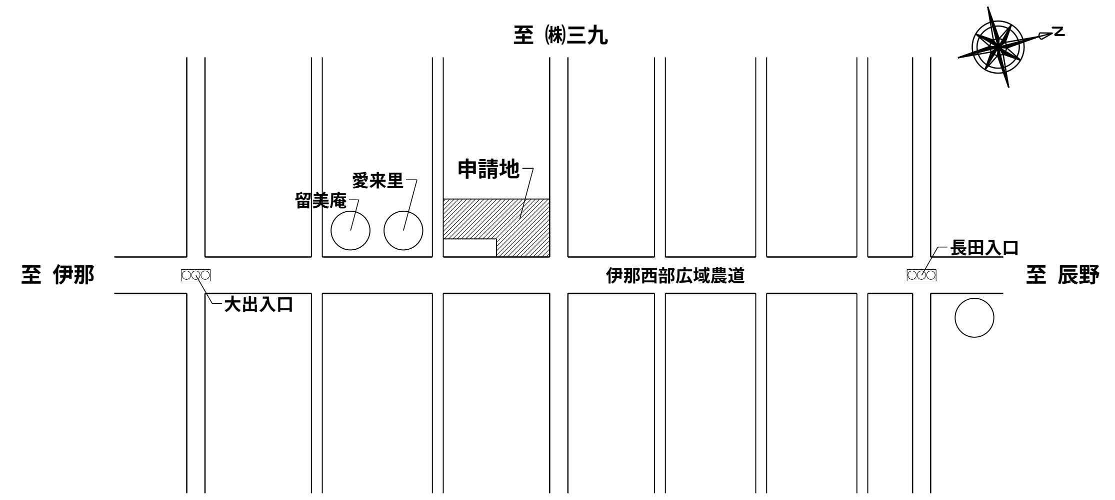
記号・取付場所	6a/AW 前処理室	6b/AW 漬物充てん包装室	7/AW 廊下１,更衣室	8/AW 漬物仕込室,検査室	9/AW トイレ
姿図・寸法	※内法寸法  ※住宅用サッシ(半外付):[三協立山]マディオＰ 同等	※内法寸法  ※住宅用サッシ(半外付):[三協立山]マディオＰ 同等	※内法寸法  ※住宅用サッシ(半外付):[三協立山]マディオＰ 同等	※内法寸法  ※住宅用サッシ(半外付):[三協立山]マディオＰ 同等	※内法寸法  ※住宅用サッシ(半外付):[三協立山]マディオＰ 同等
形式・数量	引違い窓２枚建[16509] １ヶ所	引違い窓２枚建[16009] １ヶ所	引違い窓２枚建[16005] ３ヶ所	たてすべり出し[06009] ２ヶ所	上げ下げ窓(ダブルハング)[06009] ２ヶ所
仕上	アルミ合金押出型材(カラー)	アルミ合金押出型材(カラー)	アルミ合金押出型材(カラー)	アルミ合金押出型材(カラー)	アルミ合金押出型材(カラー)
ガラス	[型]4mm+A+[透明]3mm	[型]4mm+A+[透明]3mm	[型]4mm+A+[透明]3mm	[型]4mm+A+[透明]3mm	[型]4mm+A+[透明]3mm
金物	ｸﾚｾﾝﾄ ｱﾝｸﾞﾙ 付属金物一式 目隠し可動ﾙｰﾊﾞｰ(RY型 同等)	ｸﾚｾﾝﾄ ｱﾝｸﾞﾙ 付属金物一式 目隠し可動ﾙｰﾊﾞｰ(RY型 同等)	ｱﾝｸﾞﾙ 付属金物一式	カムラッチ フリクションステー アングル 付属金物一式	トップラッチ バランサー アングル 付属金物一式
建具見込	80mm	80mm	80mm	80mm	80mm
備考	可動網戸(ｻﾗﾝﾈｯﾄ) 建具枠(四方):W=119[MDF]t=20	可動網戸(ｻﾗﾝﾈｯﾄ) 建具枠(四方):W=119[MDF]t=20	可動網戸(ｻﾗﾝﾈｯﾄ) 建具枠(四方):W=119[MDF]t=20	横引きﾛｰﾙ網戸(ｻﾗﾝﾈｯﾄ) 建具枠(四方):W=119[MDF]t=20	固定網戸(ｻﾗﾝﾈｯﾄ) 建具枠(四方):W=119[MDF]t=20

記号・取付場所					
姿図・寸法					
形式・数量					
仕上					
ガラス					
金物					
建具見込					
備考					

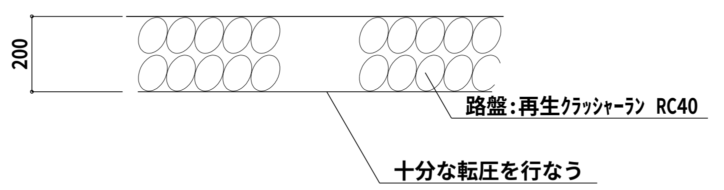
Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp
一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912
設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date H 23 ・ 3 ・
Scale 1/50
Title H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事
Drawing Title 金属製建具表
Sheet No. D-20 / D-21
整理番号 11005

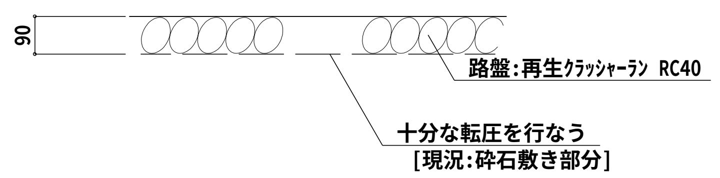
2011/5/16



案内図



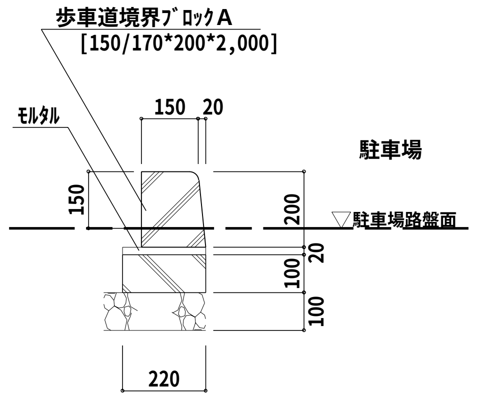
砕石舗装①



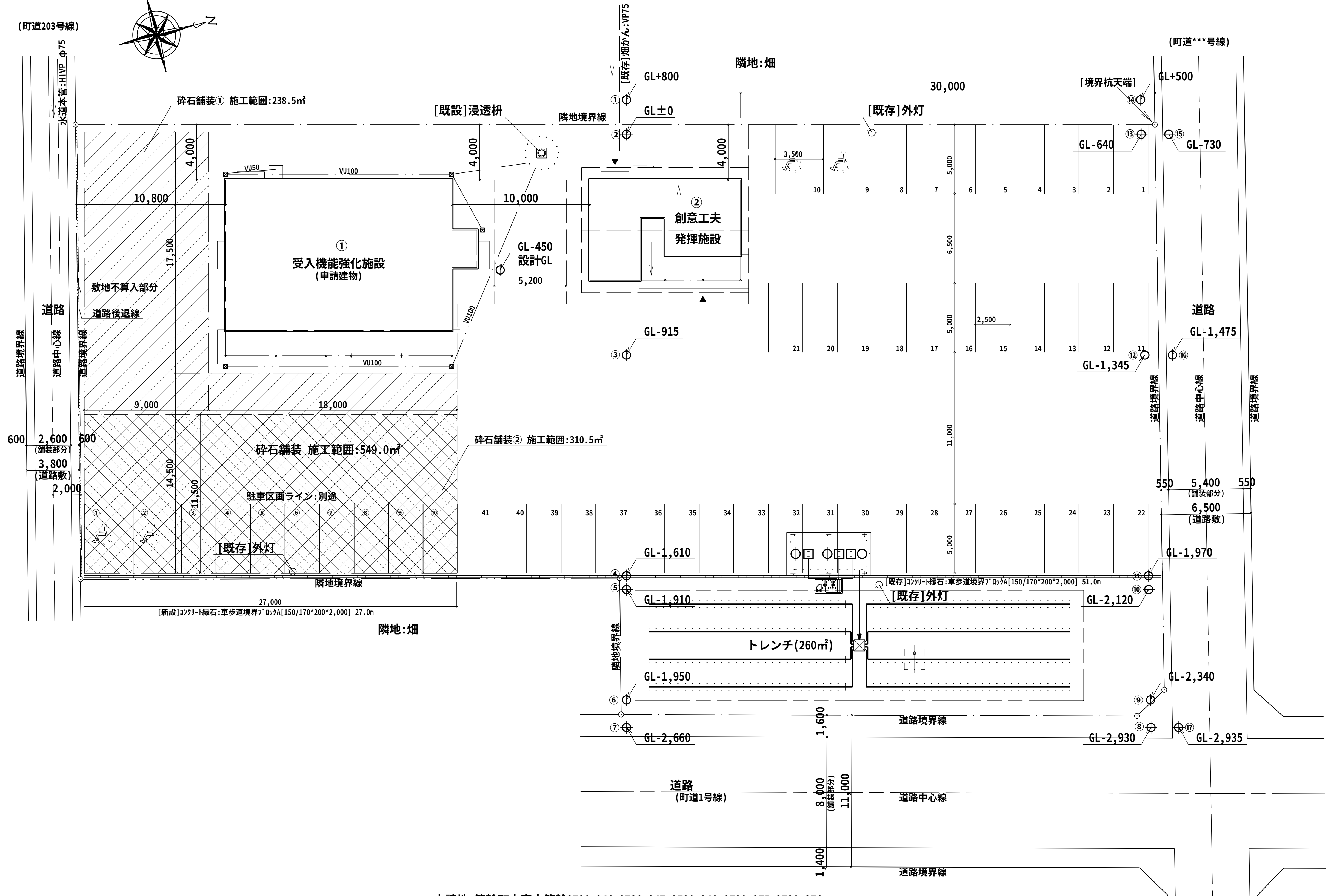
砕石舗装②

※1.現況の土を砕石に置き換える
※2.残土は指定場所に運搬を行なう(運搬距離:約3㎞)

駐車場 路盤構成 SCALE 1/20



ｺﾝｸﾘｰﾄ縁石 詳細図 SCALE 1/20



申請地:箕輪町大字中箕輪3730-246,3730-247,3730-248,3730-275,3730-276

配置図 SCALE 1/300

① 現況地盤高を示す

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録	(上伊)D第39211号
管理建築士	堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2 Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912	

設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date: H 23 ・ 3 ・
Scale: 1/300 1/20

Title: H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title: 外構図 詳細図

Sheet No. D-21 / D-21
整理番号 11005

2011/5/16

各設計図に質疑のある場合の優先順位は、１.見積要項　２.質疑応答書　３.特記仕様書　４.設計図　５.共通仕様書(営繕協会)とする。

構 造 設 計 標 準 仕 様

適用は ◉ 印を記入する。

１．建築物の構造内容

（1）工事名称 H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事

工事場所 長野県 上伊那郡 箕輪町 大字中箕輪 3730-246,3730-247,3730-248,3730-275,3730-276

（2）工事種別 ◉ 新築　□ 増築　□ 増改築　□ 改築

（3）構造種別

◉ 木造(W)　□ 補強ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造(CB)　□ 鉄骨造(S)
□ 鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造(RC)　□ 壁式鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造(WRC)　□ 鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造(SRC)
□ ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造(PRC)
□ 壁式ﾌﾟﾚｷｬｽﾄ鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造(WPRC)

（4）階　数

地下　階　　地上 １ 階　　塔屋　階

（5）主要用途 その他（農産物加工施設）----［０８９９０］

（6）屋上付属物

□ 広告塔　□ 高架水槽:　ton　□ 煙突
□ ｷｭｰﾋﾟｸﾙ:　ton　□　□

（7）増築計画 □ 有(　　　)　◉ 無

（8）付帯工事

□ 門扉　□ ﾌｪﾝｽ　□ 擁壁　□　□　□

（9）特別な荷重

□ ｴﾚﾍﾞｰﾀｰ:　人乗(ﾛｰﾌﾟ式 ・ 油圧式)　□ ﾎｲｽﾄ:　ton　□ ﾘﾌﾄ:　ton
□ 倉庫床積載荷重:　kg／㎡　□ 受水槽:　ton　□

（10）その他

２．使用構造材料

（1）コンクリート

適用箇所	種　類	設計基準強度	スランプcm	備　考
捨コンクリート	◉ 普通	Fc= □ 15 ◉ 18	15	
土間コンクリート	◉ 普通	Fc= □ 18 ◉ 21	18	
基礎、基礎梁	◉ 普通	Fc= □ 18 ◉ 21 □ 24	18	
柱、梁、床、壁	□ 普通 □ 軽量	Fc= □ 18 □ 21 □ 24	18	比重
２～ＲＦ床	□ 普通 □ 軽量	Fc= □ 18 □ 21 □ 24		比重　1.9
押えコンクリート	□ 普通 □ 軽量	Fc= □ 15 □ 18 □ 21	18	比重
ﾗｯﾌﾟﾙｺﾝｸﾘｰﾄ	□ 普通	Fc= □ 15 □ 18 □ 21	18	

（2）コンクリートブロック（ＣＢ）

□ Ａ種　□ Ｂ種　□ Ｃ種　t= □ 100　□ 120　□ 150　□ 190

（3）鉄筋

	種　類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	◉ SD295A	D16 以下	基礎・スラブ	◉ 重ね継手 全て
	□ SD295B			
	□ SD345	D19,D22		□ ガス圧接継手
	□			
丸　鋼	□ SD235			□ 特殊継手
溶接金網	□	6φ 150*150		(　　　)

（4）鉄骨

	種　類	使用箇所	現場溶接	備　考
鋼　材	□SS400 □SM400A □SM400B		□ 有 □ 無	
	□STKR400 □STKR490 □BCR295		□ 有 □ 無	
	□SM490A □SM490B		□ 有 □ 無	
	□SSC400		□ 有 □ 無	

（5）ボルト

□ 高力ボルト　□ F10T □ F8T □ S10T　認定品　(□M12 □M16 □M20 □M22)
□ 中ボルト　φ=　φ=　高力ボルトすべり係数試験 □ 要 □ 否
◉ アンカーボルト　φ=12　Zマーク品

□ 頭付スタッド

（6）屋根、床、壁　　使用箇所

□ ＡＬＣ版　t=
□ 折板　形式:　Ｈ＝　ｔ＝
□ 折板　形式:　Ｈ＝　ｔ＝
□ デッキプレート　形式:　ｔ＝
□ キーストンプレート　形式:　ｔ＝
□ 特殊デッキプレート　形式:　ｔ＝

３．地　盤

（1）地盤調査資料

◉ 有 (◉ 建設敷地内 □ 近隣) □ ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ調査 □ 平板載荷試験 □ 水平地盤反力係数の測定
◉ ｽｴｰﾃﾞﾝｻｳﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ調査
□ 無 (調査予定　□ 有　□ 無)

（2）地盤調査計画

□ ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ調査　□ 静的貫入試験　□ 標準貫入試験　□ 水平地盤反力係数の測定
□ 土質試験　□ 物理調査　□ 平板載荷試験　□

（3）地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある

（4）ボーリング標準貫入値、土質構成

深度	土　質	N値	標準貫入試験 10 20 30 40 50 60	
0.5				○調査地番
1.0				
1.5				○位置図
2.0				
2.5				
3.0			別添 スウェーデン式サウンディング調査報告書参照	
3.5				
4.0				
4.5				
5.0				
5.5				
6.0				○支持地盤、地層及び深さについてのコメント
6.5				
7.0				
7.5				
8.0				
8.5				○孔内水位
9.0				
9.5				
10.0				
10.5				
11.0				
11.5				○備考
12.0				

４．地業工事

（1）直接基礎 ◉ ベタ基礎　□ 布基礎　□ 独立基礎　試験掘 □ 有 □ 無

深さ:GL- 0.65 m　支持層:　長期許容地耐力度: 20ｋＮ／㎡
載荷試験 □ 有 ◉ 無

（2）杭基礎　支持層:

杭　種	材　料	施　工　法	備　考
□ＲＣ □ＰＣ □ＰＨＣ □Ｈ鋼 □鋼管 □摩擦杭 □	PC (□A種 □B種 □C種) PHC(□A種 □B種 □C種) 鋼材(□SS400 □STK400) □	□打ち込み □埋込み(ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸ工法) □ □ ＢＨ 深礎	大臣認定 第　号 年　月　日
□場所打ち コンクリート杭	ｺﾝｸﾘｰﾄ Fc=210 ｾﾒﾝﾄ量 300 kg／m3 鉄筋 主筋 SD345 HOOP SD295	□ｵｰﾙｹｰｼﾝｸﾞ □拡底杭 □ﾘﾊﾞｰｽｻｰｷｭﾚｰｼｮﾝ □ｱｰｽﾄﾞﾘﾙ □ﾐﾆｱｰｽ □ＢＨ □深礎 (□手 掘 □機械掘)	拡底杭 日本建築ｾﾝﾀｰ認定 第　号 年　月　日

杭仕様　□ 施工計画書承認　□ 杭施工結果報告書
試験杭　(□有 □無)　(□打ち込み □載荷)

杭径（mm）	設計支持力（t）	杭の先端深さ（m）	本数	特記事項

５．鉄筋コンクリート工事

（1）コンクリート

◉ コンクリートはＪＩＳ認定工場の製品とし施工に関してはＪＡＳＳ５による。
◉ セメントは、ＪＩＳ　Ｒ５２１０の普通ポルトランドセメントを標準とする。
◉ 調合計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
◉ 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調合、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
◉ フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で（財）国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を１回の測定ごとに撮影した写真（カラー）を保管し承認を得る。測定結果の回数は、通常の場合、１日１回以上とし、１回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて３回行い、その平均値を試験値とする。
◉ 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体（JASS5T-603）は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み工区ごと、打ち込み日ごととする。また、打ち込み量が150m3をこえる場合は150m3ごとまたは、その端数ごとに１回を標準とする。１回に採取する供試体は、適当な間隔においた３台の運搬車からその必要な本数を採取する。なお供試体の数量は、特別指示なき場合は、１回当り６本以上とし、４週用に３本を用いる。
◉ ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打ち継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。

（2）鉄　筋

◉ 鉄筋はＪＩＳ　Ｇ３１１２の規格品を標準とする。
◉ 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継ぎ手位置、継手の重ね長さ、定着長さは、「鉄筋コンクリート構造配筋標準図」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図」による。
◉ D22未満は、すべて重ね継手とする。継手をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
□ ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと（200箇所を超えるときは、200箇所ごと）に１回行い、１回の試験は５本以上とする。外観検査 □有 □無、引張試験 □有 □無、超音波探傷試験 □有 □無
◉ 柱の帯筋（ＨＯＯＰ）の加工方法は、 ◉ Ｈ型（タガ型） □ Ｗ型（溶接型） □ Ｓ型（スパイラル型）とする。
◉ コンクリート及び鉄筋の試験は、「建築物の工事における試験及び検査に関する＊＊＊＊取扱要綱」第４条の試験機関で行うこと。
　試験機関名
　代行業者名
代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

（3）型　枠

□ 材料　合板厚 12mmを標準とする。　◉ 打合せにより金属製型枠パネルの使用も可
◉ 型枠最小存置期間－－－圧縮強度とは材令日数経過後に確認すべき強度とする。

種類 / 部位 / セメントの種類 / 存置期間の平均気温		せき板 基礎、はり側、柱、壁 早強ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ	せき板 基礎、はり側、柱、壁 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ 高炉ｾﾒﾝﾄA種 ｼﾘｶｾﾒﾝﾄA種	せき板 スラブ下、はり下 早強ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ	せき板 スラブ下、はり下 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ 高炉ｾﾒﾝﾄA種 ｼﾘｶｾﾒﾝﾄA種	支柱 スラブ下 早強ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ	支柱 スラブ下 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ 高炉ｾﾒﾝﾄA種 ｼﾘｶｾﾒﾝﾄA種	支柱 はり下 早強ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ 高炉ｾﾒﾝﾄA種 ｼﾘｶｾﾒﾝﾄA種
材令	15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
	5～15℃	3	5	6	10	12	25	28
	5℃未満	5	8	10	16	15	28	28
圧縮強度		50Ｎ／mm2		設計基準強度の50%		設計基準強度の 85%		100%

注）　１．片持ち梁、庇、スパン9.0m以上の梁下は、工事監理者の指示による。

注）　２．大梁の支柱の盛りかえは行わない。また、その他の梁の場合も原則として行わない。

注）　３．支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。

注）　４．盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。

注）　５．支柱の盛りかえは、小梁が終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。

注）　６．上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

６．鉄骨工事

（1）鉄骨工事は指示のない限り下記による

□ 日本建築学会「ＪＡＳＳ６」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
□ 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
□

（2）工事監理者の承認を必要とするもの

□ 製作工場　□ 製作要領書　□ 工作図　□ 施工計画書
建設省告示第１１０３号による認定工場（大臣認定　グレード県登録　ランク）
□ 材料規格証明書または試験成績書
□ 鋼材　□ 高力ボルト　□ 特殊ボルト　□ スタッドジベル
□ 社内検査表　□　□

（3）工事監理者が行う検査項目

(□ 印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
□ 原寸検査　□ 組立・開先検査　□ 製品検査
□ 建方検査

（4）接合部の溶接は下記によること

□ ＊＊＊＊アーク溶接工事管理規準（建築構造設計指針第１２章）
□ 鉄骨造等の建築物の工事に関する＊＊＊＊取扱要綱（建築構造設計指針第１２章）
□ 日本建築学会「溶接工作規準、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」

（5）接合部の検査

□ 溶接部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検 査 箇 所	検 査 方 法	検査率又は検査数 社 内	第三者	工事監理者	備　考
□ 突合せ溶接部	超音波探傷試験	100 %/個	30 %/個	100 %/個	
□	外観（目視）検査	100 %	100 %	100 %	
□	マクロ試験・その	%	%	%	
第三者検査機関名	Ｃ．Ｉ．Ｗ				
第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。					

注）現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。

□ 高力ボルトは「ＪＩＳ　Ｂ１１８６の高力ボルト」を標準とする。摩擦面の処理は黒皮などを座金外径２倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あらさが50Ｓ以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。

□ 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として２度締めとする。
締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行なわれているか検査する。

（6）防錆塗装

□ 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。錆止めペイントは、ＪＩＳ　Ｋ５６２１、２回塗りを標準とする。
□ 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し２回塗りとする。

（7）耐火被覆の材料

□ 柱:ケイカル板 t=25　梁:ロックウール吹付 t=30

７．設備関係

◉ 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。
◉ 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
◉ 床スラブ内に設備配管等を埋め込む場合はスラブ厚さの1／3以下とし管の間隔を5cm以上とする。

８．その他

◉ 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
◉ 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。

□

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp
一級建築士事務所登録　(上伊)D第39211号
管理建築士　堀口　隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836　Fax 0265 - 79 - 8912
設計担当者　一級建築士　第229022号　堀口　隆

Date	Title	Drawing Title	Sheet No.
H 23 ・ 3 ・	H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事	構造設計標準仕様	S-01 / S-07
Scale			整理番号 11005

2011/5/16

配 筋 基 準 図

１．　一般事項

１．１　適用範囲

・鉄筋コンクリート構造、鉄筋鉄骨コンクリート構造、壁式鉄筋コンクリート構造、
補強コンクリートブロック構造、コンクリートブロック塀、
コンクリートブロック帳壁に適用する。

・構造図に記入のない事項は本基準図を適用する。また、本基準図で、配筋方法等の
優先順位は、○印が最優先とし、次に※印を優先とする。

１．２　鉄筋の記号及び表示

記号		○	×	∅	⊗	⊗	⊙	●	◎
鉄筋径	異形鉄筋	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32
	丸　鋼	9φ	13φ	16φ	19φ	22φ	25φ	28φ	32φ

・特記で丸鋼と指定されている場合は、その径を鉄筋径該当の径に読み替える。
・この基準図では上表の記号を使用しない。

表示方式			例
異形鉄筋	n－Dd	n:本数　Dd:呼び名	3－D16
	Dd－@L	Dd:呼び名　@:間隔　L:距離	D16－@200
丸鋼	n－dφ	n:本数　d:直径　φ:丸鋼	3－16φ
	dφ－@L	d:直径　φ:丸鋼　@:間隔　L:距離	9φ－@200

２．　鉄筋の加工

２．１　鉄筋の折曲げ基準

末端部

曲げ角度	折曲げ図		SR235 SRR235	SD295 SD345 D16以下	SD295 SD345 D19以上	SD390	使用個所
180		D	3d	3d	4d	5d	柱、梁の主筋、杭基礎のベース筋、径16mm以上の鉄筋
		l	11d	11d	12d	14d	
135		D	3d	3d	4d	−	径13mm以上の鉄筋、あばら筋、帯筋、床版筋、スパイラル筋
		l	11d	11d	12d	−	
90		D	3d	3d	4d	−	T形、L形梁のあばら筋
		l	11d	12d	12d	−	
135 / 90		D	3d	3d	4d	−	布基礎のベース筋、巾止筋
		l	8d	8d	8d	−	
		l'	9d	9d	10d	−	

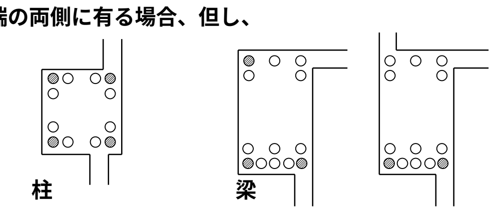
（折曲げ図中の表記：4d以上、6d以上、8d以上）

注１．Dは曲げ内法直径、l、l'はフック部分の長さ

中間部

曲げ角度	折曲げ図		～D16	D19 ～D25	D29 ～D38	使用個所
90以下		D	3d	3d	−	あばら筋、帯筋、スパイラル筋
		D	4d	6d	8d	床版筋、壁筋
		D	3d	6d	8d	その他

1　丸鋼の末端部には、フックを付ける。
2　異形鉄筋の末端部には、下記の場合にフックを付ける。
・柱の四隅に有る鉄筋で重ね継手及び最上階の柱図に有る場合(下図◎印部分)
・梁主筋の重ね継手か、梁の出隅及び下端の両側に有る場合、但し、
基礎梁を除く(下図◎印部分)
・煙突の鉄筋（壁の一部となる
場合を含む）
・杭基礎のベース筋、帯筋、
あばら筋、巾止め筋



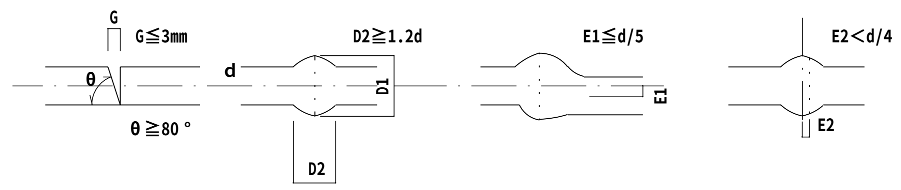
２．２　鉄筋の継手長さ、定着長さ

鉄筋の種類	設計基準強度 普通	設計基準強度 軽量	フック無し L1	フック無し L2	フック無し L3 小梁	フック無し L3 スラブ	フック有り L1	フック有り L2	フック有り L3 小梁	フック有り L3 スラブ
SD295A SD295B SD345 SDR295 SDR345	150 ～ 180		45d	40d	25d	10d かつ 150mm以上	35d	30d	15d	10d かつ 150mm以上
	210 ～ 240	210 ～ 270	40d	35d			30d	25d		
	270 ～ 360		35d	30d			25d	20d		
SD390	210 ～ 240	210 ～ 270	45d	40d			35d	30d		
	270 ～ 360		40d	35d			30d	25d		
SR235 SRR235	150 ～ 180		—	—			45d	45d	25d	150mm以上
	210 ～ 240	210 ～ 225	—	—	—	—	35d	35d		

注意　１．L1:継手、並びに下記　2.及び3. 以外の定着長さ。
２．L2:異形鉄筋で、割裂破壊の恐れのない箇所の定着長さ。
３．L3:小梁及び床版の下端筋の定着長さ。但し、基礎耐圧版、これを受ける
小梁を除く。
４．フックのある場合の、L1 L2 L3はフック部分を含まない。
５．直径の異なる鉄筋の重ね継ぎ手長さは、細い方の鉄筋の継ぎ手長さとする。
６．D29以上の鉄筋は、重ね継ぎ手としてはならない。
７．D19以上の鉄筋は、原則としてガス圧接とする。

２．３　ガス圧接・継手

１．鉄筋径の差が5mmを越える場合は圧接としてはならない
２．ガス圧接の形状は以下の通りとする。



鉄筋の継手相互のずらし方

重ね継手	L　a　L　a＝L／2　　L　a　L　a＞L／2
圧　接　a≧400	a

ただし、床版、壁の場合を除く

２．４　鉄筋のあき

鉄筋相互のあきは下記の値のうち最大のもの以上とする。
１．粗骨材の最大寸法の1.25倍以上
２．25mm
３．丸鋼の径及び異形鉄筋の径(呼び名の数値)の、1.5倍以上

異形鉄筋	1.5d+D　D　D	丸　鋼	2.5d　d　d

注　D:鉄筋の最外径　　d:鉄筋径

２．５バーサポート・スペーサの種類のおよび数量・配置の標準

部位	スラブ	梁	柱
種類	コンクリート製 鋼　製	コンクリート製鋼製 プラスチック製	コンクリート製鋼製 プラスチック製
数量配置	上端筋、下端筋 各々1.3個／㎡	間隔1.5m程度	上段は第一段の帯筋の位置 中段は柱の中間 柱幅1.0mまで2個 1.0mまで3個
部位	基　礎	基礎梁	壁・地下外壁
種類	コンクリート製 鋼　製	コンクリート製鋼製 プラスチック製	コンクリート製鋼製 プラスチック製
数量配置	面積 4㎡程度　8個 16㎡程度　20個	間隔 1.5m程度	上段は第一段目の壁筋 中段は上段より1.5m下 横間隔は1.5m程度

注意　１．側梁以外の梁は上または下に設置し、側梁は側面にも設置する。
２．基礎梁は上または下と側面に設置する。

２．６　鉄筋のかぶり厚さ

部位			かぶり厚さ(mm)
土に接しない部分	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋　内	30
		屋　外	40 (1)
	柱 梁 耐力壁	屋　内	40
		屋　外	50 (2)
	擁　壁		50 (3)
土に接する部分	柱・はり・床スラブ・耐力壁		50
	基　礎・擁　壁		70

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp
一級建築士事務所登録　(上伊)D第39211号
管理建築士　堀口　隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836　Fax 0265 - 79 - 8912
設計担当者
一級建築士　第229022号　堀口　隆

Date　H 23 ・ 3 ・
Scale

Title　H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title　鉄筋コンクリート構造配筋標準図

Sheet No.　S-02 ／ S-07
整理番号　11005

2011/5/16

木構造 特記仕様書 1

1．一般事項

（1）適用範囲

本仕様書は建築物および工作物の構造上主要な部分に木材を用いる工事に適用する。

◉は適用項目を示すものとする。

（2）設計図書

設計図書とは本仕様書、設計図、指示書（現場説明書および質疑回答書を含む）をいう。

（3）標準仕様書

設計図書に記載なきものは「住宅金融公庫監修・木造住宅工事共通仕様書」及び「国土交通大臣官房官庁営繕部監修・木造建築工事共通仕様書」に準ずる。

上記の仕様書に記載なき場合は、公共規格かこれに準ずる規格を適用する。

（4）設計図書の優先順位

設計図書の優先順位は下記による。

1．指示書（現場説明書及び質疑回答書）
2．設計図
3．本仕様書
4．標準仕様書

（5）疑義

疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。

（6）製作要領書及び施工計画書の作成・提出

工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。

（7）施工図及びプレカット図の提出

工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。

（8）製作工場の選定、承諾

設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける。

（9）各種試験・検査報告書の提出

施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

2．材料の品質

2.1 木質材料

（1）針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材

本項の内容は特記無き限り、針葉樹の構造用製材及び広葉樹の製材及び枠組壁工法構造用製材等の日本農林規格に準ずること。

部 位	品 名	樹 種	区分、等級	含水率	その他
梁	構造用製材		甲II－２級かつＥ70	D20	
柱	構造用製材		乙 －２級かつＥ70	D20	

◉ 記入無き梁桁、母屋、タル木等の曲げ材のうち、見えがかり材は目視等級材の甲種２級、見えない部分の木材は甲種３級とする。その他は乙種２級とする。

◉ 主要構造部には機械等級区分製材を用いることを原則とする。

◉ 乾燥の際背割りを行う。但し見えがかり部・相欠き部材・構造用合板の釘接合面には行わない。

◉ 含水率は平均含水率とし下地材等に用いる場合でも含水率Ｄ25以下であることを確認する。

◉ 強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の節、目切れ等に注意して材料を選定し、仕口や接合部に欠点が当たらないように加工する。

◉ 材の曲がりについては、上記にかかわらず目視等級１級相当とする。

（2）構造用集成材、構造用単板積層材(LVL)

本項の内容は特記無きかぎり構造用集成材及び構造用単板積層材の日本農林規格に準ずること。

部 位	品 名 等 級	樹 種	曲げヤング係数区分 水平せん断性能区分	材 面 品 質	接 着 性 能	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ 放 散 量
梁	構造用集成材 E105-F300				環 境 I	F****

（3）構造用合板、構造用パネル

本項の内容は特記無きかぎり構造用合板及び構造用パネルの日本農林規格に準ずること。

部 位	品 名	強度 等級	曲げ性能基準 合板１級	板面 品質	接 着 耐久性	寸法(㎜) 厚（巾×長）	ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ 放 散 量
耐力壁	構造用合板	２級	－	C－D	１類	12㎜	F****
屋根	構造用合板	２級	－	C－D	特類	12㎜	F****

・構造用合板はできるだけ大きい寸法のものを用いる。

2.2 ファスナー

ここに示すファスナーや接合金物などは、木質構造の接合部に適用する。ファスナーや接合金物等に錆を生じるおそれのある場合は適切な防錆処理を施す。鋼材の表面処理は特記による。

標準メッキ処理は、溶融亜鉛メッキ： MFZα 電気メッキ： EP-Fe/Znとする

（1）くぎ、木ネジ、特殊ネジ

種 類	材 質	適 用 径	使用箇所 頭部／胴部の形状
◉Ｎ釘	・鉄 ・ｽﾃﾝﾚｽ鋼	N19～N150	
◉ＣＮ釘	・鉄	CN25～CN150	耐力壁、床板、屋根
◉ＢＮ釘		BN25～BN125	
◉ＺＮ釘		ＺＮ４５～９０	
◉ＧＮ釘		GNF25～GNF125	石膏ボード用
◉ＳＮ釘		3.05 ㎜	シージングインシュレイションファイバーボード
◉木ネジ	・軟鋼線材		
◉特殊ネジ	・ｽﾃﾝﾚｽ鋼		
◉コースレッド	・真鍮		

（2）ボルト、ナット

種 類	材 質	適 用 径	表面処理、部品等級など
◉呼び径六角ボルト	・SS400	M3～M36	・電気メッキ
◉有効径六角ボルト	・SS400	M3～M20	
◉全ネジ六角ボルト	・SS400	M3～M36	
◉ステンレスボルト	・SUS304		
◉アンカーボルト	・SS400	M12～M24	・溶融亜鉛メッキ

・材質は鋼、ステンレス鋼、非金属。径と長さの組み合わせは 「JI参照」1180」

（3）座金

適 用	材 質	適 用 径	形状・表面処理 その他
◉座金	・SPCC (JIS G 3131)	M8～M24	・角座金・丸座金
◉	・SPHC (JIS G 3141)		・電気メッキ

・座金は用途ごと（引張、せん断）に下表により使い分ける。

ボルト径に対する座金の大きさ		8	10	12	16	20	24
引張を受けるボルト	厚さ	4.5	4.5	6	9	9	13
	角座金の一辺	40	50	60	80	105	125
	丸座金の直径	45	60	70	90	120	140
せん断を受けるボルト	厚さ	3.2	3.2	3.2	4.5	6	6
	角座金の一辺	25	30	35	50	60	70
	丸座金の直径	30	35	40	60	70	80

（4）ドリフトピン、コーチスクリューボルト、ジベル、シアプレート、木栓

種 類	材 質	適用径・長さ	表面処理、その他
◉ドリフトピン	・SS400	φ9～φ19	・電気メッキ
◉コーチスクリューボルト（ラグスクリュー）	・SWRCH10R (JIS G 3507)	φ9～φ19	・電気メッキ
◉スプリットリング	・SS400	φ64、φ102	
◉シアプレート	・		・電気メッキ
◉木栓	・堅木	M12～M24	

・木栓はナラ・ケヤキ・カシ等で気乾比重0.6以上の広葉樹とし、節や目切れ等の欠点の無いものとする。

（5）接合金物、鋼材

種 別	材 質	表面処理	適用、形状、その他
◉Ｚマーク	・		
◉Ｃマーク	・		
◉引寄せ金物	・		
◉その他の金物	・		
◉鋼材	・SS400	・溶融亜鉛メッキ	・設計図中の特記による

（6）接着剤（接着接合）

ここでいう接着接合とは、建設現場で用いるものを対象とし、内容は特記による。

3．材料品質の検査方法

現場または加工工場に搬入された製材等は、加工に先立ち下記の要領で受け入れ検査を実施し、監理者に報告する。また監理者の立会いを要する検査については、指定された試験要領に基づいて、適時抜取り検査を実施する。社内検査で試験本数や抜取り率の指定がない場合は原則全数とする。検査の結果、性能を満たさない材料については適用箇所を変更する等の措置を行うこと。

（1）針葉樹の構造用製材、広葉樹の製材、枠組壁工法構造用製材

（数値は%を示す）

部 材	確認する仕 様	確認者	材種等級	外観検査	寸法検査	含水率測定 表示	全乾重量法	含水率計	ヤング係数測定 表示	静的試験	動 的試 験
梁		社内	100	100	100		10本	100		10本	100
		監理者	○	○	○			○		○	○
柱		社内	100	100	100	検査後		10			
		監理者	○	○	○	木口記入		○			
トラス材		社内	100	100	100	検査後		10			
		監理者	○	○	○	木口記入		○			
梁・桁		社内	100	100	100	検査後		10			
		監理者	○	○	○	木口記入		○			

・監理者欄の○は立会い検査が必要であることを示す。

・材種・等級は表示を確認し、外観・寸法検査は日本農林規格に準じて行う。

・含水率やヤング係数は刻印された表示の確認を原則とし、全乾重量法や動的曲げ試験は公的試験場にて行う。含水率計は住木センター認定品を、曲げヤング係数は全国木材組合連合会の認定品を用いて測定することを原則とする。

・全乾重量法や静的曲げ試験は１荷口につき確認する試験本数を示す。試験体は実際に使用する同一部材の中から抽出し、木材の試験方法（JIS Z 2101）に準ずる。

・動的曲げ試験の判定基準は日本農林規格の針葉樹の構造用製材、合板、パネル、の強度区分材に準ずる。

◉ 含水率測定は、乾燥作業直後に行う。

（2）構造用集成材、構造用単板積層材(LVL)

材 料	確認項目	確認の方法
構造用集成材	部材、断面、長さ、数量 樹種、品名、強度、材面の品質、接着性能、ホルムアルデヒド放散量	◉製造工場の認定書等の写し
構造用ＬＶＬ	部材、断面、長さ、数量 樹種、曲げヤング係数、水平せん断、接着性能、ホルムアルデヒド放散量	□日本農林規格(JAS)表示の確認
構造用合板	寸法、数量 強度、曲げ性能、板面の品質、接着耐久性、ホルムアルデヒド放散量	□立会い目視検査
構造用パネル	寸法、数量 強度、ホルムアルデヒド放散量	

（3）ファスナー

ファスナーの種類	確認項目	確認の方法
くぎ	・材質、胴・頭径部、長さ、仕上げ	◉ ミルシートの写し
木ネジ類	・材質、径、長さ、仕上げ	□ 表示の確認
ボルト・ナット	・材質、径、長さ、仕上げ	□ 木栓曲げ試験
座金	・材質、径、仕上げ	
ドリフトピン	・材質、径、長さ、仕上げ	
コーチスクリューボルト	・材質、径、長さ、仕上げ	
スプリットリング	・材質、径、形状、仕上げ	
シアープレート	・材質、径、形状、仕上げ	
木栓など	・樹種、曲げ強度、比重	

・設計図書に明記されたファスナーであることを確認すること。同等性能のファスナーを用いる場合には、その主旨を監理者に申し出、承諾を得ること。また必要に応じて立会いによる性能確認を実施する。

（4）接合金物

接合金物	確認項目	確認の方法
Ｚマーク金物	・材質、形状、仕上げ	◉ ミルシートの写し
Ｃマーク金物	・材質、形状、仕上げ	□ 表示の確認
引き寄せ金物	・材質、形状、仕上げ	
その他の金物	・材質、形状、仕上げ、製造所	
鋼材	・材質、形状、仕上げ、溶接	

・設計図書等に明記された接合金物であることを確認する。同等認定品や性能認定品を用いる場合には、その内容を監理者に申し出、承諾を得る。

4．耐久性（防腐・防蟻・耐候処理）

（1）木材の防腐・防蟻処理

・高耐久材の使用（注：製材の心材あるいは心持ち材又は集成材）

・工場処理材（注：現場の加工、切断、穿孔箇所等は、現場処理に準じる）

ＪＡＳ保存処理材 ： Ｋ５ Ｋ４ Ｋ３ Ｋ２

ＡＱ認証保存処理材： １種 ２種 ３種

・現場処理（注：給排水用塩化ビニル管に接する部分は、管を保護する）

・ 塗布 ・ 吹付 ・ 浸漬 （処理量 300 ㎖/㎡、—処理回数2回）

日本しろあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする

使用部位	高耐久材	工場処理剤		現場処理剤
土台	□ ひば	□ K3	□（ ）	□ 塗布
外周柱下部1m	□ ひのき	□ K3	□（ ）	□（ ）
水周り	（ ）	□ K3	□（ ）	□（ ）
その他		□ K3	□（ ）	□（ ）

（2）土壌処理

◉ 防蟻薬剤による処理：薬剤（ ）

特記無き場合は、日本しろあり対策協会または日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等以上の効力を有するものとする。

□ 蟻薬剤による処理と同等以上の対策 （ ）

□ 土壌処理省略

注：処理範囲は、外周部布基礎の内側、内部布基礎の周辺２０ｃｍ、束石等の周囲２０ｃｍを標準とし、処理方法は日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。

（3）耐候処理（塗装）

□ 造膜型、 ◉ 含浸型、 ・部位（ ）

5．木材の加工

（1）刻み時の注意

製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。

（2）加工寸法の精度（下記の値を標準とする）

・構造用製材、枠組み壁工法用構造製材の断面寸法

□ 図面表示が挽き立て寸法の場合： ±1.5mm以下

□ 図面表示が仕上がり寸法の場合： ＋1.5mm、－0mm以下

・構造用製材、枠組み壁工法用構造製材の材長

□ 軸組工法の継手仕口の場合： ±1.5mm以下

□ ボルト接合工法の場合 ： ±5mm以下

・集成材、構造用単板積層材

短辺： □ ±1.5mm

長辺： □ ±1.5%かつ±5mm以下

材長： □ ±5mm以下 □ （ ）

・ボルト穴径：ｄ+1.5mm（ｄ≦M12）、ｄ+2.0mm（ｄ≧M16)(dはボルト径)

・ドリフトピンの穴径：ｄ±0mm (dはボルト径)

（3）表面仕上げ

□製材 化粧材： 野物材： 板材：

（4）面取り

□柱：（ ） ㎜

□梁：（ ） ㎜

6．接合

（1）仕口、継手の原則

・仕口、継手の方法は構造図による。特記無き場合は １．（３）標準仕様書に示された在来工法用の一般的な適用慣例に従う。一般的な適用慣例については、９．軸組構法接合部標準仕様による。

・採用する方法は監理者の承諾を得る。

・仕口、継手の各部に作用する応力を考慮し、部材の引き抜けが生じないように、原則として羽子板ボルトや木栓など、引張り抵抗をする補強部材を併用する。

（2）釘接合

・釘は材の繊維に対して乱に打ち、割れを生じないように端距離、縁距離、釘間隔を大きく取る。

・釘の長さは材厚の２．５倍以上とする。

・１ヶ所の釘の本数は２本以上とする。

・釘に錆を生じるおそれのある場合は、適切な防錆処理を施す。

・自動釘打ち機を使用する場合は、面材に釘がめり込まないようにする。そのために、釘打ち機の圧力を弱めるか、最後は手打ちを用いるなどの方法による。

・構造用面材を耐力壁とする場合の釘打ち方法は「昭和56年建設省告示1110号」による。

・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。

・小口面に打たれた釘は、引き抜き方向に抵抗させることはできない。

（3）木ネジ接合

・構造耐力上主要な部分において、木ネジを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。

・小口面にねじ込まれた木ネジは、引抜き方向に抵抗させることはできない。

・木ネジの先孔の径：針葉樹・・・主材 0.6ｄ、側材 0.8ｄ
広葉樹・・・主材 0.8ｄ、側材 1.0ｄ (dはボルト径)
（先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの２／３程度とする。）

・ねじ込みには適切な道具を使い、ハンマーなどで打ち込んではならない。

・ねじ込みを容易にしたり、損傷させないために潤滑油を用いてもよい。

（4）ボルト接合

・締め付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適しているものであることを確認する。

・ボルト接合部付近に節・目切れなどの欠点がある場合は、ボルト本数を適切に増加する。

・ボルトの締め付けは、座金が部材にめり込む程度とし、めり込み音が発生した時点で締め付けを完了する。

・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから２山以上突き出ていることを確認する。

・一度締め付けたボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

（5）コーチスクリュー接合

・構造耐力上主要な部分において、コーチスクリューを引き抜き方向に抵抗させることは避ける。

・コーチスクリューの配置間隔、縁距離および端距離、使用する座金は同じ胴部径のボルトに準ずる。

・胴部の先孔の径は胴部と同径とし、長さも胴部と同寸とする。

・ネジ部の先孔の径：比重0.4以上の樹種・・・ネジ径の60～70％
その他の樹種・・・・・・・ネジ径の40～70%
（長さはネジ部の長さと同寸とする。）

・コーチスクリューは先孔にレンチなどで回しながら挿入し、ハンマーなどで打ち込んではならない。

・ねじ込みを容易にするためや、損傷させないために潤滑油を用いてもよい。

（6）ドリフトピン接合

・ボルトやコーチスクリュー等と併用し、ドリフトピンの変形にともなう部材の開きを防止する。

・ドリフトピンは孔に密着させる。

・一度締め付けた併用ボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912

設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

木構造 特記仕様書 2

（7）ジベル接合
・木部材は接合部付近の割れ、節、目切れなどの欠点に注意し、彫込み・打ち込みまたは圧入に際して割れを生じないよう、ジベルの種類に応じた断面と余長をもたせる。
・接合材は十分圧着させる。木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。

（8）既成金物の接合
・羽子板ボルト、ひら金物、短冊金物、かね折り金物および箱金物などの取り付けは、それぞれの仕様に基づき、接合両材の間が密着するように締め付ける。

（9）接着接合
・接合部の耐力は、使用材料および使用方法に適した接着性能の試験を行い確認する。
・接着剤を用いた接合を行う手順は、接着剤製造業者の推奨する接着仕様に従うとし、実験によって接合部に要求される耐力と耐久性が立証された場合はその際の作業条件を標準とする。

（10）その他の方法による接合
・使用材料および使用方法は構造図によるものとし、監理者の承諾を得る。

7．運搬・建て方

（1）輸送計画
製品の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順等を考慮し十分な検討を行う。また、輸送時に製品の品質を損なわないようにする。
◉ 輸送計画書の提出 〔 〕

（2）集積・保管
集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲がりの損傷を与えないように注意する。降雪や降雨に対する保護としてシート養生を行う。ただし、エアコンの効いた室内は乾燥による割れが発生するため避ける。 ◉ 集積場の確認 〔 〕

（3）建方計画
◉ 建方計画書の提出
アンカーボルトの施工方法、建方スペース、建方機械、搬入・仕分け、地組み、足場計画、建方、養生、安全対策などについて検討し、建方計画書としてまとめる。

（4）施工時の安全性
建方作業中および作業後、横架材上に諸材料または機械などの重量物を積載する場合、あるいは柱に大きな引張力を与えるなどの場合は監理者の承諾を受ける。また、強風などによる諸外力に対しては、必要に応じて仮設補強等の処置を施す。
□ 施工時の安全性に対する検討書の提出 □ 施工時荷重条件の通知

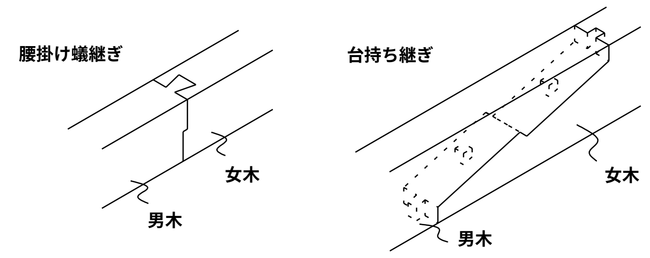
（5）アンカーボルトの施工
・芯出しは、型板を用いて基準墨に正しく合せて適切な機器等で正確に行う。
・アンカーボルトは鉄筋等を用いて組立て、適切な補助材で固定しコンクリートの打ち込みを行う。
・アンカーボルトはダブルナットとする。 □適用除外 〔 〕
・土台の穴あけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。
◉通り芯からの誤差 ： ◉±3mm以下 □〔 〕

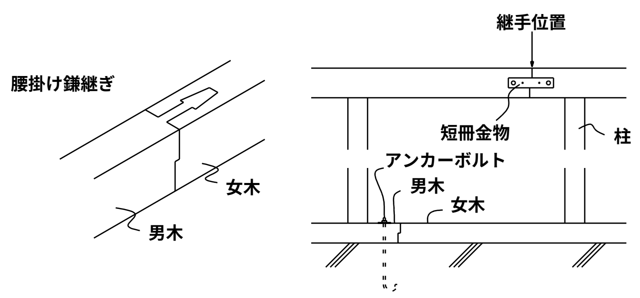
（6）建方精度
・建方の精度基準は下記による。
◉建物の倒れ ： ◉ e≦H／2500+10mm かつ e≦50mm
□ 〔 〕
◉梁の水平度 ： ◉ e≦L／ 700+ 5mm かつ e≦15mm
（節点間のレベル差） □ 〔 〕
◉建物のわん曲 ： ◉ e≦L／2500mm かつ e≦25mm
□ 〔 〕
◉柱据え付け面の高さ及び位置
柱据え付け面の基準高さからの誤差 ： ◉±3mm以下 □〔 〕
通り芯からの誤差 ： ◉±3mm以下 □〔 〕
階高 ： ◉－5mm≦△H≦+5mm
□〔 〕
・建方精度に不具合が発生した場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。

（7）施工状況の検査
・アンカーボルト施工時の立会い検査
◉ 目視による精度確認 □ 計測機器による精度確認 □ アンカーボルト径、間隔
◉ 施工者自主検査記録の提出〔 〕
・地組み時の立会い検査
◉ 目視による精度確認 □ 計測機器による精度確認 □ 材料の加工寸法検査
◉ 施工者自主検査記録の提出〔 〕
・建方時の立会い検査
◉ 目視による精度確認 □ 計測機器による精度確認 □ 材料の加工寸法検査
◉ 施工者自主検査記録の提出〔 〕
・建方後の施工状況の検査
◉ 防腐・防蟻処理 □ 材料の加工寸法検査 □ ファスナーの施工状況
◉ 接合金物の施工状況 □ その他〔 〕
◉ 施工者自主検査記録の提出〔 〕
・最終確認
工事中に発生するボルトの緩み、ファスナーおよび接合金物に影響する材の割れ、接着面のはがれ等に注意を払い、不具合が発生した場合は是正する。補強の必要がある場合は速やかに監理者に報告し対応策を協議する。
◉ 施工者自主検査記録の提出〔 〕

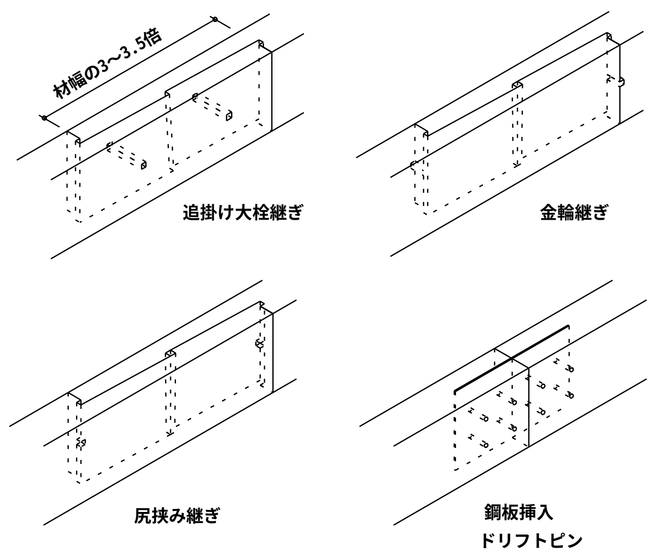
8．軸組構法接合部の標準仕様

（1）横架材同士の継手
1．曲げ応力や引張力を負担しない継手：腰掛け蟻継ぎ、腰掛け鎌継ぎ
・せん断力が大きい場合は台持ち継ぎとする。
・長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。
・逆せん断と引張の補強として短冊金物等を併用すること。
・柱からの持ち出し位置は、連続梁の長期荷重の反曲点付近とする。



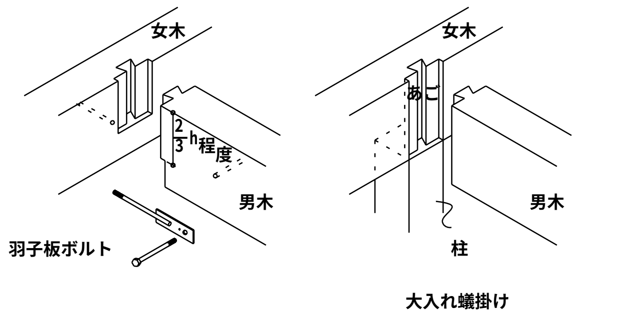


2．曲げ応力や引張力を負担する継手
：追掛け大栓・金輪・尻挟み継ぎ、鋼板挿入ドリフトピン接合
・伝達できるMやTは母材全断面の２割以下と考えること。

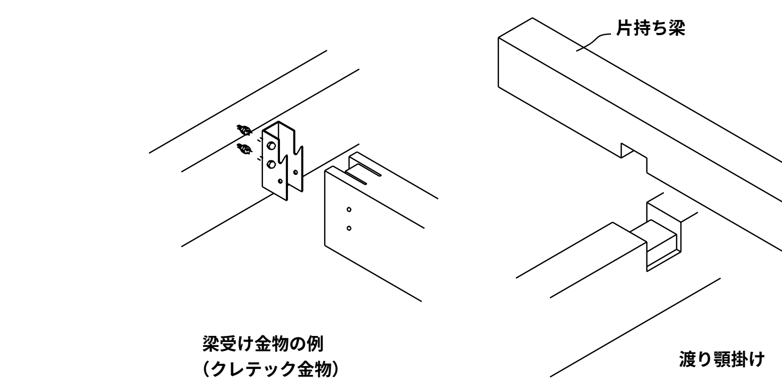


（2）柱の継手
・伝達できるMやTは母材全断面の２割以下と考えること。
・やむを得ず柱の継ぎ手を設ける場合は、曲げと軸力による複合応力の検定を行い安全性を確認する。

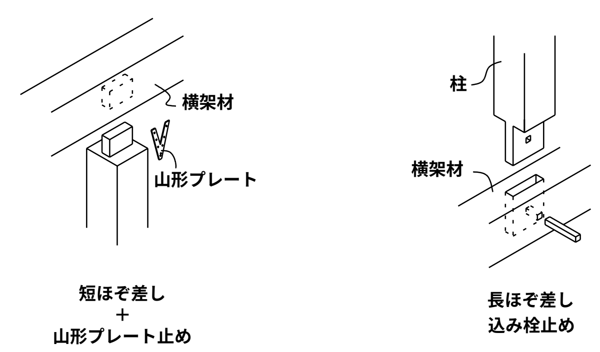
（3）横架材どうしの仕口
1．せん断力が母材全断面の３割以下の仕口：（大入れ）蟻掛け
・長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。
・逆せん断と引張の補強として羽子板ボルト等を併用する。
・男木の梁せいが女木の２／３以下の場合か、仕口直下に柱がある場合には、大入れとしてもよいが、そうでない場合は男木のせいの２／３程度の顎をかける。



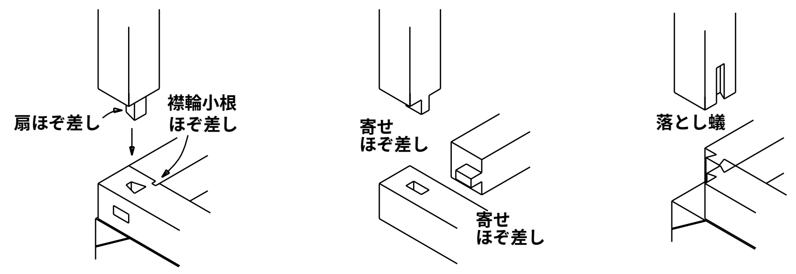
2．せん断力が母材全断面の３割を超える仕口：梁受け金物
・既製品の場合は金物メーカーの許容せん断耐力の値を用い、特注品の場合は構造計算で許容せん断耐力を算出して安全性を確認すること。
3．一方を片持ち梁とする場合：レベル差を設け渡り腮掛け
・逆せん断の補強として羽子板ボルト等を併用すること。



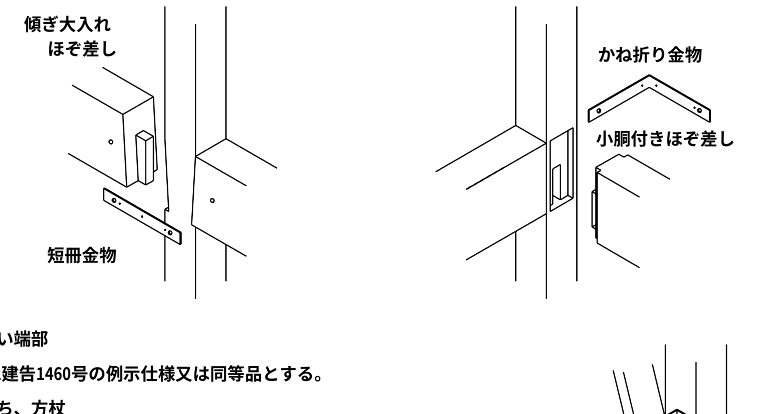
（4）柱と横架材の仕口
1．柱の上下端部：短ほぞ差し、長ほぞ差し込み栓止め
・短期の引張力に対しては、平12建告1460号、N値計算又は許容応力度計算により、必要耐力を有するZマーク金物等を併用すること。



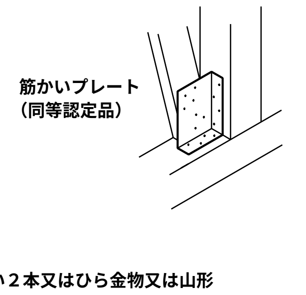
2．土台の出隅入隅部
：土台同士は襟輪小根ほぞ差し又は寄せほぞ差し、柱脚部は扇ほぞ差し又は寄せほぞ差し
（但し、柱勝ちの場合、落とし蟻又は土台をて寄せほぞ差しとする。）
・短期の引張力に対しては、平12建告1460号、N値計算又は許容応力度計算により、必要耐力を有するZマーク金物等を併用すること。落とし蟻の場合は、HD金物を用いる。



3．通し柱と胴差し：小胴付きほぞ差し、傾ぎ大入れほぞ差し、梁受け金物
・梁受け金物以外の仕口には、引張の補強として短冊金物やかね折り金物等を併用すること。

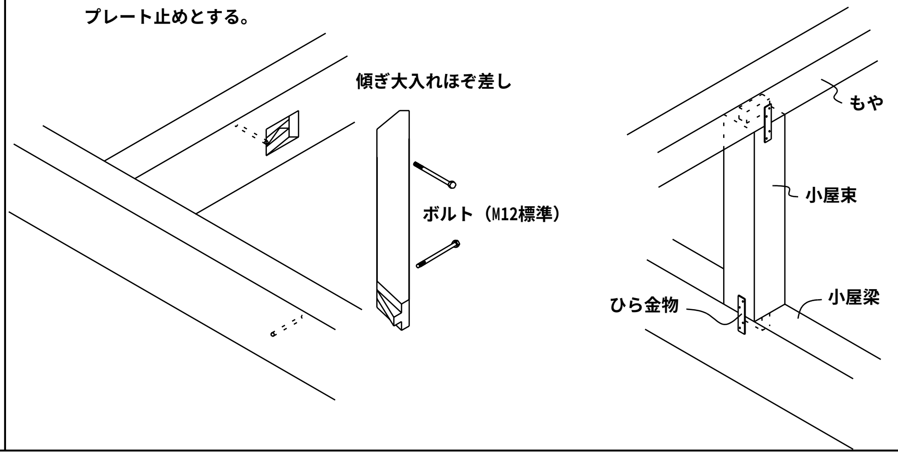


（5）筋かい端部
・平12建告1460号の例示仕様又は同等品とする。

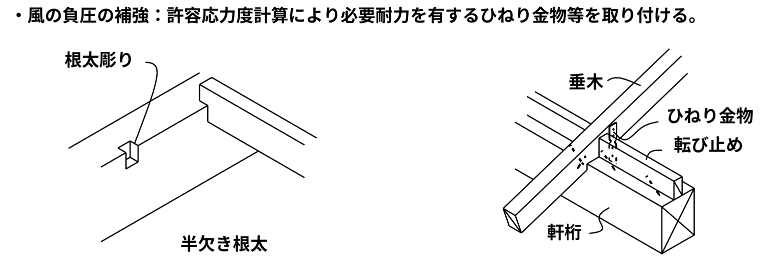


（6）火打ち、方杖
・角材を用いる場合の端部は、
傾ぎ大入れほぞ差し＋ボルト締めとする。
・Zマーク鋼製火打ち又は同等品としてもよい。

（7）小屋束の上下端部
・短ほぞ差し又は長ほぞ差し込み栓止めとする。
・短ほぞ差しの場合、風圧力による引張力の補強として、かすがい２本又はひら金物又は山形プレート止めとする。



（8）根太、捶木と横架材
・落とし込み根太：横架材に大入れ or 根太掛け＋斜め釘
・半欠き根太：横架材に大入れ腮掛け＋斜め釘
・転ばし根太：根太が正角断面の場合、横架材に脳天釘止め
根太が縦長角断面の場合、斜め釘２本＋転び止め
・捶木：横架材に捶木道（たるきみち）を掘り、転ばし根太と同様に止める。
・風の負圧の補強：許容応力度計算により必要耐力を有するひねり金物等を取り付ける。

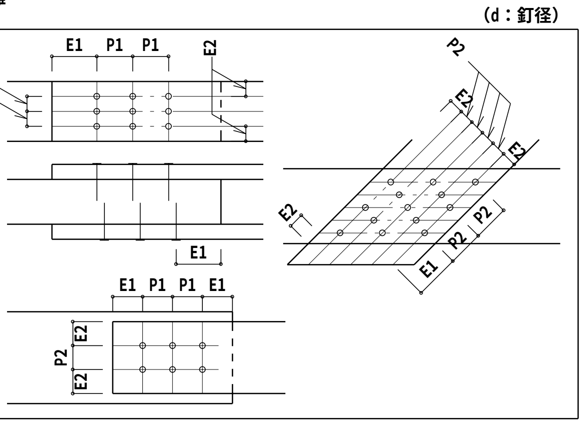


（9）間柱と横架材
・上下横架材に深さ3mm程度大入れ＋斜め釘上部ほぞ差し、下部突き付け＋斜め釘

（10）釘の最小間隔及び最小端あき距離

（d：釘径）

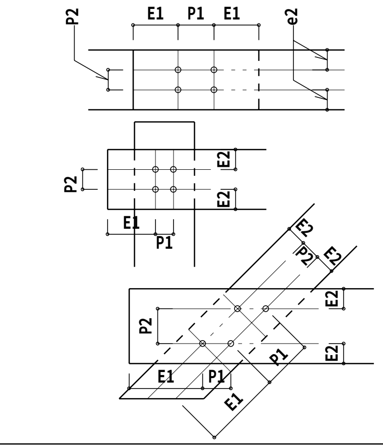
		加力方向	
		繊維方向	繊維直交方向
繊維方向	E1	15d	10d
	P1	12d	10d
繊維直交方向	E2	5d	8d
	P2	5d	8d



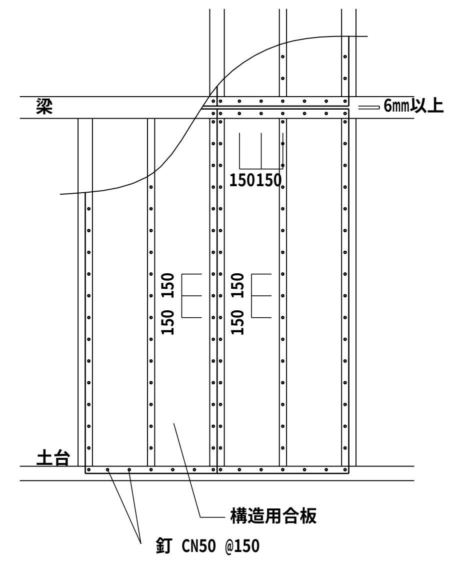
（11）ボルトの最小間隔及び最小端あき距離

（d：ボルト径、t：主材厚）

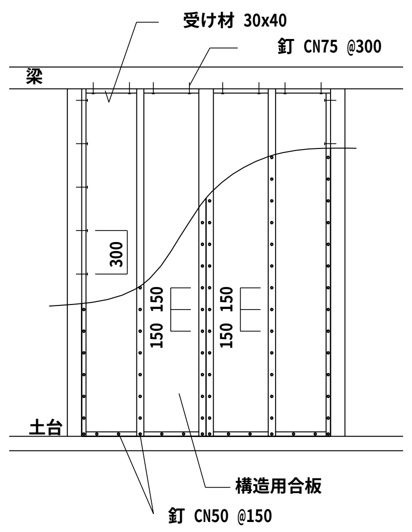
		加力方向	
		繊維方向	繊維直交方向
繊維方向	E1	7d（荷重負担側） 4d（荷重非負担側）	7d
	P1	7d	t/d=2 3d 2≦t/d<6 3d〜5d t/d>6 5d
繊維直交方向	E2	t/d≦6 1.5d t/d>6 1.5dかつP2/2	特記による。特記のない場合は以下の数値とする。 4d（荷重負担側） 1.5d（荷重非負担側）
	P2	3d	4d



（12）面材耐力壁
1．大壁造の場合



2．真壁造の場合

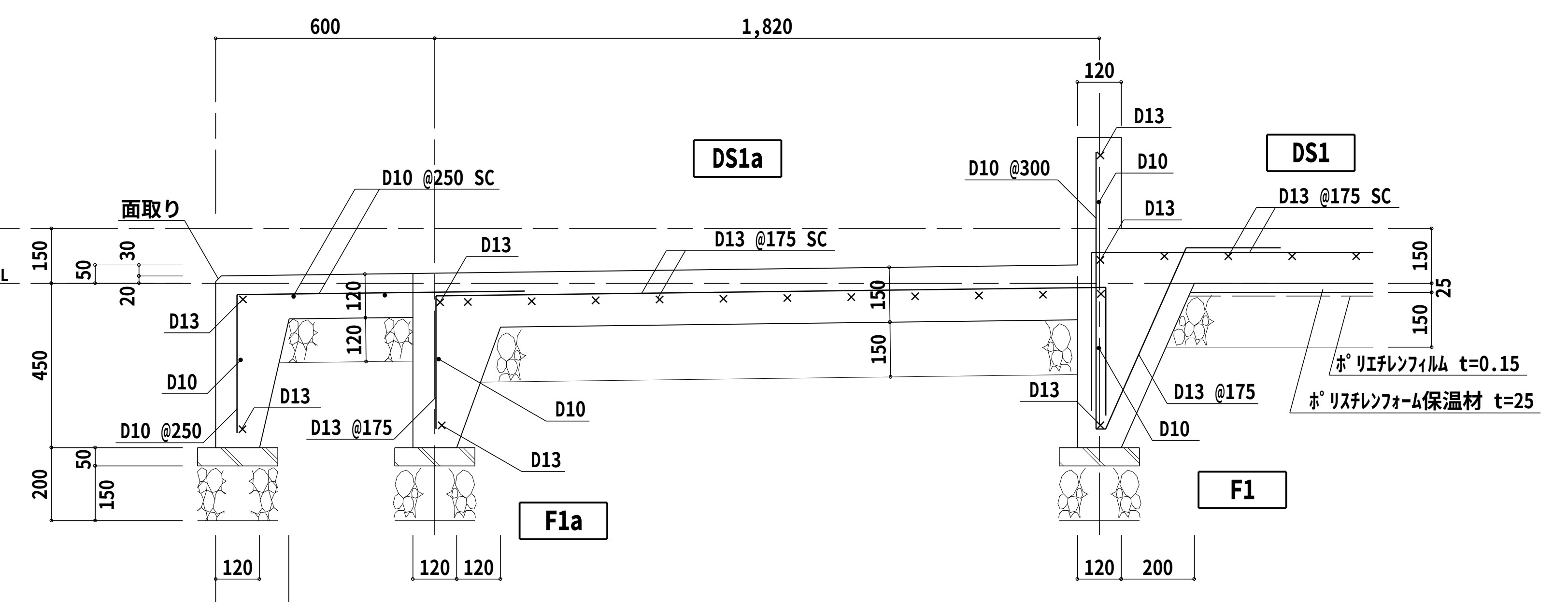


・受け材は柱や横架材にN75-@300以下で平打ちする。

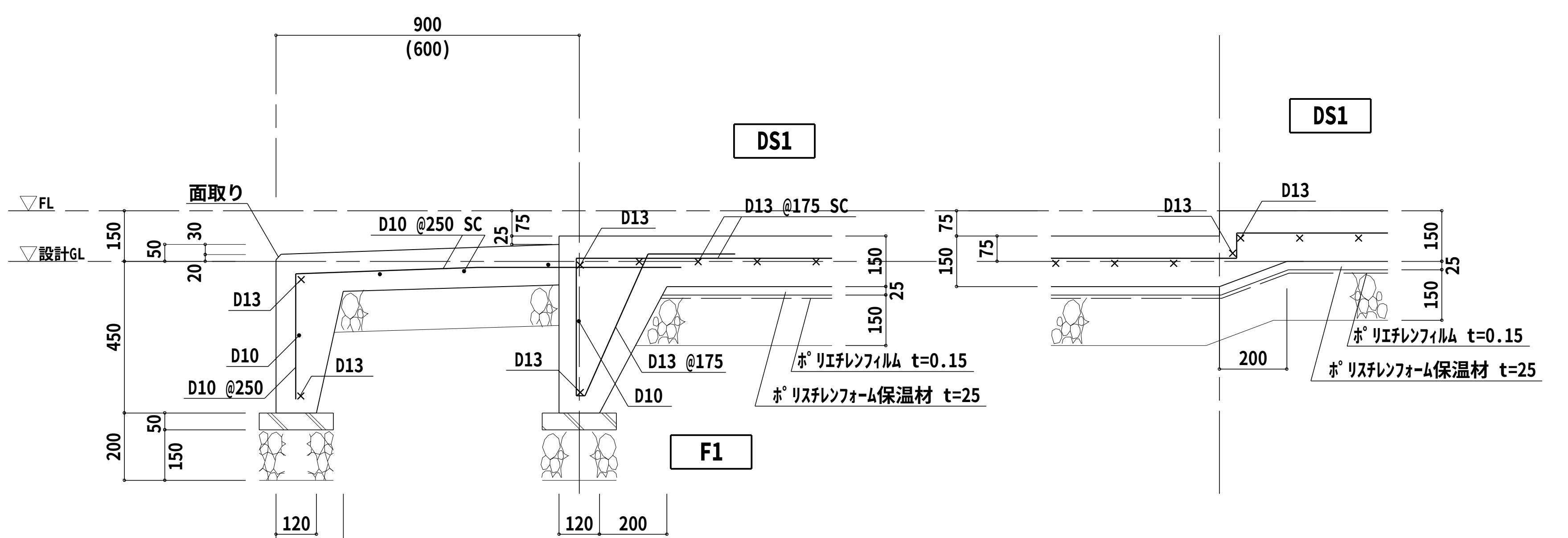
Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp
一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912
設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date	Title	Drawing Title	Sheet No.
H 23 ・ 3 ・	H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事	木構造 特記仕様書 2	S-04 / S-07
Scale			整理番号 11005

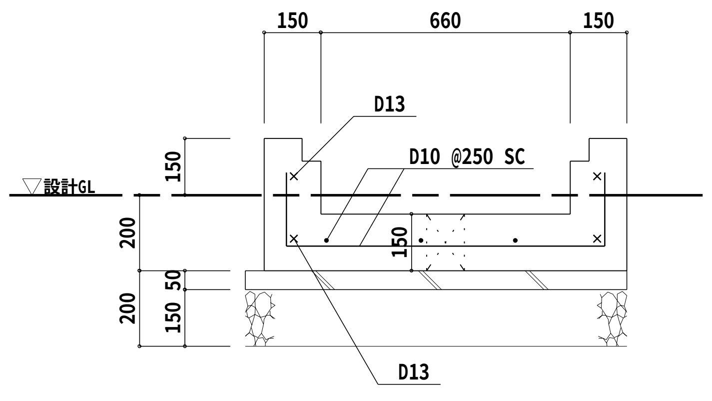
2011/5/16



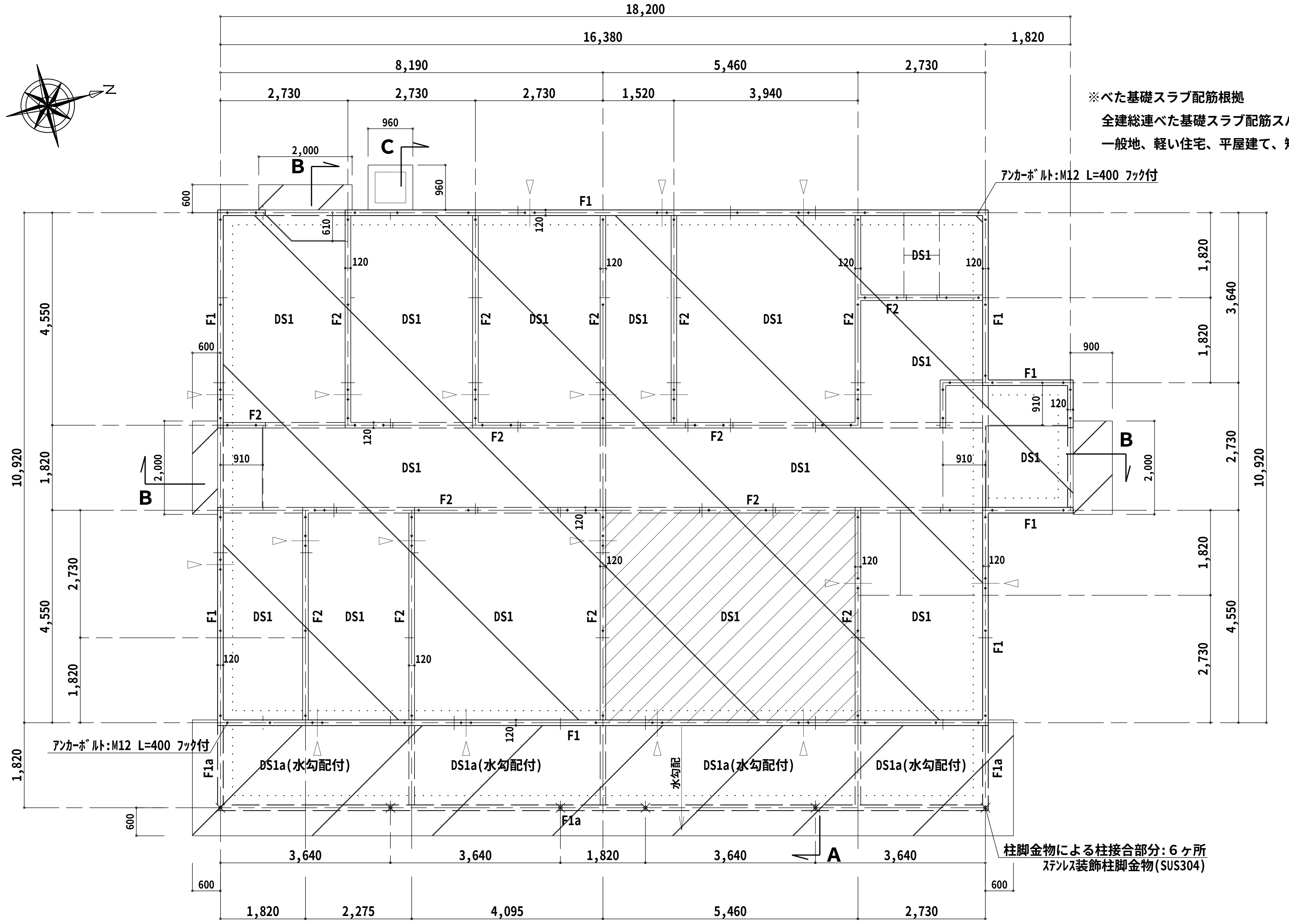
A部分 詳細図 SCALE 1/20



B部分 詳細図 SCALE 1/20



C部分 詳細図 SCALE 1/20



※べた基礎スラブ配筋根拠

全建総連べた基礎スラブ配筋スパン表より

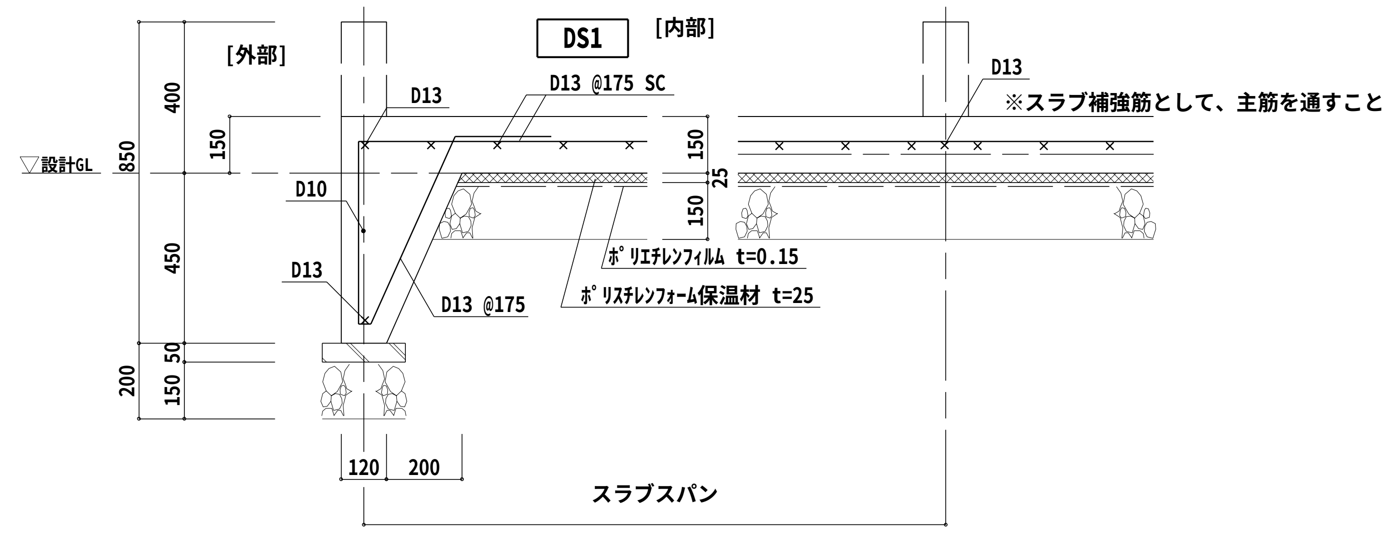
一般地、軽い住宅、平屋建て、短辺:5m以内、長辺:6m以内----スラブ t=150 D13@175SC

※スラブ仕上は、すべてコンクリート打同時金ゴテ押え

基礎伏図 SCALE 1/100

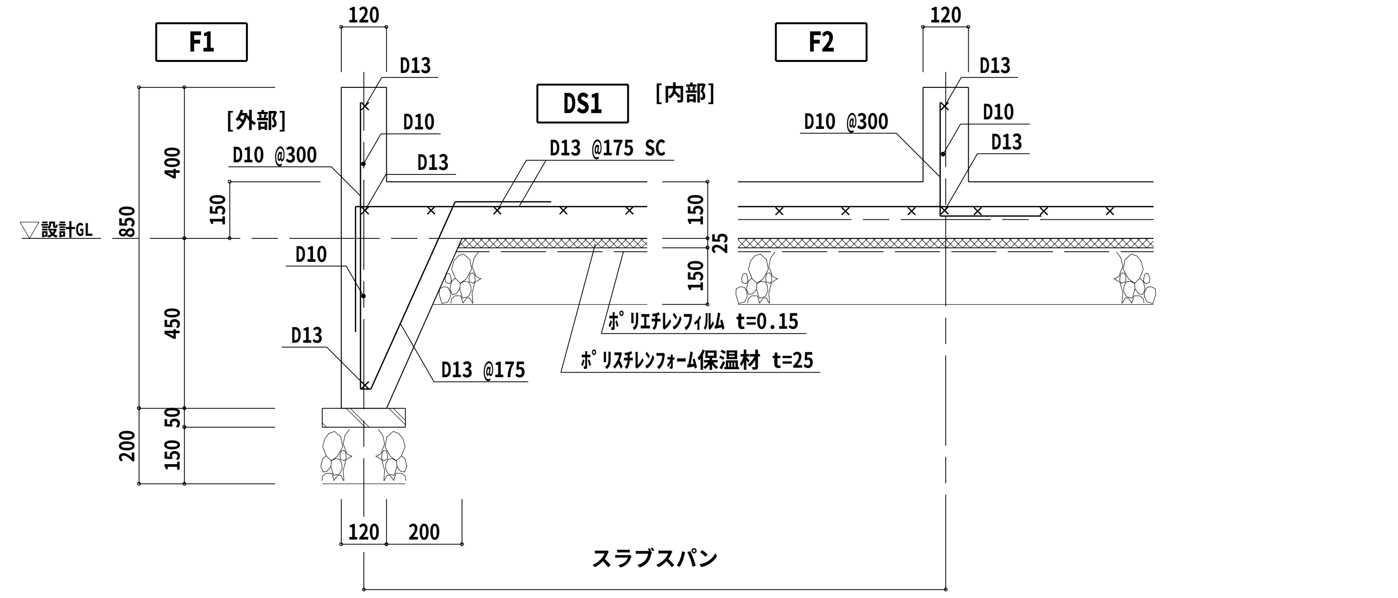
◎ ホールダウン専用アンカーボルト: なし

▨ 短辺方向最大スパンスラブ部分を示す



基礎立ち上りがない場合

基礎 詳細図 2 SCALE 1/20



基礎 詳細図 1 SCALE 1/20

注1：土に接する部分の鉄筋最小かぶり厚さは６０mm

注2：隅角部の補強は、①もしくは②とする

①各横筋を折り曲げた上、直交する他方向の横筋に300mm以上重ね合わせる

②予め工場等で加工し、組み立てられた鉄筋を使用する場合、隅角部を480mm程度重なるよう

Ｌ字型に加工した鉄筋にて補強

使用材料等	
材料名	種類
鉄筋	SD295A
躯体ｺﾝｸﾘｰﾄ	Fc=21N/mm² S=18cm

地盤補強工法:置換工法

※ＳＳ調査の結果により、表層地盤からH=750の土を取り除き、良質土に置き換え入念な転圧を行なうこと。また監理者の承認を得た後に次工程に進むこと。

凡 例	
◆	アンカーボルト:M12 L=400 フック付
◎	ホールダウン(HD-B**)専用アンカーボルト(フック付) ※L=600～1,000:金物取付状況を検討し、選択すること。
═	基礎立上り W=120 部分
═ ═	基礎立上りなし W=120 部分
▽	土台継手箇所(想定)を示す 現場において施工図により設置箇所を検討すること

注意1:アンカーボルトは図示以外、土台切れ箇所、土台継手及び土台仕口箇所にも取りつけること。

《基礎に用いるコンクリートの調合及び強度等》

１.普通コンクリート(JIS A5308 によるJIS表示許可工場の製造品)

２.コンクリート強度の気温による補正値(T)は下表により指定する。ただし、下表に示す気温未満の場合は打合せによる。

コンクリートの打込み後28日までの期間の予想平均気温の範囲(℃)	8以上	0以上 8未満
コンクリート強度の気温による補正値Ｔ	3	6

３.図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて公共建築工事標準仕様書(建築工事編)[国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 平成２２年版]による。

Horiguchi Architect & Associates

堀口設計事務所

E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

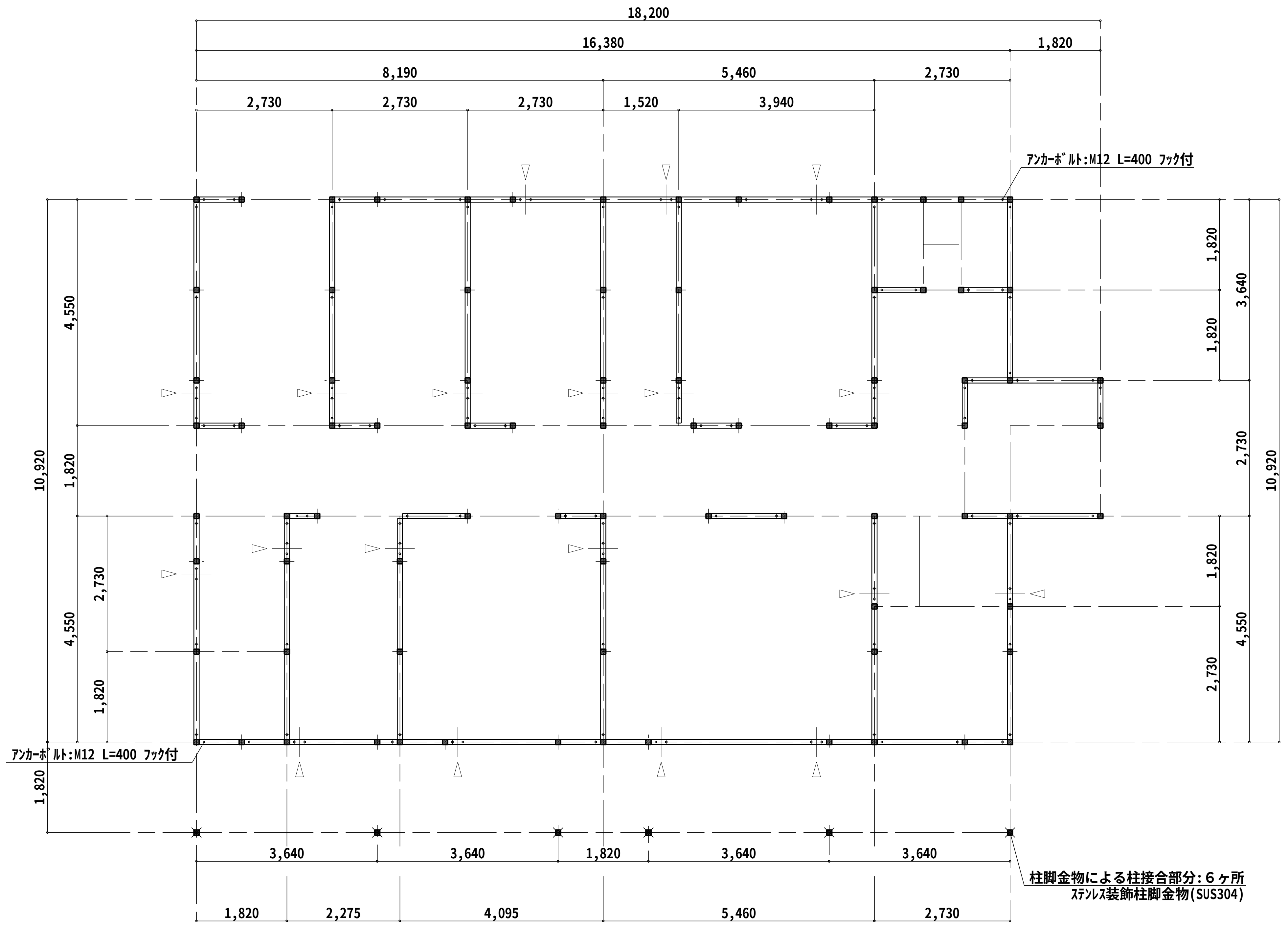
一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号

管理建築士 堀口 隆

〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912

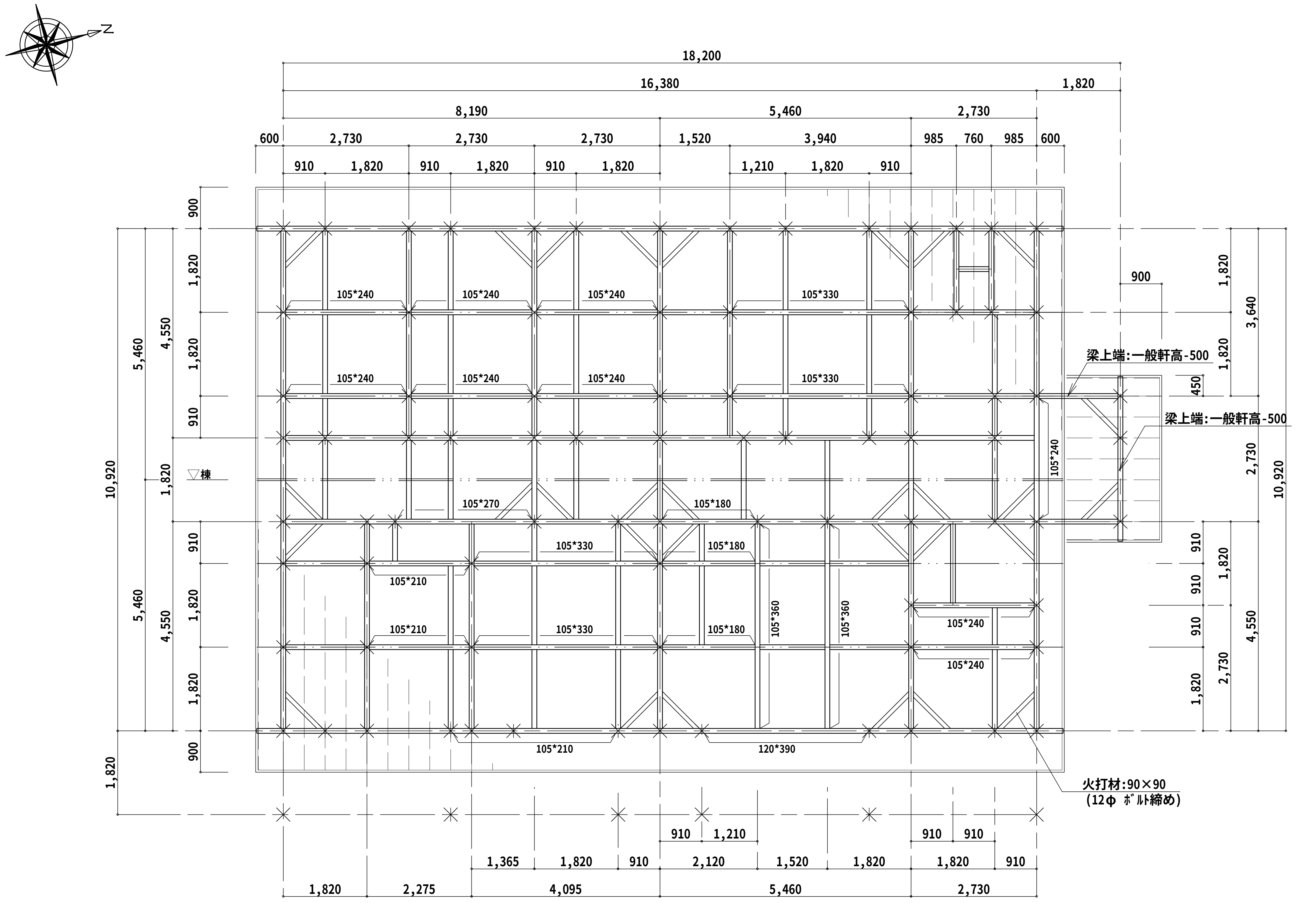
設計担当者	Date	Title	Drawing Title	Sheet No.
一級建築士 第229022号 堀口 隆	H 23 ・ 3 ・	H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事	基礎伏図 基礎詳細図	S-05 / S-07
	Scale 1/100 1/20			整理番号 11005

2011/5/16

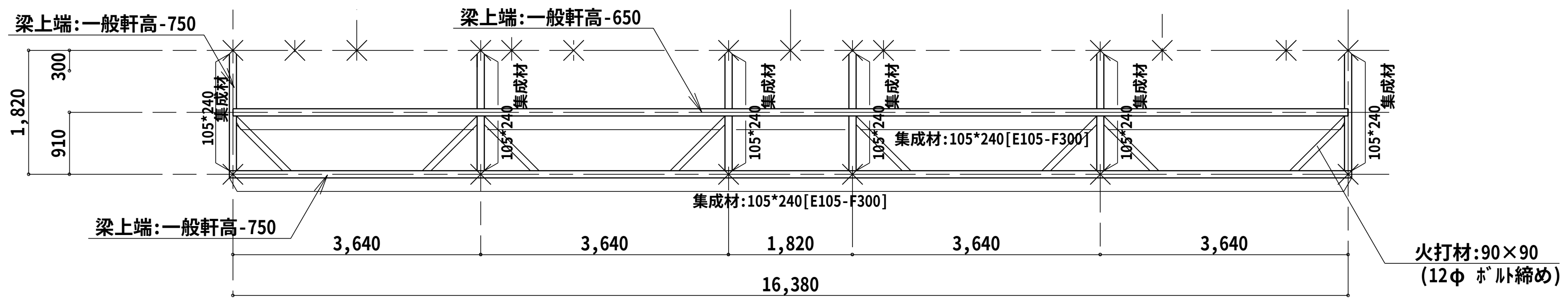


土台・柱伏図 SCALE 1/100

◎ ホールダウン専用アンカーボルト: なし



小屋伏図 SCALE 1/100



下屋部分 小屋伏図 SCALE 1/100

土台 凡例

・	柱		上部 柱を示す (105*105)
・	土台		105*105

※防腐、防蟻措置:GL+1,000以内の外壁軸組、外壁木系下地[環境対策品を使用のこと]

凡 例	
◦	アンカーボルト:M12 L=400 フック付
◎	ホールダウン(HD-B15)専用アンカーボルト(フック付) ※L=600～1,000:金物取付状況を検討し、選択すること。
▽	土台継手箇所(想定)を示す 現場において施工図により設置箇所を検討すること

注意1:アンカーボルトは図示以外、土台切れ箇所、土台継手及び土台仕口箇所にも取りつけること。

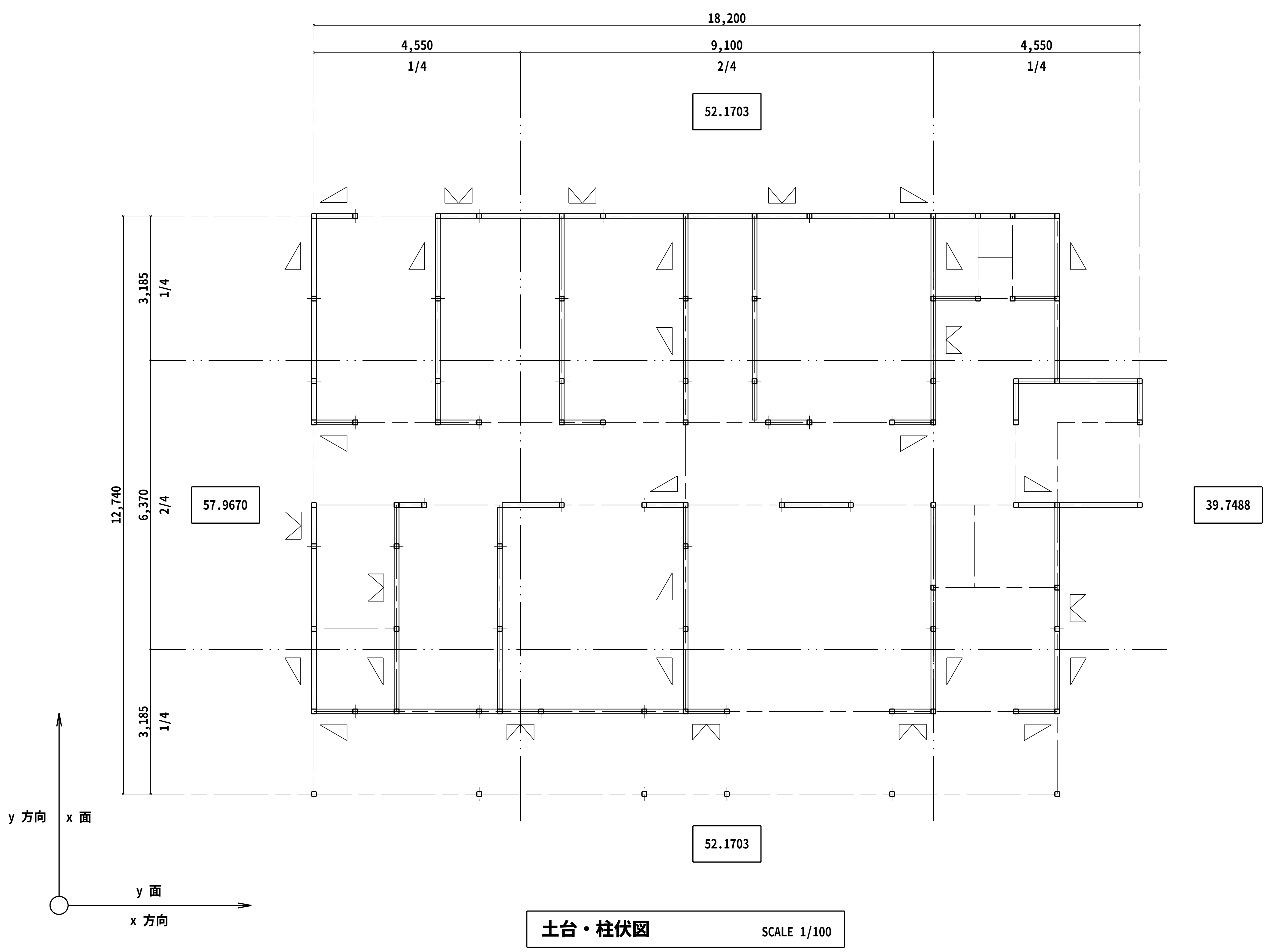
小屋 凡例

・ 柱		下部 柱を示す
・ 梁		特記なき部材は 105*105 とする [梁材はすべて米松KD材とする]
・棟 木		105*120
・母 屋		105*105 @1,820
・タ ル キ		45*105 @ 455

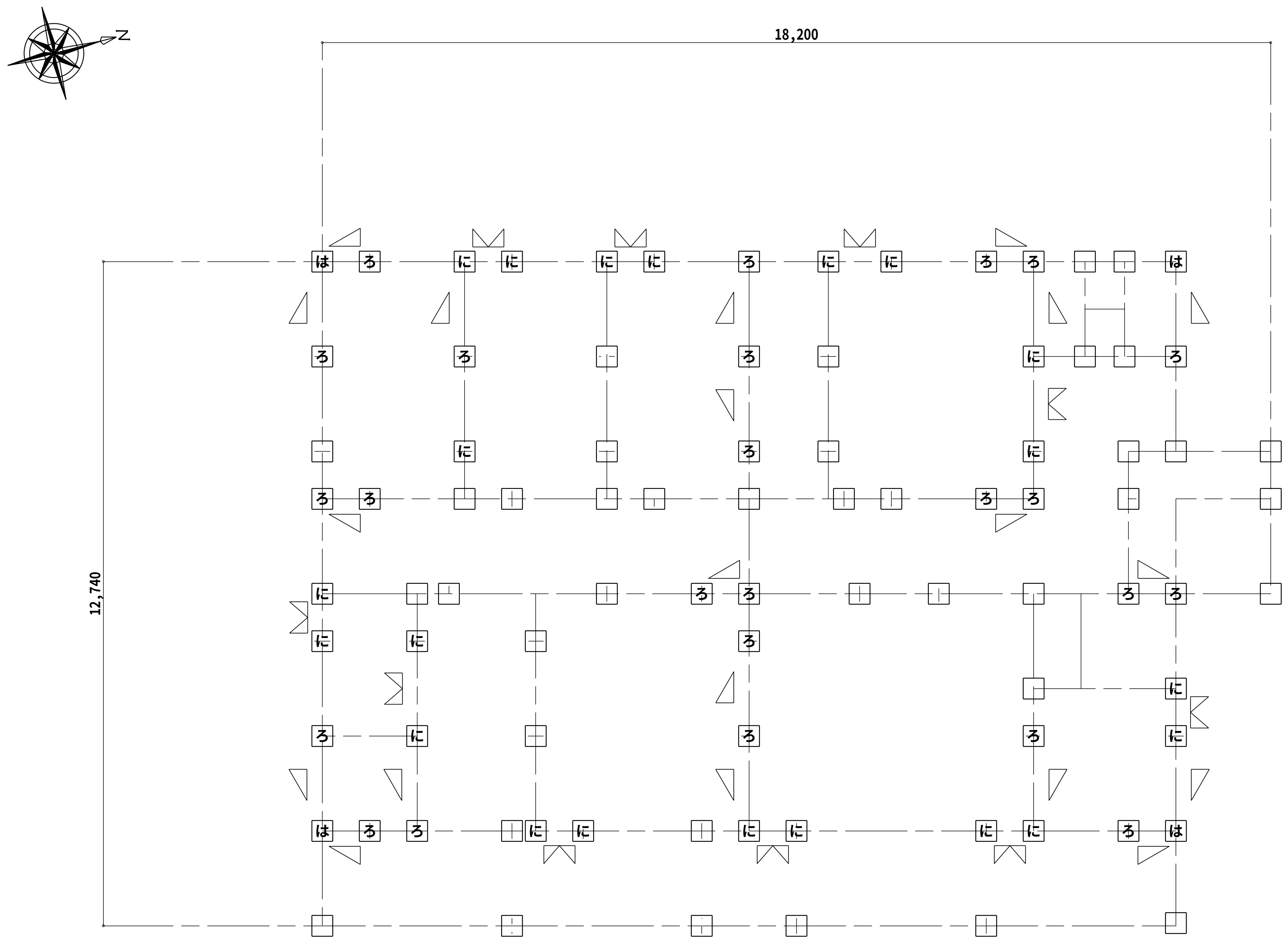
Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp
一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912
設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date	H 23 ・ 3 ・
Scale	1/100
Title	H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事
Drawing Title	土台・柱伏図 小屋伏図
Sheet No.	S-06 / S-07
整理番号	11005

2011/5/16



土台・柱伏図 SCALE 1/100



※Ｈ12建告1460号による

接合金物 位置図 SCALE 1/100

※筋かい端部における仕口[厚さ4.5cm以上で幅9cm以上の木材]
厚さ2.3mm以上の鋼板添え板を、筋かいに対して経12mmのボルト締め及び長さ50mm、経4.5mmのスクリューくぎ7本の平打ち、
柱及び横架材に対してそれぞれ長さ50mm、経4.5mmのスクリューくぎ5本の平打ちとしたもの

凡　　例

(片筋かい記号)	筋かい	45 * 90
(タスキ掛記号)	筋かい	45 * 90 (タスキ掛)

ろ　柱と横架材との仕口(接合部)の仕様を示す[表示なき部分は、（い）とすることができる]
(告示1460号　表三)

片筋かいの、方向を示す（柱頭／柱脚）

柱と横架材との仕口(接合部)の仕様

記号	仕　　様	Ｎ値	接合耐力 (kN)
(い)	短ほぞ差し、及び かすがい打	0	0.00
(ろ)	長ほぞ差し込み栓打、又は Ｌ字形かど金物[CP-L]、くぎCN65:5本	0.65	3.44
(は)	Ｔ字形かど金物[CP-T]、くぎCN65:5本 山形プレート金物[VP]、くぎCN90:8本	1.0	5.92
(に)	羽子板ボルト φ12mm(スクリューくぎ なし)、又は 短冊金物(スクリューくぎ なし)	1.4	7.41
(ほ)	羽子板ボルト φ12mm(スクリューくぎ:L=50,φ4.5)、又は 短冊金物(スクリューくぎ)	1.6	8.47
(へ)	10kN用引き寄せ金物[HD-B10]	1.8	9.53
(と)	15kN用引き寄せ金物[HD-B15]	2.8	14.82
(ち)	20kN用引き寄せ金物[HD-B20]	3.7	19.58
(り)	25kN用引き寄せ金物[HD-B25]	4.7	24.87
(ぬ)	15kN用引き寄せ金物[HD-B15]*2枚	5.6	29.64

Horiguchi Architect & Associates
堀 口 設 計 事 務 所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録　(上伊)D第39211号
管理建築士　堀口　隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912

設計担当者
一級建築士　第229022号　堀口　隆

Date: H 23 ・ 3 ・
Scale: 1/100

Title: H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title: 壁量算定図　接合金物 位置図

Sheet No. S-07 / S-07
整理番号 11005

2011/5/16

電気設備工事 特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1 工事名称　H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事

2 工事場所　長野県 上伊那郡 箕輪町 大字中箕輪 3730-246,3730-247,3730-248,3730-275,3730-276

3 用途地域等　都市計画区域（⊙内 ・外）　用途地域（　無指定　）
防火地域等（・防火 ・準防火 ⊙指定なし ・２２条）
その他の地域・地区（　）

4 主要用途　その他（農産物加工施設）----[０８９９０]
[建築基準法 特殊建築物に該当しない]　[消防法 別表第１--（１２）-イ]

5 着工前の提出　青(白)焼縮小（Ａ３版）２つ折製本２部、青(白)焼（Ａ２版）２つ折製本１部を工事打合せ用として提出のこと
(分離発注の場合においても、他工事図面の合本を原則とする)

6 工事種目（⊙印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別			屋外	備考
⊙電灯設備					
⊙動力設備					
・電熱設備					
・雷保護設備					
・受変電設備					
・静止形電源設備					
・発電設備					
・構内情報通信網設備					
⊙構内交換設備					
・情報表示設備					
・映像・音響設備					
・拡声設備					
・誘導支援設備					
・テレビ共同受信設備					
・監視カメラ設備					
・防犯・入退室管理設備					
・自動火災報知設備					
・中央監視制御設備					
・構内配電線路					外灯設備を含む
・構内通信線路					
・電波障害調査	別紙仕様書による				

7．指定部分　※ なし　⊙ あり　（工　期：平成２３年度内----詳細は入札条件による）
（対象部分：　）

Ⅱ．電気設備工事特記仕様

1 共通事項

（１）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書 電気設備工事偏（平成２２年版）」，~~公共建築改修工事標準仕様書 電気設備工事編(平成２２年版)」（以下「標準仕様書」という。）~~
及び同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編 平成２２年版)」（以下「標準図」という。）による。

（２）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。

2 特記事項

（１）項目は番号に⊙印の付いたものを適用する。
（２）特記事項は，⊙印の付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。
⊙印と※印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	① 適用基準等	・ 工事写真の撮り方 建築設備偏（改訂２版）
	② 機材等	（１）本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。 （２）本工事に使用する材料は，揮発性有機化合物の放散しないもの，または放散量の極めて少ないものとする。 （３）使用する材料のホルムアルデヒド仕様は，日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し，監督職員の承諾を受ける。 また，「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（(社)公共建築協会）によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は，評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	④ 保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し，写しを監督職員に提出する。
	5．雇用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努める。
	⑥ 施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し，監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書及び施工図等を作成し，監督員の承諾を受ける。
	⑦ 手続き	工事の着手，施工及び完成において，官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上，請負者が遅滞なく処理する。なお，当該手続きに係る費用は請負者の負担とする。
	⑧ 工事実績情報の登録	請負代金額が５００万円以上の工事については、工事実績情報の登録を行うものとする。
	⑨ 事故報告	施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑩ 電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては，電気保安技術者を置くものとする。
	⑪ 工事用電力，水，他	本工事に必要な工事用電力，水などの費用は引渡まですべて請負者の負担とする。
	⑫ 工事用仮設物	構内につくることが　※ できる　・ できない
	13．監督員事務所	※ 設けない　・ 設ける（　号・・・建築工事）
	⑭ 足場，さん橋類	⊙ 別契約の関係請負者が設置したものは，無償で使用できる。　・ 本工事で設置する。 なお，枠組足場を設ける場合は，「手すり先行工法に関するガイドライン」（厚生労働省平成１５年４月策定）により，設置については「手すり先行工法による足場設置基準」（ガイドライン別紙）による「働きやすい安心感のある足場」とする。 また，改善措置機材による場合は，手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するよう努める。
	⑮ 発生材の処理	※ 廃棄物は，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し，構外搬出のうえ，適切に処分する。 また，廃棄物の搬出処分について，施工計画書を提出し，監督職員の承諾を受け，処分が終了したときは，報告書を提出する。なお，図面に示された発生材の数量に相違が生じた場合は，設計変更の対象とする。 ・ 本工事は，「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成１２年５月３１日法律第１０４号）の対象工事とする。本工事の落札が決定した業者は，分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち，当該工事に該当する別表及び工程表を作成し，契約締結前に，契約担当者等に説明書を提出するものとする。 また，特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは，同法第１８条に基づいて書面により報告する。 ・ 再資源化を図るもの

・ 特定建設資材廃棄物以外の発生材
・ 引渡しを要するもの（　）
・ 特別管理産業廃棄物（・ ＰＣＢ使用機器　・　）
・ その他安定型廃棄物（　）
受入施設名・所在地：
・ その他管理型廃棄物（　）
受入施設名・所在地：

・ 再生資源利用計画等の提出
次のものの利用及び処理を行う場合は，「＊＊＊建設副産物処理設計積算要領」（＊＊＊＊＊＊＊）に基づき，再生資源の利用計画等を施工計画書に含め監督職員に提出し，また，工事完了時には建設副産物の処理結果報告書を監督職員に提出する。
工事現場に搬入するもの　土砂，砕石，加熱アスファルト混合物
施工により発生するもの　建設副産物

16．残土処理　※ 構内指示の場所に敷き均し　・ 構内指示の場所に堆積　・ 構外搬出

17．環境対策　・ ＩＳＯ１４００１対象工事　施工計画書中に環境配慮計画を記載し，現場においては特に環境に配慮する。
・ 対象外工事

⑱ 耐震施工　耐震施工における設備機器の固定は，「建築設備耐震設計・施工指針」（建設省住宅局建築指導課監修）による。本工事の施設分類は（・ 特定の施設　・ 一般の施設 ）で地域係数は１とし，設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお，（ ）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

設置場所 ＼ 設計用標準震度	特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階，屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

重要機器類
・ 配電盤　・ 発電装置　・ ＵＰＳ装置　・ 直流電源装置
・ 交換機　・ 受信機（自立型）　・ 中央監視装置　・ 情報通信ラック

重量が１００kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても，耐震を考慮し，据付等を行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。

一般共通事項（続き）

⑲ 他工事との工事区分　他工事との工事区分は図面に特記なき場合，「各工事の工事区分表」による。

⑳ 保温，結露防止　外部に面する壁，天井でＦＰ板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは，保温，結露防止処理を行う。

21．電線類　本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，標準仕様書第６編 通信情報設備工事 第１章 機材 第１節 電線類等 1.1.1 電線類等 表1.1.1電線類に次の種類を追加する。
（ＥＭ－ＣＥＥＳ，ＥＭ－ＵＴＰ，ＥＭ－ＭＥＥＳ，ＥＭ－ＥＢＴ）

22．合成樹脂製可とう管　合成樹脂製可とう管は，ＰＦ管(一重管)とし，温度による分類はタイプ－25とする。

23．二種金属製可とう管　露出箇所　・ ビニル被覆あり　・ ビニル被覆なし
いんぺい箇所　・ ビニル被覆あり　・ ビニル被覆なし

24．電線本数，管路など　分電盤，制御盤，端子盤などの２次側以降の配線経路，電線太さ，電線本数，管径などは，監督員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。

25．インサート　鋼鉄製とする。なお，床版で保温板打込み部分は，断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。

㉖ 呼び線　長さ１m以上の通線しない電線管には，１．２㎜以上のビニル被覆鉄線を通線する。

㉗ フラッシュプレート　図面に特記なき場合，（ ※ 金属製（ステンレス・新金属も含む）　・ 樹脂製 ）とする。

28．フロアプレート・ベース　※ 水平高低調節付（空転防止リング付）　・ 砲金製　・ アルミ合金製

㉙ ハンドホール蓋　チェーン付のものとする。

㉚ 支持金物，固定金物　屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし，屋外機器のアンカーボルトのナットには，ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
また，振動をともなう機器の支持金物のナットは，ダブルナットとする。

31．あと施工アンカー　施工方法　・ 接着系（ ※ 有機系　・ 接着剤 ）
・ 金属拡張系（ ※ 本体打込式　・　）
性能確認試験　※ 行わない　・ 行う
施工確認試験　※ 行わない　・ 行う

32．はつり　既存コンクリート床，壁などの配管貫通は，原則としてダイヤモンドカッターによる。

33．再使用機器　再使用する機器は，現場内で清掃，絶縁抵抗測定のうえ，取り付ける。

34．撤去後の補修等　機器撤去後の天井，壁及び床等の補修は，既存仕上げと同等とする。なお，施工に際し，既存設備及び施設に損傷を及ぼした場合は，現状に復旧する。

㉟ 接地極の種別・表示等　接地極は図面に特記なき場合，下表による。なお，ＥＢの長さは１，５００㎜とする。
ただし，Ｄ＝１０は１，０００㎜，Ｗ＝３０は１，２００㎜とする。
装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。

	接地の種別	記号	接地抵抗値	接地極の規格，数量
・	雷保護設備用接地	EL	Ω以下	ＥＰ×１
・	雷保護設備用接地	EL	Ω以下	ＥＢ(D＝14又はW＝40)×３連－　組
・	共同接地	EA・ED・ELH	10Ω以下	ＥＢ(D＝14又はW＝40)×３連－２組
・	共同接地	EA・EC・ED	10Ω以下	ＥＢ(D＝14又はW＝40)×３連－２組
・	Ａ種	EA	10Ω以下	ＥＢ(D＝14又はW＝40)×３連－２組
・	Ｂ種	EB	Ω以下	ＥＢ(D＝14又はW＝40)×２
・	Ｃ種	EC	10Ω以下	ＥＢ(D＝14又はW＝40)×３連－２組
⊙	Ｄ種	ED	100Ω以下	ＥＢ(D＝14又はW＝40)×１
・				
・	構内交換機（陽極）用	Et	Ω以下	ＥＢ(D＝14又はW＝40)×３連－　組
・	本配線盤の保安装置	EAt	10Ω以下	ＥＢ(D＝14又はW＝40)×３連－２組
・	電話引込口の保安器	EDt	100Ω以下	ＥＢ(D＝14又はW＝40)×１
・	拡声増幅器	EDa	100Ω以下	ＥＢ(D＝14又はW＝40)×１
・	防犯装置用	ES	Ω以下	ＥＢ(D＝14又はW＝40)×３連－　組
・			――	
・	測定用	Eo		ＥＢ(D＝10又はW＝30)×１
・	避雷器用（低圧用）	ELL	10Ω以下	ＥＢ(D＝14又はW＝40)×３連－２組
・	避雷器用（高圧用）	ELH	10Ω以下	ＥＢ(D＝14又はW＝40)×３連－２組
・	構造体接地			建築構造体利用（通信用も含む）

㊱ 塗装工事　下記部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
※ 屋外　※ 居室　・

37．山留め　切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き，掘削の深さが1.5mを超える場合には，山留めを行うものとする。

38．舗装工事　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事）２２章（舗装工事）及び建築工事監理指針（舗装工事）による。

㊴ 公共事業労務費調査に対する協力　公共事業労務費調査の対象となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう，労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに，賃金台帳を調整・保存する等，雇用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておく。
本工事が公共事業労務費調査の対象となった場合，調査票等に必要事項を正確に記入し監督職員に提出するなど，必要な協力を行う。また，本工事の工期経過後においても同様とする。
調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導の対象に該当した場合，その実施に協力する。また，本工事の工期経過後においても同様とする。
本工事の一部について下請契約を締結する場合には，当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む）が上記同様の義務を負う旨定める。

㊵ 不法無線局の排除　請負者は電波法令を遵守し，不法無線局を搭載した車両を使用してはならない。

㊶ 工事経過記録　工事経過報告書を、毎月１回監督職員に提出する。
内容：日誌，天候，工事進捗状況，工事進捗状況写真，その他監督職員の指示する事項

電灯設備

① 工事範囲　・ 配管　・ 配線　・ 分電盤類

② 電気方式　⊙ 幹線　単相３線式　１００／２００Ｖ　６０Ｈｚ
・ 分岐　単相３線式　１００／２００Ｖ
・ 分岐　単相２線式　１００Ｖ

③ 施工方法　幹線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線
分岐　電灯　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線
コンセント　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ フロアダクト配線
屋外露出　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線
ボックス　・ 合成樹脂製　・ 金属製

④ 蛍光灯　蛍光灯器具安定器の種別および点灯方式，力率，定格入力電圧，周波数は図示以外は下記による。

蛍光灯の種類			標準図（電力１）記号
環形のランプ			ＧＬ　１５
直管形のランプ	１５形以下		ＧＬ　１５
	２０形	防雨形器具，防湿形器具，シーリングライト プルスイッチ付き電池内蔵形非常用照明器具	ＧＬ　１５
	２０形	上記以外のもの	ＧＨ　１５
	４０形および１１０形		ＲＨ　５
高輝度誘導灯			Ｅ　１５
Ｈf形のランプ		ルーバー又は照明カバー付，防雨形，防湿形	ＰＨＨ　５
		ルーバー又は照明カバーが取付可能な器具	ＰＴＨ　５
		センサー等と組み合わせて連続調光を行う器具	ＰＸＨ　５
		連続調光に使用する器具	ＰＺＨ　５
		初期照度補正制御を行う器具	ＰＫＨ　５
		上記以外の露出形及び下面開放形	ＰＮＨ　５
コンパクト形のランプ		１３Ｗ　１８Ｗ　２７Ｗ	ＥＬ　１５
		３６Ｗ　５５Ｗ	ＰＨ　５

⑤ 蛍光ランプ　・ 省エネ形（ ・ 全部　・ 暖房を行う部屋，廊下などに限る。）　・ 一般形

6．非常用照明器具　※ 電池内蔵形　・ 電源別置形

7．ハイテンションアウトレット　※ 飛び出し形　・ 外部固定形
※ 銅合金製　・ アルミ製

8．人感センサープレート　照明の人感センサー制御を行う部屋には，注意プレートを設置する。

9．予備配管　埋込形分電盤からの立上り予備配管は，予備の配線用遮断器が４個以下の場合は（ＰＦ２２）を１本，５個以上の場合は（ＰＦ２２）を２本以上，天井裏まで立上げる。
梁下に配管・配線スペースのない梁には，１スパンにＶＥ（３６）２本を予備スリーブとして埋込む。

動力設備

1．工事範囲　・ 配管　・ 配線　・ 制御盤類

2．電気方式　・ 幹線　三相３線式　２００Ｖ　６０Ｈｚ
・ 分岐　三相３線式　２００Ｖ

3．施工方法　幹線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線
分岐　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線
屋外露出　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線
ボックス　・ 合成樹脂製　・ 金属製

4．警報盤　※ 壁掛形（電源装置　※ 内蔵　・ 別置 ）　・

5．電磁開閉器用押釦（遠方操作用）　※ 埋込連用形配線器具　・

6．機器への接続　電動機などへの接続は本工事とする。

7．電動機等の接地　図示以外は金属管接地とする。

8．進相用コンデンサ　各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。

電熱設備

1．電気方式　幹線　相　線式　Ｖ　６０Ｈｚ
分岐　相　線式　Ｖ

2．施工場所及び面積　・　（　㎡）　・　（　㎡）

雷保護設備

1．工事範囲　・ 受雷部　・ 引下げ導線　・ 接地極埋設

2．受雷部　・ 突針　・ 棟上導体　・ 笠木（別途）など

3．避雷導線　・ 引下げ導線　※ 建築構造体利用

4．接地極　※ 接地極埋設　・ 建築構造体利用

5．測定用補助接地極　・ 設置

受変電設備

1．工事範囲　・ 機器類　・

2．電気方式　・ 高圧　三相３線式　６ｋＶ　６０Ｈｚ
・ 低圧　三相３線式　２００Ｖ
・ 低圧　単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ

3．引込ケーブル　・ ＥＭ－ＣＥＴ３８°　・ ＥＭ－ＣＥＴ６０°
・ ＥＭ－ＣＥ３８°－３Ｃ　・ ＥＭ－ＣＥ６０°－３Ｃ　・

4．配電盤　・ 屋内形　・ 屋外形（防塵処理及び結露対策を施す）
・ キュービクル式配電盤　・ 高圧閉鎖配電盤　・　・

5．主遮断装置　※ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（ＰＦ－Ｓ）　・ 高圧交流遮断器（ＣＢ）
定格遮断電流　ｋＡ

6．高圧機器類　・ 油入式　・ 乾式

7．変圧器容量　・ 単相変圧器　ｋＶＡ　・ 三相変圧器　ｋＶＡ

8．進相用コンデンサ　※ 低圧　・ 高圧　・ ６％　・ １３％

9．リアクトル　・ ６％　・ １３％

10．自動力率制御装置　※ 無効電力検出方式　・ 力率検出方式

11．測定用補助接地極　・ 設置

静止形電源設備

1．直流電源装置　※ 非常用照明器具電源，受変電設備制御電源併用　・ 受変電設備専用　・ 非常用照明器具専用
蓄電池　・ 鉛蓄電池（ ・ ＨＳ　・ ＣＳ　・ ＭＳＥ　・　）
・ アルカリ蓄電池（ ・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　）

2．交流無停電電源装置　用途（　）
容量　ｋＶＡ
蓄電池　・ 鉛蓄電池（ ・ ＨＳ　・ ＣＳ　・ ＭＳＥ　・　）
・ アルカリ蓄電池（ ・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　）

発電設備

1．工事範囲　・ 機器類　・

2．形式　・ 簡易形　・ キュービクル式　・ オープン形　・
・ 屋内形　・ 屋外形

3．発電機　電気方式　三相３線式　６０Ｈｚ　電圧　Ｖ　定格出力　ｋＶＡ

4．原動機　種類　・ ディーゼル　・ ガスタービン　・
定格出力　kW以上（　ＰＳ以上）
始動方式　※ 電気式　・ 空気式
冷却方式　・ ラジエータ式　・ 水冷循環式

5．燃料　種類　・ 軽油　・ 灯油　・ Ａ重油
燃料小出槽　Ｌ
主貯油槽　・ なし　・ あり（ ・ 別途　・ 本工事：　）

6．太陽光発電装置　太陽電池アレイ公称出力　kW
パワーコンディショナ　相　線式　定格出力　kW

構内交換設備

1．工事範囲　・ 交換機　・ 電話機　・ 配線（ ・ 全部　・ 端子盤以降 ）

2．電話交換機　形式　・ ボタン電話装置　・ ＰＢＸ
回線数　局線　／　回線　内線　／　回線

3．電話機への配線　電話機１台につき，下記のものを見込む。
・ ＥＭ－ＴＩＥＦ０．６５－２Ｃ（ ・ ２０ｍ　・　）
・ ＥＭ－ＥＢＴ０．４－２Ｐ（ ・ ２０ｍ　・　）
・ ワイヤープロテクタ　（樹脂製 外形寸法約２０×８）１．５ｍ

4．ローテンションアウトレット（亀甲形）　※ 一般電話用　個（ ・ 納入する　・ 取り付ける ）
※ 銅合金製　・ アルミ製

5．保安器用接地　※ 本工事　・ 別途工事

通信・情報設備

1．工事範囲及び施工方法

項目	工事範囲 配管	配線	機器類	施工方法 合成樹脂管配線	金属管配線	ケーブル配線
・ 構内情報通信網	・	・	・	・	・	・
・ 情報表示	・	・	・	・	・	・
・ 映像・音響	・	・	・	・	・	・
・ 拡声	・	・	・	・	・	・
・ 誘導支援	・	・	・	・	・	・
・ テレビ共同受信	・	・	・	・	・	・
・ 監視カメラ	・	・	・	・	・	・
・ 防犯・入退室管理	・	・	・	・	・	・

ボックス　・ 合成樹脂製　・ 金属製　・

2．構内情報通信網設備　種類　・ １０ＢＡＳＥ－Ｔ　・ １００ＢＡＳＥ－ＴＸ　・ １０００ＢＡＳＥ－Ｔ　・ ＡＴＭ　・　・

3．情報表示設備　・ 情報表示盤（ ・ 発光ダイオード式　・ 磁気浮動式　・ プラズマ式　・ 液晶式 ）
・ 親時計　回線（ ※ 壁掛形　・ 自立形 ）
（ ・ 電子チャイム組込　・ プログラムタイマー組込 ）

4．映像・音響設備　・ 増幅器　Ｗ
・ ＶＴＲ（ ・ ＤＶＤ　・ ＤＶ　・ Ｓ－ＶＨＳ　・　）
・ プロジェクタ（ ※ 前面投射式　・ 背面投射式 ）
・ 音響設備（ ・ ＣＤ　・ ＭＤ　・ カセット　・　）

5．拡声設備　・ 一般放送用　・ 非常放送兼用
・ 増幅器　Ｗ（ ※ 卓上形　・ キャビネットラック形）

6．誘導支援設備　・ 身体障害者用インターホン　・ トイレ呼出装置　・ 音声誘導装置

7．テレビ共同受信設備　・ テレビアンテナ（ ・ ＡＶ－　・ ＡＵ－　・ ＢＳＡ－　・ ＣＳＡ－　）
・ 地上波アンテナマスト（ ※ 壁面取付形　・ 自立形 ）
・ ＢＳ用アンテナマスト（ ・ 壁面取付形　・ 自立形 ）

8．監視カメラ設備　・ 白黒方式　・ カラー方式

9．防犯・入退室管理設備　・ 接地工事（ ※ 本工事　・ 別途 ）

火災報知設備

1．工事範囲　・ 配管　・ 配線　・ 機器類

2．火災報知装置　・ 壁掛形　・ 自立形
・ 受信機　型　級　回線（　アドレス）
・ 複合盤　型　級　回線（火報　回線，自動閉鎖　回線，ガス漏れ　回線）
・ 副受信機　型　級　回線
・ 機器収容箱　・ 専用形（ ・ 埋込形　・ 露出形 ）　・ 屋内消火栓箱に組込み
・ 感知器類　型用 総数　個（ ・ 自動試験機能付 ）

3．非常警報装置　・ 非常ベル（自動式サイレンを含む）　・ 非常放送装置

4．自動閉鎖装置　・ 連動制御盤　回線（遠方復帰機構　回路）
・ 単独（・ 壁掛形　・ 自立形）　・ 火災受信機などとの複合盤
・ 自動閉鎖機構　・ 防火戸用（本工事，電磁式又はラッチ式，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下）
・ 防煙ダンパ用（別途，瞬時通電式又は電動式，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下，遠方復帰機構(電動式)，ＤＣ２４Ｖ，０．７Ａ以下)
・ 防火シャッター用（別途，ＤＣ２４Ｖ，０．６Ａ以下）
・ 自動開放機構　・ 排煙ダンパ（別途，排煙機運転用連動機構付）

5．ガス漏れ警報装置　・ 受信機　回線（ ・ 都市ガス用　・ 液化石油ガス用）
・ 単独（ ・ 壁掛形　・ 自立形 ）　・ 火災受信機などとの複合盤
・ 感知器
・ 併設　・ 連動
・ 定格電圧（ ・ ＡＣ１００Ｖ　・ ＤＣ２４Ｖ ）
・ ガス検知出力信号（ ・ 有電圧出力方式　・ 無電圧接点方式 ）

⑥ 消火器類　・ 消火器　種別　・ 数量　本
・ 消火器収納箱　仕様　・ 材質　・ 数量　面

中央監視制御設備

1．工事範囲　・ 配管　・ 配線　・ 機器類

2．監視制御対象設備　・ 動力設備　・ 受変電設備　・ 発電設備　・ 火災報知設備

3．表示操作盤　・ 壁掛形　・ 自立形
組込み機器　・　・
・　・

4．監視制御装置　構成機器　・ グラフィックパネル　・ ミニグラフィックパネル
・ プラズマディスプレイ　・ 操作卓
・ ＣＲＴディスプレイ（・ キャラクタ　形　・ グラフィック　形）
・ 中央処理装置　・ 伝送端末局（子局）
・ 作表用印字装置　・ 雑印字装置　形
・ ロギングタイプライタ

構内配電線路

1．工事範囲　・ 管路　・ 配線　・ 機器類

2．電気方式　・ 高圧　三相３線式　６ｋＶ　６０Hz
・ 低圧　三相３線式　２００Ｖ
・ 低圧　単相３線式　１００／２００Ｖ
・ 低圧　単相２線式　１００Ｖ

3．布設方法　※ 地中埋設式（ ・ ＦＥＰ　・ ＰＥ　・ 厚鋼電線管 ）　・ 架空線式

4．柱上機器　・ 高圧負荷開閉器　※ 一般用　・ 耐重塩じん用
※ 地絡継電器付き（※ 方向性　・ 無方向性）
・ 避雷器　※ 一般用　・ 耐塩用
・ 高圧カットアウト，がいしなど　※ 一般用　・ 耐塩用

5．高圧ケーブルの端末処理　屋外側　※ 一般用　・ 耐塩用
※ 処理者銘板取付（屋内外共，線名，作業日，氏名を表示）

6．その他　東北電力（株）外線工事基準（架空線編）に準ずる。

7．外灯設備　・ 定格電圧　Ｖ　Ｗ

8．沈下対策　地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は，沈下対策を施す。（　）

9．標識シート　・ 高圧ケーブル　・ 電力幹線ケーブル

10．予備配管　屋外キュービクルから第１ハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ１００：１本）を設ける。
分電盤，動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ８０：２本）を設ける。

構内通信線路

1．工事範囲　・ 管路　・ 配線

2．用途　・ 電話用　・ 時計，拡声用　・ 火災報知用

3．施工方法　※ 地中埋設式（ ・ ＦＥＰ　・ ＰＥ　・ 厚鋼電線管）　・ 架空線式

4．標識シート　・ 弱電用

表２「機器取付高さ」　図面に特記なき場合は下表による。ただし，これによりがたい場合は監督員と協議する。

電力設備	名称	測点	取付高（㎜）	通信設備	名称	測点	取付高（㎜）
電力共通	取引用計器	地上～窓中心	約 1,800	電話	引込線留め高	地上～引込点	
	引込開閉器	床上～中心	1,800～2,200		集合保安器箱	天井下～上端	200
	分電盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)		端子盤(廊下、室内)	床上～下端	300
					〃（ＥＰＳなど)	床上～中心	1,500
					壁付アウトレット(一　般)	床上～中心	300
					〃　（和　室)		150～200
電灯	スイッチ（一　般)	床上～中心	1,300	時計・拡声・通信設備	壁掛形親時計	床上～中心	1,500(上端2,000以下)
	〃（和　室)	〃	1,200		子時計	〃	2,300
	コンセント(一　般)	〃	300		壁掛形スピーカ	〃	2,300
	〃（和　室)	〃	150～200		壁付アッテネータ	〃	1,300
	〃（台　上)	台上～中心	100		壁付インターホン(一　般)	床上～中心	1,300
	〃（ファン用)	床上～下端	ファン下端		〃（身体障害者)	〃	1,300
	〃（厨　房)	床上～中心	800～1,000		壁付アウトレット(一　般)	〃	300
	〃（車　庫)	〃	1,300		〃（和　室)	〃	150～200
	〃（機械室)	〃	500～1,000		機器収容箱	天井下～上端	200
	〃（土　間)	〃	800～1,300		直列ユニット(一　般)	床上～中心	300
	ブラケット(一　般)	床上～中心	2,100～2,300		〃（和　室)	〃	200
	〃（踊　場)	〃	2,000～2,500	警報・表示等	表示盤	床上～中心	2,300
	〃（鏡　上)	鏡上端～中心	150		壁付発信機	〃	1,300
	避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上		ベル，ブザー，チャイム	〃	2,300
	廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下		壁付押しボタン(一　般)	床上～中心	1,300
					〃（身体障害者玄関)	〃	900
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500(上端2,000以下)	火災報知器	受信機	床上～中心	800～1,500
	開閉器箱	〃	1,500		副受信機	〃	800～1,500
	電磁開閉器用ボタン	〃	1,300		機器収容箱	〃	800～1,500
身障者用	非常ボタン(便所用)	床上～中心	900		発信機	〃	800～1,500
	壁付インターホン(親機)	〃	1,300		表示灯	床上～中心	2,100
	〃（玄関子機)	〃	1,100		ベル	〃	2,300
	廊下表示灯(復旧ボタン付)	〃	1,300		液化石油ガス用検知器	床上～上端	250
	身障表示ランプ	〃	1,500		都市ガス用検知器（軽質)	天井～上端	150
	スイッチ	〃	1,100		〃（重質)	床上～上端	250

(※取付高さは、打合せによる)

表１「完成書類」　本工事終了後下記の書類を提出すること。　※ 詳細については、協議による

名称	完成書類	部数	名称	完成書類	部数
① 完成調書	作成は，主たる請負業者が，他の工事及び監督員の協力を得て取りまとめる。	1部	⑦ 工事写真 ①工事施工写真	工事用アルバムA4版ポケット式程度 工事施工写真は，履行写真（着手前写真と完了写真）並びに施工状況写真とで構成される。	2部
② 完成図 ※完成原図	折りたたみケース収納	1部	②完成写真	工事用アルバムA4版ポケット式程度	2部
※青(白)焼２つ折製本		2部			
※青(白)焼縮小製本	Ａ３版	1部	⑧ 工事週報	Ａ４版 チューブ式ファイル	1部
※完成図CADデータ	SFCデータもしくは、PDFデータ ※上記は分離発注分の他工事図面の合本を原則とする。	1部	⑨ 工事打ち合わせ議事録	Ａ４版 チューブ式ファイル	1部
③ 施工図 ※施工原図	折りたたみケース収納	1部	⑩ 工事に関する承諾確認書 ①施工計画書 ②施工要領書 ③確認書・承諾書 ④協議書 ⑤安全に関する書類 ⑥建設廃棄物ﾏﾆﾌｪｽﾄ	Ａ４版 チューブ式ファイル	1式
※青(白)焼２つ折製本		2部			
※施工図CADデータ	SFCデータもしくは、PDFデータ ※上記は分離発注分の他工事図面の合本を原則とする。	1部			
④ 機器完成図	Ａ４版 チューブ式ファイル（２ 完成図と合本可）	1部	⑪ 各種保証書	Ａ４版 チューブ式ファイル	1部
⑤ 取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧	Ａ４版 チューブ式ファイル（２ 完成図と合本可）	1部	⑫ その他 ①機器試験成績書 ・機材材質証明書 ・機材検査試験報告書 ・工場検査報告書 ・工場立会検査報告書 ②現場試験成績書 ・工事別試験報告書 ・総合運転および試験報告書		1部
⑥ 管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	Ａ４版 チューブ式ファイル	1部			

注記：機器及びシステム参考図について
本図面中で，機器又はシステムの品質・グレードを規定する目的で，対象品の寸法形状，諸元及びシステム構成等を参考図として記載している。
これらのものについては，その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

Checked

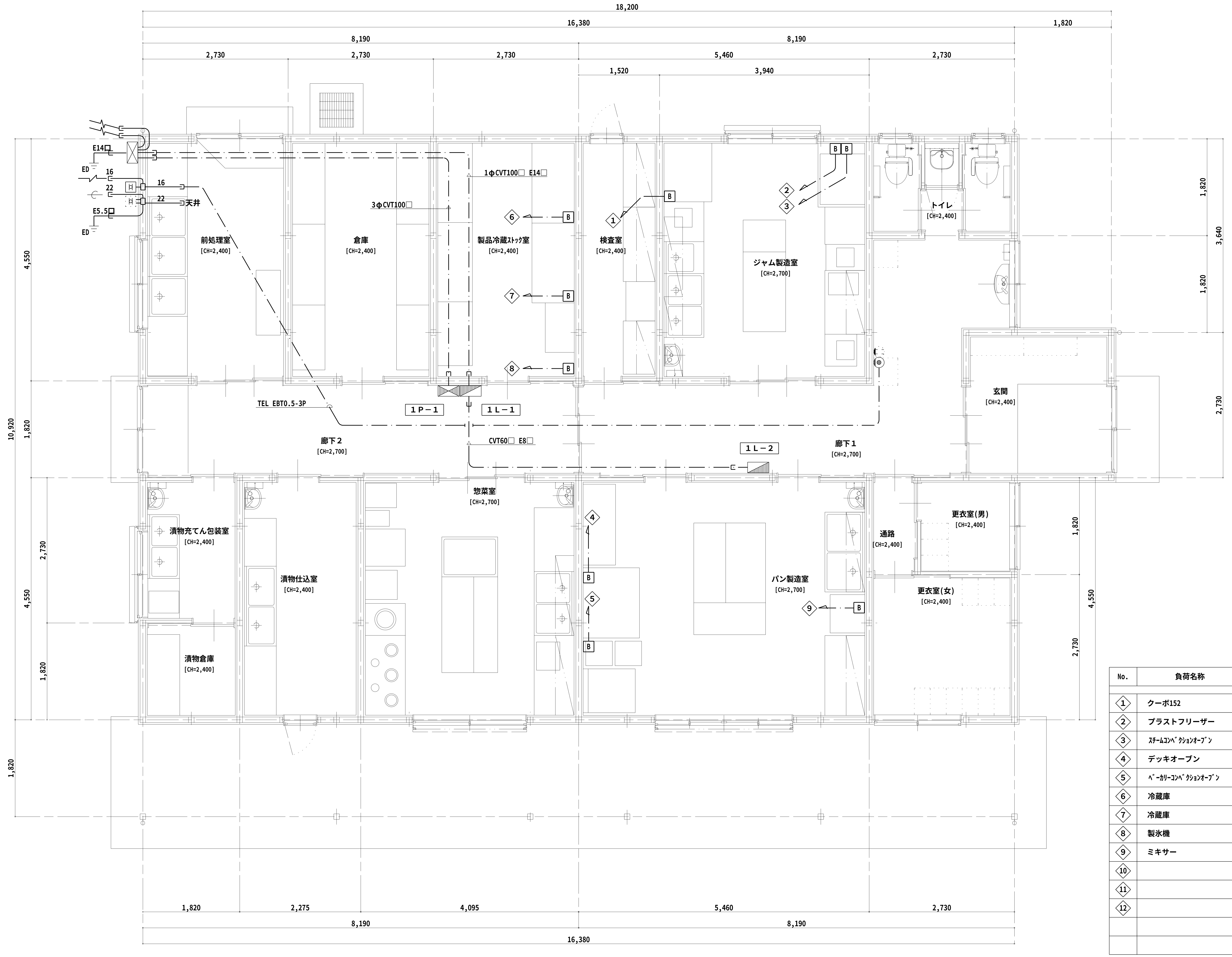
Title H23年度 農村活性化支援事業
受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title
電気設備工事　特記仕様書

Sheet No. E-01 / E-05

整理番号 11005

2011/5/16



No.	負荷名称	容量 (kw)	手元開閉器	ｹｰﾌﾞﾙ	備考
1	クーボ152	3.3+8.0	15A+75A	CVT14□	
2	ブラストフリーザー	1.175	MB 1.5kw	CV2□-4C	
3	ｽﾁｰﾑｺﾝﾍﾞｸｼｮﾝｵｰﾌﾞﾝ	8.70	40A	CV8□-4C	
4	デッキオーブン	10.30	50A	CVT14□	
5	ﾍﾞｰｶﾘｰｺﾝﾍﾞｸｼｮﾝｵｰﾌﾞﾝ	8.50	40A	CV8□-4C	
6	冷蔵庫	0.72	MB 0.75kw	CV2□-4C	
7	冷蔵庫	0.72	MB 0.75kw	CV2□-4C	
8	製氷機	0.63	MB 0.75kw	CV2□-4C	
9	ミキサー	0.75	MB 0.75kw	CV3.5□-4C	
10			予備		
11			予備		
12			予備		

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp
一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912

設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date
H 23 ・ 3 ・

Scale
1/50

Title
H23年度 農村活性化支援事業
受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title
[機械設備] 幹線・動力・弱電設備図

Sheet No.
E-02 / E-05

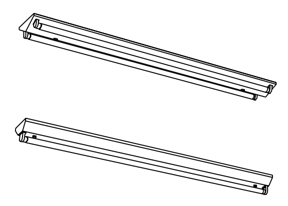
整理番号 11005

2011/5/16

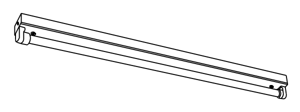
分電盤 名称・形式	電気方式 幹線	主幹及び回路構成	回路・幹線 記号	分岐遮断器 AT	容量 (VA) (W)	負荷名称
LM	3φ WH	MCCB3P225A			.	
					.	
	3φ WH	MCB3P175A			.	
					.	
					.	
					.	
					.	
1P−1	1φ3W CVT14				.	
					.	
		MCB3P200A	◇1	ELB3P	11.3	
			◇2	ELB3P	0.175	
			◇3	ELB3P	8.7	
			◇4	ELB3P	10.3	
			◇5	ELB3P	8.5	
			◇6	ELB3P	0.72	
			◇7	ELB3P	0.72	
			◇8	ELB3P	0.63	
			◇9	ELB3P	0.75	
					.	SP
					.	SP
					.	SP
					.	SP
					.	
					.	
					.	
1L−1					.	
	1φ3W MCB3P150A				.	
					.	
		MCB3P125A		MCB3P125A	.	1L−2
	MCB3P125A 欠相保護				.	
			1	ELB20A	.	予備
			2	ELB20A	.	ジャム室エアコン
			3	ELB20A	.	予備
			①	ELB20A	.	前処理室・倉庫・ストック室 検査室・ジャム製造室照明
				ELB20A	.	予備
			1	ELB20A	.	ジャム製造室 コンセント
			2	ELB20A	.	ジャム製造室 コンセント
			3	ELB20A	.	ジャム製造室 コンセント
			4	ELB20A	.	ジャム製造室 コンセント
			5	ELB20A	.	検査室 コンセント
			6	ELB20A	.	検査室 コンセント
			7	ELB20A	.	検査室 コンセント
			8	ELB20A	.	ストック室 コンセント
			9	ELB20A	.	ストック室 コンセント
			10	ELB20A	.	ストック室 コンセント
			11	ELB20A	.	ストック室 コンセント
			12	ELB20A	.	倉庫 コンセント
			13	ELB20A	.	前処理室 コンセント
			14	ELB20A	.	検査室エアコン(予備)
			15	ELB20A	.	倉庫エアコン
			16	ELB20A	.	前処理室エアコン(予備)
			17	ELB20A	.	ジャム コンセント
			18	ELB20A	.	ジャム コンセント
			19	ELB20A	.	製品冷蔵ストック室エアコン
				ELB20A	.	予備
					.	スペース
					.	
					.	

分電盤 名称・形式	電気方式 幹線	主幹及び回路構成	回路・幹線 記号	分岐遮断器 AT	容量 (VA) (W)	負荷名称
1L−2					.	
					.	
1φ3W	MCB3P125A 欠相保護		1	ELB30A	.	トイレパネルヒーター コンセント
			2	ELB20A	.	パン製造室 コンセント
			3	ELB20A	.	予備
			4	ELB20A	.	惣菜室エアコン
			5	ELB20A	.	パン製造室エアコン
			6	ELB20A	.	予備
			①	ELB20A	.	玄関・廊下・トイレ
			②	ELB20A	.	更衣室・外通路
			③	ELB20A	.	漬物・惣菜・パン製造室照明
				ELB20A	.	予備
			1	ELB20A	.	南側廊下 コンセント
			2	ELB20A	.	北側廊下 コンセント
			3	ELB20A	.	玄関 コンセント
			4	ELB20A	.	トイレ コンセント
			5	ELB20A	.	更衣室 コンセント
			6	ELB20A	.	パン製造室 コンセント
			7	ELB20A	.	パン製造室 コンセント
			8	ELB20A	.	惣菜室 コンセント
			9	ELB20A	.	惣菜室 コンセント
			10	ELB20A	.	惣菜室 コンセント
			11	ELB20A	.	惣菜室 コンセント
			12	ELB20A	.	漬物仕込室 コンセント
			13	ELB20A	.	漬物仕込室 コンセント
			14	ELB20A	.	漬物充てん包装室 漬物倉庫 コンセント
			15	ELB20A	.	漬物仕込室エアコン
			16	ELB20A	.	漬物倉庫エアコン
			17	ELB20A	.	漬物充てん包装室エアコン(予備)
			18	ELB20A	.	パン製造室 天井コンセント
			19	ELB20A	.	パン製造室 コンセント
			20	ELB20A	.	惣菜室 コンセント
			21	ELB20A	.	漬物 コンセント
				ELB20A	.	予備
				ELB20A	.	予備
					.	スペース
					.	スペース
					.	
					.	
					.	
					.	
					.	
					.	
					.	
					.	
					.	
					.	
					.	
					.	
					.	
					.	
					.	
					.	
					.	
					.	
					.	
					.	
					.	

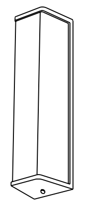
A32	FHF32×2		B			C		
A32WP	FHF32×2 防水 SUS							
A31	FHF32×1							
A31WP	FHF32×1 防水 SUS							
A21	FL20							

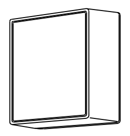


D31WP	FHF32×1 防水		E21WP	FL20×1		F	6.4W LED	

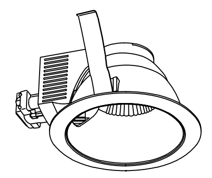


ランプカバー：ポリカーボネート製





G21	ネオボール21w							
	(ランプ21w)							



Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912

設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date H 23 ・ 3 ・

Scale

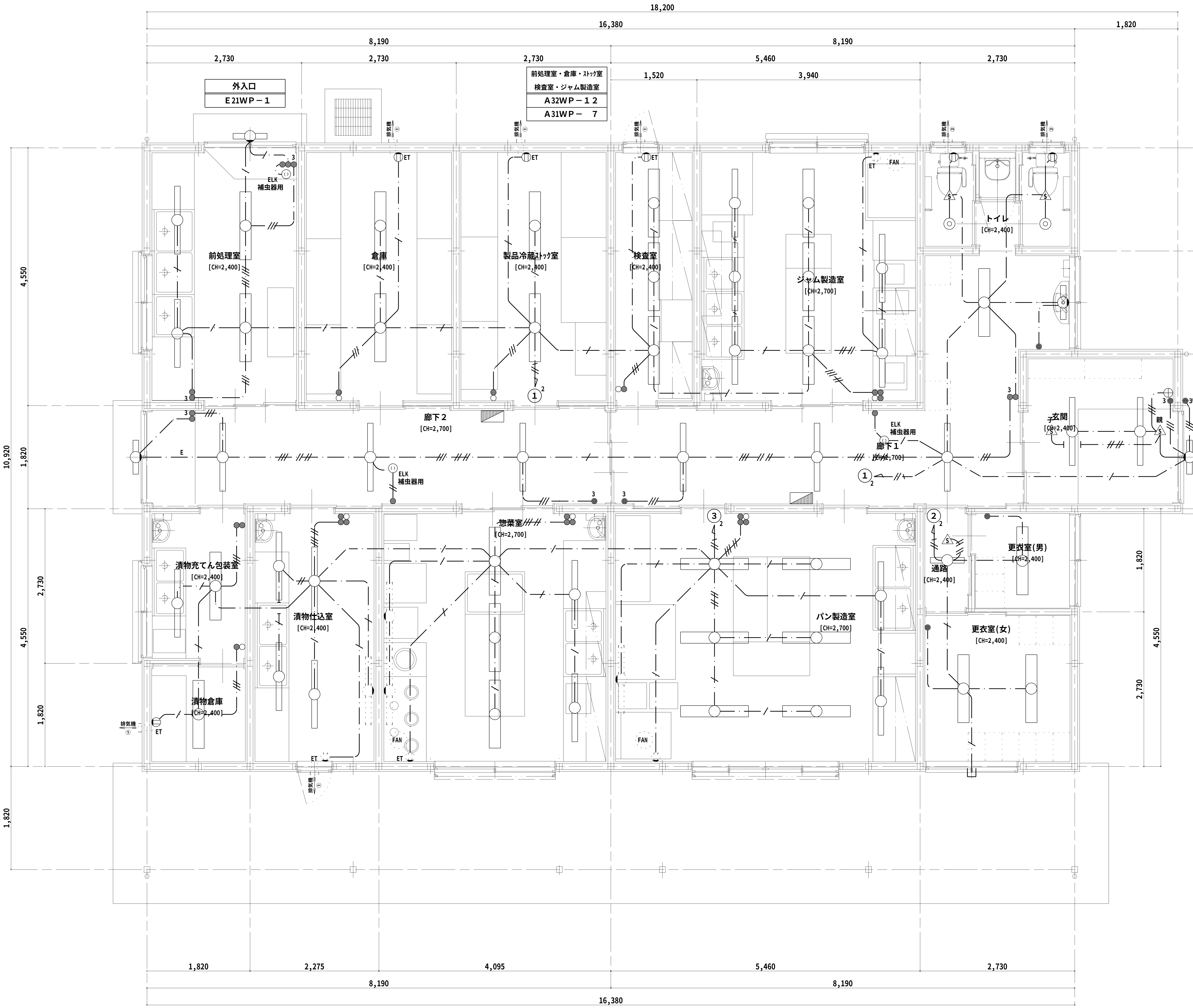
Title H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title ［機械設備］盤図・照明器具姿図

Sheet No. E-03 / E-05

整理番号 11005

2011/5/16



外入口
E21WP－1

廊下
A31－6

漬物包装室・漬物倉庫・仕込室 惣菜室・パン製造室
A32WP－11
A31WP－ 9
D31WP－ 4

トイレ・洗面
A32 －1
F －1
G21 －2

玄関
A31 －2
E21WP－1

更衣室・通路
A32－3
A21－1

凡例

記号	内容
—//—	VVF1.6-3C（E入）
—//⊢—	VVF2.0-3C（E入）
—///—	VVF1.6-3C
—・—	VVF1.6-2C
—//・//—	VVF1.6-2C×2
ET	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15AET×1
ELK	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A×1 抜止（補虫器用）
●	ｽｲｯﾁ 1P15A
●3	ｽｲｯﾁ 3W15A
○	ｽｲｯﾁ 1P15A L付
●3WP	ｽｲｯﾁ 3W15A 防水
S 親	人感ｾﾝｻｰ 親機
S 子	人感ｾﾝｻｰ 子器
S	人感ｾﾝｻｰ
⊕	人感ｾﾝｻｰ操作ﾕﾆｯﾄ
	照明器具 32w×1
	照明器具 32w×2
	照明器具 20w×1
◎	照明器具 ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

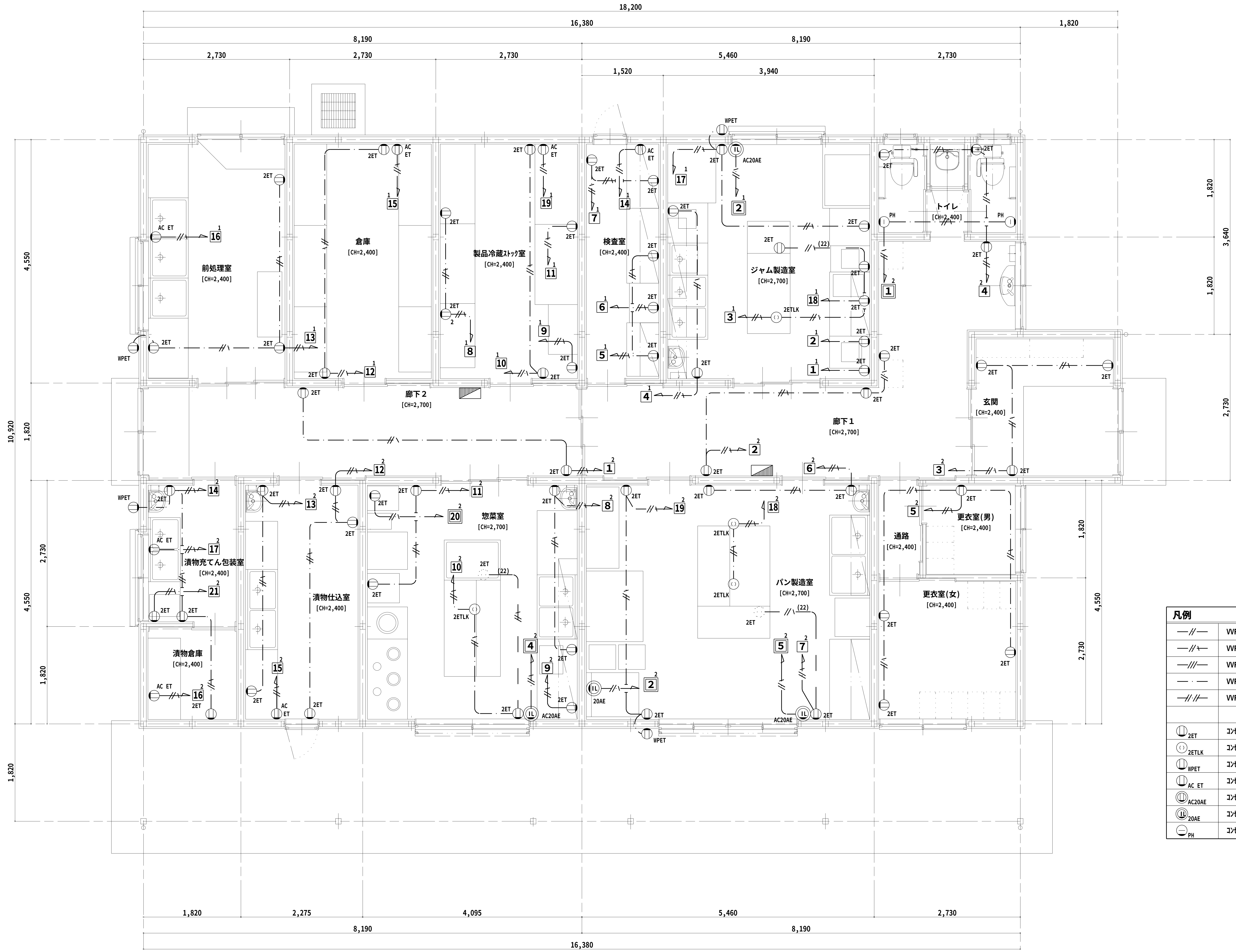
一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912

設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date	Scale	Title	Drawing Title	Sheet No.
H 23 ・ 3 ・	1/50	H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事	[機械設備] 電灯設備図	E-04 / E-05

整理番号 11005

2011/5/16



凡例

—//—	VVF1.6-3C (E入)
—//∖—	VVF2.0-3C (E入)
—///—	VVF1.6-3C
—・—	VVF1.6-2C
—//・//—	VVF1.6-2C×2
2ET	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15AET×2
2ETLK	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15AET×2 抜け止め
WPET	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15AET 防水
AC ET	ｺﾝｾﾝﾄ ｴｱｺﾝ用 2P15AET×1
AC20AE	ｺﾝｾﾝﾄ ｴｱｺﾝ用 200V2P20AET×1
20AE	ｺﾝｾﾝﾄ 200V2P20AE×1
PH	ｺﾝｾﾝﾄ ﾊﾟﾈﾙﾋｰﾀｰ用

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912

設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date
H 23 ・ 3 ・
Scale
1/50

Title
H23年度 農村活性化支援事業
受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title
[機械設備] コンセント設備図

Sheet No.
E-05 / E-05
整理番号 11005

2011/5/16

機械設備工事 特記仕様書

Ⅰ 工 事 概 要

1 工 事 名 称　H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事

2 工 事 場 所　長野県 上伊那郡 箕輪町 大字中箕輪 3730-246,3730-247,3730-248,3730-275,3730-276

3 用 途 地 域 等　都市計画区域（⊙内 ・外） 用途地域（ 無指定 ）
防火地域等（・防火 ・準防火 ⊙指定なし ・２２条）
その他の地域・地区（ ）

4 主 要 用 途　その他（農産物加工施設）----[０８９９０]
[建築基準法 特殊建築物に該当しない]　[消防法 別表第１--（１２）-イ]

5 着工前の提出　青(白)焼縮小（Ａ３版）２つ折製本２部、青(白)焼（Ａ２版）２つ折製本１部を工事打合せ用として提出のこと
(分離発注の場合においても、他工事図面の合本を原則とする)

６．工事種目（⊙印のついたものを適用する。）

建設別及び / 工事種目　屋外	工 事 種 別							屋 外
⊙空気調和設備								
・冷房設備								
・暖房設備								
⊙換気設備								
・排煙設備								
・自動制御設備								
⊙衛生器具設備								
⊙給水設備								
⊙排水設備								
⊙給湯設備								
・消火設備								
・厨房機器設備								
⊙ガス設備								
・し尿浄化槽設備								
・昇降機設備								

７．指定部分　※ なし ⊙ あり　（工 期：平成２３年度内----詳細は入札条件による）
（対象部分： ）

８．設備概要 （⊙印のついたものは、主要方式を示す）

方 式	設 備 概 要
空気調和方式等	・ 空気調和 ｜ ・ 全空気方式　・ ファンコイルユニット・ダクト併用方式　⊙ パッケージ方式
	・ 温風暖房 ｜ ・ 温風暖房機 ・ / ・ 全空気方式 ・ ファンコンベクター・ダクト併用方式 / ・ 将来冷房考慮（・ ダクト ・ 配 管 ・ 機 器） ・考慮外
	・ 直接暖房 ｜ ・ 蒸気暖房 ・ 温水暖房 ・
自動制御方式	・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式 ・ 空気式 ・ 中央監視制御
給水方式	⊙ 水道直結方式 ・ 高置タンク方式 ・ タンクレスブースター方式 ・
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（⊙ 分流式 ・ 合流式） 建物外の汚水及び雑排水（・ 分流式 ⊙ 合流式） 放流先 汚 水 （・ 下水道直放流 ⊙ し尿浄化槽） 雑排水 （・ 下水道直放流 ⊙ し尿浄化槽 ・ 側溝 ・ 別途桝）
給湯方式	⊙ 局所式 ・ 中央式
消火設備方式	・ 屋内消火栓 （・ 湿式 ・ 乾式） ・ 連結送水管 ・ 泡消化 ・ スプリンクラー （・ 湿式 ・ 乾式） ・ 連結散水 ・ 粉末消化 ・ 二酸化炭素 ・ 屋外消火栓
ガス設備方式	・ 都市ガス 種別（ ） kJ／m3（N）（供給圧力 Pa） ⊙ 液化石油ガス

Ⅱ．機械設備工事特記仕様

１．一般事項　（１）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書 機械設備工事編(平成２２年版)」，~~公共建築改修工事標準仕様書 機械設備工事編(平成２２年版)~~」（以下「標準仕様書」という。）及び同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編 平成２２年版)」（以下「標準図」という。）による。
（２）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお，

２．特記事項　（１）項目は番号に⊙印の付いたものを適用する。
（２）特記事項は，⊙印の付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。
⊙印と(※)印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項 目	特 記 事 項
一般共通事項	① 適用基準等	・ 工事写真の撮り方 建築設備偏（改訂２版） ・
	② 機 材 等	本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するものまたは，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督員の承諾を受けるものとする。 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン等を発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを発散しないものとは発散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは発散量が第三種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。またホルムアルデヒドの発散量は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒドの発散量 規制対象外；Ｆ☆☆☆☆・建築基準法施行令第２０条の５第４項による国土交通大臣認定品・次の表示があるＪＡＳ認定品（非ホルムアルデヒド系接着剤使用、接着剤等不使用等） 同 第三種；Ｆ☆☆☆・建築基準法施行令第２０条の５第３項による国土交通大臣認定品・旧ＪＩＳのＥ０規格品等
	③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督員の承諾を受ける。 また、設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等の写しを監督職員に提出して、承諾を受ける。なお、標準仕様書に規定される製作図、試験成績表等を含む。
	④ 保 険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで，火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督員に提出のこと。
	5．雇 用	本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。
	⑥ 施工計画書および施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し，監督員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書および施工図等を作成し，監督員の承諾を受ける。 また，県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては，環境配慮計画（実施）書を作成し，監督員に提出する。
	7．環境対策	・ ＩＳＯ１４００１ 対象工事 施工計画書中の環境対策の項目に環境配慮計画書を記載し，現場においては特に環境に配慮する。 ・ ＩＳＯ１４００１ 対象外工事
	⑧ 手続	工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。 なお、当該手続きに係わる費用は、請負者の負担とする。
	⑨ 事故報告	施工中に事故が発生した場合には，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	10．電気保安技術者	※ 適用する ・ 適用しない
	11．技能士の適用	本工事に下記の当該職種別技能士（・１級・２級）を適用させる。（資格証の写しを提出する） ・ 配管（配管工事） ・ 建築板金（ダクト製作及び取付け） ・ 熱絶縁施工（保温工事） ・ 冷凍空気調和機器施工（チリングユニット，パッケージ形空気調和機の据付及び調整）
	⑫ 足場等	⊙ 別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で設置 枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン（厚生労働省平成１５年４月策定）」により設置については「手すり先行工法による足場設置基準」による働きやすい安心感のある足場とする。なお、改善措置機材による場合は、手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するように努めること。
	13．監督員事務所	※ 設けない ・ 設ける（ 号・・・建築工事仕様書）
	⑭ 工事用電力,水,その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用はすべて引渡しまで請負者の負担とする。
	⑮ 工事用仮設物	構内に作ることが ※ できる ・ できない
	⑯ 残土処理	・ 構外搬出 ※ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所にたい積
	⑰ 発生材の処理	（１）建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当 ・ なし ・ あり（ ） （２）フロンガス回収破壊法の規定に基づく措置の該当 ・ なし ・ あり（ ） （３） 冷媒回収費用は（ ・ 本工事 ・ 別途工事 ） 冷媒の回収にあたっては、「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律（フロン回収破壊法）」に従って行い、監督員に第一種フロン類回収業者登録通知書の写し，フロン類回収証明書を提出する。ただし、家庭等のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは、法に従ってリサイクル（フロン類の回収を含む）を行い、監督員に、特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券の写しを提出する。 （４）引渡しを要するもの ※ なし ・ あり（ ） （５）廃棄物は，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し、、場外搬出の上，適切に処分すること。 （搬出計画） ・ 廃棄物の搬出処分についての施工計画書を提出し，監督員の承諾を得ること。 ・ 廃棄物の搬出処分が終了したときは報告書を提出すること。 （ア）特別管理産業廃棄物 ※ なし ・ あり （ ） （イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設 ・コンクリート （ ） ・コンクリート及び鉄から成る建設資材（ ） ・木 材 （ ） ・アスファルトコンクリート （ ） （ウ）その他発生材の処分を行う施設 ・ コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物（ ） ・ 木くず等の管理型の産業廃棄物 （ ） ※再生資源利用計画等の提出 次のものの利用及び処理を行う場合は，「＊＊＊建設副産物処理設計積算要領」（＊＊＊＊＊＊＊）に基づき，再生資源の利用計画等を施工計画書に含め監督職員に提出し，また，工事完了時には建設副産物の処理結果報告書を監督職員に提出する。

（一般共通事項 続き）

工事現場に搬入するもの　土砂、砕石、加熱アスファルト混合物
施工により発生するもの　建設副産物

建設リサイクル法
・ 対象工事
落札が決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前に、契約担当者等に説明書を提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づいて書面により報告すること。
・ 対象外工事

⑱ 総合調整　※ 本工事において下記の項目の総合調整を行い，報告書を提出する。 ・ 別途
総合調整の項目
・ 風量調整　⊙ 水量調整　・ 室内外空気の温湿度測定
・ 室内気流及びじんあいの測定　・ 騒音の測定　・ 初期運転状態の記録
・ 末端水栓の残留塩素濃度の測定　・ し尿浄化槽放流水質の測定
・ 機器の絶縁抵抗の測定　⊙ 水圧調整
測定箇所は，監督員の指示による。

19．容量等の表示　(1)機器類の能力，容量等は指示された数値以上とする。
(2)電動機出力，燃料消費量及び圧力損失は，原則として表示された数値以下とする。

20．耐震措置　機器，配管，ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け，取付け又は支持を行う。
耐震措置の計算及び施工方法は，次に掲げる事項以外すべて建築設備耐震設計施工指針（建設省住宅局建築指導課監修1997年版）による。

設置場所	設計用標準震度 特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0（2.0）	1.5（2.0）	1.5（2.0）	1.0（1.5）
中層階	1.5（1.5）	1.0（1.5）	1.0（1.5）	0.6（1.0）
一階及び地下層	1.0（1.0）	0.6（1.0）	0.6（1.0）	0.4（0.6）

注（１）設置場所の区分は標準仕様書による。 注（２）（ ）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。
（１）本工事の施設は（・一般の施設 ・特定の施設）とする。
（２）地域係数は1.0とする。
（３）100kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し，据付又は取付を行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。
（４）重要機器類（高置タンク、受水タンクは機器表による。）
（５）昇降機のつり合おもりブロックの脱落防止は，十分な強度を有する方法で固定し，水平鉛直方向の地震力に対して，つり合おもりが枠から脱落しないようにした構造とすること。

㉑ 弁等のサイズ　特記されていない弁等のサイズは，機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。

22．電線類　本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，標準仕様書第６編 通信・情報設備工事 第１章 機材 第１節 電線類等 1.1.1 電線類等 表1.1.1電線類に次の種類を追加する。
（ＥＭ－ＣＥＥＳ，ＥＭ－ＵＴＰ，ＥＭ－ＭＥＥＳ，ＥＭ－ＥＢＴ）

23．溶接部の非破壊検査　対象配管系統 ・ 冷温水 ・ 冷却水 ・ 消火（水用） ・ 油 ・ ガス
検査の種類 ・ 浸透探傷検査（ＰＴ）又は磁粉探傷検査（ＭＴ） ・ 放射線浸透検査（ＲＴ）

㉔ はつり　既存のコンクリート部の床，壁の配管貫通部等の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。

25．支持金物・固定金具　（１）ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（SUS304）とし，ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。
（２）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。
（３）冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。

㉖ 埋戻し土・盛土　図面に特記のない場合は下記によるほか共通仕様書第２編による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。
・ 根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類） ・ 山砂の類

㉗ 地中埋設標及び埋設表示用テープ　地中埋設標及び埋設用テープは、下記により屋外埋設部分に布設する。なお，地中埋設標の設置場所は図示によるほか，屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。
(1)給水管 ・ 地中埋設標 ⊙ 埋設用表示テープ
(2)ガス管 ・ 地中埋設標 ⊙ 埋設用表示テープ
(3)油 管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ
(4)消火管 ・ 地中埋設標 ・ 埋設用表示テープ

㉘ 保 温　・ 主機械室は下記の室とし、他は各階機械室とする。
主機械室：
・ ダクトの保温の外装は下記による。内装は（・ ﾛｯｸｳｰﾙ ⊙ ｸﾞﾗｽｳｰﾙ）

	場所	外装	
屋内露出	倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス	・
	各階機械室	・ アルミガラスクロス	・
	主機械室	・ アルミガラスクロス	・
	居室・廊下など	・ カラー亜鉛鉄板	・
屋内隠ぺい、ＰＳ内		⊙ アルミガラスクロス	
屋外露出、多湿箇所（ ）		・ ステンレス鋼板	

・ 配管の保温の外装は下記による。内装は（・ ﾛｯｸｳｰﾙ ・ ｸﾞﾗｽｳｰﾙ ・ ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ）

	場所	外装	
屋内露出	倉庫・書庫	・ アルミガラスクロス	・
	各階機械室	・ アルミガラスクロス	・
	主機械室	・ アルミガラスクロス	・
	居室・廊下など	・ 綿布	・
屋内隠ぺい、ＰＳ内		⊙ アルミガラスクロス	
屋外露出、多湿箇所（ ）		⊙ ステンレス鋼板 ・アスファルトプライマー	・着色アスファルトプライマー ・

29．塗 装　下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
※ 屋外露出 ※ 居室

㉚ 防食処理　土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（砲金製弁・継手を含む）にはペトロラタム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として，防食処理不要の管材とする。）

31．山留め　切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5ｍを超える場合には、山留めを行うものとする。

32．舗装工事　国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書22章（舗装工事）及び同監理指針（舗装工事）による。

㉝ 他工事との取り合い　図面に特記なき場合は，表「工事区分表」による。

㉞ 公共事業労務費調査に対する協力　本工事が公共事業労務費調査の対象工事となった場合，調査票等に必要事項を正確に記入し監督職員に提出する等、必要な協力を行う。また，本工事の工期経過後においても同様とする。
調査票等を提出した事業所を事後に訪問して行う調査・指導の対象に該当した場合、その実施に協力する。また、本工事の工期経過後においても同様とする。
公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従って就業規則を作成するとともに賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておく。
本工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）が上記同様の義務を負う旨定める。

㉟ 不法無線局の排除　請負者は電波法令を遵守し，不法無線局を搭載した車両を使用してはならない。

㊱ 工事経過記録　工事経過報告書を、毎月１回監督職員に提出する。
内容：日誌，天候，工事進捗状況，工事進捗状況写真，その他監督職員の指示する事項

㊲ 工事実績情報の登録　請負代金額が５００万円以上の工事については、工事実績情報（ＣＯＲＩＮＳ）の登録を行うものとする。

㊳ 予備品等　ヒューズ（温度ヒューズも含む）及び表示灯は予備品として、２０％納入する（種別ごと最低１個）。

39．再使用品の清掃　再使用する機器類は現場内で可能な洗剤による水洗等の清掃を行う。

㊵ 火気の使用　建物内での火気の使用は原則として行わない。

41．室内空気中の化学物質の濃度測定　室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し，監督員に報告すること。測定はパッシブ型採取機器により行う。
測定対象室（ ）、測定箇所数（ ）

42．施工調査　・下記によるほか、改修標準仕様書第１編１．５．１及び１．５．２による。
施工計画調査　調査項目（・ ・ ）　調査範囲（・ ・ ）　調査方法（・ ・ ）
事前調査　調査項目（・ ・ ）　調査範囲（・ ・ ）　調査方法（・ ・ ）

43．あと施工アンカー　（１）あと施工アンカー ※接着系アンカー （接着剤は有機系とする）
※金属拡張系アンカー （※本体打込み式 ）
（２）試験等 性能確認試験 ※行わない ・行う
施工確認 ※行う ・行わない

44．既設ｲﾝｻｰﾄ、ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ　既設インサート及びアンカーボルトを ※使用しない ・使用する

仮設工事

① 工事用電力、水、その他　本工事に必要な工事用電力、水などの費用、及び官公署等への諸手続きなどの費用は、請負者の負担とする。
既設コンセントの使用 ※ 不可 ・ 可
既設給水栓の使用 ※ 不可 ・ 可

2．養生　養生範囲（ ）
養生方法（ ）

空気調和・冷房・暖房設備

1．設計温湿度

	外気 一般系統 温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	屋内（調整目標値） 一般系統 温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏期	℃	%	℃	%	26℃	50%	℃	%
冬季	℃	%	℃	%	22℃	40%	℃	%

2．ばい煙濃度計　取付箇所は図示による。

3．煙 突　※ 別途 ・ 本工事（鋼板厚 ㎜、高さ ｍ以上）

4．煙 道　※ 煙道径300㎜以下は鋼板厚3.2㎜，300㎜を超えるものは4.5㎜とする。 ・ 図示による。
（煙道径が400㎜を超えるものには，掃除口に蝶番を取り付ける。）

⑤ ダクトの区分　低圧とする（高圧１及び高圧２の部位は図示による。）

⑥ 長方形ダクトの工法　・ アングルフランジ工法 ・ コーナーボルト工法 （ ・ 共板 ・ スライド）

7．風量測定口　取付け場所は ・ 図示した位置 ・ 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・ 外気取入れダクト
・ 風量調整ダンパーの上流又は下流 ・ 空調機のサプライチャンバーからの分岐ダクト

8．チャンバ　(1)内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
(2)空気調和機に取付けるサプライチャンバー及びレタンチャンバーで消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。
(3)外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。

9．防煙ダンパ　(1)復帰方式 ※ 遠隔式（電気式（定格入力DC24V、0.5A以下）
(2)復帰動作 ※ 順送り ・ 同時

10．配管材料
(1) 冷温水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・
(2) 冷却水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・
(3) 蒸気管（給気管） ※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・
（還水管） ※ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Sch40） ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒）
(4) 油管、油用通気管 ※ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・
(5) 膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラ等への給水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・
(6) 空調用排水管 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・
(7) 冷媒管 ※ 断熱材被覆銅管（製造者標準品） ・ 銅管

11．弁 類　※ ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ ・ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ

12．鋼管用伸縮管継手　※ ベローズ形 ・ スリーブ形

13．温度計　※ 共通仕様書，標準図による他，図示した箇所に取り付ける。（配管用はＬ形、ダクト用は円形）
・ 空気調和機，温風暖房機まわりの給気ダクト，還気ダクト及び外気ダクト
・ 冷温水ヘッダー（往）及び冷温水ヘッダーの各還り管
・ パッケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口

14．瞬間流量計　※ 着脱可能形（※ 全数 ・ 図示による）
着脱可能形の場合，その指示部（・ 40A用 個 ・ 100A用 個 ・ 250A用 個）を付属する。
・ 固定形（止水コック付） ・ 測定用タッピング（32㎜ピトー管流量計用）

15．オイルタンク　（１）オイルタンク本体は図示による。
（２）遠隔油用指示計 ※ 取付ける ・ 取付けない
（３）計量尺は，青銅製，黄銅製又はアルミ製とし，100ﾘｯﾄﾙ実測目盛刻印とする。計量口は錠付とする。

16．積算油量計　図示の箇所に取付ける（熱源機器等）。

17．注油口及び指示ﾎﾞｯｸｽ　標準図（機材6）による。
・単独形 ・共用形（・ローリーアース付）

⑱ 消音内貼り　（１）施工箇所は図示による。
（２）内貼りチャンバー類の寸法表示は、外形寸法とする。
（３）吹出口に接続するチャンバーの消音内貼りは別図による。

⑲ 保 温　(1)建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁までとし（空気抜き弁も含む），仕様は冷温水管の項による。
(2)屋外露出配管の保温は，給水設備の項による。
(3)外気取り入れダクト及びチャンバーボックスの保温 ※ 要（全熱交換器の給気ダクトを含む） ・ 不要
(4)排気ダクトの外壁開放部より１ｍ程度保温する。（チャンバーボックスを含む）
(5)冷媒管（断熱材被覆銅管）の保温外装
屋内露出部 ⊙ 保温化粧ケース（樹脂製） ・ 外装なし ・
屋外 ⊙ 保温化粧ケース（樹脂製） ・
(6)高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚は ㎜とする。

20．電気工事の範囲　(1)地震感知器の配管配線 ※ 別途 ・ 本工事
(2)防煙ダンパと連動制御器迄の配管配線及び連動制御盤から煙感知器迄の配線配管は ※ 別途 ・ 本工事

21．塗装　（１）屋内露出裸ダクトの塗装（居室を除く）は ※ 行わない ・ 行う
（２）屋内露出冷却水配管の塗装（居室は除く）は ※ 行わない ・行う

換気設備

1．準拠事項　[空気調和 ・ 冷房 ・ 暖房設備] の当該事項に準ずる。
・ ５ ・ ６ ・ ７ ・ ８ ・ １６ ・ １７ ・ １８

2．開放形湯沸器排気ﾌｰﾄﾞ　※ 別途 ・ 本工事

3．厨房用排気ダクト　※ 亜鉛鉄板 ・ ステンレス鋼版（SUS304）（板厚は高圧ダクトによる）

4．厨房用排気ﾀﾞｸﾄ工法　※ アングルフランジ工法 ・ コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）

5．厨房用排気フード　(1)フード周囲の天幕（フード面から天井面まで） (※) 取り付ける ・ 取り付けない
(2)フードコック ※ 取り付ける ・ 取り付けない
(3)材質（天幕とも） (※) ステンレス鋼板（SUS304） ・ 亜鉛鉄板

6．多湿箇所の排気ﾀﾞｸﾄ　次の系統のダクトのシールは、標準図（施工４７，４８）のＮシール＋Ａシール＋Ｂシールとし、水抜き管を設ける。
（ ）

7．塗装　屋内露出裸ダクトの塗装（居室は除く）は ※ 行わない ・ 行う

排煙設備

1．ダクト　・ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製（1.6㎜以上）

2．排煙口の形式　・ 可動羽根（スリット共） ・ 可動パネル

3．排煙口解放装置　・ 可動羽根（スリット共） ・ 可動パネル

4．排煙風量測定方式　建築設協定期検査業務指導書（（財）日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。

自動制御設備

1．中央監視制御　中央監視制御装置の構成機能は別紙による。

2．計装工事の配線　屋外・屋内露出の配線は，図面に特記のない限り金属管配線とする。

3．その他　室内温湿度検出器湯を２個以上併設する場合は，サーモケースを使用する。

衛生器具設備

① 大便器洗浄弁　不凍結節水弁付とする。

② 便器洗浄用タンク　(※) 手洗なし ・ 手洗付

3．小便器節水装置　※ 節水装置（機能は別図による） ・ 押ボタン式（不凍結節水弁付）

4．小便器洗浄管　※ 埋込 ・ 露出

⑤ 付属水栓　吊りこま式（節水こま式）とする。

⑥ 自動水栓　電源供給方式（ ⊙ ＡＣ１００Ｖ ・ 乾電池 ）

7．大便器耐火カバー　設ける（ピット内を除く）

8．注記板　対象器具（ ）

給水設備

① 量水器　(1)親メーター ※ 措用 ・ 買取り　(2)子メーターは ※ 買取り

② 量水器桝　(1)親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図（機材６１）
(2)子メーター用 ※ 標準図（機材６１） ⊙ 水道事業者の指定品

③ 配管材料　(1)一般用
・ ステンレス鋼管（拡管）
⊙ 塩ビライニング鋼管 （・ＶＡ ⊙ＶＢ）
・ ポリ粉体ライニング鋼管（・ＰＡ ・ＰＢ）
・
(2)土間配管用（厨房，浴室等のシンダー内含む）
・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６）
⊙ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ）
・ ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ）
・
(3)屋外土中用
・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３１６拡管）
・ 塩ビライニング鋼管（ＶＤ）
・ ポリ粉体ライニング鋼管（ＰＤ）
・ ビニル管（ＪＩＳ Ｋ 6742） （ＶＰ）
⊙ 〃 （ＨＩＶＰ）
・ ポリエチレン管
・ 水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管
・

④ 不凍水栓柱　化粧ケーシング（ ⊙ アルミ合金製 ・ 合成樹脂製 ）

5．壁埋込型散水栓ﾎﾞｯｸｽ　鍵付とする。

⑥ 弁 類　(1)水道直結部分 (※) ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ ・ 水道事業所の規定による Ｋ
(2)その他の部分 ※ ＪＩＳ又はＪＶ５Ｋ ・ ＪＩＳ又はＪＶ１０Ｋ

⑦ 給水栓　(1)屋内（ ※ 一般水栓 ・ 耐寒水栓 ）　(2)屋外（ ※ 耐寒水栓 ・ 一般水栓 ）
湯沸室，台所，厨房用水栓は泡沫式とする。

⑧ 埋設深さ　(1)一般敷地内（ 0.8 ｍ以上）　(2)敷地内車両道路（ ｍ以上）
(3)公道部分（ ※ 水道事業者及び道路管理者規定による ）

9．保 温　(1)量水器桝内の保温を行う。
(2)屋外露出管（弁，フランジ類を含む）は，共通仕様書第２編表2.3.5e3(ﾊ)とし，厚さは，呼び径25㎜以下のものは50㎜，呼び径32㎜以上のものは40㎜とする。

10．埋設弁開閉用ハンドル　本工事に ※ 含む（水道事業者管理用以外の弁操作用） ・ 含まない

⑪ 水道加入金等　水道加入金 ⊙ 要（ ・ 本工事 ⊙ 別途 ） ・ 不要
・ その他（ ） ・ 要（ ・ 本工事 ・ 別途 ）

⑫ その他　給水管の最小口径は20㎜とする。ただし，器具接続部分を除く。

排水設備

① 配管材料　(1)屋内汚水管
・ 排水用塩ビライニング鋼管
・ コーティング鋼管
・ メカニカル形排水鋳鉄管
・ 鉛管
⊙ ビニル管（ＶＰ）
(2)屋内雑排水管
・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
・ 排水用塩ビライニング鋼管（厨房用排水管）
・ 排水用タールエポキシ塗装鋼管（厨房用排水管）
⊙ ビニル管（ＶＰ）
(3)屋外土中汚水，雑排水管
・ コンクリート管（１種Ｂ形）
⊙ ビニル管（・ＶＰ ⊙ＶＵ・再生ＶＵ）
・
(4)土間配管用
・ 排水用塩ビライニング鋼管
・ コーティング鋼管
⊙ ビニル管（ＶＰ）
・
(5)通気管
・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
・ 排水用塩ビライニング鋼管
⊙ ビニル管（ＶＰ）

② 排水桝　・ 桝リストは図面番号（ ）
(1)材料 ・ ＲＣ ⊙ 硬質塩化ビニル ・ ポリプロピレン ・ ＳＣ
(2)ふた ・鋳鉄製（ ・ ＭＨＡ ・ ＭＨＢ ・ Ｔ８Ａ ）
⊙樹脂製
※ 県マーク，流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてＳＵＳチェーン付
(3)規格 ・ 下水道協会（ＪＳＷＡＳ） ・ 排水設備用樹脂製桝協会（ＨＭＳ）
⊙ 市町村別基準（ ⊙ 有 ・ 無 ）

③ グリース阻集器　⊙ＦＲＰ製（ 130*2 Ｌ） ・ＳＵＳ製（ Ｌ） 詳細は図示。

4．満水試験継手　図示の箇所に取付け、満水試験を行うこと。

⑤ 試 験　⊙ 衛生器具などの取付完了後，排水試験又は通水試験を行う。
・ 衛生器具などの取付完了後，煙試験を行う。

⑥ 放流負担金等　⊙ 不要 ・ 要（ ・ 別途工事 ・ 本工事 ）

⑦ 基礎材　※ 再生クラッシャーラン

8．その他

給湯設備

① 配管材料　・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４拡管） ⊙ 耐熱性ライニング鋼管 ・ 銅管 ・ 被覆銅管
・ 保温付被覆銅管　<膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。>

② 弁 類　給水設備の当該事項による。

3．湯沸器の排気筒　厚さ0.5㎜以上のステンレス鋼板製とする。

4．保 温　湯沸器の給排気筒（二重管）のいんぺい部保温を行う。（ｈ・(ｲ)・ＶⅡ）

消火設備

1．配管材料　(1)一 般
・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ40）
(2)地中埋設部
・ 外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＶＳ）
・ 〃 （ＳＧＰ－ＰＳ）
・ 〃 （ＳＴＰＧ－370ＶＳ）
・ 〃 （ＳＴＰＧ－370ＰＳ）
(3)二酸化炭素用
・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（継目無管）（Ｓｃｈ80）

2．消火栓開閉弁　・ ＪＩＳ10Ｋ ・ ＪＩＳ20Ｋ

3．保 温　(1)屋外露出管については給水管に準ずる。
(2)充水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する
(3)消火配管の保温 屋内消火栓 ・ 施工しない ・ 施工する
スプリンクラー ・ 施工しない ・ 施工する

4．消火器類　(1)消火器 種別 ・ 数量 （ ）
(2)消火器収納箱 仕様 ・ 材質 ・ 数量（ ）

厨房機器設備

1．厨房機器類　図示による（材質などは共通仕様書による）。ただし，寸法は参考とする。

2．付属制御盤　器具付属の制御盤は，製造者規格品とする。

ガス設備

① 配管材料　(1)一般
(※) 配管用炭素鋼鋼管（白）　(※) ポリエチレン被覆鋼管
・ 圧力配管用炭素鋼鋼管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
・ 鋼管　・ 塩化ビニル被覆鋼管
・　・ ガス用ポリエチレン管

2．都市ガス　(1)ガスメーター
親メーターはガス事業者より借用，子メーターは買い取りとする。
(2)引込み負担金 ・ 不要 ・ 要（ ・ 別途工事 ・ 本工事 ）

③ 液化石油ガス　(1)ガスボンベ ※ 借用 ・ 買い取り （ ・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 本 ）
(2)ガスメーター 親メーターはガス事業者より借用，子メーターは買い取りとする。
(3)集合装置 ・標準図（施工７０）による（ 本組）
(4)転倒防止等 ・標準図（施工７１） {・（ａ） ・（ｂ）} ・ ﾎﾞﾙﾄ，ﾁｪｰﾝ等はSUS製とする。

④ ガス漏れ警報器　図示の場所に取付ける （ ・ 分離形 ・ 一体形 ） ⊙ 別途電気工事
外部出力端子 （ ・ あり ・ なし ）

⑤ 埋設深さ　(1)一般敷地内（ 0.6 ｍ以上） (2)敷地内車両道路（ ｍ以上）
(3)公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による）

6．その他　配管工事は，原則としてガス供給事業者の責任施工とする。 供給事業者名（ ）

表１「完成書類」 本工事終了後下記の書類を提出すること。 ※ 詳細については、協議による

名 称	完 成 書 類	部数	名 称	完 成 書 類	部数
① 完成調書	作成は，主たる請負業者が，他の工事及び監督員の協力を得て取りまとめる。	１部	⑦ 工事写真 ①工事施工写真	工事用アルバムA4版ポケット式程度 工事施工写真は，履行写真（着手前写真と完了写真）並びに施工状況写真とで構成される。	２部
② 完成図 ※完成原図	折りたたみケース収納	１部	②完成写真	工事用アルバムA4版ポケット式程度	２部
※青(白)焼２つ折製本		２部			
※青(白)焼縮小製本	Ａ３版	１部	⑧ 工事週報	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部
※完成図CADデータ	SFCデータもしくは、PDFデータ ※上記は分離発注分の他工事図面の合本を原則とする。	１部	⑨ 工事打ち合わせ議事録	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部
③ 施工図 ※施工原図	折りたたみケース収納	１部	⑩ 工事に関する承諾確認書 ①施工計画書 ②施工要領書 ③確認書・承諾書 ④協議書 ⑤安全に関する書類 ⑥建設廃棄物ﾏﾆﾌｪｽﾄ	Ａ４版 チューブ式ファイル	１式
※青(白)焼２つ折製本		２部			
※施工図CADデータ	SFCデータもしくは、PDFデータ ※上記は分離発注分の他工事図面の合本を原則とする。	１部			
④ 機器完成図	Ａ４版 チューブ式ファイル （２ 完成図と合本可）	１部	⑪ 各種保証書	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部
⑤ 取扱説明書 ①保守に関する案内書 ②機器別取扱説明書 ③緊急連絡先一覧	Ａ４版 チューブ式ファイル （２ 完成図と合本可）	１部	⑫ その他 ①機器試験成績書 ・機材材質証明書 ・機材検査試験報告書 ・工場検査報告書 ・工場立会検査報告書 ②現場試験成績書 ・工事別試験報告書 ・総合運転および試験報告書		１部
⑥ 管理の手引き ①工事概要書 ②機器完成図 ③機器別取扱説明書 ④保守に関する案内書 ⑤緊急連絡先一覧表	Ａ４版 チューブ式ファイル	１部			

注記：機器及びシステム参考図について
本図面中で，機器又はシステムの品質・グレードを規定する目的で，対象品の寸法形状，諸元及びシステム構成等を参考図として記載している。
これらのものについては，その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

Horiguchi Architect & Associates
堀 口 設 計 事 務 所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

Checked

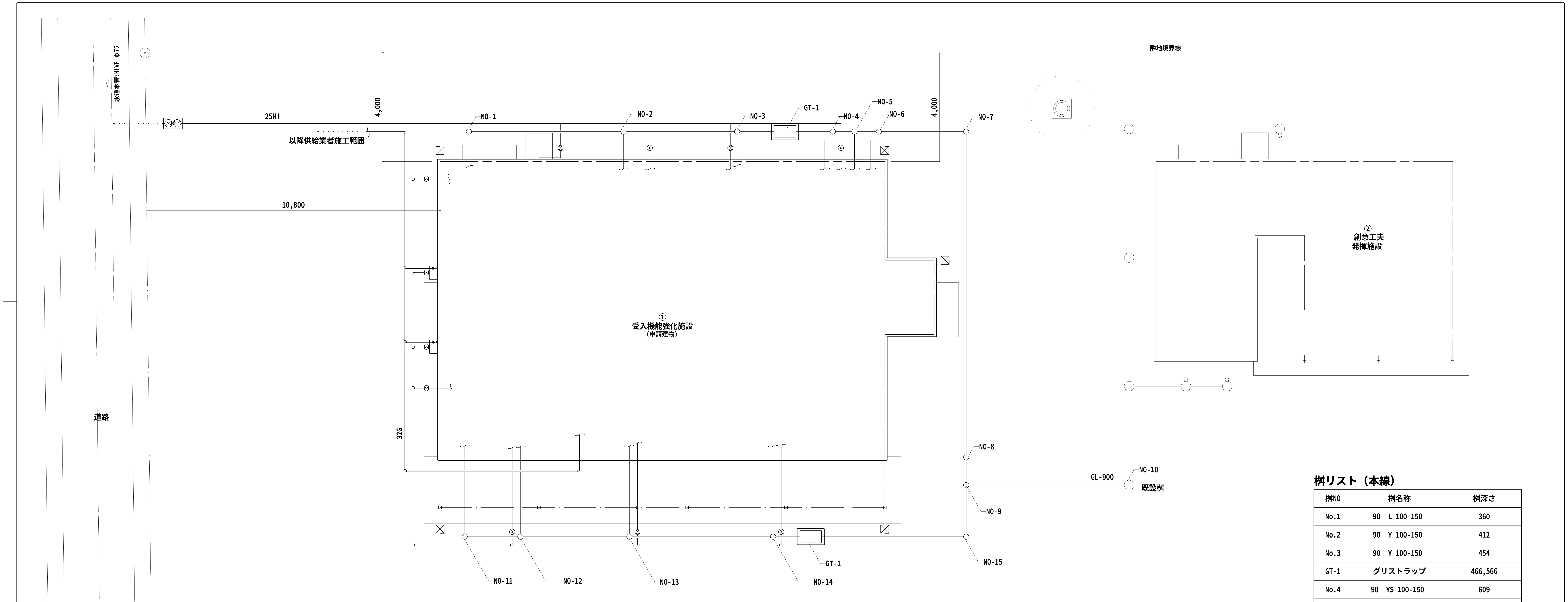
Title H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事

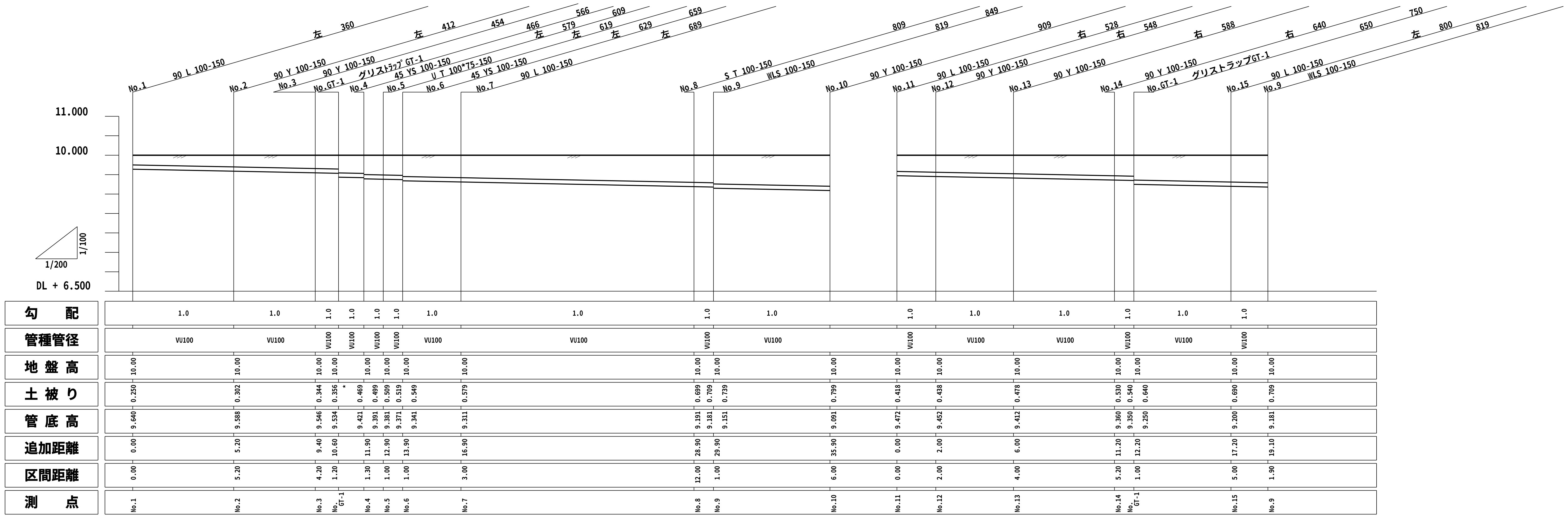
Drawing Title 機械設備工事 特記仕様書

Sheet No. M-01 ／ M-06

整理番号 11005

2011/5/16





桝リスト（本線）

桝NO	桝名称	桝深さ
No.1	90 L 100-150	360
No.2	90 Y 100-150	412
No.3	90 Y 100-150	454
GT-1	グリストラップ	466,566
No.4	90 YS 100-150	609
No.5	UT 100X75-150	619
No.6	90 YS 100-150	659
No.7	90 L 100-150	689
No.8	S T 100-150	809
No.9	WLS 100-150	819 849
No.10	既存接続桝 100-150	909

桝リスト（枝管路）

桝NO	桝名称	桝深さ
No.11	90 L 100-150	528
No.12	90 Y 100-150	548
No.13	90 Y 100-150	588
No.14	90 Y 100-150	640
GT-1	グリストラップ	750
No.15	90 L 100-150 左	800
No.9	WLS 100-150 右	819

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp
一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912
設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date H 23 ・ 3 ・

Scale 1/100

Title
H23年度 農村活性化支援事業
受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title
［機械設備］外構・縦断図・桝リスト

Sheet No. M-02 / M-06

整理番号 11005

2011/5/16

空調機器表

記号	機器名称	形式	設置場所	仕様	電気容量（60HZ） φ	V	適用	台数	備考
ＡＣ－１	ルームエアコン	冷暖房兼用壁掛形ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ	倉庫	壁掛形　冷房能力2.8Kw　暖房能力3.6kw	1	100	15A	3	架台
		S28MTPS-W	漬物仕込室	冷房消費電力630W　暖房消費電力520W					
			製品冷蔵ｽﾄｯｸ室	室内ファン電動機出力26w室外ファン出力23w					
				圧縮機電動機出力　0.75kw					
ＡＣ－２	ルームエアコン	冷暖房兼用壁掛ｶｾｯﾄ形	漬物倉庫	壁掛形　冷房能力2.2Kw　暖房能力2.2kw	1	100	15A	1	架台
		S22MTPS-W		冷房消費電力455W　暖房消費電力385W					
				室内ファン電動機出力29w室外ファン出力20w					
				圧縮機電動機出力　0.6kw					
ＡＣ－５	厨房用エアコン	冷暖房兼用厨房用	惣菜室	厨房用　冷房能力7.1Kw　暖房能力8.0kw	1	200	30A	3	架台
		SZZT80BBV	ｼﾞｬﾑ製造室	圧縮機出力1.62Kw					
		BRC1E3	ﾊﾟﾝ製造室	省ナビリモコン					
		K-DU202E　K-DUP4E　K-DUP8		ﾄﾞﾚﾝｱｯﾌﾟﾒｶ					

換気機器表

記号	機器名称	形式 製品形式	設置場所	仕様	電気容量（60HZ） φ	V	kW	適用	台数	備考
ＦＥ－１	有圧換気扇	低騒音排気専用	ｼﾞｬﾑ製造室	仕　様　：　羽根径 30cm×1400m3/h，電動シャッター付	1	100	50 W	消費電力	1	
		EFC-30FSB,PS-30CS,PS-30TW		付属品　：　ウェザーカバー（ＳＵＳ製・防鳥網付），取付枠,						
		FS-04SW								
ＦＥ－３	有圧換気扇	EG-40CSXB3,PS-40SMXA,W-40SA	惣菜室	仕　様　：　羽根径 40cm×3300m3/h，電動シャッター付	1	100	10.3 W	消費電力	1	ＳＷは電気工事
		PS-40TW,PS-40KW		付属品　：　ウェザーカバー（ＳＵＳ製・防鳥網付），取付枠,						
ＦＥ－４	有圧換気扇	EFC-25FSB,PS-25CS、PS-25TW	パン製造室	仕　様　：　羽根径 25cm×1000m3/h，電動シャッター付	1	100	15.5 W	消費電力	1	
		FS-04SW		付属品　：　ウェザーカバー（ＳＵＳ製・防鳥網付），取付枠,						
ＦＥ－１	SUSフード		ｼﾞｬﾑ製造室	1200X880X700h						
ＦＥ－３	SUSフード		惣菜室	3550X800X700h						分割
		F1-550G		グリスフィルター（片面）						
ＦＥ－４	SUSフード		パン製造室	2800X1100X500h						分割
排気①	ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ	V-08PHLD6　P-13VAQ3		ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ:V-08PHLD6--有効換気量:40m3/h.P-13VAQ3					5	
				深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網付)φ100用:P-13VAQ3						
排気②	ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ	V-08PALD6　P-13VAQ3		ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ:V-08PALD6--有効換気量:40m3/h.P-13VAQ3					2	
				深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網付)φ100用:P-13VAQ3						
給気ﾕﾆｯﾄ	自然給気ﾕﾆｯﾄ	P-13KQU3　P-13VSSQ3-AF	各室						10	

衛生器具表

機器名称	形式（参考）	設置場所	仕様	台数	備考
洋風大便器	CS670B・SH670BNML	トイレ		2	
	TCF6421	トイレ	ウォシュレット、暖房便座	2	
	YHBS201FLN	トイレ	棚付２連紙巻器、ハンドグリップ	2	
掃除流し	SK500	トイレ	T200SNR13,TL220D,T6SCM2R	1	
手洗器	L650D　自動水栓	廊下１	TEN41AX・TS126AR・T22BS	1	水石けん入共
	ﾍﾟｰﾊﾟｰﾀｵﾙﾎﾙﾀﾞｰ	廊下１	YKT100	1	
化粧鏡		廊下１	TS119ASR13(363*455)	1	
手洗器	L30DM　自動水栓	各室	TEN40AX,TS126AR,T22BS	5	水石けん入共
	ﾍﾟｰﾊﾟｰﾀｵﾙﾎﾙﾀﾞｰ	各室	YKT100	5	
自在水栓(水用)	T130ARU13 C	各室		15	
自在水栓(湯用)	T130ARU13 H	各室		9	
吸気弁付耐寒万能水栓	D-X-2013120+KTL-10	屋外	浸マスカバーセット(OM-C)	1	
GT-1ｸﾞﾘｽﾄﾗｯﾌﾟ	HGR-130P	屋外	133L地中埋設型　SS製ふたかさ上げ共	2	かさ上げ500Hｺﾝｸﾘｰﾄ打設共
ｶﾞｽ給湯器	20号	屋外	壁掛け式　100V　RUX-A2011WE	2	

凡例

記号	名称	仕様・規格		
	給水管（屋外埋設）	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管	JIS K 6742	埋設深度　600H
	給水管（屋　内）	水道用硬質塩ビライニング鋼管	JWWA K 116	SGP-VB　SGP-VD
I	給湯管（送り）	水道用耐熱性硬質塩ビライニング鋼管	JWWA K 140	SGP-HVA
II	給湯管（返り）	水道用耐熱性硬質塩ビライニング鋼管	JWWA K 140	SGP-HVA
	排水管（屋外）	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	屋外第一桝以降（ＶＵ）
	排水管（屋内）	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	屋内～屋外第一桝まで（ＶＵ）
	通気管	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741	
G	ガス管	配管用炭素鋼鋼管（白管）		
	仕切弁	JIS 10K		
	不凍水抜栓	800L　(BOX共)		
	水栓類	寒冷地仕様		
	散水栓	寒冷地仕様　自動接手付　(BOX共)		
	ガス栓,ガスコック			
	床上掃除口	COA		
	通気金物	VE		
	塩ビ製小口径汚水桝	主管径 φ100　桝径 φ150		
	ドレン管	硬質塩化ビニル管		
	冷媒管	断熱被覆銅管		
	矩形ダクト	亜鉛鉄板　（厨房排気ダクトは0.8t）		
	丸ダクト	スパイラルダクト　（厨房、多湿箇所はＶＰダクト）		

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp
一級建築士事務所登録　(上伊)D第39211号
管理建築士　堀口　隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836　Fax 0265 - 79 - 8912

設計担当者　一級建築士　第229022号　堀口　隆

Date　H 23 ・ 3 ・

Scale

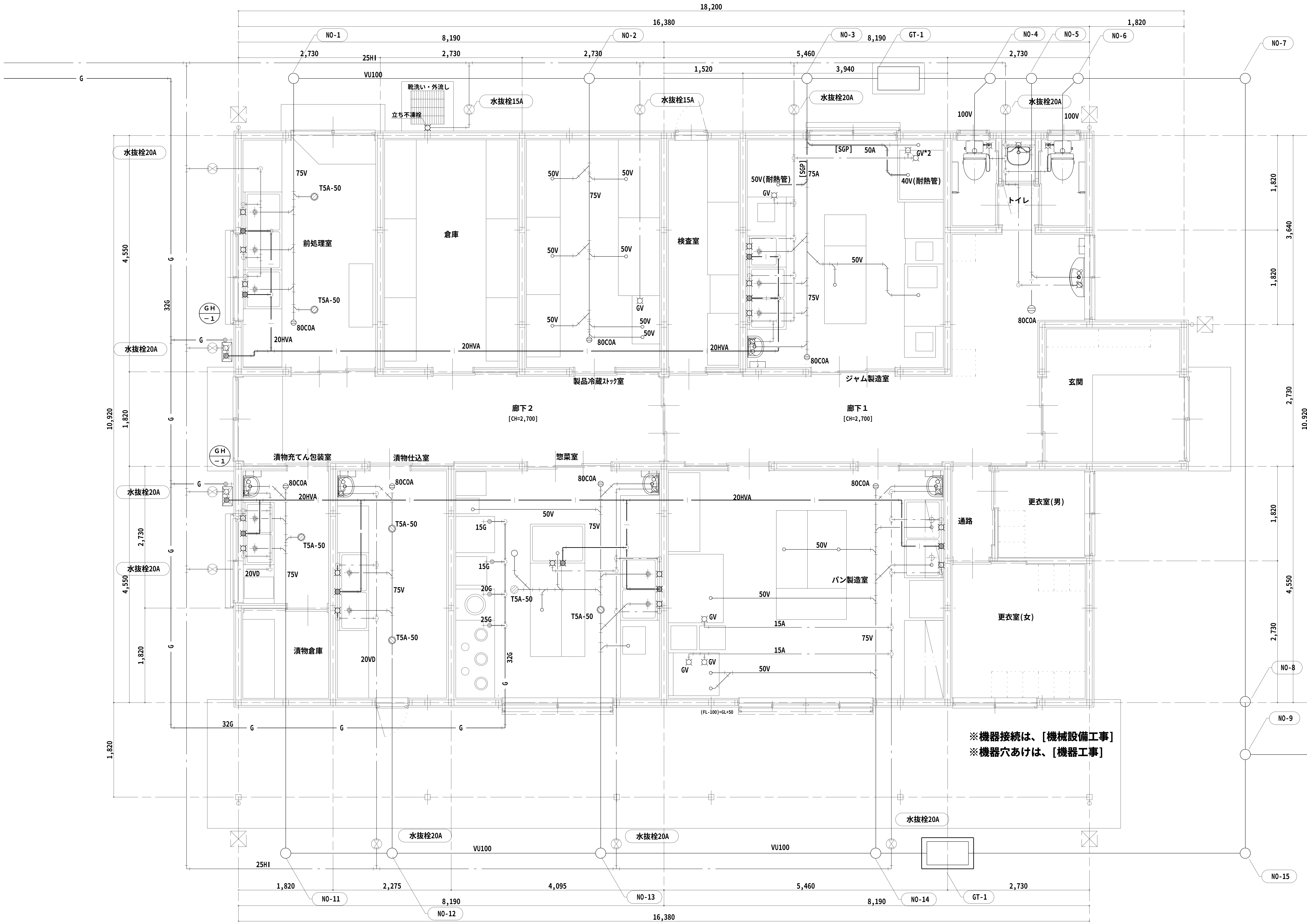
Title　H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title　[機械設備] 機器表・器具表

Sheet No.　M-03 / M-06

整理番号　11005

2011/5/16



※業務機器設置部分(壁際に限る)の床:一般FL+50とする(詳細は建築図参照)。

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912

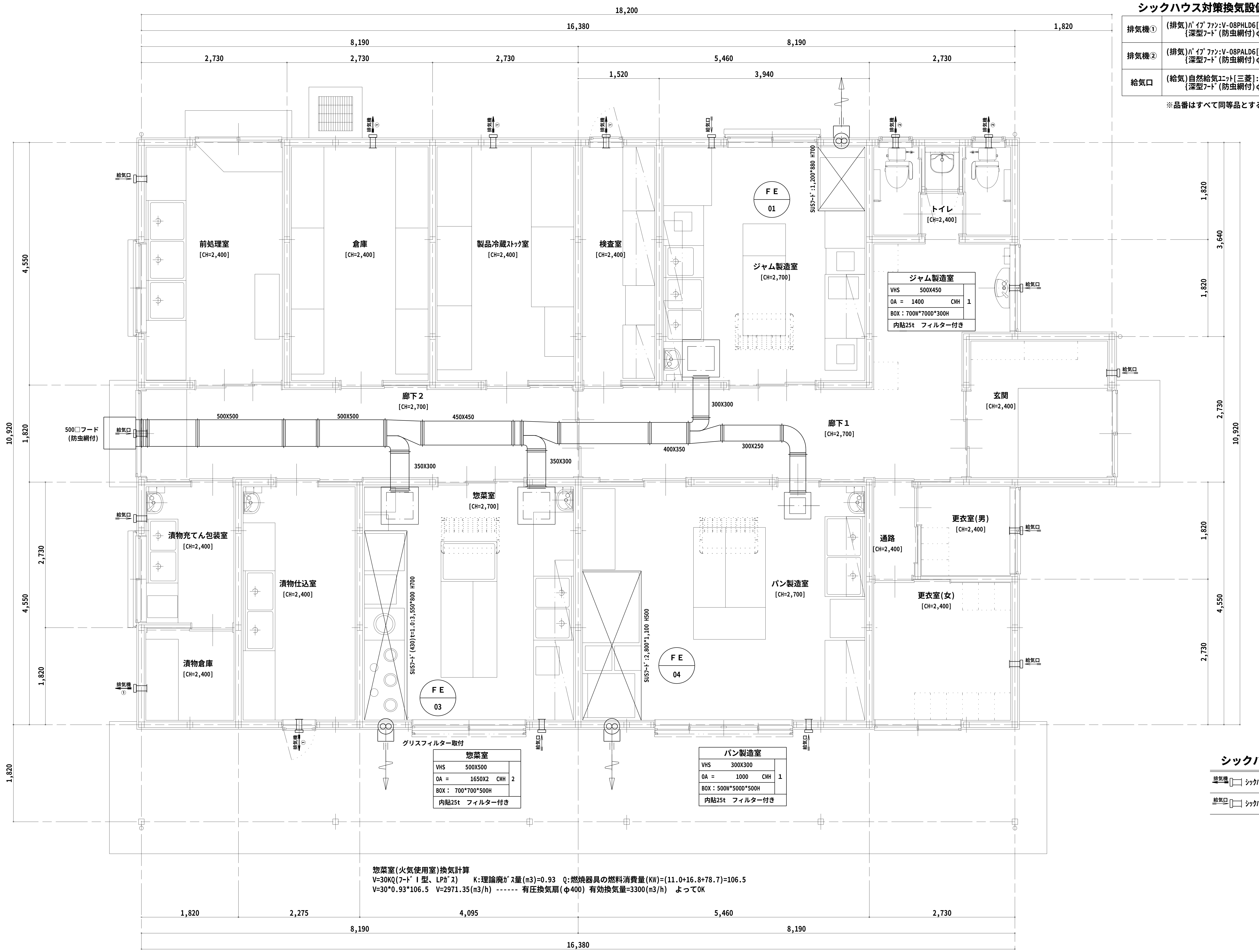
設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆	Date H 23 ・ 3 ・ Scale 1/50	Title H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事	Drawing Title [機械設備] 衛生設備平面図	Sheet No. M-04 / M-06 整理番号 11005

2011/5/16

シックハウス対策換気設備[機械設備工事]　凡例

排気機①	(排気)ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ:V-08PHLD6[三菱]--有効換気量:40m3/h {深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網付)φ100用:P-13VAQ3[三菱]}	5
排気機②	(排気)ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ:V-08PALD6[三菱]--有効換気量:40m3/h {深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網付)φ100用:P-13VAQ3[三菱]}	2
給気口	(給気)自然給気ﾕﾆｯﾄ[三菱]:P-13KQU3 {深型ﾌｰﾄﾞ(防虫網付)φ100用:P-13VSSQ3-AF[三菱]}	10

※品番はすべて同等品とする



ジャム製造室		
VHS	500X450	1
OA =	1400 CMH	
BOX：700W*700D*300H		
内貼25t　フィルター付き		

惣菜室		
VHS	500X500	2
OA =	1650X2 CMH	
BOX： 700*700*500H		
内貼25t　フィルター付き		

パン製造室		
VHS	300X300	1
OA =	1000 CMH	
BOX：500W*500D*500H		
内貼25t　フィルター付き		

シックハウス対策関係　凡例

排気機	ｼｯｸﾊｳｽ対策 24時間換気扇
給気口	ｼｯｸﾊｳｽ対策 自然給気口

惣菜室(火気使用室)換気計算
V=30KQ(ﾌｰﾄﾞⅠ型、LPｶﾞｽ)　K:理論廃ｶﾞｽ量(m3)=0.93　Q:燃焼器具の燃料消費量(KW)=(11.0+16.8+78.7)=106.5
V=30*0.93*106.5　V=2971.35(m3/h) ------ 有圧換気扇(φ400) 有効換気量=3300(m3/h)　よってOK

Horiguchi Architect & Associates 堀口設計事務所 E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp	一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号 / 管理建築士 堀口 隆 / 〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2 Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912	設計担当者 一級建築士 第229022号 堀口 隆	Date H 23 ・ 3 ・ / Scale 1/50	Title H23年度 農村活性化支援事業 受入機能強化施設 建設工事	Drawing Title [機械設備] 換気設備平面図	Sheet No. M-05 / M-06 整理番号 11005

2011/5/16

Horiguchi Architect & Associates
堀口設計事務所
E-mail:arc-hori@inacatv.ne.jp

一級建築士事務所登録 (上伊)D第39211号
管理建築士 堀口 隆
〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪1327-2
Phone 0265 - 79 - 8836 Fax 0265 - 79 - 8912

設計担当者
一級建築士 第229022号 堀口 隆

Date
H 23 ・ 3 ・

Scale
1/50

Title
H23年度 農村活性化支援事業
受入機能強化施設 建設工事

Drawing Title
[機械設備] 空調設備平面図

Sheet No.
M-06 / M-06

整理番号 11005

2011/5/16